

浜田市第 3 期子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査
結果報告書

令和 7 年 3 月
浜田市

目 次

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査の種類と実施方法	1
3 回収結果	1
4 報告書をみる際の注意	1
II. 調査結果	3
1 保護者調査	3
1-1 就学前児童保護者調査	3
1. お住まいの地域について	3
2. 子どもと家族の状況について	3
3. 子どもの日常生活について	6
4. 子どもの生活実態について	9
5. 子どもの育ちをめぐる環境について	12
6. 定期的な教育・保育の利用状況について	17
7. 地域の子育て支援事業の利用状況について	25
8. 子どもが病気の際の対応について	32
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用状況について	35
10. 就学後の放課後の過ごし方について	38
11. 子どもの教育や地域での子育てについて	40
12. 保護者の就労状況・職場の両立支援について	45
13. 児童虐待に関することについて	59
14. 子ども食堂について	62
15. 浜田市の子育て支援施策全般について	65
1-2 小学生保護者調査	66
1. お住まいの地域について	66
2. 子どもと家族の状況について	66
3. 子どもの日常生活について	69
4. 子どもの生活実態について	73
5. 子どもの育ちをめぐる環境について	76
6. 子どもが病気の際の対応について	82
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用状況について	84
8. 放課後の過ごし方について	87
9. 子どもの教育や地域での子育てについて	91
10. 保護者の就労状況について	96
11. 児童虐待に関することについて	100
12. 子ども食堂について	101
13. 浜田市の子育て支援施策全般について	104
2 小学生調査	107
1. 回答者について	107
2. 自分自身について	108
3. 周りの環境について	111

4. 周りの人との関わりについて.....	114
5. 自身の性格について.....	120
6. 将来のことについて.....	121
7. 外出状況について.....	123
8. 落ち込んだ経験について.....	127
9. 浜田市に期待することについて.....	131
Ⅲ. 調査総括.....	133
1 保護者調査	133
1-1 就学前児童保護者.....	133
1-2 小学生保護者調査.....	136
保護者票まとめ	139
2 小学生調査	140
小学生票まとめ	141

I . 調査概要

1 調査目的

本調査は、子ども・子育て支援法に規定される子ども・子育て支援事業計画を策定するため、子育て世代へのアンケートを実施し、「第3期子ども・子育て支援事業計画」の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象別に次の3種類のアンケート調査を実施しました。

調査種別	調査内容	調査対象	実施方法	調査期間
保護者調査	就学前児童保護者アンケート	市内在住の就学前児童（0～5歳）の保護者	就学前児童のいる家庭の保護者 1,306人 WEB形式による調査	WEB調査 実施期間： 令和6年6月 ヒアリング調査 実施期間： 令和6年9月
	小学生保護者アンケート	市内在住の小学生（小学1～6年生）の保護者	小学生のいる家庭の保護者 1,697人 WEB形式による調査	
子ども調査	小学4～6年生アンケート	市内在住の小学4～6年生	小学4～6年生 1,175人 WEB形式またはヒアリングによる調査	

3 回収結果

調査種別	対象者数	有効回答数	有効回収率
保護者調査	1,306人	332人	25.4%
	1,697人	364人	21.4%
子ども調査	1,175人	99人	8.4%

4 報告書をみる際の注意

- ・図表中の「n=○」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
- ・調査結果の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100%を超える場合があります。
- ・集計結果において、回答者を限定する設問などによっては該当者が少なくなり、割合が偏る、あるいは分散することがあります。
- ・コメントに関して、全体において設問に対して具体的な回答内容を含む選択肢の中で上位の集計結果を記載しています。
- ・グラフに関して、主に単純集計について単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとしています。また、帯グラフにおいては0.0%の表記を省略しています。棒グラフにおいては「その他」「わからない」「特になし」などの選択肢に該当しない、あるいは具体的な内容を含まないという選択肢を除き、割合による降順となっています。なお、設問において回答対象者が10人以下の場合は、グラフ等による割合の表記はせず、表により人数を記しています。

Ⅱ. 調査結果

1 保護者調査

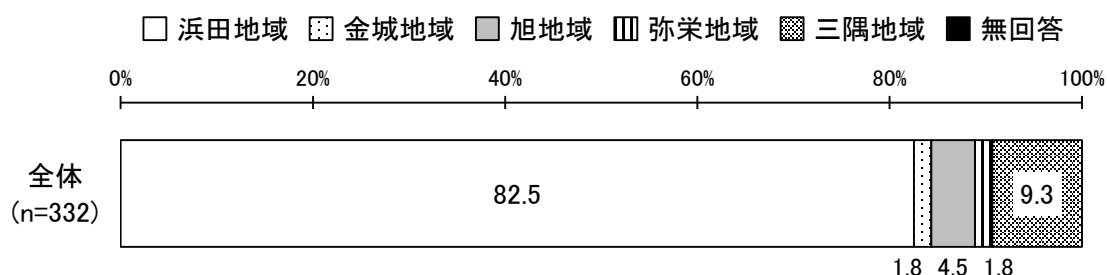
1-1 就学前児童保護者調査

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区をお答えください。

居住地区については、全体では「浜田地域」の割合が82.5%で最も高く、次いで「三隅地域」(9.3%)、「旭地域」(4.5%)などの順となっています。



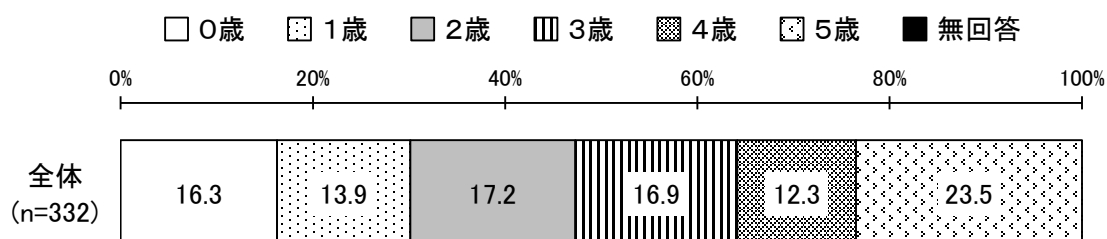
2. 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 お子さんの年齢（令和6年4月1日時点※）をお答えください。

※令和6年4月2日以降に生まれたお子さんは「0歳」とお答えください。

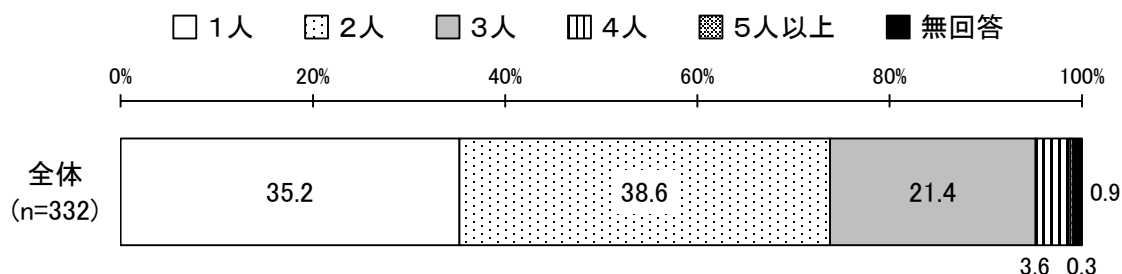
子どもの年齢については、全体では「5歳」の割合が23.5%で最も高く、次いで「2歳」(17.2%)、「3歳」(16.9%)などの順となっています。



(2) 子どもの人数

問3 お子さんのきょうだいの数（ご回答いただく対象のお子さんを含めた人数）をお答えください。

子どもの人数については、全体では「2人」の割合が38.6%で最も高く、次いで「1人」（35.2%）、「3人」（21.4%）などの順となっています。



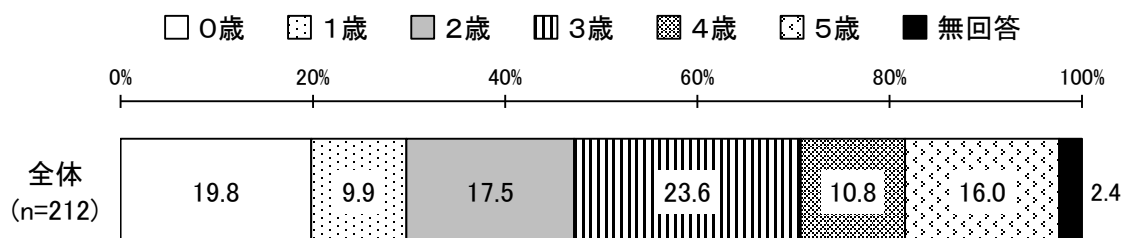
(3) 末子の年齢

問3で「1人」以外を選んだ方にうかがいます。

問3-1 2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の子の年齢（令和6年4月1日時点※）をお答えください。

※令和6年4月2日以降に生まれたお子さんは「0歳」とお答えください。

末子の年齢については、全体では「3歳」の割合が23.6%で最も高く、次いで「0歳」（19.8%）、「2歳」（17.5%）などの順となっています。

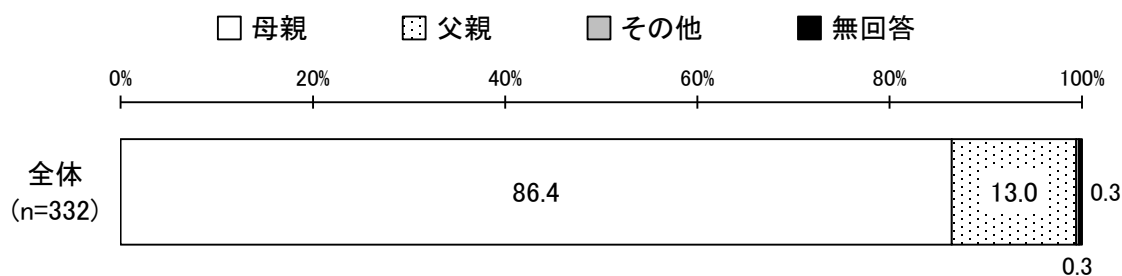


(4) 回答者の続柄

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

回答者の続柄については、全体では「母親」の割合が86.4%、「父親」の割合が13.0%となっています。

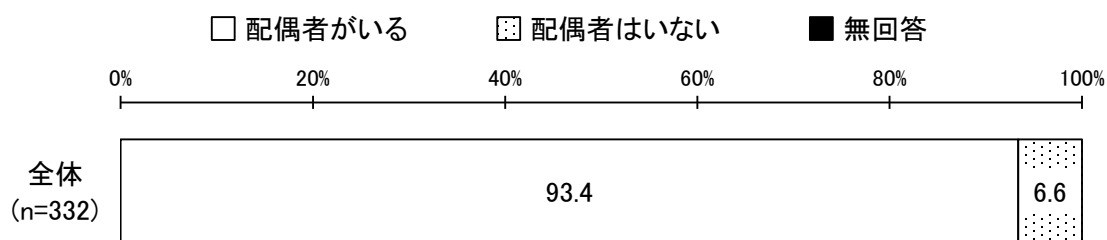
また、「その他」の割合は0.3%となっています。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係については、全体では「配偶者がいる」の割合が93.4%で、「配偶者はいない」(6.6%)を上回っています。

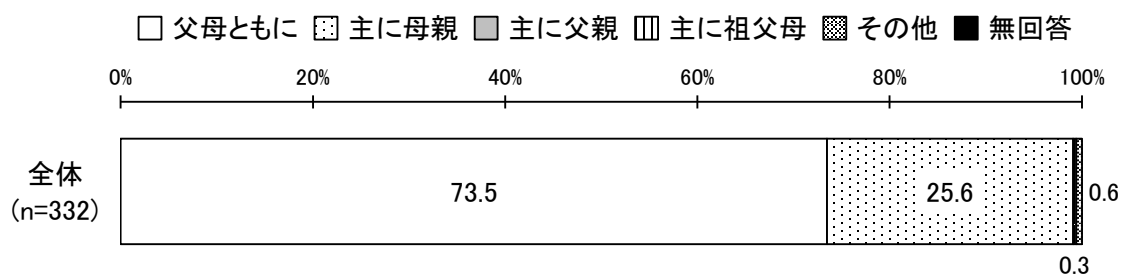


(6) 子育ての主な担い手

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。

子育ての主な担い手については、全体では「父母ともに」の割合が73.5%で最も高く、次いで「主に母親」(25.6%)、「主に祖父母」(0.3%)の順となっています。

また、「その他」の割合は0.6%となっています。



3. 子どもの日常生活について

(1) 平日の家事や育児の役割分担

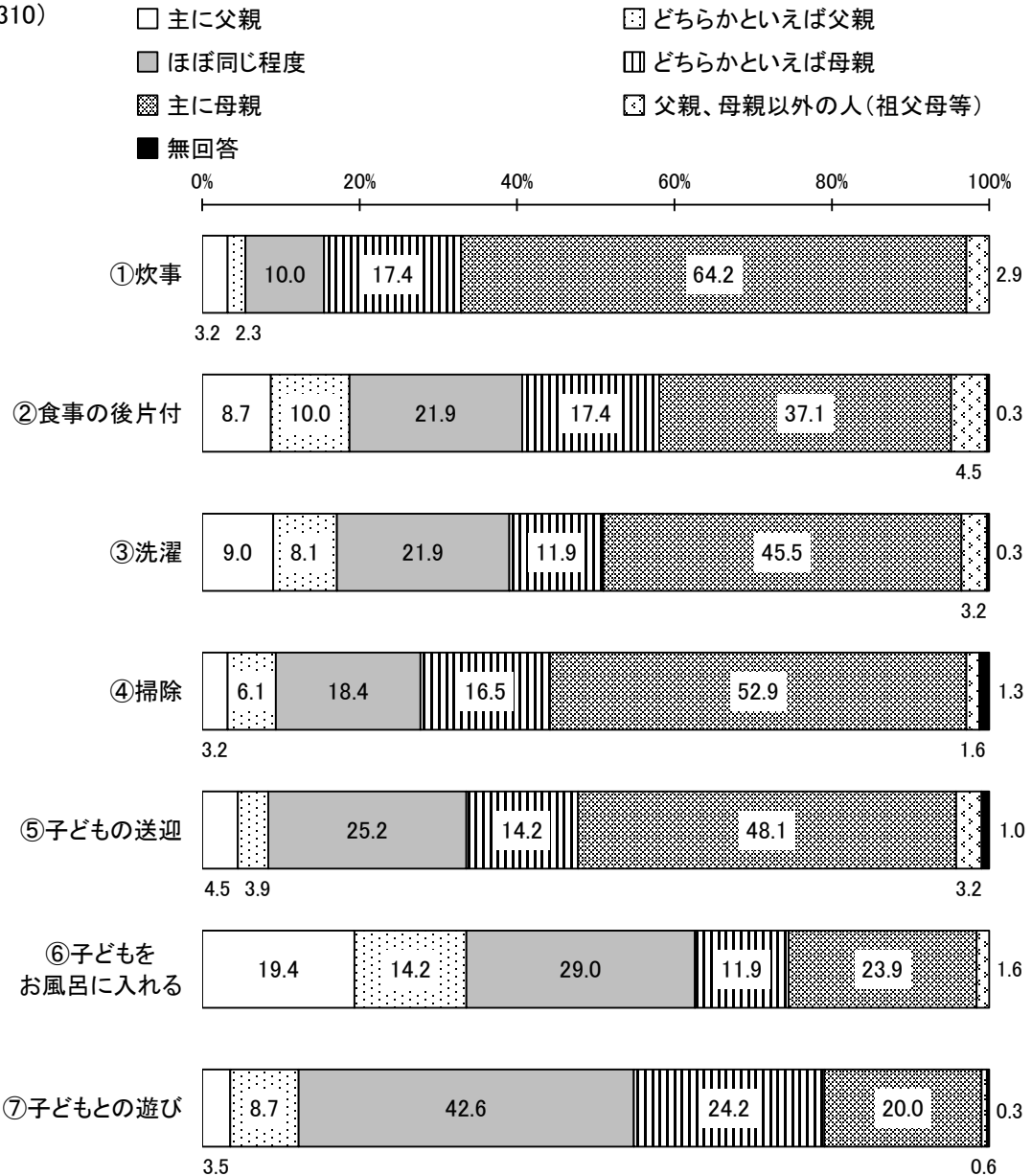
問5で「配偶者がいる」を選んだ方にうかがいます。

問7 平日の家事や育児を父親と母親でどのように役割分担していますか。

平日の家事や育児の役割分担については、全体ではすべての家事や育児で「どちらかといえば母親」と「主に母親」を合わせた“母親”の割合が最も高くなっており、特に『①炊事』(81.6%)、『④掃除』(69.4%)、『③子どもの送迎』(62.3%)などの項目が上位となっています。

全体

(n=310)



(2) 配偶者に協力してもらいたい家事や育児

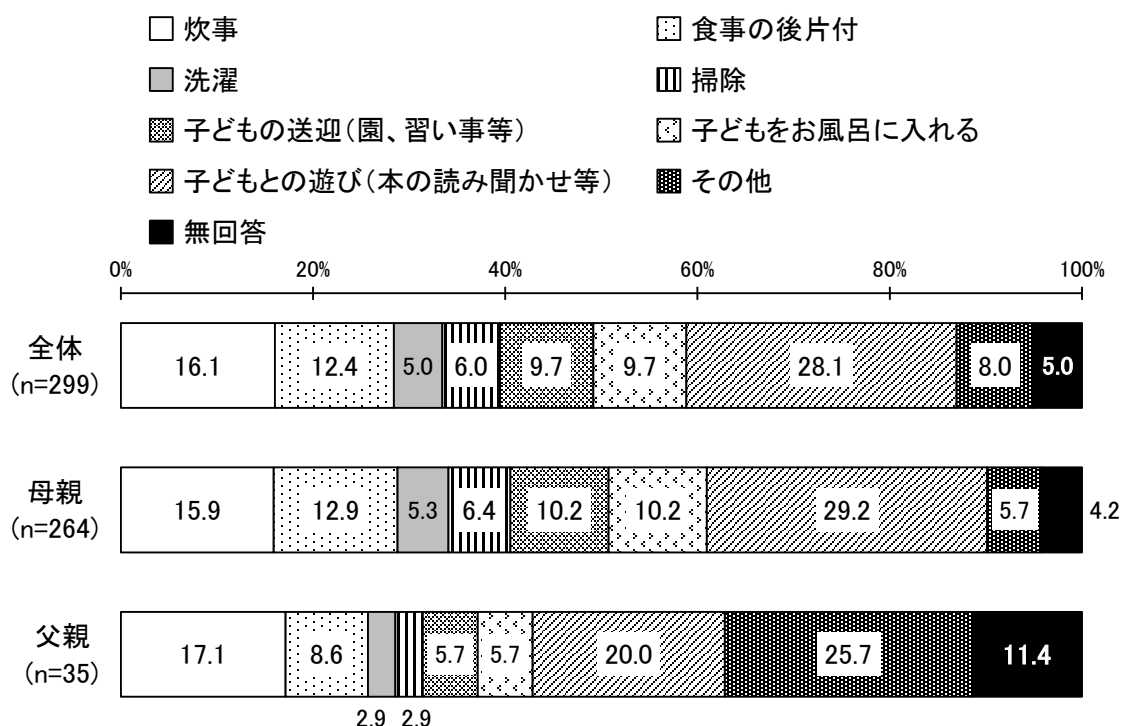
問5で「配偶者がいる」を選んだ方で、回答者が問6の「主に子育てを行っている方」の場合にうかがいます。

問8 父親（または母親）に協力してもらいたい家事や育児は何ですか。

配偶者に協力してもらいたい家事や育児については、全体では「子どもとの遊び（本の読み聞かせ等）」の割合が28.1%で最も高く、次いで「炊事」（16.1%）、「食事の後片付」（12.4%）などの順となっています。

母親による回答で父親に協力してもらいたい家事や育児をみると、全体とおおむね同様の傾向となっています。

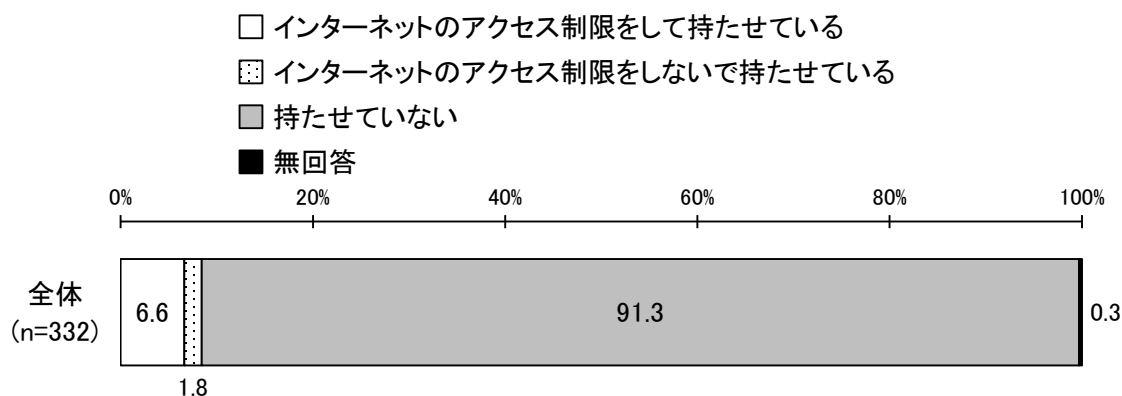
父親による回答で母親に協力してもらいたい家事や育児をみると、「その他」の割合が25.7%となっており、記述内容は「特になし」などの回答が多くなっています。



(3) 子どものスマートフォン等の所持状況

問9 お子さんに携帯電話、スマートフォン、タブレット端末などを持たせていますか。

子どものスマートフォン等の所持状況については、全体では「持たせていない」の割合が91.3%で最も高く、次いで「インターネットのアクセス制限をして持たせている」(6.6%)、「インターネットのアクセス制限をしないで持たせている」(1.8%)の順となっています。



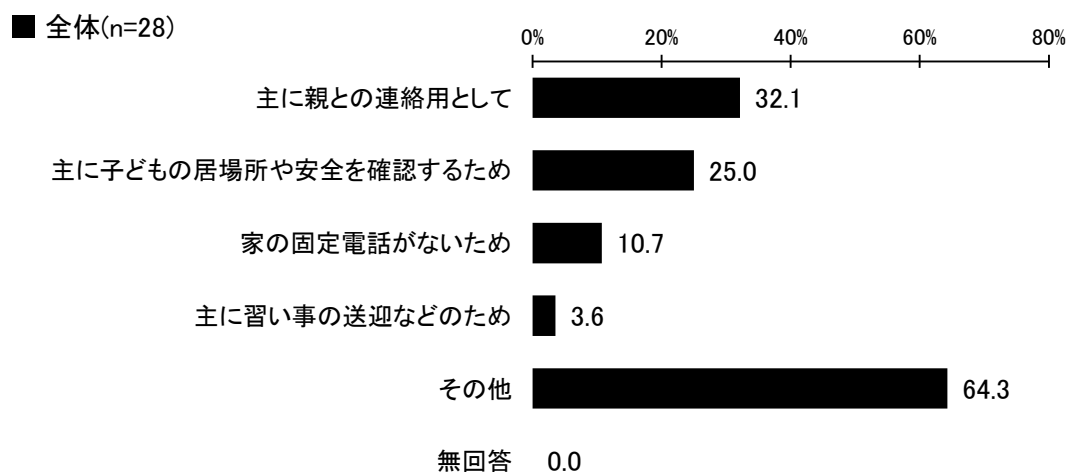
(4) 子どもにスマートフォン等を持たせる目的

問9で「持たせていない」以外を選んだ方にうかがいます。

問9-1 主にどのような目的で持たせていますか。【複数回答】

子どもにスマートフォン等を持たせる目的については、全体では「主に親との連絡用として」の割合が32.1%で最も高く、次いで「主に子どもの居場所や安全を確認するため」(25.0%)、「家の固定電話がないため」(10.7%)などの順となっています。

また、「その他」の割合は64.3%となっており、記述内容は「動画を視聴するため」などの回答が多くなっています。



4. 子どもの生活実態について

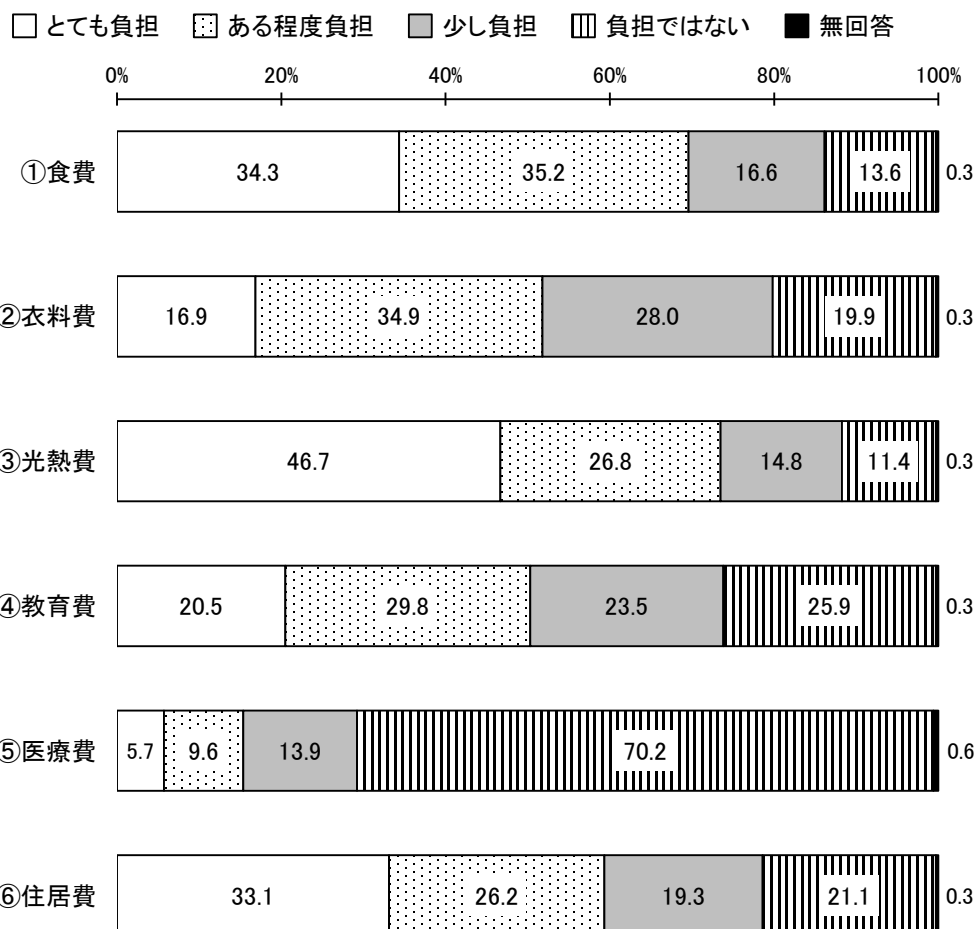
(1) 生活費の負担感

問10 次の生活費について、どの程度経済的な負担を感じていますか。

生活費の負担感については、全体では「とても負担」と「ある程度負担」を合わせた“負担を感じる”の割合をみると、『③光熱費』(73.5%)、『①食費』(69.5%)、『⑥住居費』(59.3%)などの項目が上位となっています。一方、「負担ではない」の割合をみると、『⑤医療費』(70.2%)の項目が高くなっています。

全体

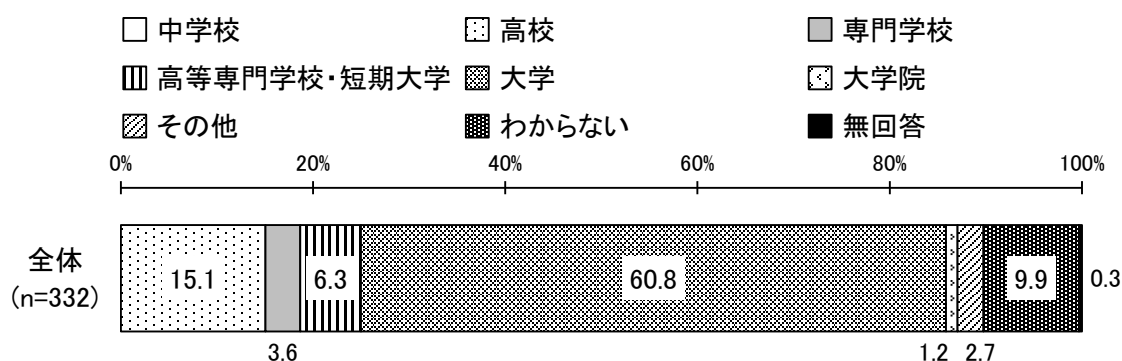
(n=332)



(2) 子どもの最終学歴としての進学希望

問11 お子さんについて、最終学歴としてどのくらいまで学ばせたいと思いますか。

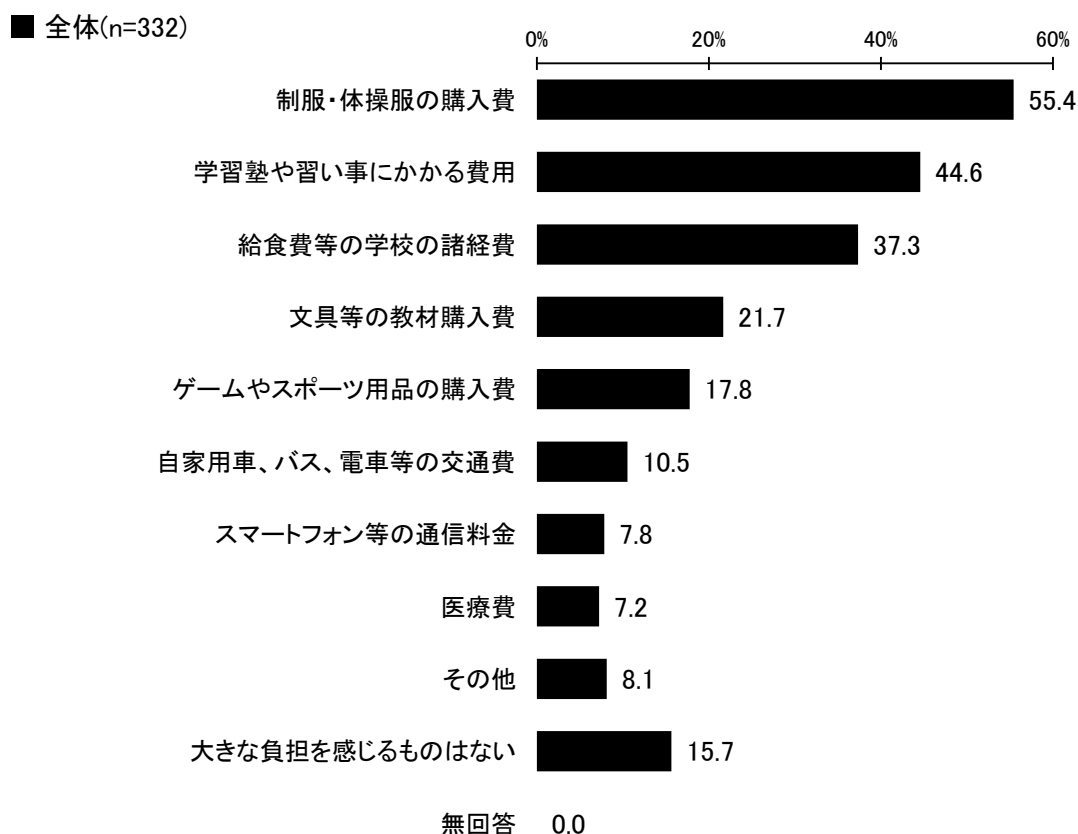
子どもの最終学歴としての進学希望については、全体では「大学」の割合が60.8%で最も高く、次いで「高校」(15.1%)、「わからない」(9.9%)などの順となっています。



(3) 子どもにかかる費用で負担に感じるもの

問12 お子さんにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何ですか。
【複数回答】

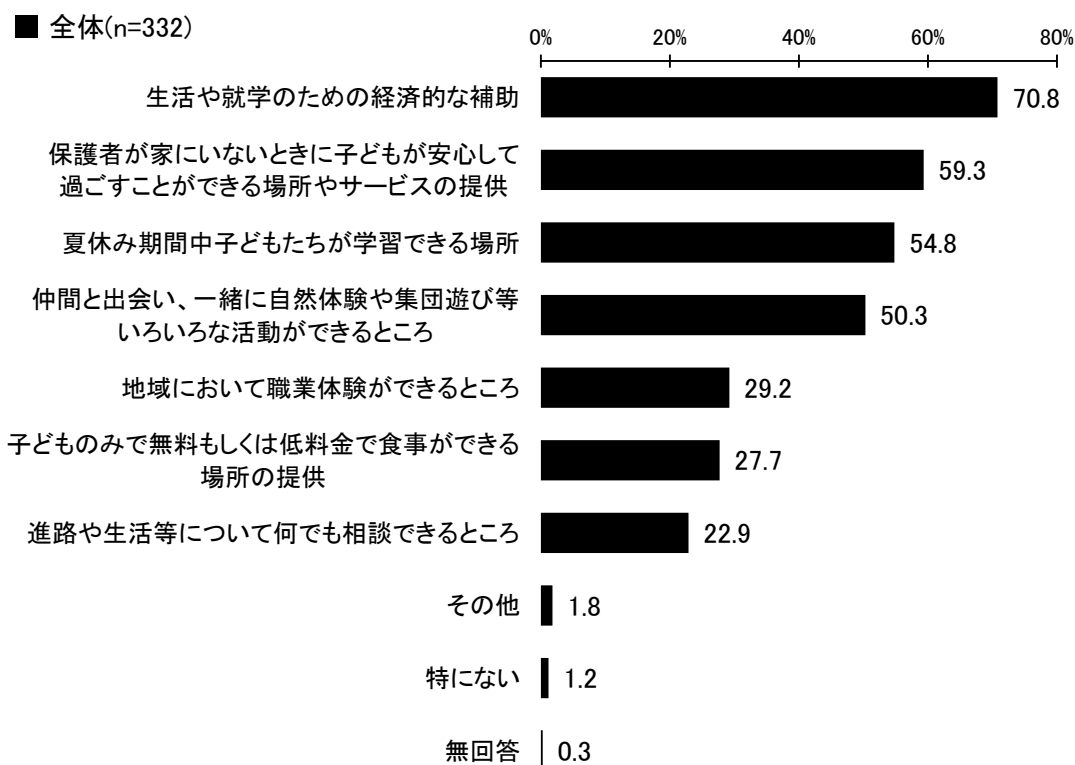
子どもにかかる費用で負担に感じるものについては、全体では「制服・体操服の購入費」の割合が55.4%で最も高く、次いで「学習塾や習い事にかかる費用」(44.6%)、「給食費等の学校の諸経費」(37.3%)などの順となっています。



(4) 子どものための支援の利用希望

問13 お子さんにとって、現在または将来的に、次のような支援があった場合、利用したいと思いますか。【複数回答】

子どものための支援の利用希望については、全体では「生活や就学のための経済的な補助」の割合が70.8%で最も高く、次いで「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごすことができる場所やサービスの提供」(59.3%)、「夏休み期間中子どもたちが学習できる場所」(54.8%)などの順となっています。



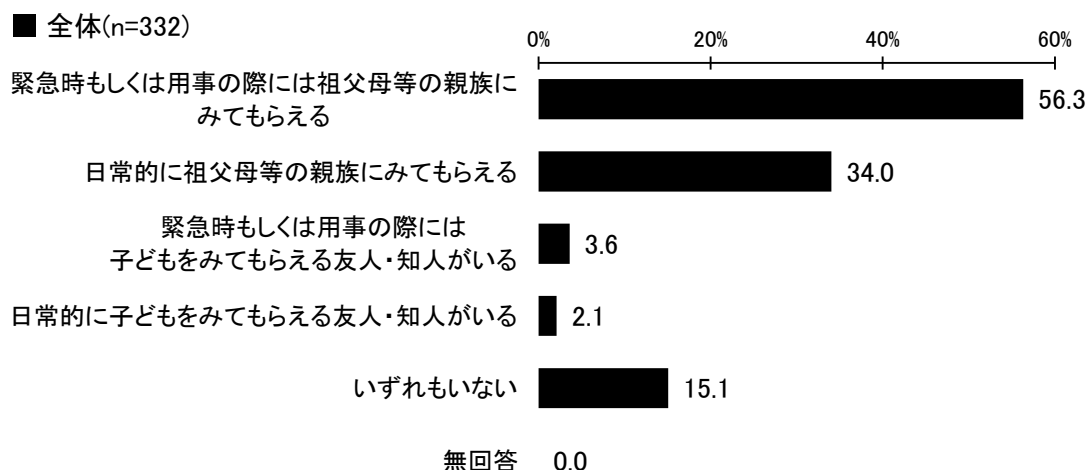
5. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人

問14 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人については、全体では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が56.3%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(34.0%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(3.6%)などの順となっています。

なお、「いずれもない」の割合は15.1%となっています。

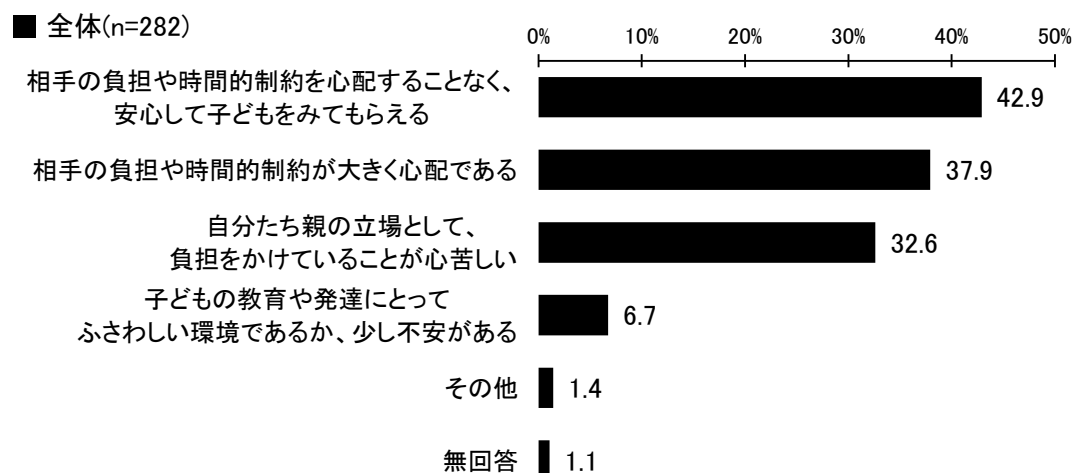


(2) 親族・知人に子どもをみてもらう状況

問14で「いずれもない」以外を選んだ方にうかがいます。

問14-1 親族や知人（お相手）にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】

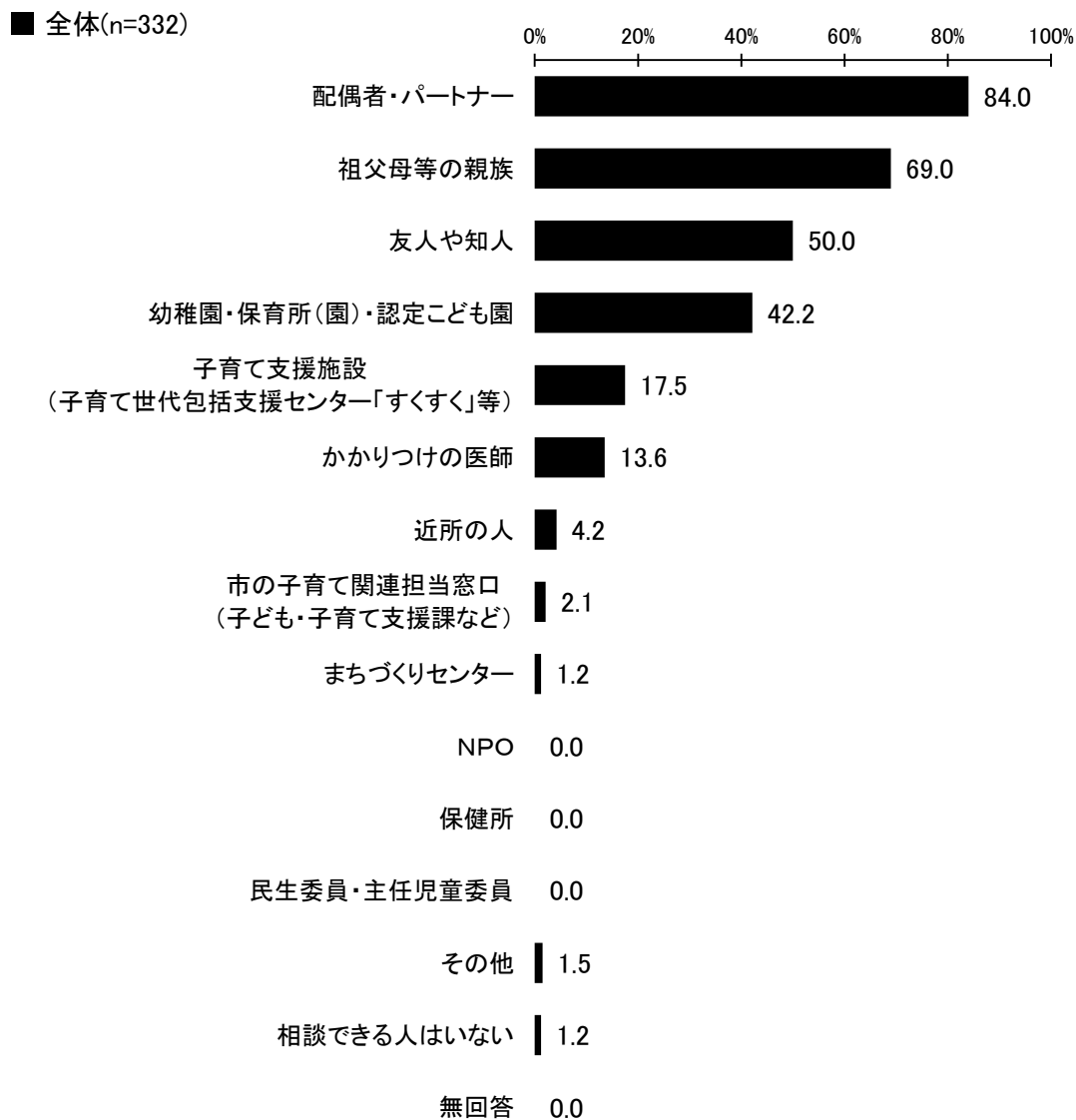
親族・知人に子どもをみてもらう状況については、全体では「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が42.9%で最も高く、次いで「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」(37.9%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(32.6%)などの順となっています。



(3) 子育てに関する相談相手

問15 お子さんのことや子育てについて気軽に相談できる相手はどなた（場所はどこ）ですか。【複数回答】

子育てに関する相談相手については、全体では「配偶者・パートナー」の割合が84.0%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」(69.0%)、「友人や知人」(50.0%)などの順となっています。



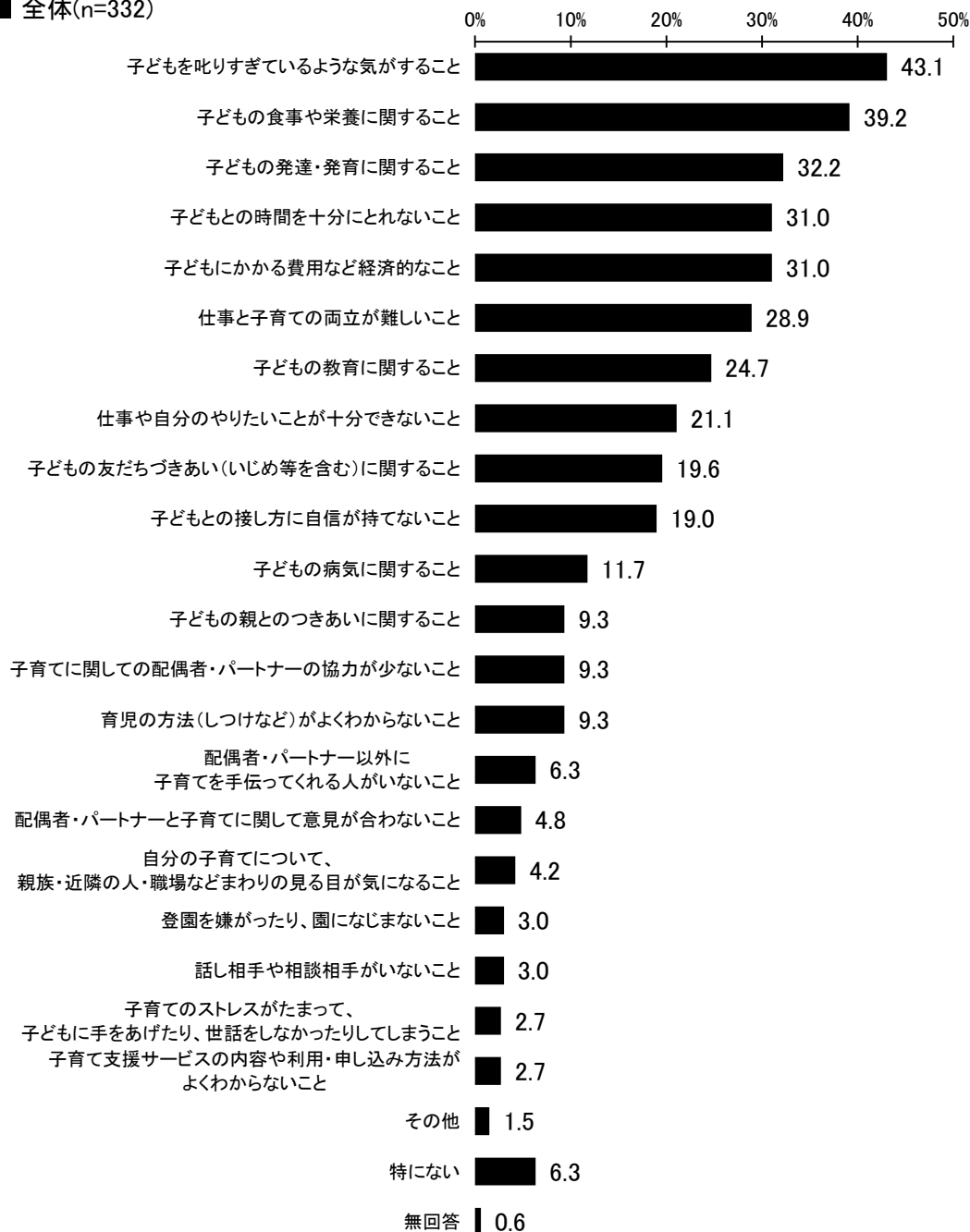
(4) 子育てに関して悩んでいること

問16 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【複数回答】

子育てに関して悩んでいることについては、全体では「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が43.1%で最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」(39.2%)、「子どもの発達・発育に関すること」(32.2%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、0～2歳では「子どもの食事や栄養に関すること」の割合が51.0%で最も高くなっています。

■ 全体(n=332)

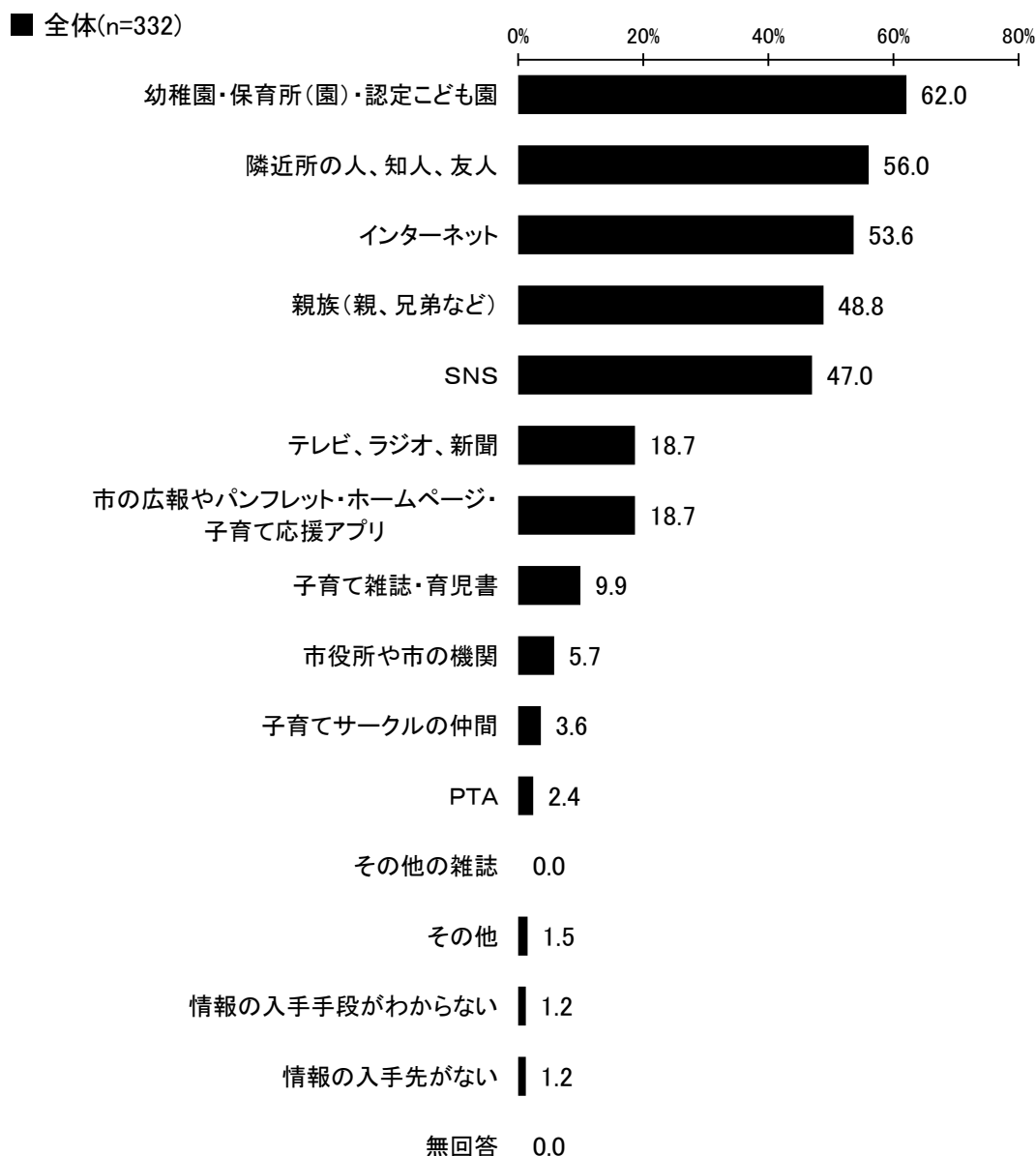


合計：n 項目：%		合計	子どもとの時間を十分にとれないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子どもの病気に関すること	子どもの発達・発育に関する	子どもの食事や栄養に関する	子どもの教育に関する	子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する
全体		332	31.0	19.0	43.1	11.7	32.2	39.2	24.7	19.6
子どもの年齢別	0～2歳	157	29.9	19.7	37.6	14.6	36.9	51.0	25.5	14.0
	3～5歳	175	32.0	18.3	48.0	9.1	28.0	28.6	24.0	24.6
合計：n 項目：%		合計	子どもの親とのつきあいに	登園を嫌がったり、園になじまない	子どもにかかる費用など経済的な	仕事と子育ての両立が難しい	仕事や自分のやりたいことが十分にできない	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わない
全体		332	9.3	3.0	31.0	28.9	21.1	9.3	6.3	4.8
子どもの年齢別	0～2歳	157	5.7	3.2	34.4	31.8	23.6	8.9	5.1	5.1
	3～5歳	175	12.6	2.9	28.0	26.3	18.9	9.7	7.4	4.6
合計：n 項目：%		合計	子育てのストレスがたまったり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になる	話し相手や相談相手がい	育児の方法(しつけなど)がよくわからない	子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない	その他	特にな	無回答
全体		332	2.7	4.2	3.0	9.3	2.7	1.5	6.3	0.6
子どもの年齢別	0～2歳	157	3.2	5.1	1.9	15.9	1.3	2.5	5.1	0.6
	3～5歳	175	2.3	3.4	4.0	3.4	4.0	0.6	7.4	0.6

(5) 子育てに関する情報の入手方法

問17 日ごろ、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。【複数回答】

子育てに関する情報の入手方法については、全体では「幼稚園・保育所（園）・認定こども園」の割合が62.0%で最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」（56.0%）、「インターネット」（53.6%）などの順となっています。



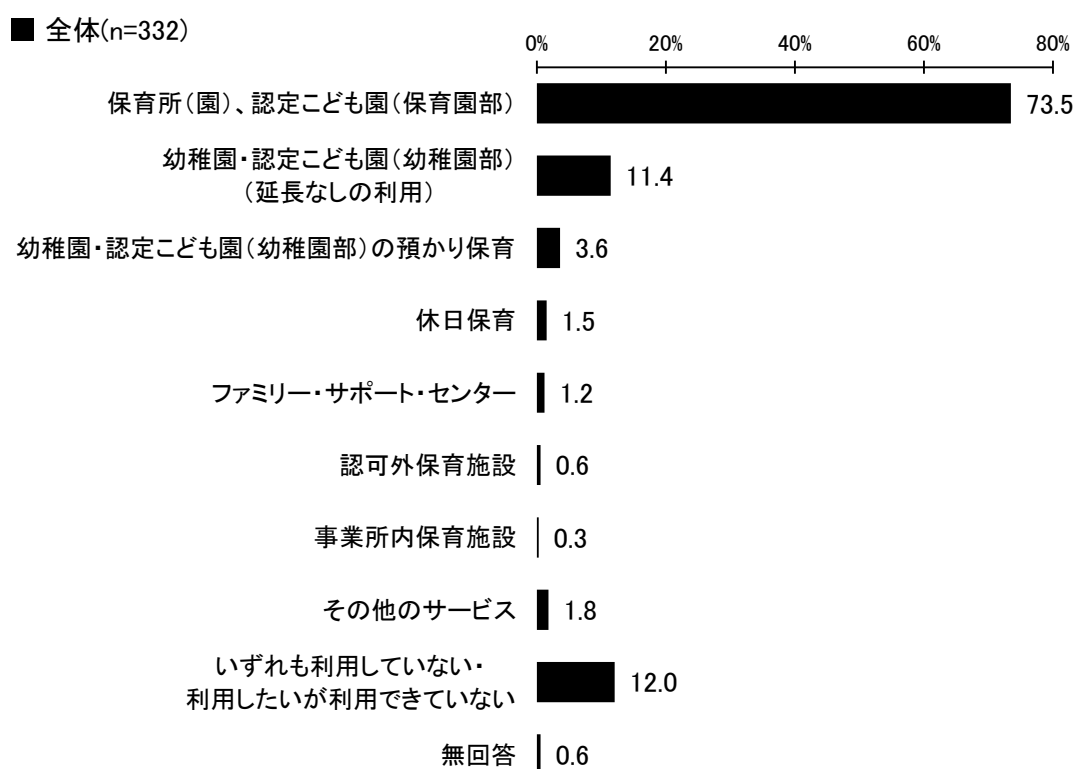
6. 定期的な教育・保育の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問18 お子さんは現在、定期的（月1回以上）にどのような教育・保育事業を利用していますか。【複数回答】

定期的な教育・保育事業の利用状況については、全体では「保育所（園）、認定こども園（保育園部）」の割合が73.5%で最も高く、次いで「幼稚園・認定こども園（幼稚園部）（延長なしの利用）」（11.4%）、「幼稚園・認定こども園（幼稚園部）の預かり保育」（3.6%）などの順となっており、利用している方（1つでも「いずれも利用していない・利用したいが利用できていない」以外を答えた方の合計）の割合は87.3%となっています。

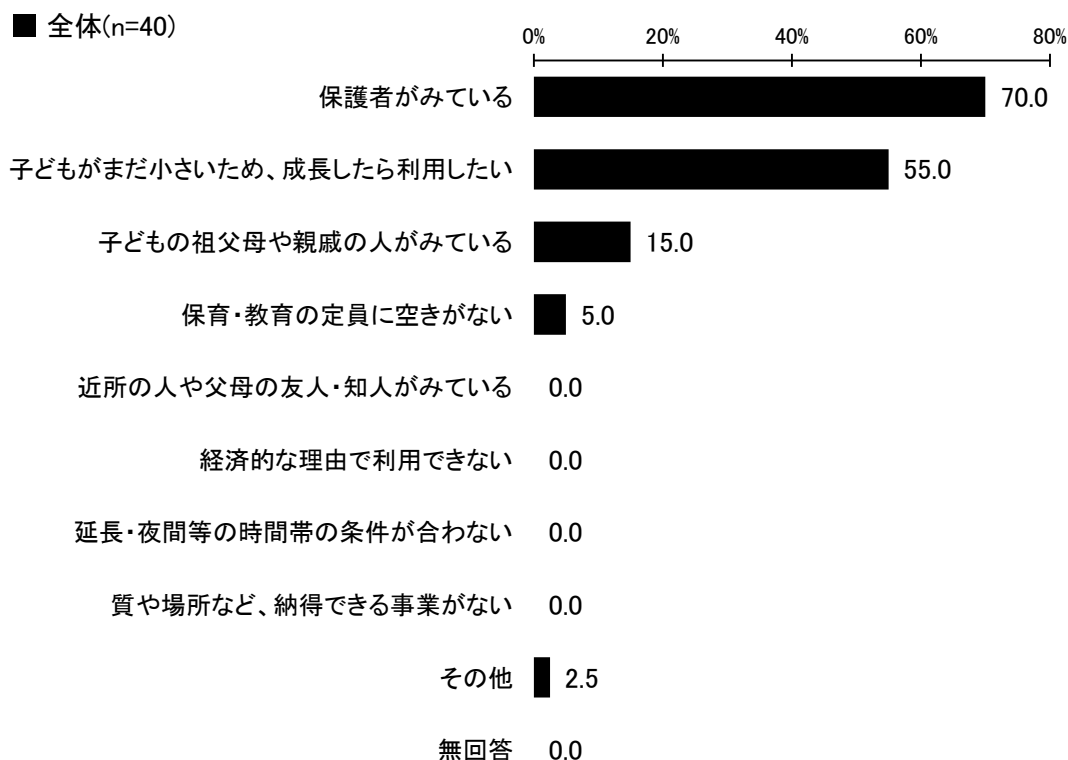
なお、「いずれも利用していない・利用したいが利用できていない」の割合は12.0%となっています。



(2) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

問18で「いずれも利用していない・利用したいが利用できていない」を選んだ方にうかがいます。
問18-1 教育・保育事業を利用できていない・していない理由は何ですか。主な理由をお答えください。【複数回答】

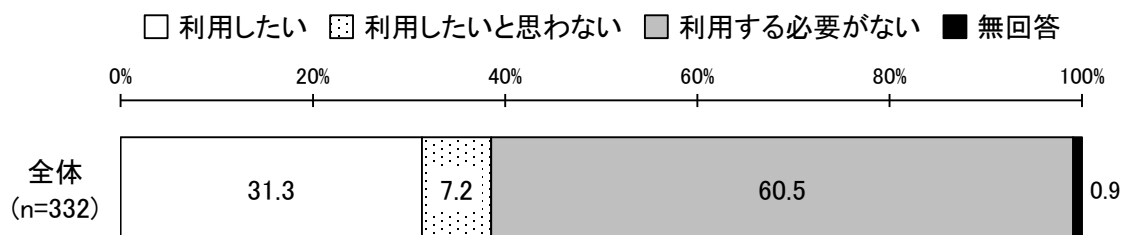
定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、全体では「保護者がみている」の割合が70.0%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」(55.0%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(15.0%)などの順となっています。



(3) こども誰でも通園制度の利用希望

問19 こども誰でも通園制度を利用したいと思いますか。

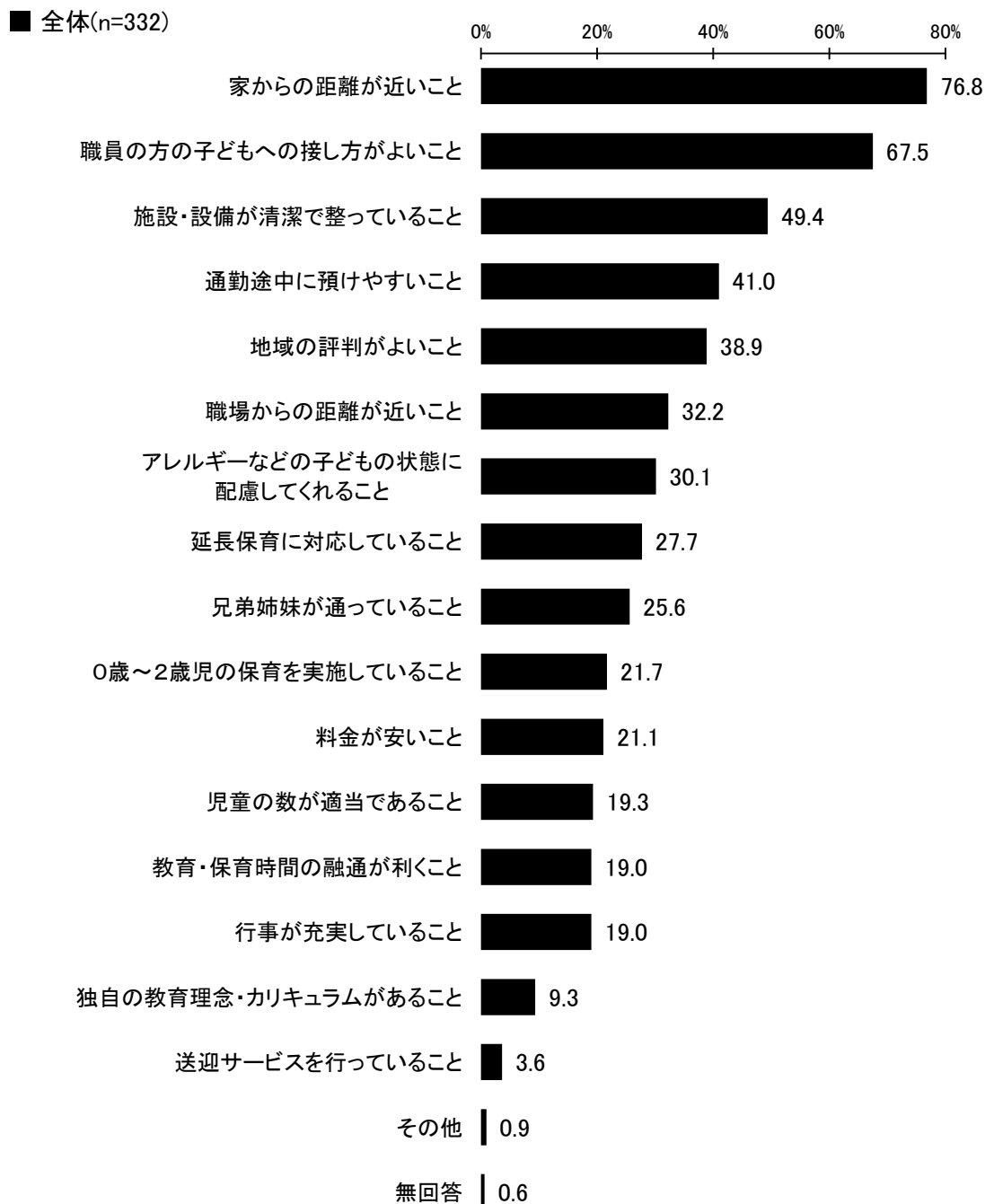
こども誰でも通園制度の利用希望については、全体では「利用する必要がない」の割合が60.5%で最も高く、次いで「利用したい」(31.3%)、「利用したいと思わない」(7.2%)の順となっています。



(4) 平日に預ける施設やサービスを選ぶ際に重視する点

問20 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんを平日に預ける施設やサービスを選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。【複数回答】

平日に預ける施設やサービスを選ぶ際に重視する点については、全体では「家からの距離が近いこと」の割合が76.8%で最も高く、次いで「職員の方の子どもへの接し方がよいこと」(67.5%)、「施設・設備が清潔で整っていること」(49.4%)などの順となっています。

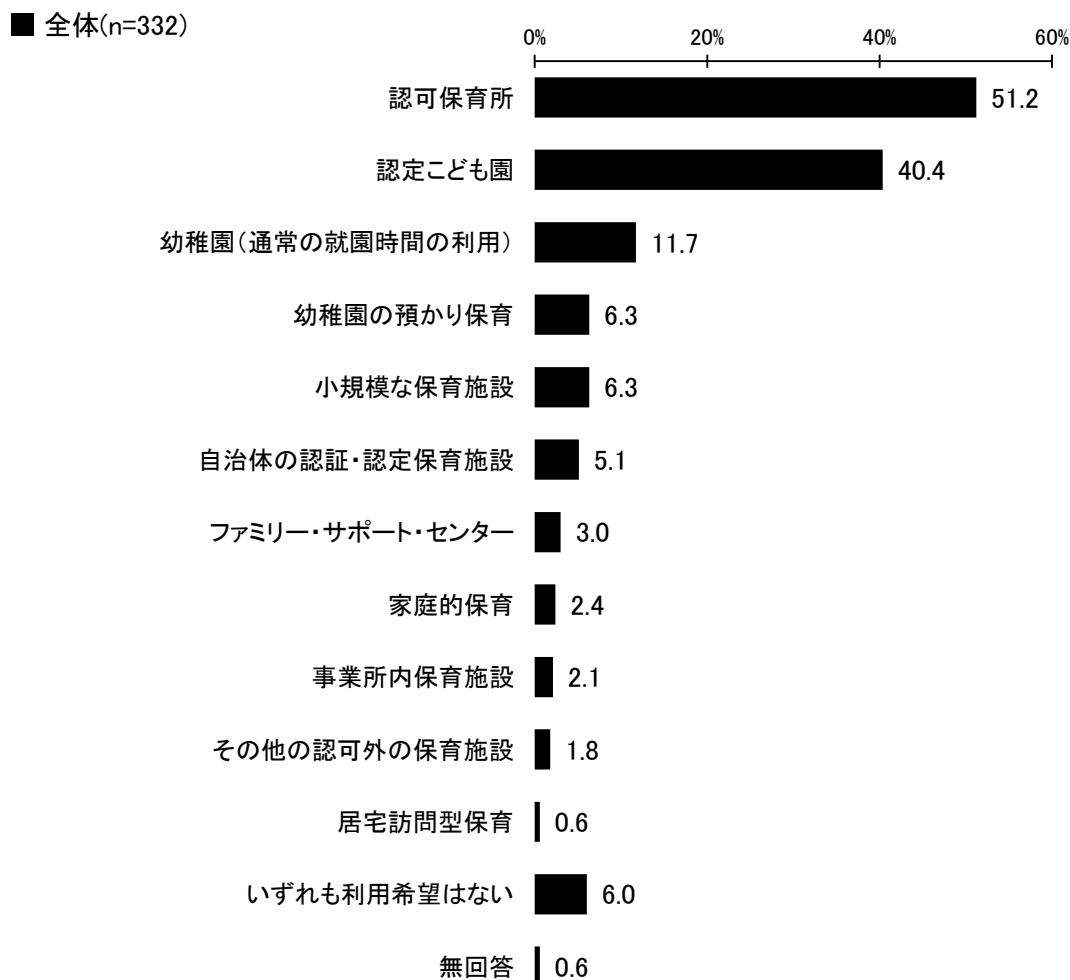


(5) 定期的な教育・保育事業の利用希望

問21 お子さんの今後の定期的な教育・保育事業の利用希望についてそれぞれお答えください。【複数回答】

①平日

定期的な教育・保育事業の利用希望について平日は、全体では「認可保育所」の割合が51.2%で最も高く、次いで「認定こども園」(40.4%)、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」(11.7%)などの順となっており、利用希望がある方(1つでも「いずれも利用希望はない」以外を答えた方の合計)の割合は93.4%となっています。



合計：n 項目：%		合計	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全体		332	11.7	6.3	51.2	40.4	6.3	2.4	2.1
子どもの年齢別	0～2歳	157	12.7	5.7	54.1	42.7	7.6	1.3	3.2
	3～5歳	175	10.9	6.9	48.6	38.3	5.1	3.4	1.1

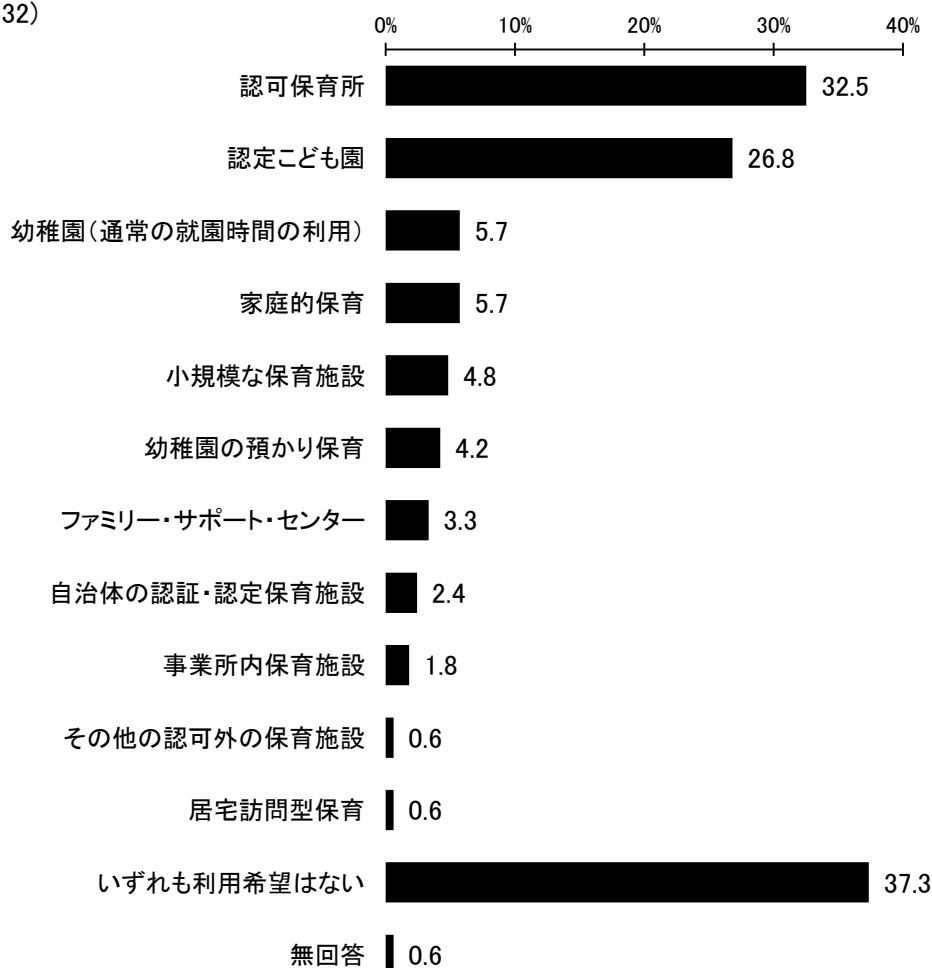
合計：n 項目：%		合計	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	いずれも利用希望はない	無回答
全体		332	5.1	1.8	0.6	3.0	6.0	0.6
子どもの年齢別	0～2歳	157	3.8	3.8	0.0	3.8	5.1	0.6
	3～5歳	175	6.3	0.0	1.1	2.3	6.9	0.6

②土曜日

定期的な教育・保育事業の利用希望について土曜日は、全体では「いずれも利用希望はない」の割合が37.3%と最も高くなっています。利用希望がある方の事業は、「認可保育所」の割合が32.5%で最も高く、次いで「認定こども園」(26.8%)などの順となっており、利用希望がある方の割合は62.0%となっています。

子どもの年齢別でみると、0～2歳では「認可保育所」の割合が38.2%で最も高くなっています。

■ 全体(n=332)



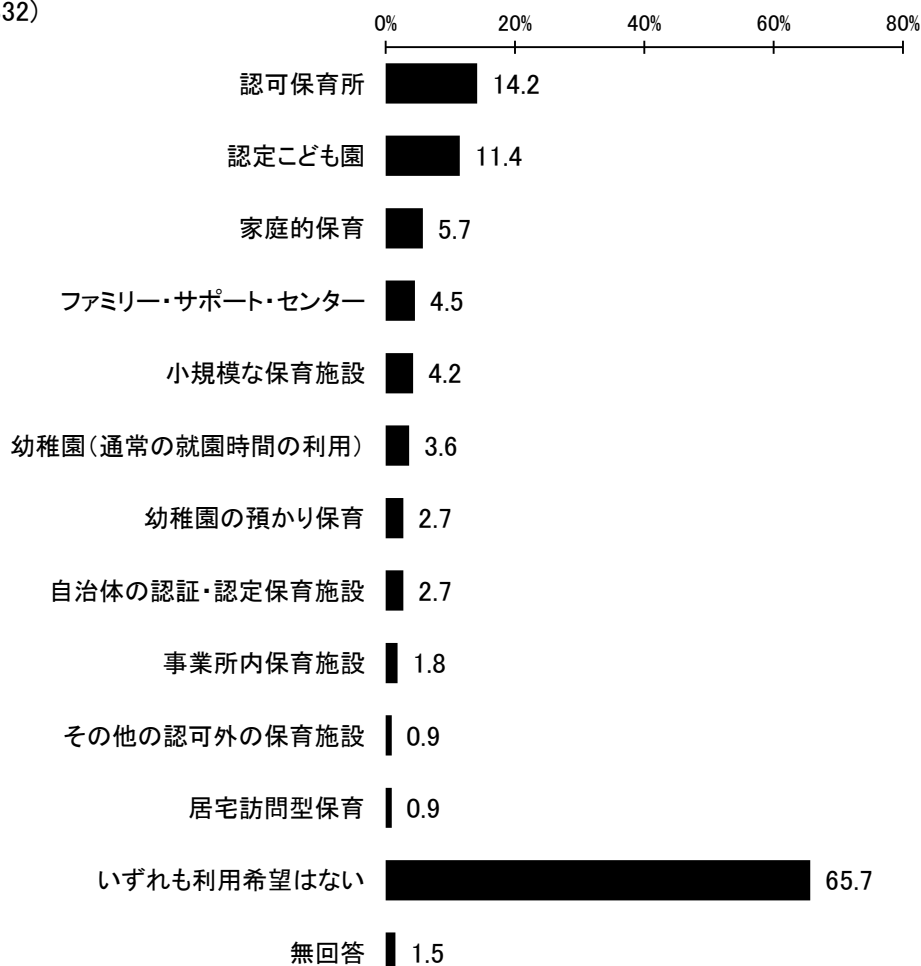
	合計	幼稚園 (通常の 就園時間の 利用)	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	認定 こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設
合計：n 項目：%								
全体	332	5.7	4.2	32.5	26.8	4.8	5.7	1.8
子どもの年齢別								
0～2歳	157	8.3	5.7	38.2	26.1	5.1	5.7	1.9
3～5歳	175	3.4	2.9	27.4	27.4	4.6	5.7	1.7

	合計	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミ リー・ サポート・ センター	いずれも 利用希望は ない	無回答
合計：n 項目：%							
全体	332	2.4	0.6	0.6	3.3	37.3	0.6
子どもの年齢別							
0～2歳	157	1.3	1.3	0.0	3.2	33.1	0.6
3～5歳	175	3.4	0.0	1.1	3.4	41.1	0.6

③日曜日・祝日

定期的な教育・保育事業の利用希望について日曜日・祝日は、全体では「いずれも利用希望はない」の割合が65.7%と最も高くなっています。利用希望がある方の事業は、「認可保育所」の割合が14.2%で最も高く、次いで「認定こども園」(11.4%)などの順となっており、利用希望がある方の割合は32.8%となっています。

■ 全体(n=332)



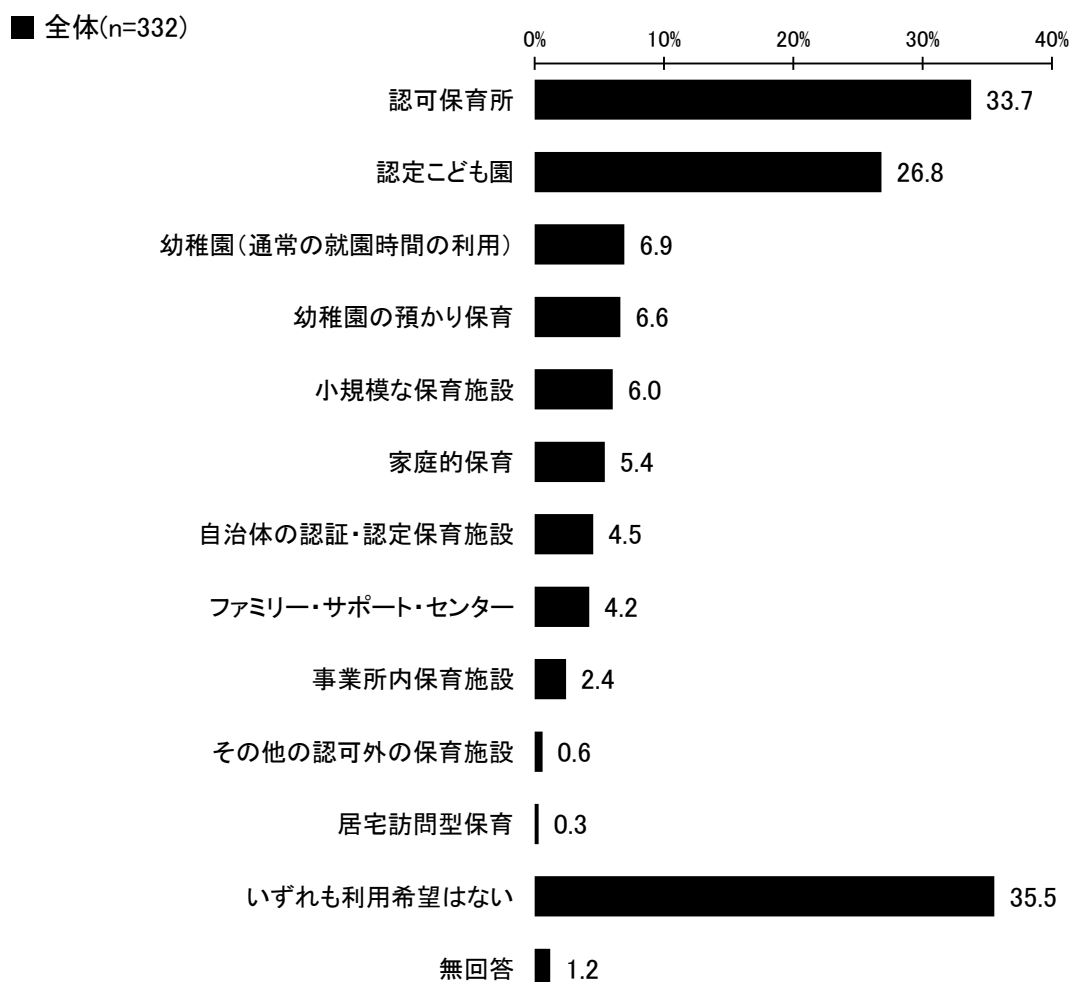
合計 : n 項目 : %		合計	幼稚園(通常の就園時間の利用)	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全体		332	3.6	2.7	14.2	11.4	4.2	5.7	1.8
子どもの年齢別	0～2歳	157	5.1	3.2	12.7	15.3	5.1	5.7	2.5
	3～5歳	175	2.3	2.3	15.4	8.0	3.4	5.7	1.1

合計 : n 項目 : %		合計	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	いずれも利用希望はない	無回答
全体		332	2.7	0.9	0.9	4.5	65.7	1.5
子どもの年齢別	0～2歳	157	2.5	1.9	0.0	5.1	62.4	1.9
	3～5歳	175	2.9	0.0	1.7	4.0	68.6	1.1

④長期休暇期間中

定期的な教育・保育事業の利用希望について長期休暇期間中は、全体では「いずれも利用希望はない」の割合が35.5%と最も高くなっています。利用希望がある方の事業は、「認可保育所」の割合が33.7%で最も高く、次いで「認定こども園」(26.8%)などの順となっており、利用希望がある方の割合は63.3%となっています。

子どもの年齢別でみると、0～2歳では「認可保育所」の割合が35.7%で最も高くなっています。



合計：n 項目：%		合計	幼稚園 (通常の 就園時間の 利用)	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	認定 こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設
全体		332	6.9	6.6	33.7	26.8	6.0	5.4	2.4
子どもの年齢別	0～2歳	157	5.7	6.4	35.7	29.9	7.0	7.0	3.2
	3～5歳	175	8.0	6.9	32.0	24.0	5.1	4.0	1.7

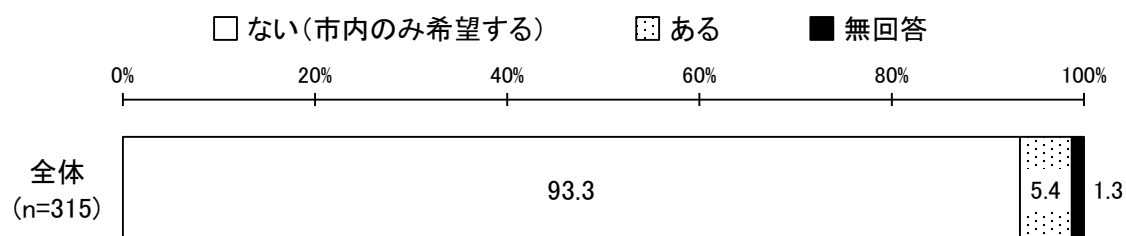
合計：n 項目：%		合計	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミ リー・ サポート・ センター	いずれも 利用希望は ない	無回答
全体		332	4.5	0.6	0.3	4.2	35.5	1.2
子どもの年齢別	0～2歳	157	4.5	1.3	0.0	5.1	33.8	0.6
	3～5歳	175	4.6	0.0	0.6	3.4	37.1	1.7

(6) 定期的な教育・保育事業の市外の利用希望

問21で1つでも「いずれも利用希望はない」以外を選んだ方にうかがいます。

問21－1 教育・保育事業を利用したい場所は、市内以外の市町村のご希望はありますか。ご希望の場合は具体的な市町村名もお答えください。

定期的な教育・保育事業の市外の利用希望については、全体では「ない（市内のみ希望する）」の割合が93.3%で、「ある」（5.4%）を上回っています。



7. 地域の子育て支援事業の利用状況について

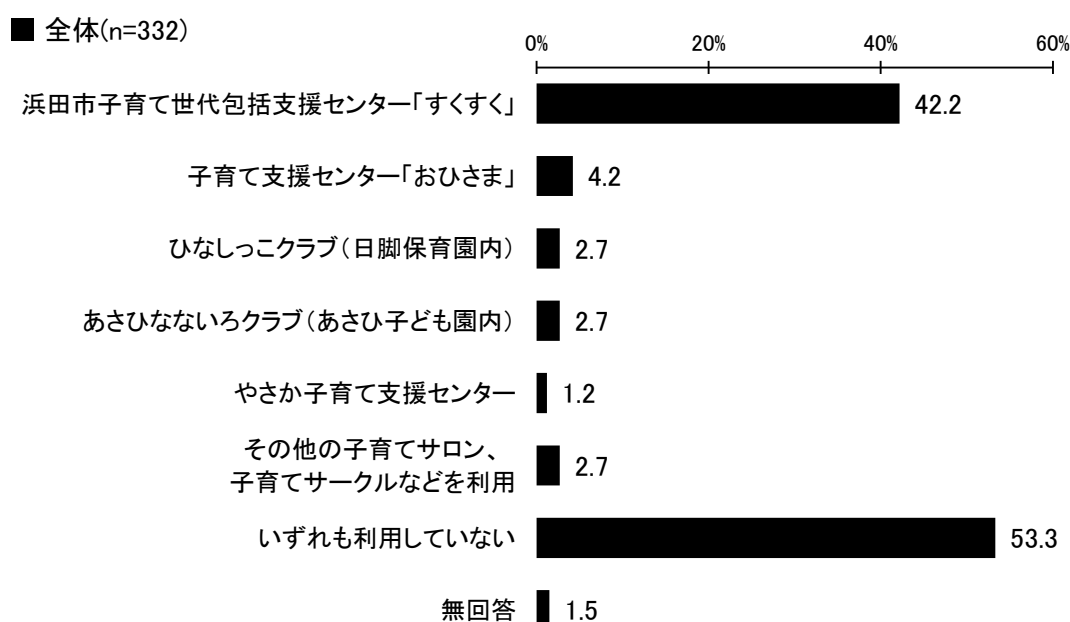
(1) 地域子育て支援事業の利用状況・希望

問22 子育て支援センター等の現在の利用状況や今後の利用希望についてそれぞれお答えください。【複数回答】

①現在の利用状況

地域子育て支援事業の現在の利用状況については、全体では「いずれも利用していない」の割合が53.3%で最も高くなっています。利用されている方の事業は、「浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」」の割合が42.2%で最も高く、次いで「子育て支援センター「おひさま」」(4.2%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、0～2歳では「浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」」の割合が52.9%で最も高くなっています。



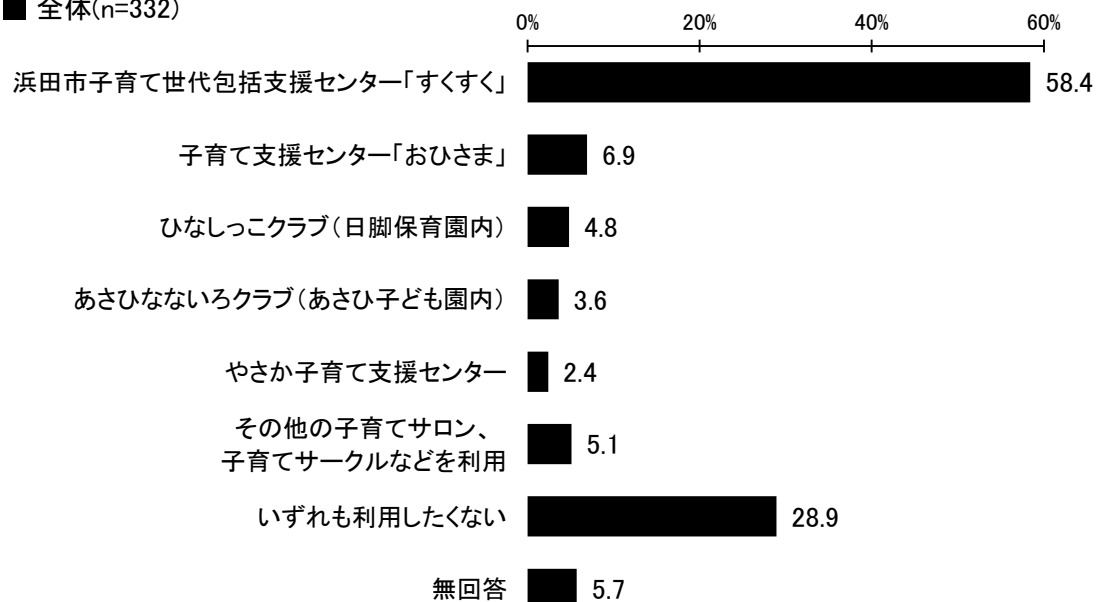
	合計 : n 項目 : %	合計	浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」	ひなしっこクラブ(日脚保育園内)	あさひなないろクラブ(あさひ子ども園内)	子育て支援センター「おひさま」	やさか子育て支援センター	その他の子育てサロン、子育てサークルなどを利用	いずれも利用していない	無回答
全体		332	42.2	2.7	2.7	4.2	1.2	2.7	53.3	1.5
子どもの年齢別	0～2歳	157	52.9	5.7	3.2	6.4	1.3	4.5	42.7	1.3
	3～5歳	175	32.6	0.0	2.3	2.3	1.1	1.1	62.9	1.7

②今後の利用希望・利用増希望

地域子育て支援事業の今後の利用希望・利用増希望については、全体では「浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」」の割合が58.4%で最も高く、次いで「子育て支援センター「おひさま」」(6.9%)、「ひなしっこクラブ(日脚保育園内)」(4.8%)などの順となっています。

なお、「いずれも利用したくない」の割合は28.9%となっています。

■ 全体(n=332)



合計：n 項目：%		合計	浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」	ひなしっこクラブ(日脚保育園内)	あさひなないろクラブ(あさひ子ども園内)	子育て支援センター「おひさま」	やさか子育て支援センター	その他の子育てサロン、子育てサークルなどを利用	いずれも利用したくない	無回答
全体		332	58.4	4.8	3.6	6.9	2.4	5.1	28.9	5.7
子どもの年齢別	0～2歳	157	73.9	8.3	5.1	9.6	2.5	6.4	16.6	3.2
	3～5歳	175	44.6	1.7	2.3	4.6	2.3	4.0	40.0	8.0

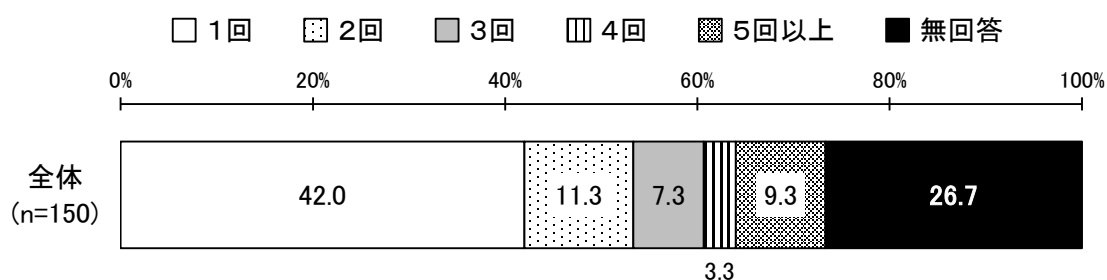
(2) 地域子育て支援事業の利用頻度

問22①②でそれぞれ「いずれも利用していない」「いずれも利用したくない」以外を選んだ方にうかがいます。

問22-1 子育て支援センター等について、現在利用しているすべての事業の月あたりの合計利用回数と、今後利用したいすべての事業の月あたりの合計利用希望回数をそれぞれ教えてください。

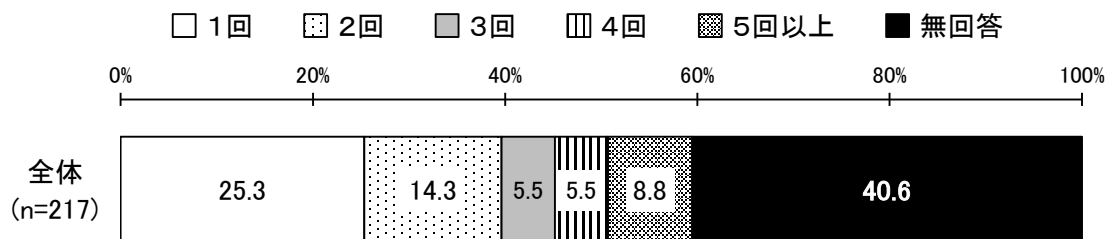
①現在の利用回数

地域子育て支援事業の利用頻度について現在の利用回数は、全体では「1回」の割合が42.0%で最も高く、次いで「2回」(11.3%)、「5回以上」(9.3%)などの順となっています。



②利用希望回数

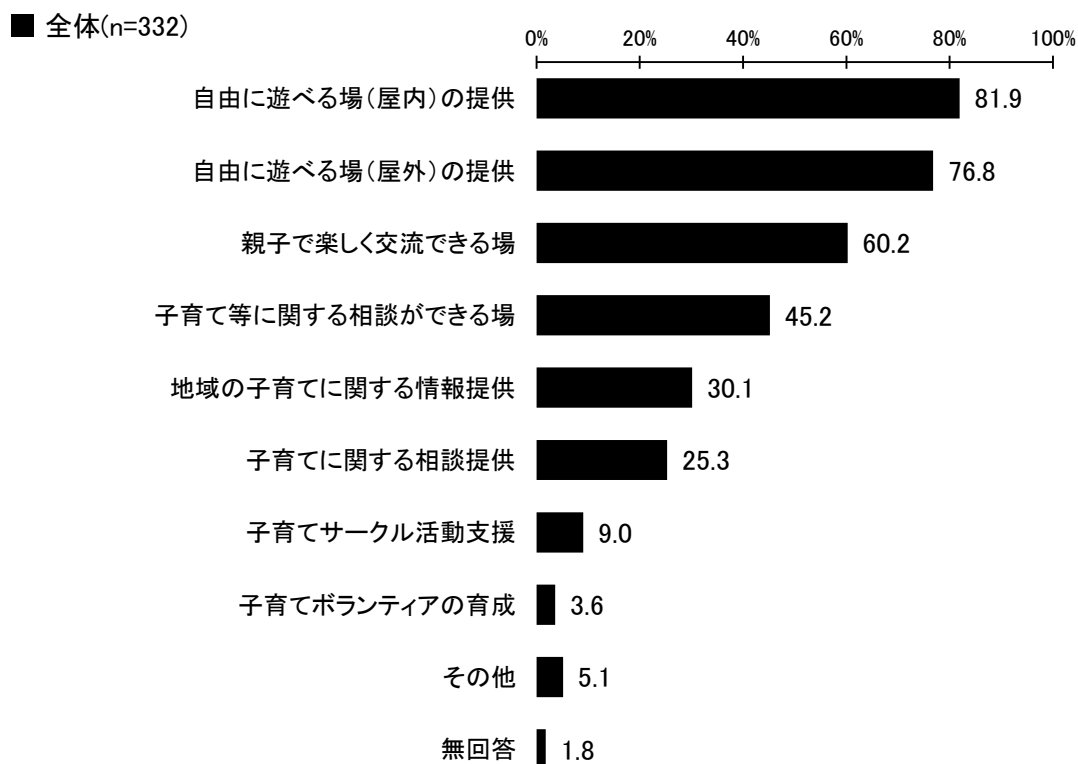
地域子育て支援事業の利用頻度について利用希望回数は、全体では「1回」の割合が25.3%で最も高く、次いで「2回」(14.3%)、「5回以上」(8.8%)などの順となっています。



(3) 地域子育て支援事業に求めるもの

問23 子育て支援センター等に求めるものは何ですか。【複数回答】

地域子育て支援事業に求めるものについては、全体では「自由に遊べる場（屋内）の提供」の割合が81.9%で最も高く、次いで「自由に遊べる場（屋外）の提供」（76.8%）、「親子で楽しく交流できる場」（60.2%）などの順となっています。



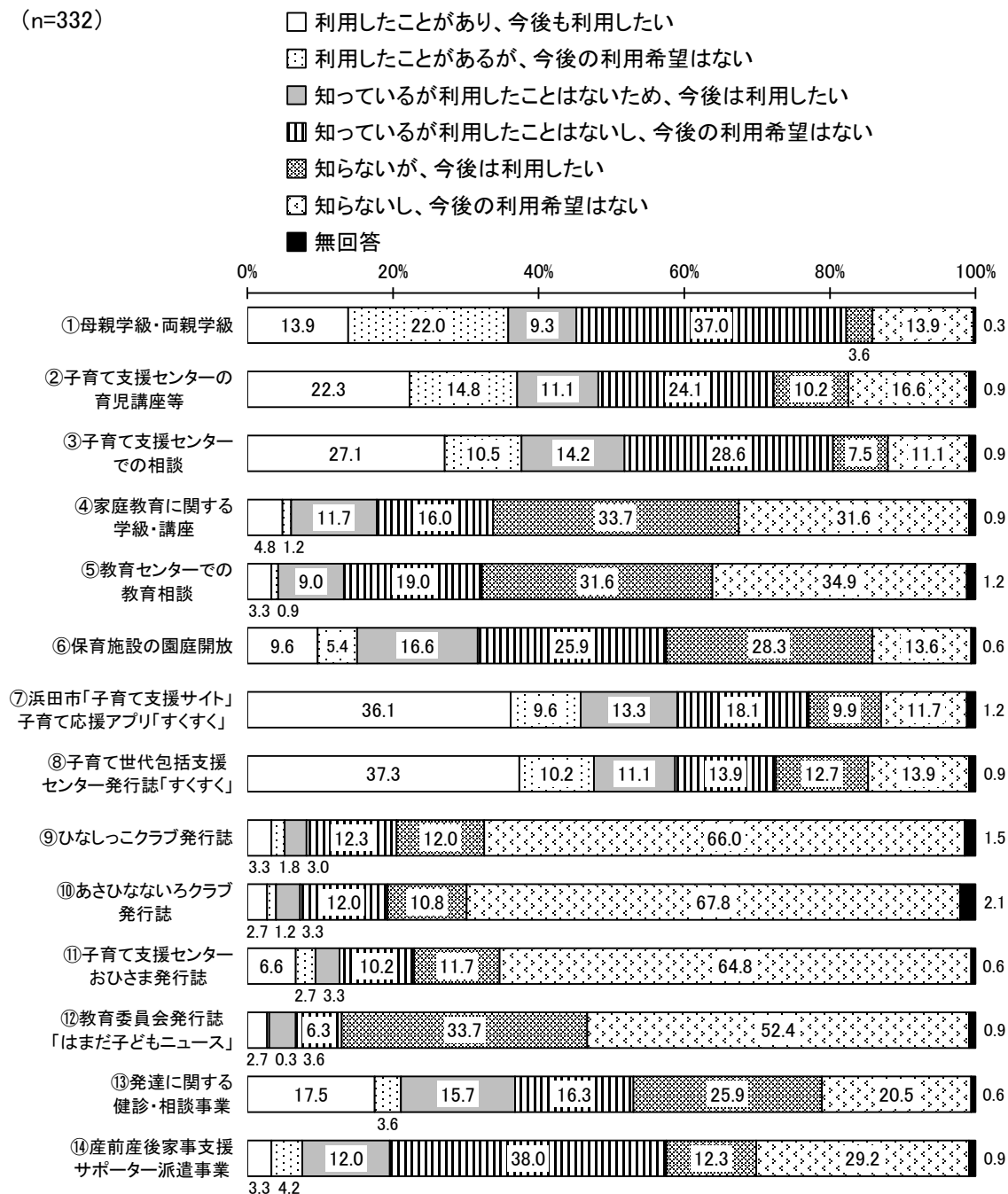
(4) 事業の認知と利用状況・希望

問24 子育て支援事業について、現在の状況や考えに近いものをお選びください。

事業の認知と利用の状況・希望については、全体で利用希望のある事業をみると、「利用したことがあります、今後も利用したい」の割合は『⑧子育て世代包括支援センター発行誌「すくすく」』(37.3%)、「知っているが利用したことはないため、今後は利用したい」の割合は『⑥保育施設の園庭開放』(16.6%)、「知らないが、今後は利用したい」の割合は『④家庭教育に関する学級・講座』『⑫教育委員会発行誌「はまだ子どもニュース」』(同率33.7%)でそれぞれ高くなっています。

全体

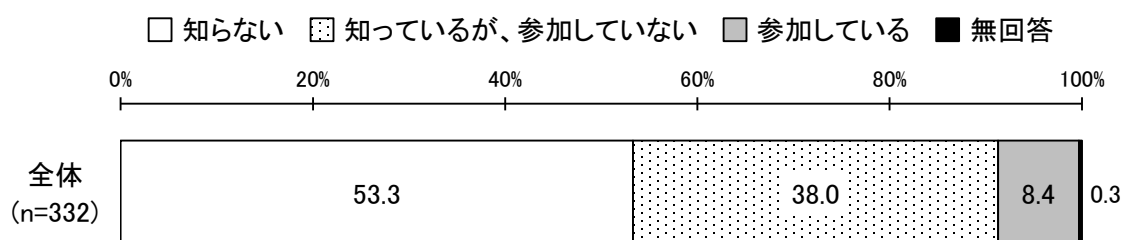
(n=332)



(5) 民間の子育て支援団体や子育てサークルの認知・参加状況

問25 浜田市内で活動している民間の子育て支援団体（NPOなど）や子育てサークル（まちづくりセンターでの子育て広場など）を知っていますか。また、参加していますか。

民間の子育て支援団体や子育てサークルの認知・参加状況については、全体では「知らない」の割合が53.3%で最も高く、次いで「知っているが、参加していない」（38.0%）、「参加している」（8.4%）の順となっています。



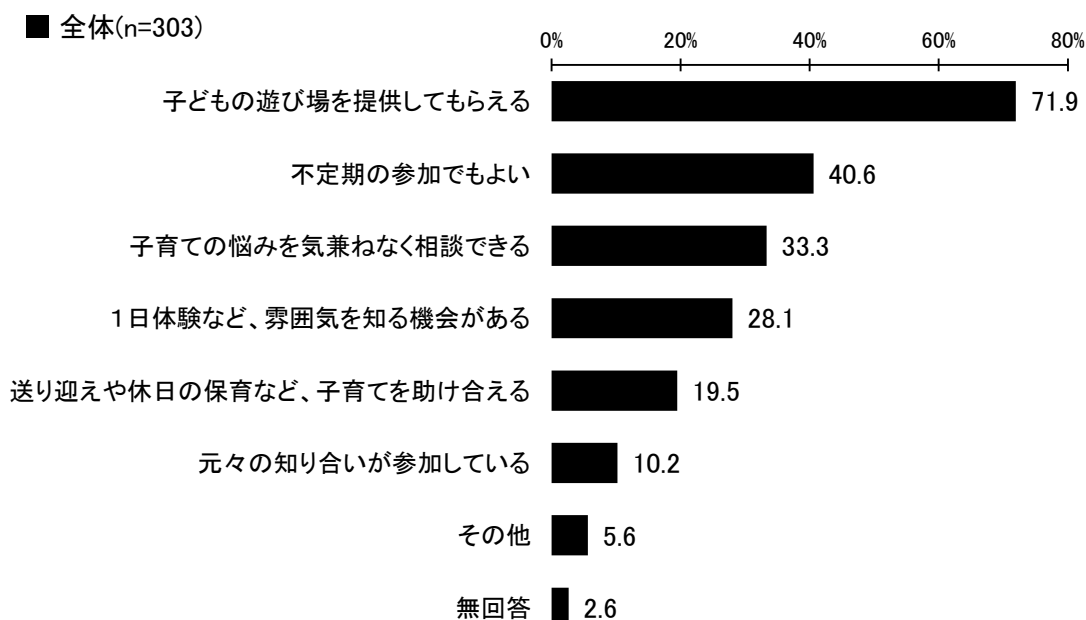
(6) 参加希望する子育てサークルの活動内容

問25で「参加している」以外を選んだ方にうかがいます。

問25-1 子育てサークルがどのようなものであったら今後参加してみたいですか。

【複数回答】

参加希望する子育てサークルの活動内容については、全体では「子どもの遊び場を提供してもらえる」の割合が71.9%で最も高く、次いで「不定期の参加でもよい」（40.6%）、「子育ての悩みを気兼ねなく相談できる」（33.3%）などの順となっています。

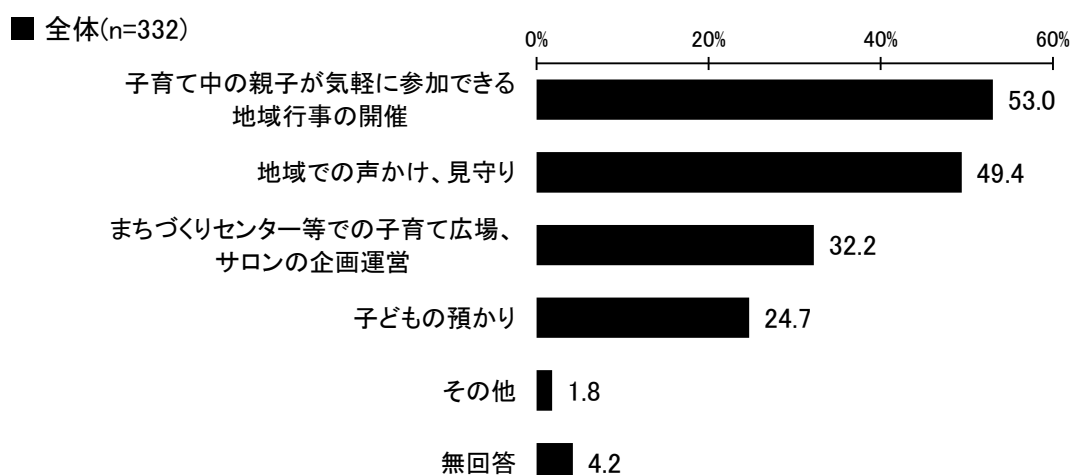


(7) ボランティアによる子育て応援隊の活動として求めるもの

問26 浜田市では、地域で子育て支援の取組が充実するよう、ボランティアによる子育て応援隊活動を行っています。応援隊の活動として求めるものを選んでください。【複数回答】

ボランティアによる子育て応援隊の活動として求めるものについては、全体では「子育て中の親子が気軽に参加できる地域行事の開催」の割合が53.0%で最も高く、次いで「地域での声かけ、見守り」(49.4%)、「まちづくりセンター等での子育て広場、サロンの企画運営」(32.2%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、3～5歳では「地域での声かけ、見守り」の割合が51.4%で最も高くなっています。



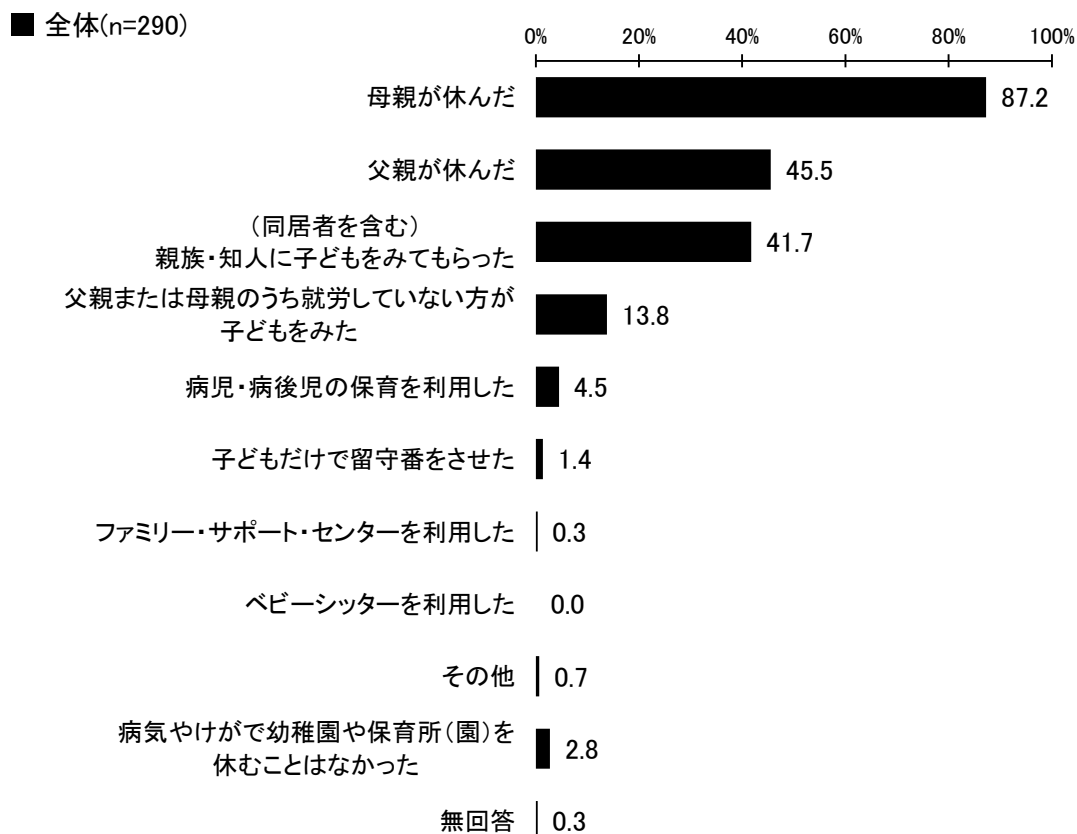
合計：n 項目：%		合計	まちづくりセンター等での子育て広場、サロンの企画運営	子育て中の親子が気軽に参加できる地域行事の開催	地域での声かけ、見守り	子どもの預かり	その他	無回答
全体		332	32.2	53.0	49.4	24.7	1.8	4.2
子どもの年齢別	0～2歳	157	35.7	56.1	47.1	21.0	0.6	5.1
	3～5歳	175	29.1	50.3	51.4	28.0	2.9	3.4

8. 子どもが病気の際の対応について

(1) この1年間で子どもが傷病の際の対処方法

問18で「いずれも利用していない・利用したいが利用できていない」以外を選んだ方にうかがいます。
問27 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。【複数回答】

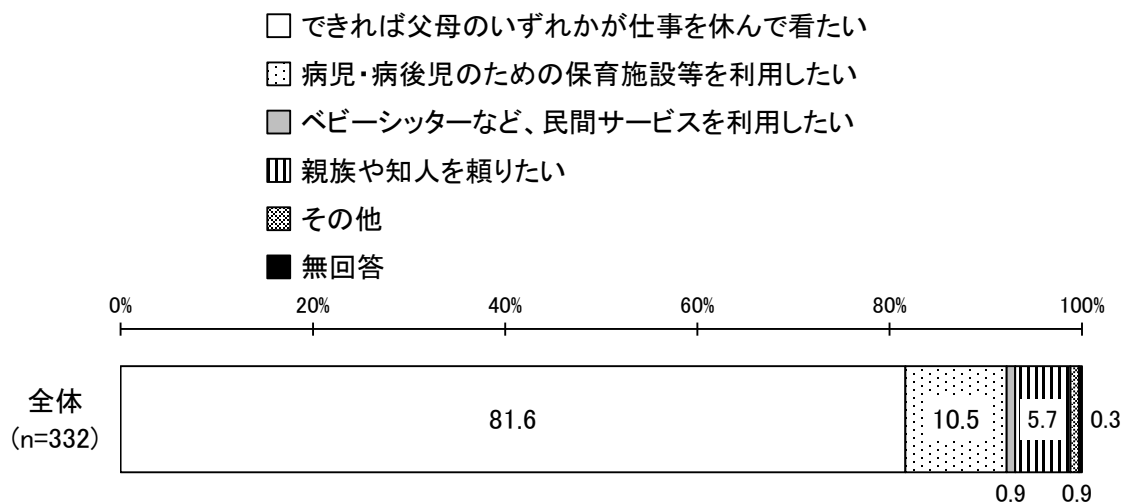
この1年間で子どもが傷病の際の対処方法については、全体では「母親が休んだ」の割合が87.2%で最も高く、次いで「父親が休んだ」(45.5%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(41.7%)などの順となっています。



(2) 子どもが傷病の際に希望する対応

問28 お子さんが病気やけがの際、どのように対応することを希望しますか。

子どもが傷病の際に希望する対応については、全体では「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」の割合が81.6%で最も高く、次いで「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」(10.5%)、「親族や知人を頼りたい」(5.7%)などの順となっています。

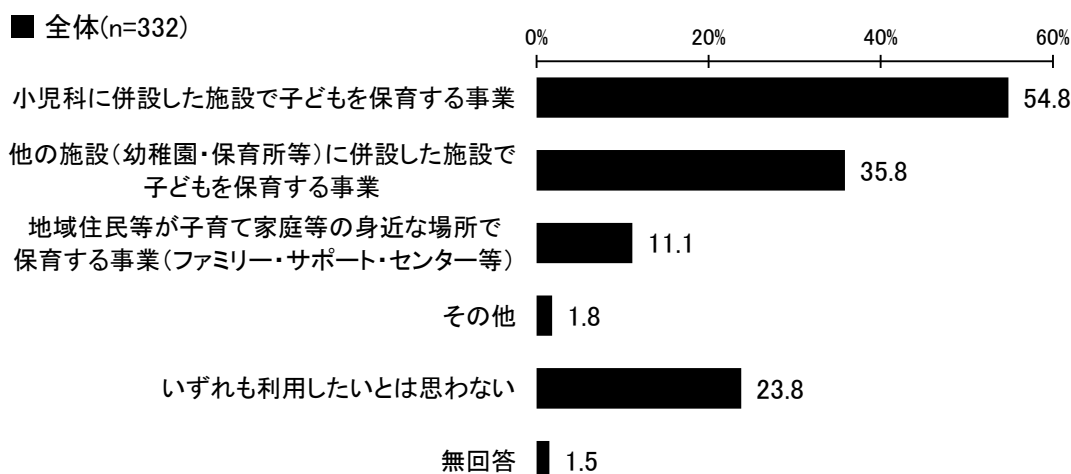


(3) 子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児保育施設

問29 今後、お子さんが病気やけがの際、利用したい病児・病後児のための保育施設等がありますか。【複数回答】

子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児保育施設については、全体では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が54.8%で最も高く、次いで「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」(35.8%)、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」(11.1%)などの順となっています。

なお、「いずれも利用したいとは思わない」の割合は23.8%となっています。



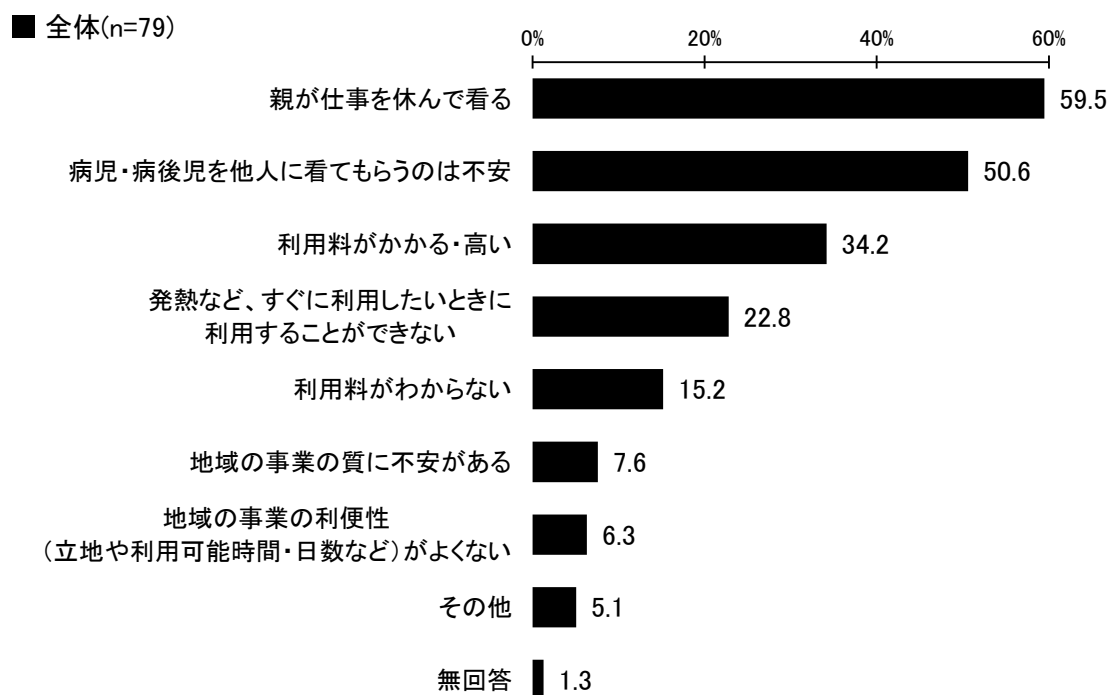
(4) 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

問29で「いずれも利用したいとは思わない」を選んだ方にうかがいます。

問29－1 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由は何ですか。

【複数回答】

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由については、全体では「親が仕事を休んで見る」の割合が59.5%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(50.6%)、「利用料がかかる・高い」(34.2%)などの順となっています。

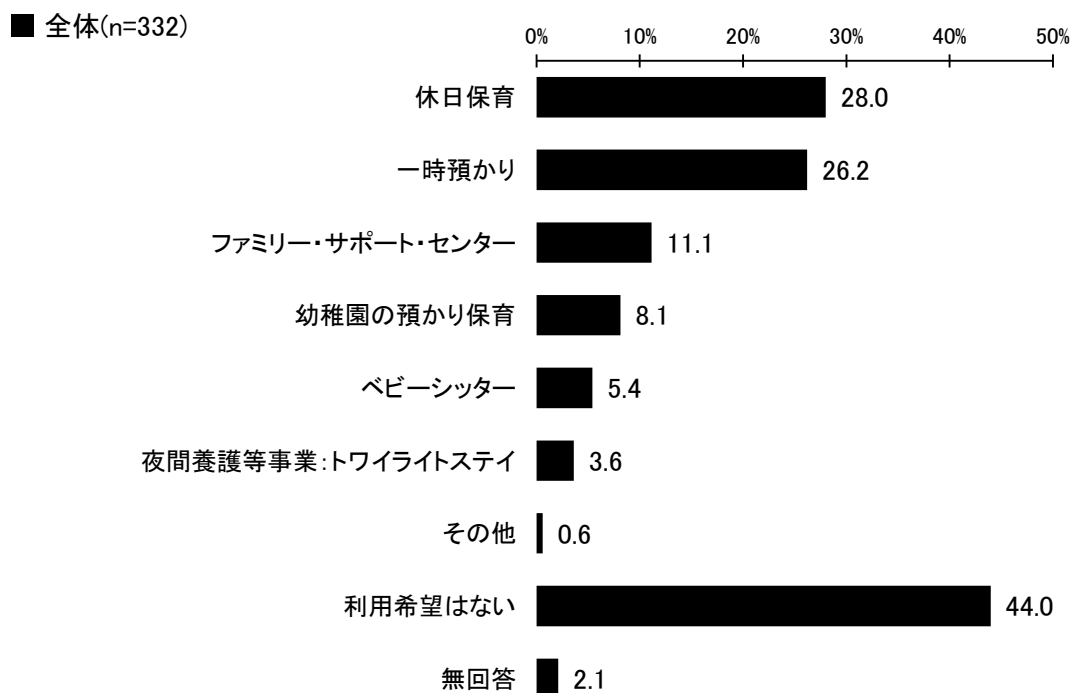


9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用状況について

(1) 不定期的な教育・保育事業の利用希望

問30 お子さんについて、今後不定期に利用したい事業はありますか。【複数回答】

不定期的な教育・保育事業の利用希望については、全体では「利用希望はない」の割合が44.0%と最も高くなっています。利用希望がある方の事業は、「休日保育」の割合が28.0%で最も高く、次いで「一時預かり」(26.2%)などの順となっており、利用希望がある方(1つでも「利用希望はない」以外を答えた方の合計)の割合は53.9%となっています。

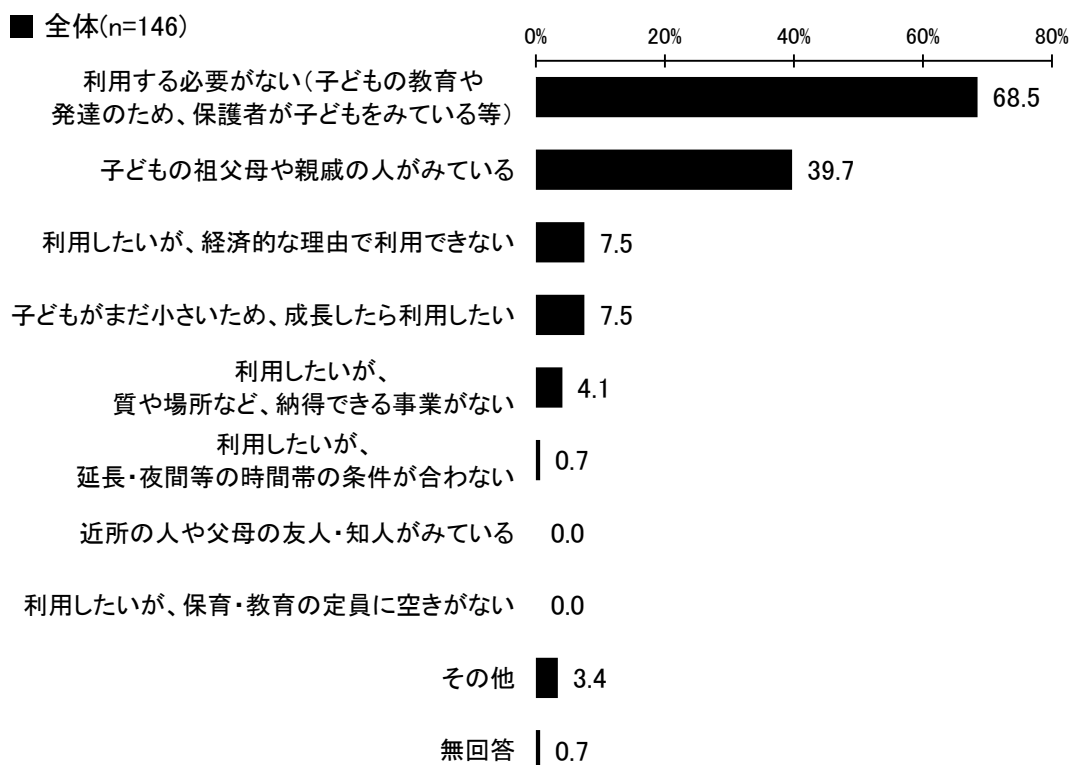


(2) 不定期的教育・保育事業の利用を希望しない理由

問30で「利用希望はない」を選んだ方にうかがいます。

問30-1 事業の利用を希望しない理由は何ですか。【複数回答】

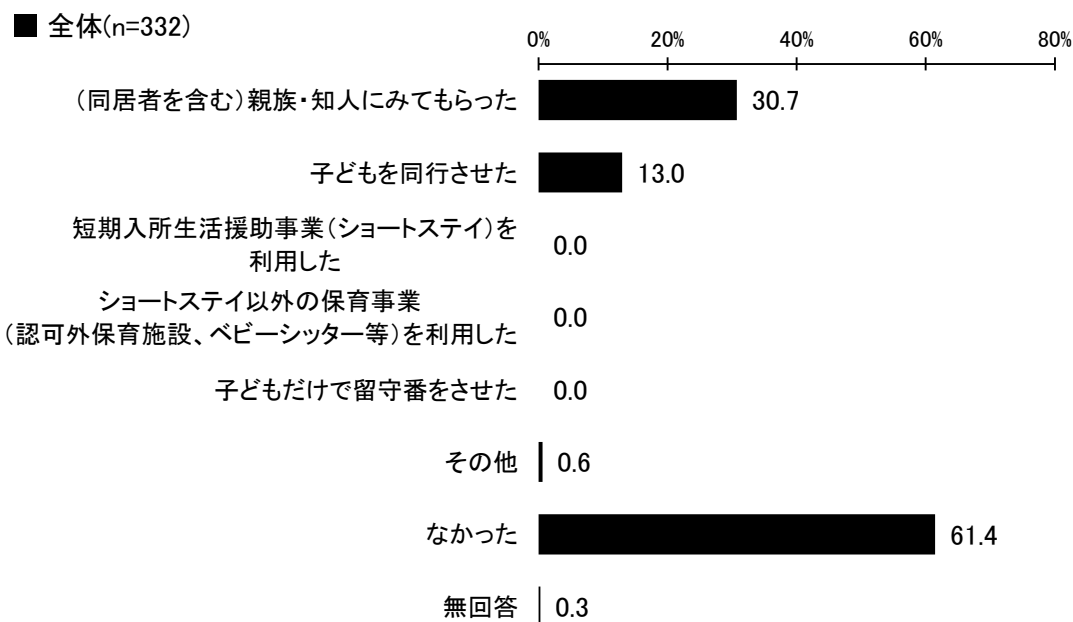
不定期的教育・保育事業の利用を希望しない理由については、全体では「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、保護者が子どもをみている等)」の割合が68.5%で最も高く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(39.7%)、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」(同率7.5%)などの順となっています。



(3) この1年間で子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の対処方法

問31 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならなかった場合の対処方法をご回答ください。【複数回答】

この1年間で子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の対処方法については、全体では「なかった」の割合が61.4%で最も高くなっています。預ける必要があった場合の対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が30.7%で最も高く、次いで「子どもを同行させた」(13.0%)の順となっています。



10. 就学後の放課後の過ごし方について

(1) 就学後の放課後に過ごす場所の利用希望

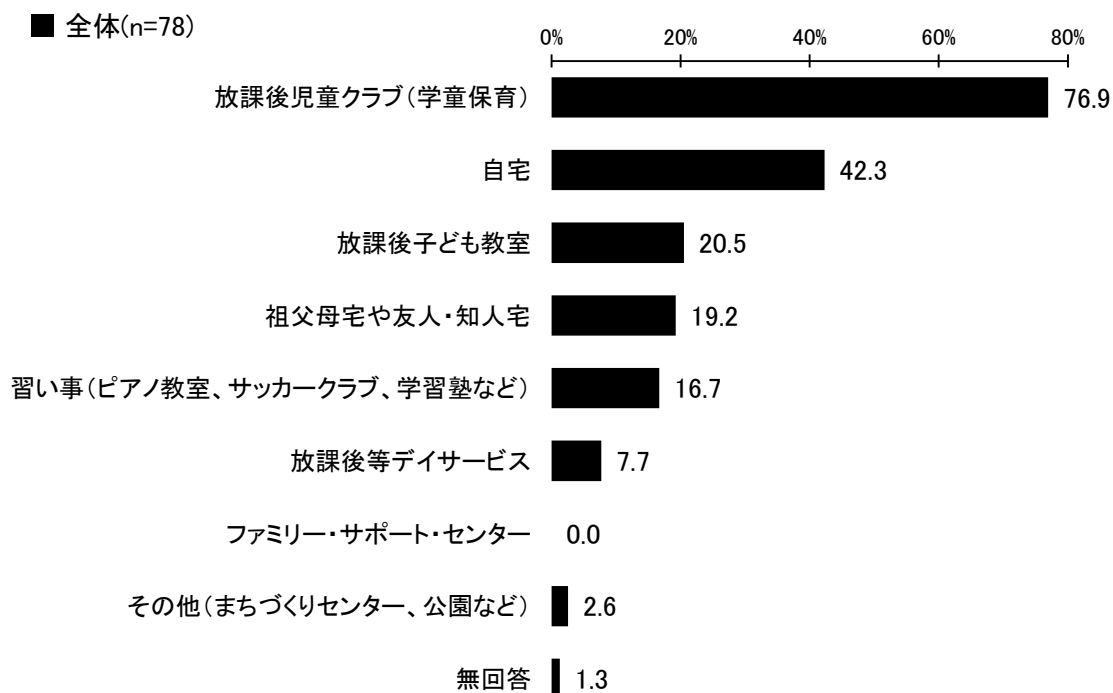
問2で「5歳」を選んだ方にうかがいます。

問32 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。【複数回答】

※低学年は1～3年生、高学年は4～6年生とします。

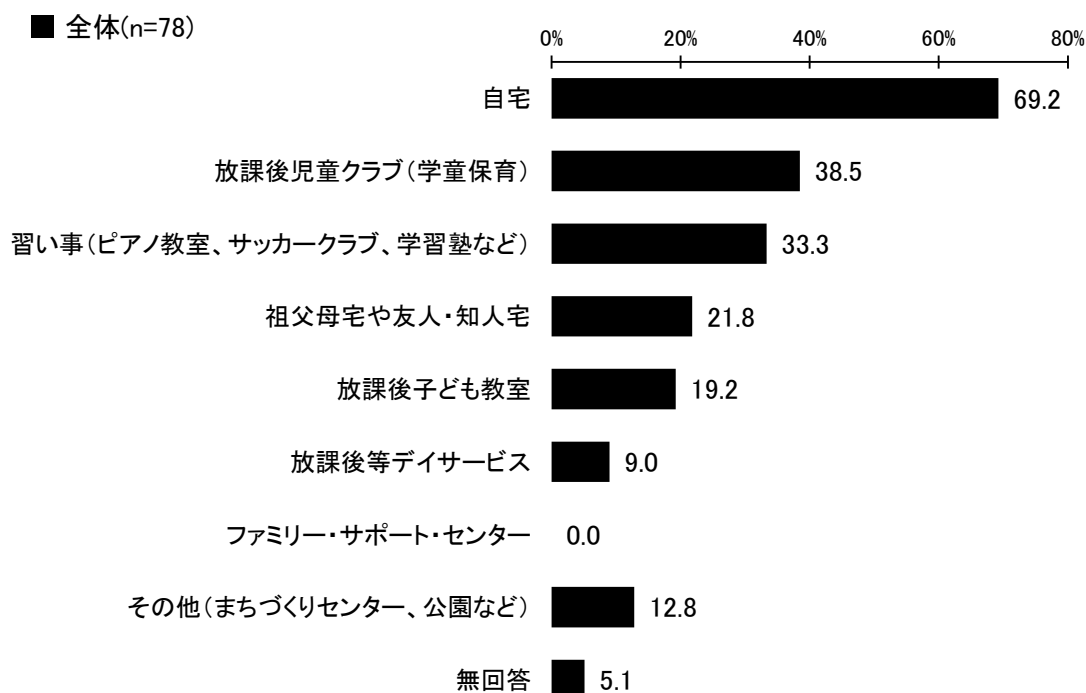
①低学年

就学後の放課後に過ごす場所の利用希望について低学年は、全体では「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が76.9%で最も高く、次いで「自宅」（42.3%）、「放課後子ども教室」（20.5%）などの順となっています。



②高学年

就学後の放課後に過ごす場所の利用希望について高学年は、全体では「自宅」の割合が69.2%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（38.5%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（33.3%）などの順となっています。

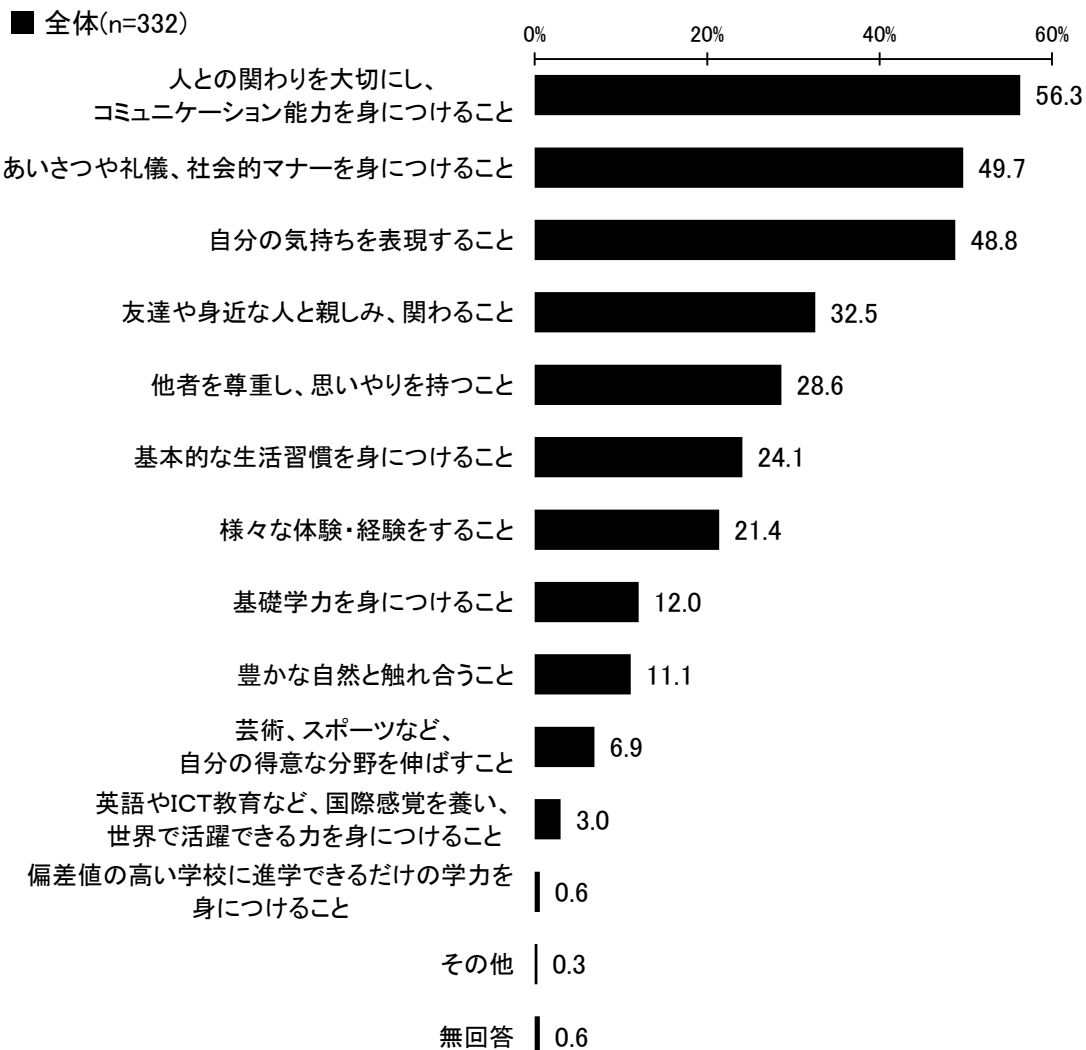


11. 子どもの教育や地域での子育てについて

(1) 子どもに身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うこと

問33 次のうち、お子さんに特に身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことは何ですか。【複数回答】

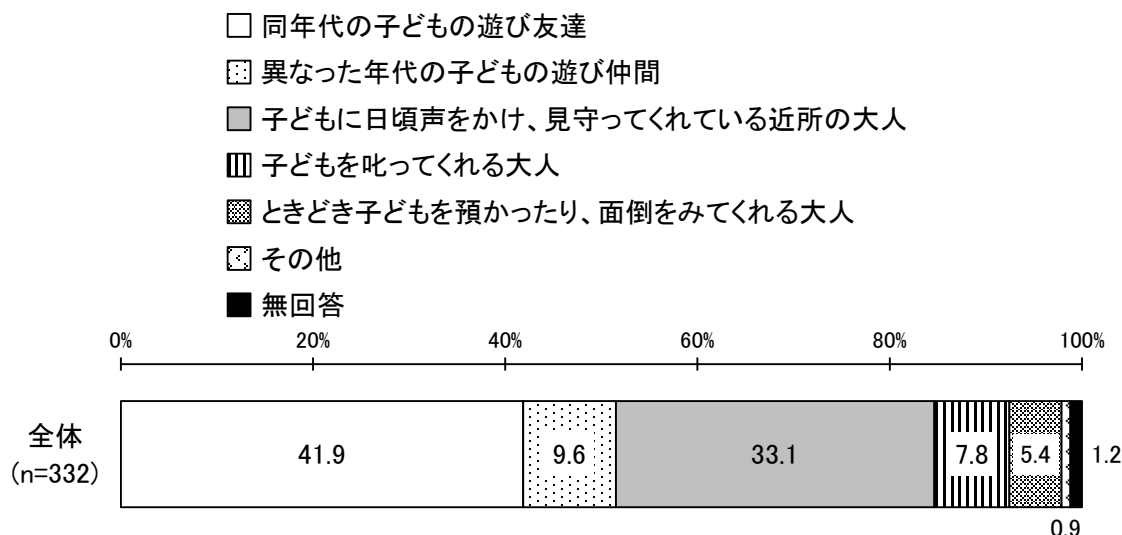
子どもに身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことについては、全体では「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」の割合が56.3%で最も高く、次いで「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」(49.7%)、「自分の気持ちを表現すること」(48.8%)などの順となっています。



(2) 子どもの健やかな育ちや子育てのために地域に求めるもの

問34 お子さんの健やかな育ちや子育てのために地域に求めるものは何ですか。

子どもの健やかな育ちや子育てのために地域に求めるものについては、全体では「同年代の子どもの遊び友達」の割合が41.9%で最も高く、次いで「子どもに日頃声をかけ、見守ってくれている近所の大人」(33.1%)、「異なった年代の子どもの遊び仲間」(9.6%)などの順となっています。

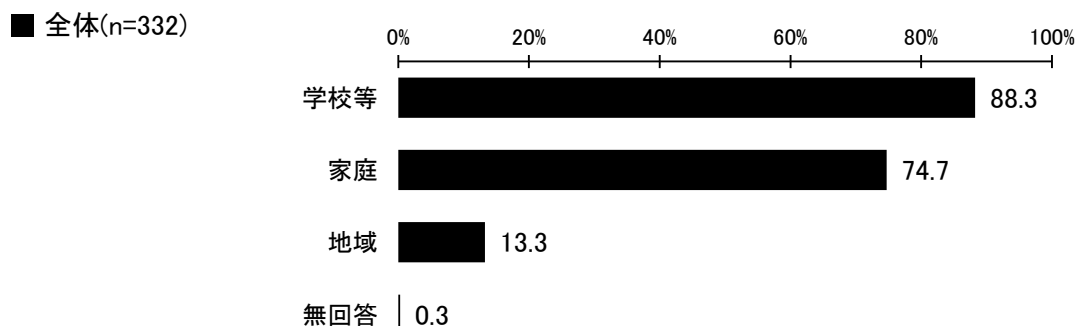


(3) 子どもに育む役目を担う場所

問35 基本的な学力や社会的ルール、マナー等をお子さんたちに育んでいく役目を担うのは誰だと思いますか。家庭、学校等（幼稚園や保育所（園）等）、地域のいずれかお選びください。【複数回答】

①基本的な学力

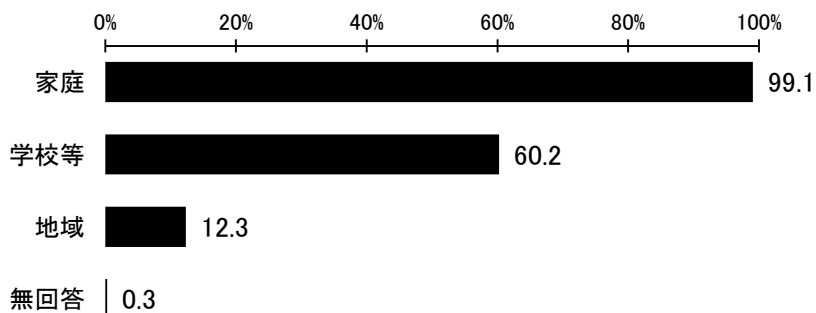
子どもに育む役目を担う場所について基本的な学力は、全体では「学校等」の割合が88.3%で最も高く、次いで「家庭」(74.7%)、「地域」(13.3%)の順となっています。



②基本的な生活習慣

子どもに育む役目を担う場所について基本的な生活習慣は、全体では「家庭」の割合が99.1%で最も高く、次いで「学校等」(60.2%)、「地域」(12.3%)の順となっています。

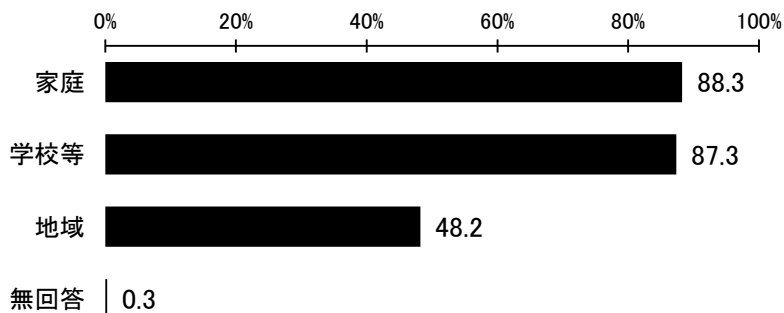
■ 全体(n=332)



③社会的ルールや礼儀作法

子どもに育む役目を担う場所について社会的ルールや礼儀作法は、全体では「家庭」の割合が88.3%で最も高く、次いで「学校等」(87.3%)、「地域」(48.2%)の順となっています。

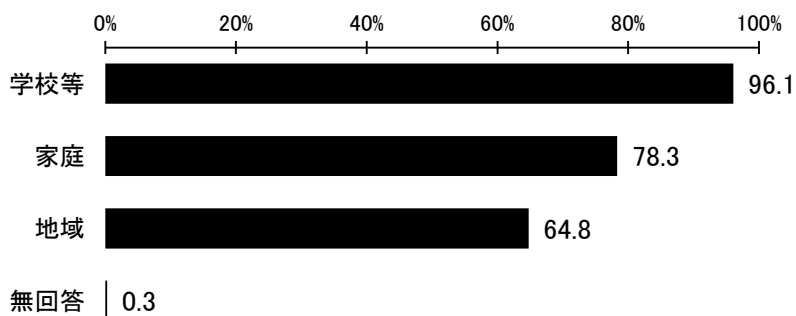
■ 全体(n=332)



④コミュニケーション能力

子どもに育む役目を担う場所についてコミュニケーション能力は、全体では「学校等」の割合が96.1%で最も高く、次いで「家庭」(78.3%)、「地域」(64.8%)の順となっています。

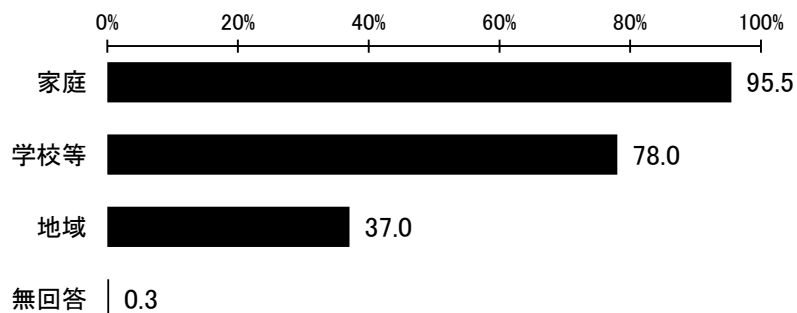
■ 全体(n=332)



⑤自己肯定感

子どもに育む役目を担う場所について自己肯定感は、全体では「家庭」の割合が95.5%で最も高く、次いで「学校等」(78.0%)、「地域」(37.0%)の順となっています。

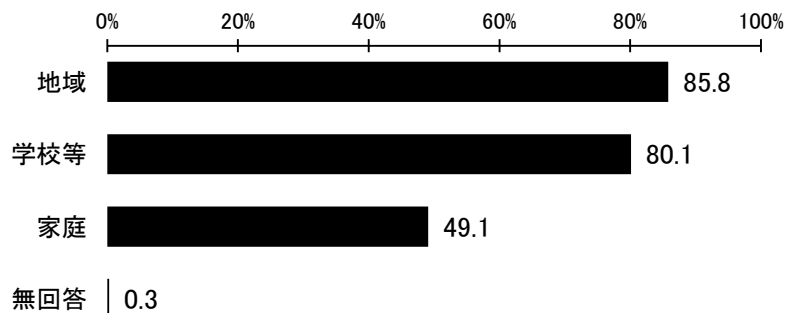
■ 全体(n=332)



⑥伝統や文化の伝承

子どもに育む役目を担う場所について伝統や文化の伝承は、全体では「地域」の割合が85.8%で最も高く、次いで「学校等」(80.1%)、「家庭」(49.1%)の順となっています。

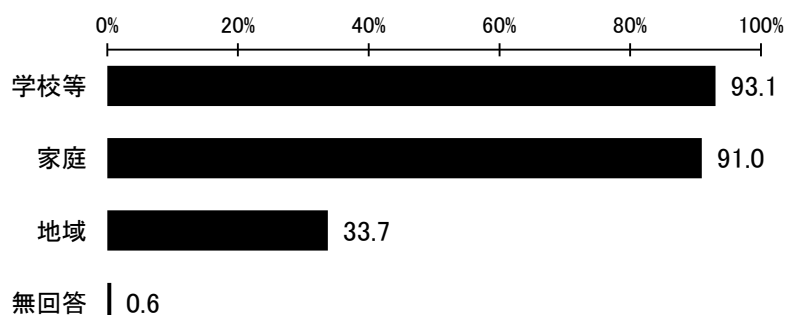
■ 全体(n=332)



⑦健康管理や体力づくり

子どもに育む役目を担う場所について健康管理や体力づくりは、全体では「学校等」の割合が93.1%で最も高く、次いで「家庭」(91.0%)、「地域」(33.7%)の順となっています。

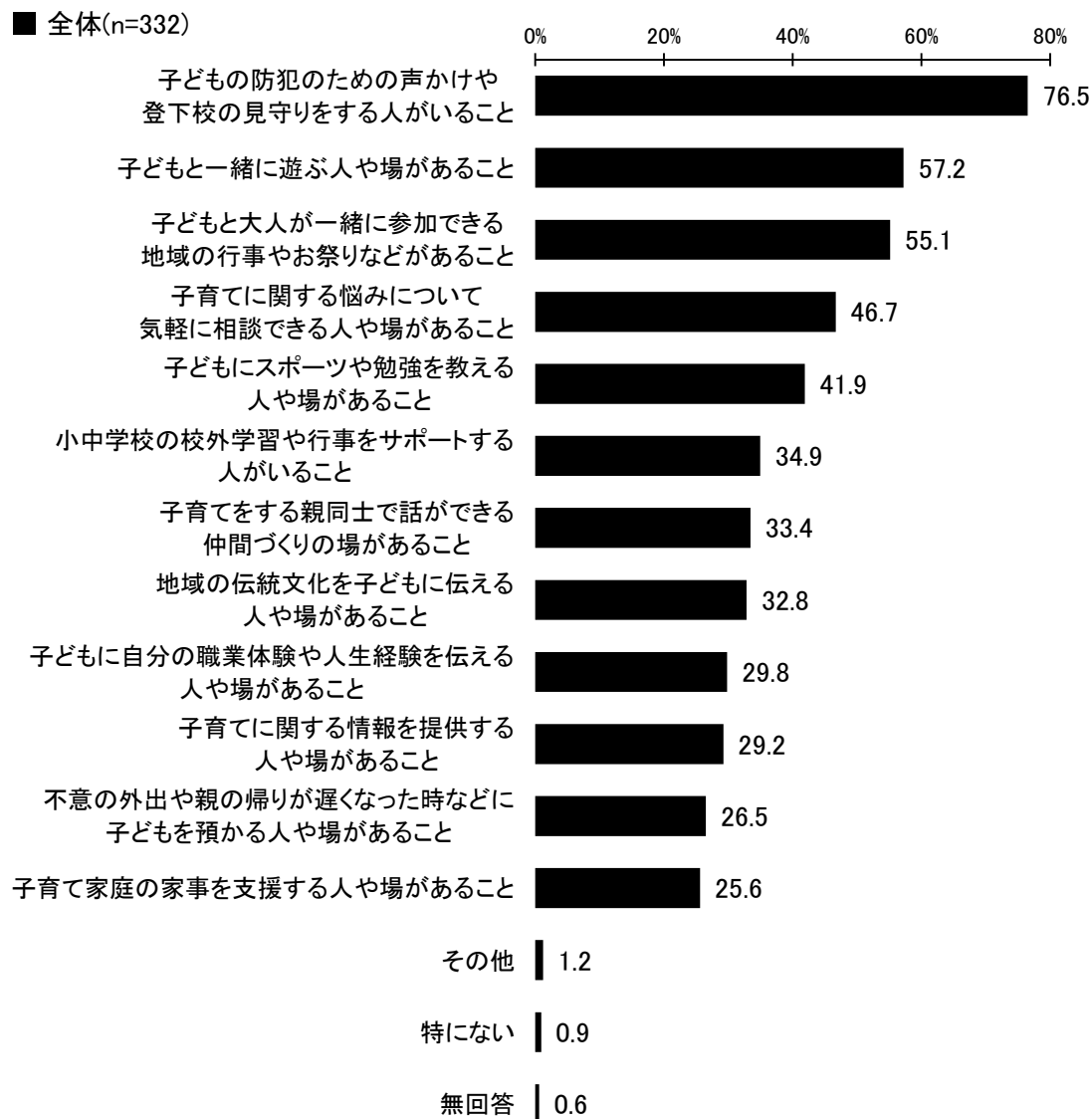
■ 全体(n=332)



(4) 地域で子育てを支えるために必要なこと

問36 地域で子育てを支えるために、どんなことが必要だと思いますか。【複数回答】

地域で子育てを支えるために必要なことについては、全体では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」の割合が76.5%で最も高く、次いで「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」(57.2%)、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」(55.1%)などの順となっています。

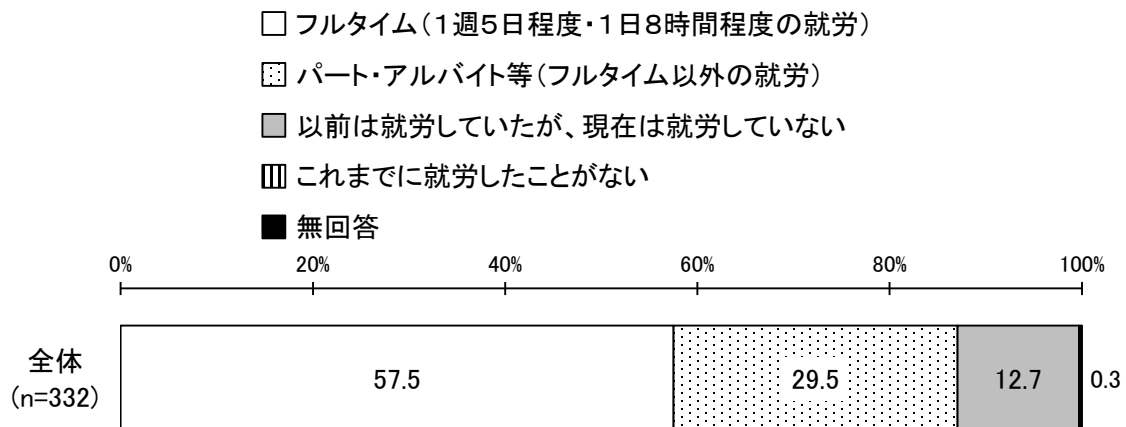


12. 保護者の就労状況・職場の両立支援について

(1) 母親の就労形態

問37 就労形態についてお答えください。

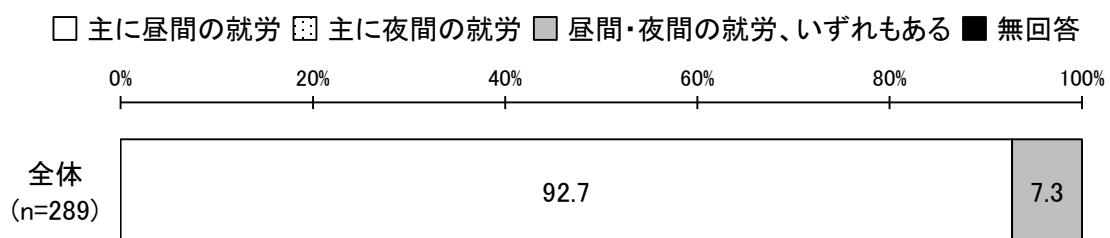
母親の就労形態については、全体では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が57.5%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」（29.5%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（12.7%）の順となっています。



(2) 母親の就労時間帯

問37で「フルタイム」「パート・アルバイト等」を選んだ方にうかがいます。
問37-1 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。

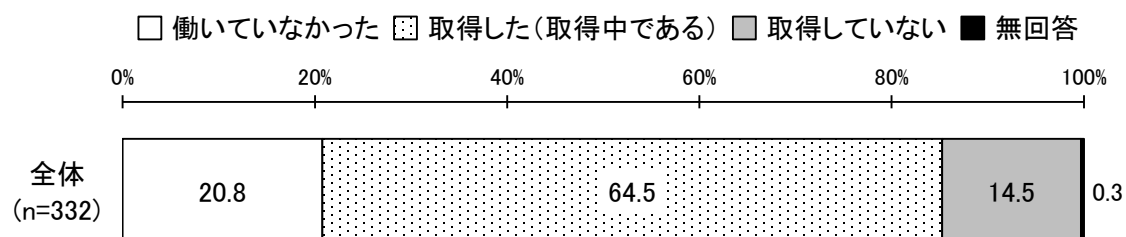
母親の就労時間帯については、全体では「主に昼間の就労」の割合が92.7%で最も高く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」（7.3%）の順となっています。



(3) 母親の育児休業制度の取得状況

問38 お子さんが生まれたとき、育児休業制度を取得しましたか。

母親の育児休業制度の取得状況については、全体では「取得した（取得中である）」の割合が64.5%で最も高く、次いで「働いていなかった」（20.8%）、「取得していない」（14.5%）の順となっています。



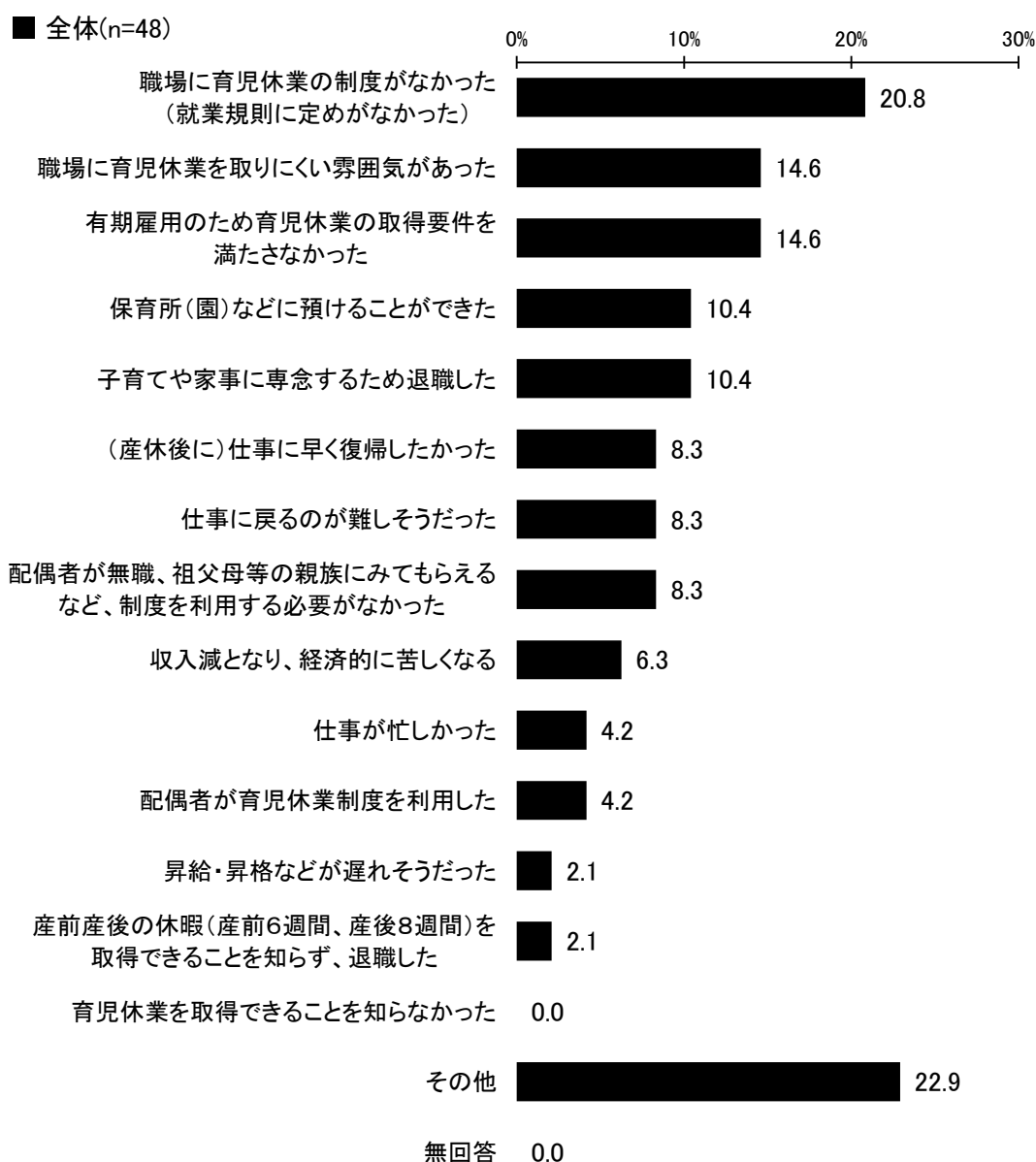
(4) 母親が育児休業制度を取得しなかった理由

問38で「取得していない」を選んだ方にうかがいます。

問38-1 育児休業制度を取得しなかった理由は何ですか。【複数回答】

母親が育児休業制度を取得しなかった理由については、全体では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が20.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」（同率14.6%）、「保育所（園）などに預けることができた」「子育てや家事に専念するため退職した」（同率10.4%）などの順となっています。

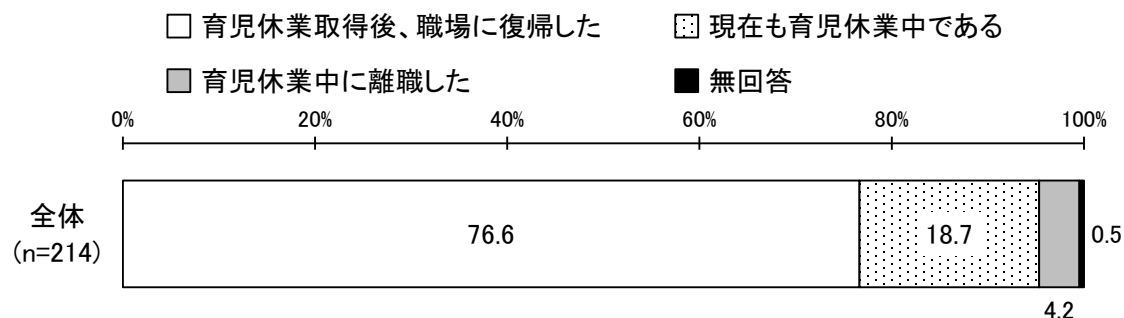
また、「その他」の割合は22.9%となっており、記述内容は「自営業のため」などの回答が多くなっています。



(5) 母親の育児休業後の職場復帰

問38で「取得した（取得中である）」を選んだ方にうかがいます。
問38－2 育児休業後、職場に復帰しましたか。

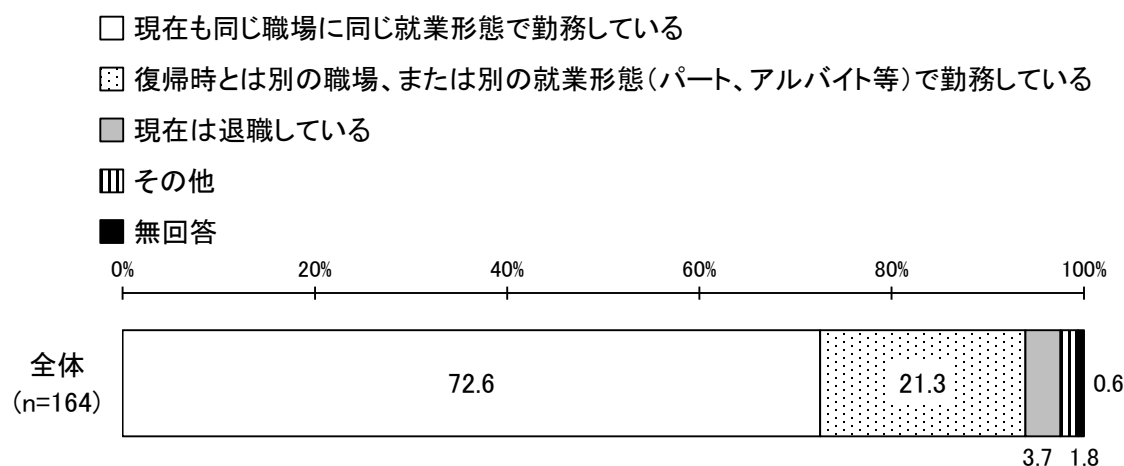
母親の育児休業後の職場復帰については、全体では「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が76.6%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(18.7%)、「育児休業中に離職した」(4.2%)の順となっています。



(6) 母親の職場復帰後の状況

問38－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。
問38－3 職場復帰後の状況についてうかがいます。

母親の職場復帰後の状況については、全体では「現在も同じ職場に同じ就業形態で勤務している」の割合が72.6%で最も高く、次いで「復帰時とは別の職場、または別の就業形態（パート、アルバイト等）で勤務している」(21.3%)、「現在は退職している」(3.7%)などの順となっています。

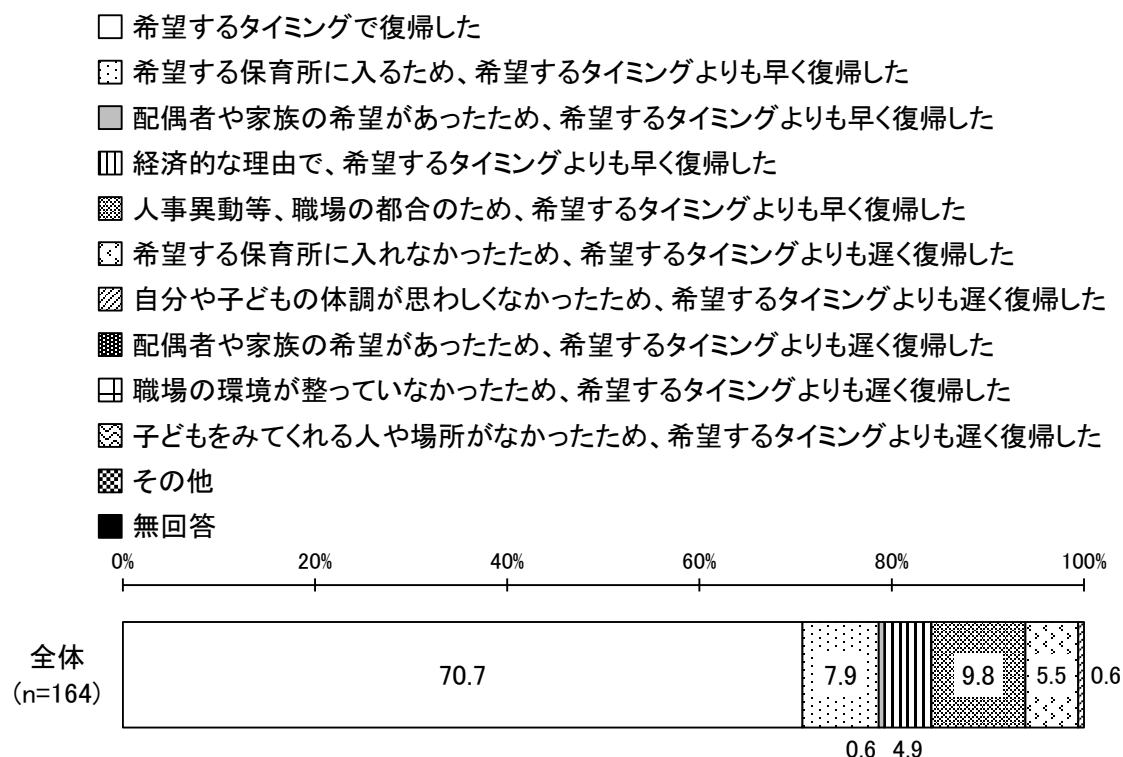


(7) 母親の希望するタイミングでの育児休業後の職場復帰

問38－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。

問38－4 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。

母親の希望するタイミングでの育児休業後の職場復帰については、全体では「希望するタイミングで復帰した」の割合が70.7%で最も高く、次いで「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」(9.8%)、「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」(7.9%)などの順となっています。



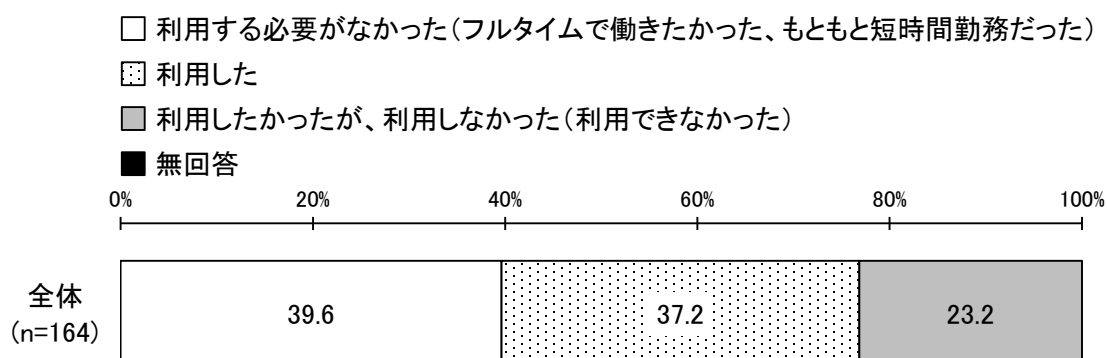
(8) 母親の育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問38－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。

問38－5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母親の育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況については、全体では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が39.6%で最も高く、次いで「利用した」（37.2%）、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」（23.2%）の順となっています。

子どもの年齢別でみると、3～5歳では「利用した」の割合が42.4%で最も高くなっています。



合計：n 項目：%		合計	利用する必要 がなかった （フルタイム で働きたかつ た、もともと 短時間勤務 だった）	利用した	利用した かったが、 利用しな かった （利用でき なかった）	無回答
全体		164	39.6	37.2	23.2	0.0
子どもの年齢別	0～2歳	72	50.0	30.6	19.4	0.0
	3～5歳	92	31.5	42.4	26.1	0.0

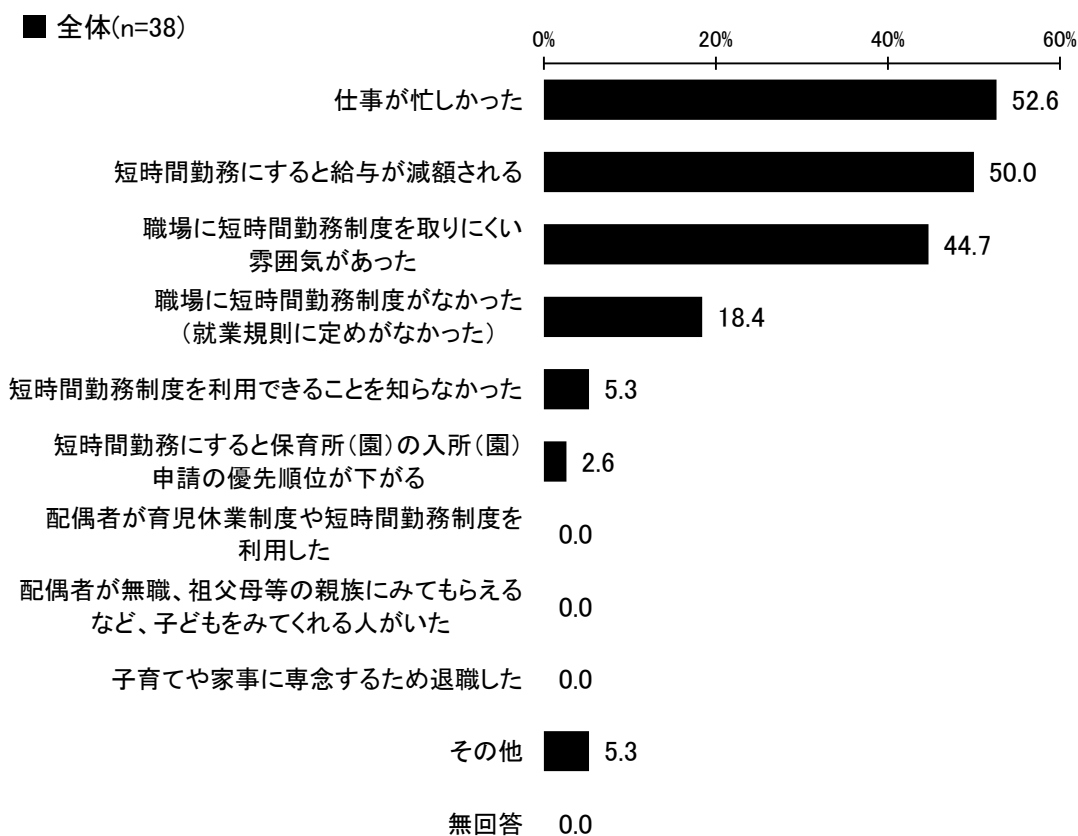
(9) 母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由

問38－5で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方にうかがいます。

問38－6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

【複数回答】

母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、全体では「仕事が忙しかった」の割合が52.6%で最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」(50.0%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(44.7%)などの順となっています。

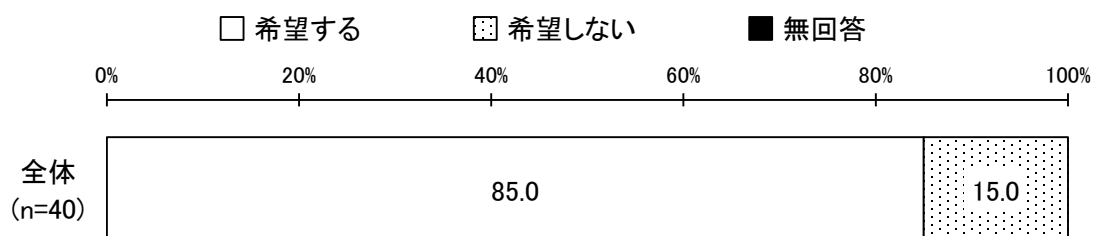


(10) 子どもが1歳のときに預けられる事業があった場合の母親の職場復帰希望

問38-2で「現在も育児休業中である」を選んだ方にうかがいます。

問38-7 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、お子さんを預けて職場復帰を希望しますか。

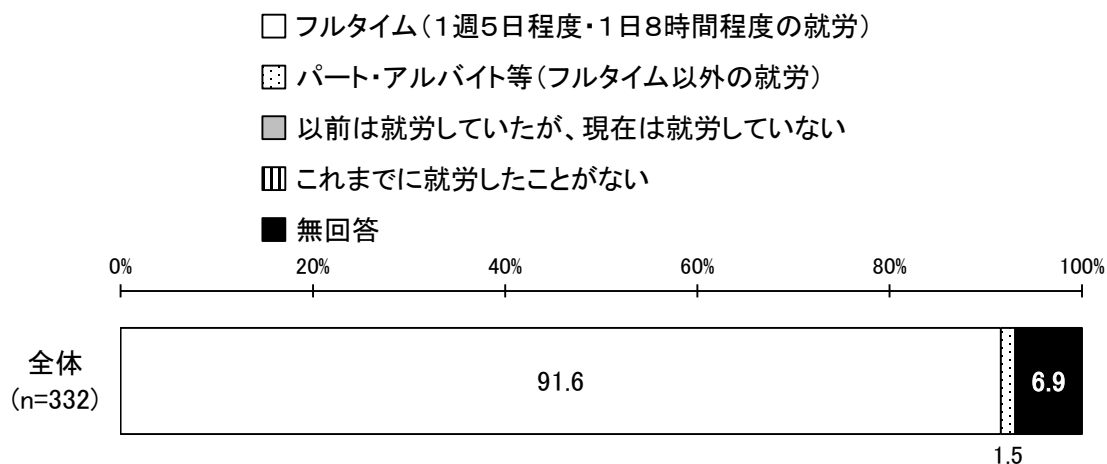
子どもが1歳のときに預けられる事業があった場合の母親の職場復帰希望については、全体では「希望する」の割合が85.0%で、「希望しない」(15.0%)を上回っています。



(11) 父親の就労形態

問39 就労形態についてお答えください。

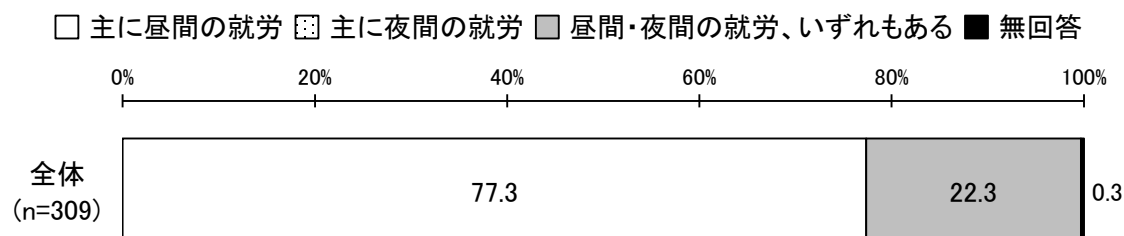
父親の就労形態については、全体では「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が91.6%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)」(1.5%)の順となっています。



(12) 父親の就労時間帯

問39で「フルタイム」「パート・アルバイト等」を選んだ方にうかがいます。
問39-1 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。

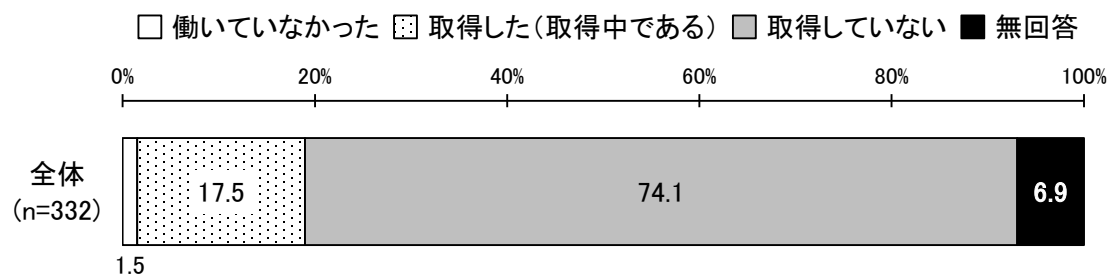
父親の就労時間帯については、全体では「主に昼間の就労」の割合が77.3%で最も高く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」(22.3%)の順となっています。



(13) 父親の育児休業制度の取得状況

問40 お子さんが生まれたとき、育児休業制度を取得しましたか。

父親の育児休業制度の取得状況については、全体では「取得していない」の割合が74.1%で最も高く、次いで「取得した(取得中である)」(17.5%)、「働いていなかった」(1.5%)の順となっています。

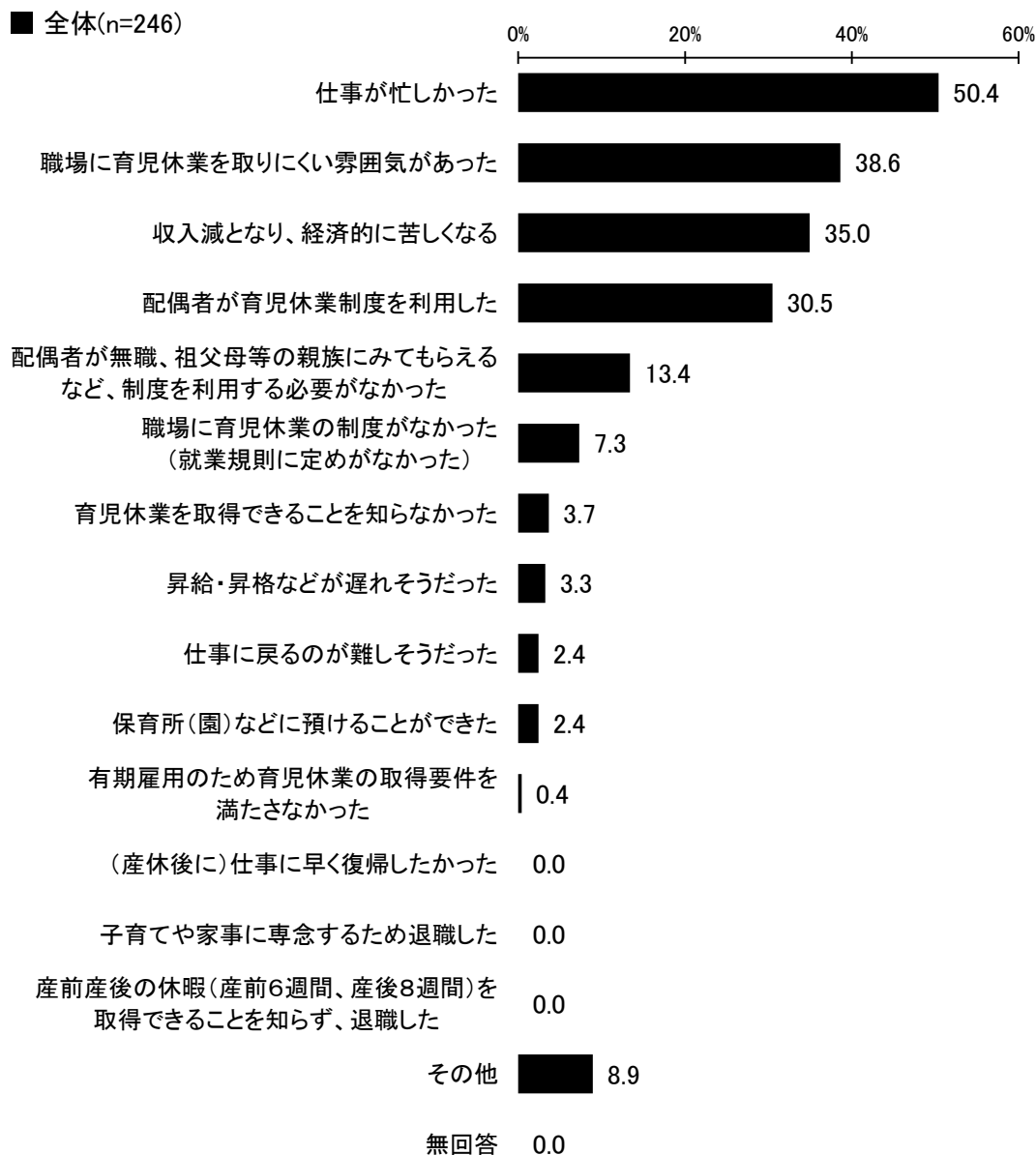


(14) 父親が育児休業制度を取得しなかった理由

問40で「取得していない」を選んだ方にうかがいます。

問40－1 育児休業制度を取得しなかった理由は何ですか。【複数回答】

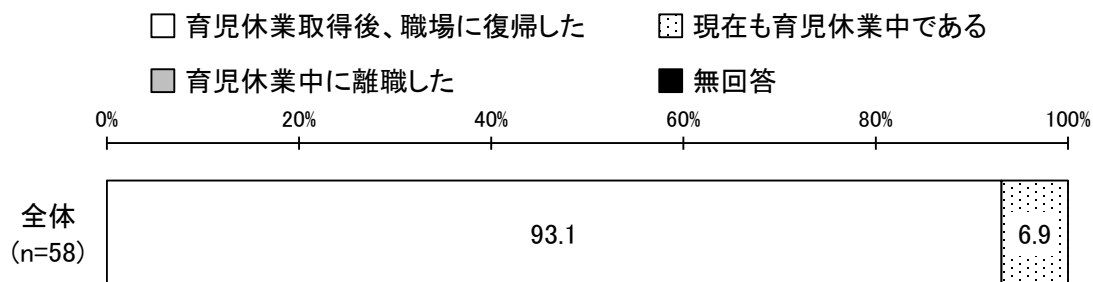
父親が育児休業制度を取得しなかった理由については、全体では「仕事が忙しかった」の割合が50.4%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(38.6%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(35.0%)などの順となっています。



(15) 父親の育児休業後の職場復帰

問40で「取得した（取得中である）」を選んだ方にうかがいます。
問40－2 育児休業後、職場に復帰しましたか。

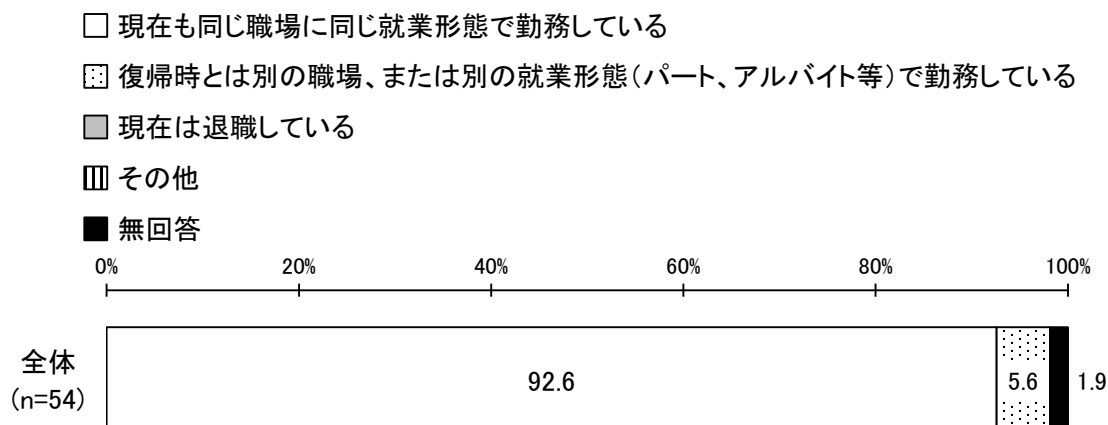
父親の育児休業後の職場復帰については、全体では「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が93.1%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」（6.9%）の順となっています。



(16) 父親の職場復帰後の状況

問40－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。
問40－3 職場復帰後の状況についてうかがいます。

父親の職場復帰後の状況については、全体では「現在も同じ職場に同じ就業形態で勤務している」の割合が92.6%で最も高く、次いで「復帰時とは別の職場、または別の就業形態（パート、アルバイト等）で勤務している」（5.6%）の順となっています。

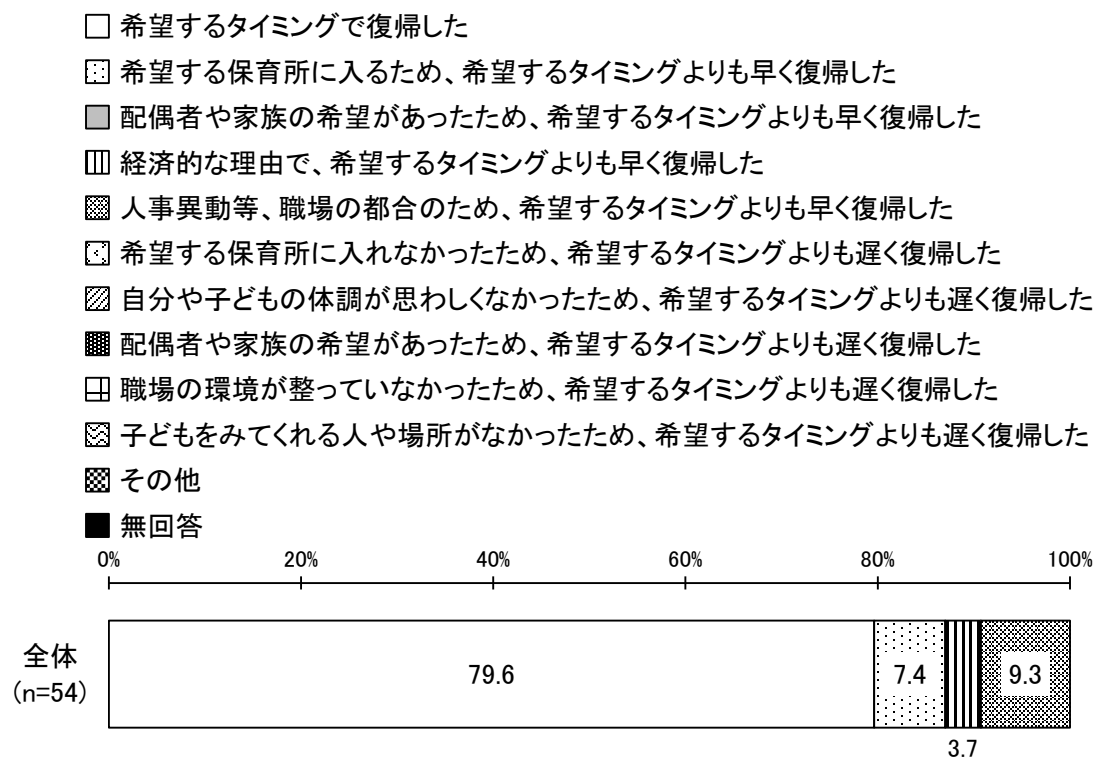


(17) 父親の希望するタイミングでの育児休業後の職場復帰

問40－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。

問40－4 希望するタイミングで、育児休業から職場に復帰することができましたか。

父親の希望するタイミングでの育児休業後の職場復帰については、全体では「希望するタイミングで復帰した」の割合が79.6%で最も高く、次いで「人事異動等、職場の都合のため、希望するタイミングよりも早く復帰した」(9.3%)、「希望する保育所に入るため、希望するタイミングよりも早く復帰した」(7.4%)などの順となっています。

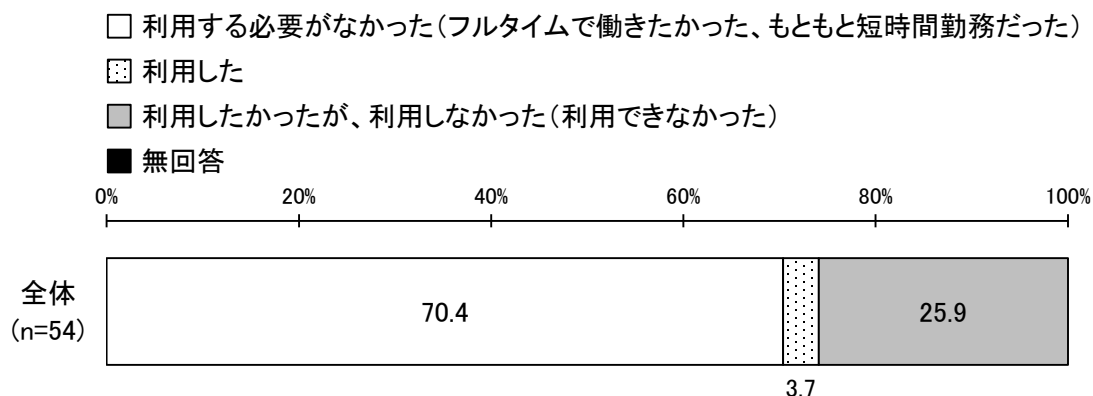


(18) 父親の育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問40－2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。

問40－5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

父親の育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況については、全体では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が70.4%で最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」（25.9%）、「利用した」（3.7%）の順となっています。



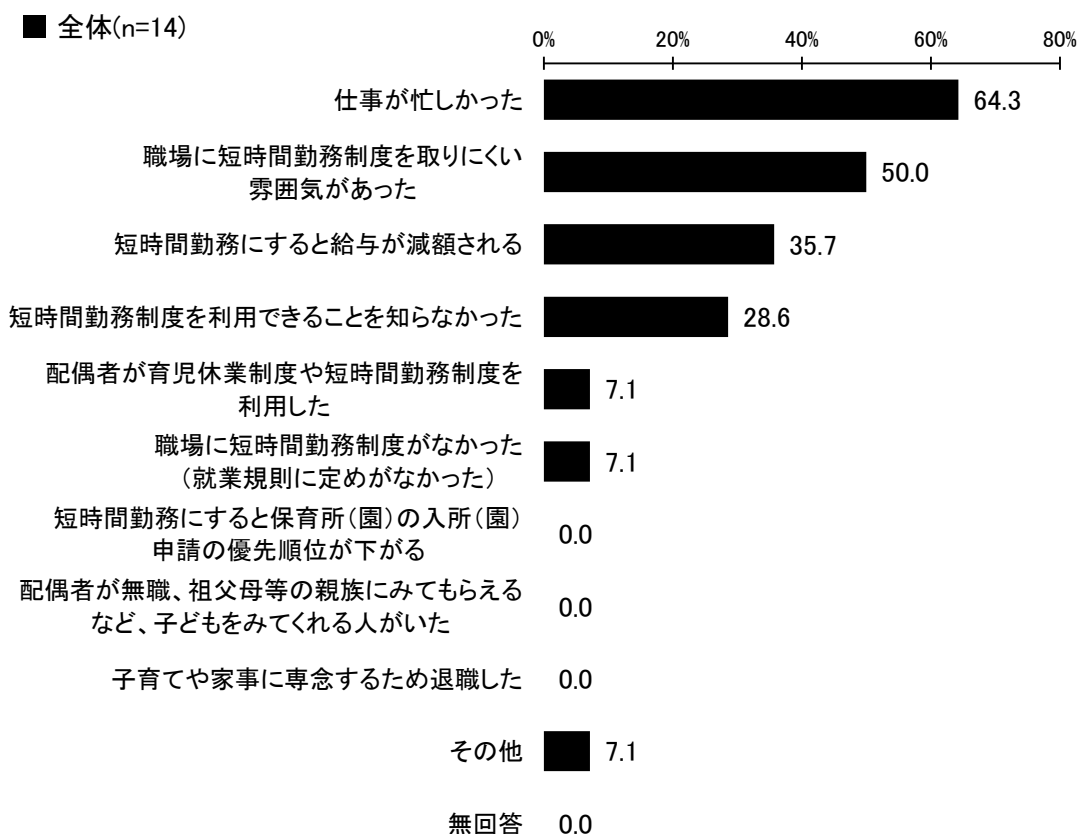
(19) 父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由

問40－5で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方にうかがいます。

問40－6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

【複数回答】

父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、全体では「仕事が忙しかった」の割合が64.3%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」（50.0%）、「短時間勤務にすると給与が減額される」（35.7%）などの順となっています。



(20) 子どもが1歳のときに預けられる事業があった場合の父親の職場復帰希望

問40－2で「現在も育児休業中である」を選んだ方にうかがいます。

問40－7 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、お子さんを預けて職場復帰を希望しますか。

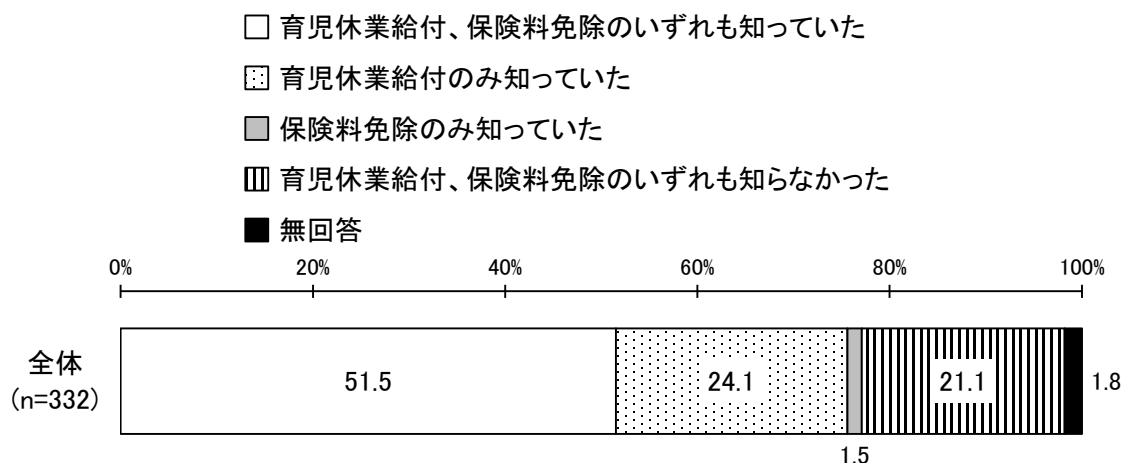
子どもが1歳のときに預けられる事業があった場合の父親の職場復帰希望については、全体では「希望する」と答えた方が3人で、「希望しない」と答えた方が1人となっています。

希望する	3人
希望しない	1人
全体	4人

(21) 育児休業給付・保険料免除の認知状況

問41 休業給付※¹、保険料免除※²について知っていましたか。

育児休業給付・保険料免除の認知状況については、全体では「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が51.5%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(24.1%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(21.1%)などの順となっています。



※1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み（一定の要件を満たす場合は1歳6か月）

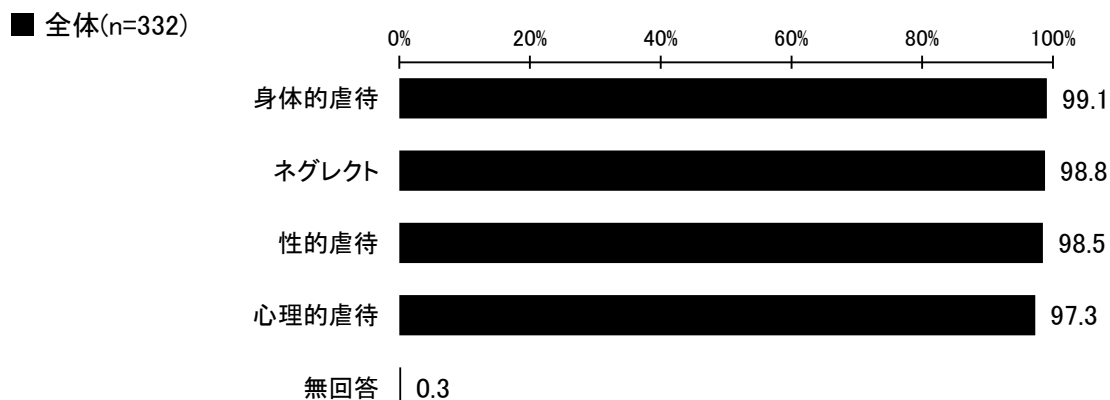
※2 子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

13. 児童虐待に関することについて

(1) 児童虐待の4種類の中で知っているもの

問42 児童虐待の4種類の中で知っているものはどれですか。【複数回答】

児童虐待の4種類の中で知っているものについては、全体では「身体的虐待」の割合が99.1%で最も高く、次いで「ネグレクト」(98.8%)、「性的虐待」(98.5%)などの順となっています。

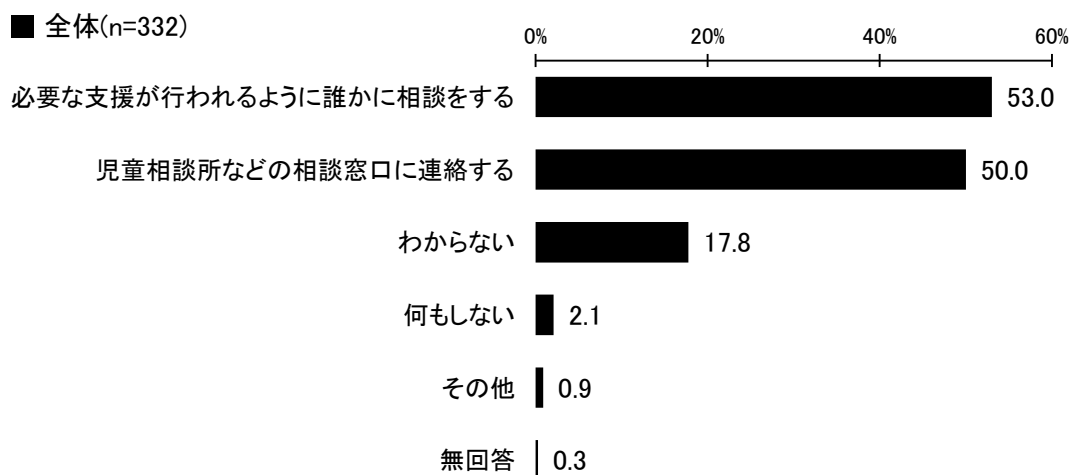


(2) 児童虐待が疑われる子どもを見聞きした場合の対応

問43 児童虐待を受けているのではないかと心配なお子さんを見聞きした場合、どのような対応をしますか。【複数回答】

児童虐待が疑われる子どもを見聞きした場合の対応については、全体では「必要な支援が行われるように誰かに相談をする」の割合が53.0%で最も高く、次いで「児童相談所などの相談窓口につながる」(50.0%)、「わからない」(17.8%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、0～2歳では「児童相談所などの相談窓口につながる」の割合が61.1%で最も高くなっています。



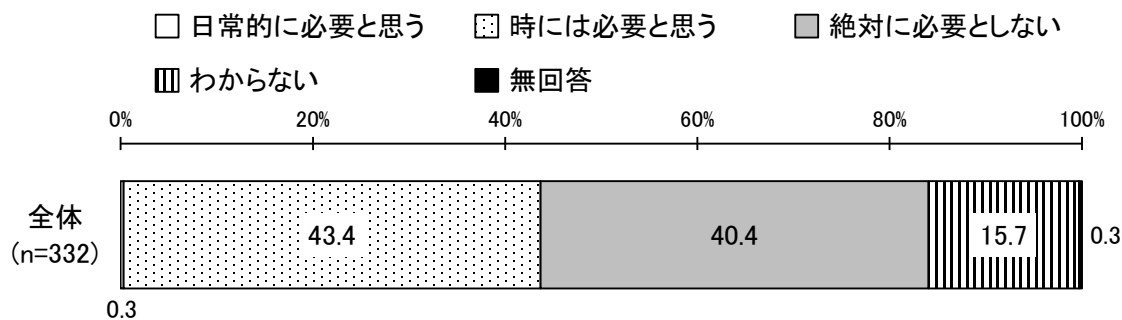
	合計	何もしない	必要な支援が行われるように誰かに相談をする	児童相談所などの相談窓口につながる	わからない	その他	無回答
合計：n 項目：%							
全体	332	2.1	53.0	50.0	17.8	0.9	0.3
子どもの年齢別							
0～2歳	157	1.3	47.1	61.1	17.8	1.9	0.6
3～5歳	175	2.9	58.3	40.0	17.7	0.0	0.0

(3) 子どもをしつけとしてたたいたりすることへの考え

問44 お子さんをしつけとしてたたいたりすることをどう思われますか。

子どもをしつけとしてたたいたりすることへの考えについては、全体では「時には必要と思う」の割合が43.4%で最も高く、次いで「絶対に必要としない」(40.4%)、「わからない」(15.7%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、0～2歳では「絶対に必要としない」の割合が40.8%で最も高くなっています。



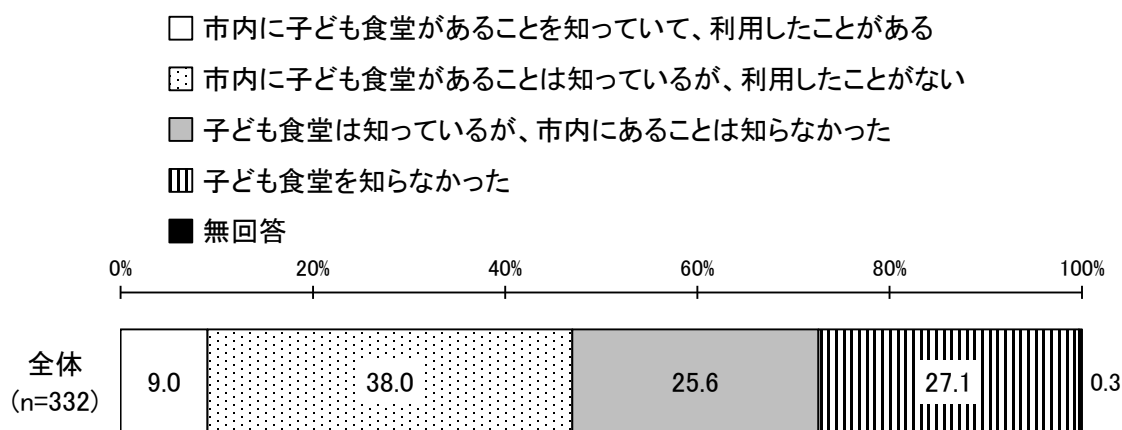
合計：n 項目：%		合計	日常的に 必要と思う	時には 必要と思う	絶対に 必要と しない	わからない	無回答
全体		332	0.3	43.4	40.4	15.7	0.3
子どもの年齢別	0～2歳	157	0.6	40.1	40.8	17.8	0.6
	3～5歳	175	0.0	46.3	40.0	13.7	0.0

14. 子ども食堂について

(1) 浜田市の子ども食堂の認知・利用状況

問45 浜田市には子ども食堂が9か所開設されていますが、ご存知でしたか。また、利用されたことはありますか。

浜田市の子ども食堂の認知・利用状況については、全体では「市内に子ども食堂があることは知っているが、利用したことがない」の割合が38.0%で最も高く、次いで「子ども食堂を知らなかった」(27.1%)、「子ども食堂は知っているが、市内にあることは知らなかった」(25.6%)などの順となっています。

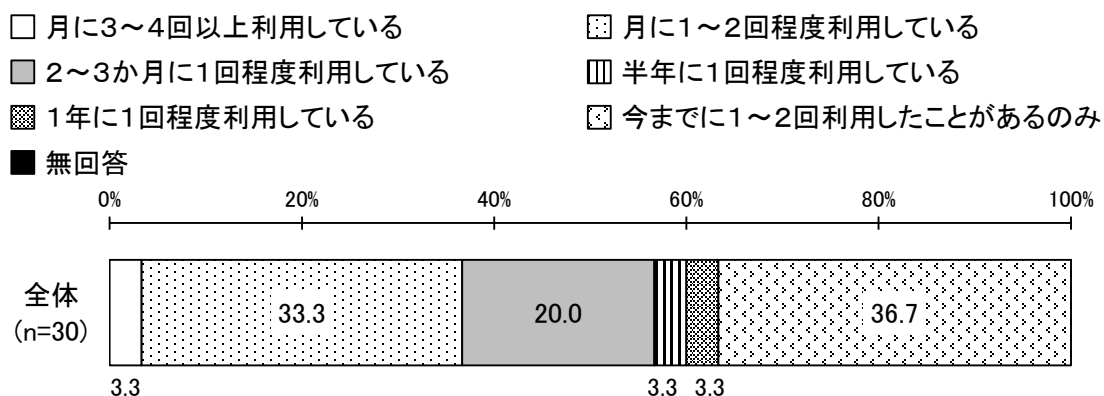


(2) 現在の子ども食堂の利用状況

問45で「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」を選んだ方にうかがいます。

問45-1 子ども食堂の現在の利用状況をお答えください。

現在の子ども食堂の利用状況については、全体では「今までに1～2回利用したことがあるのみ」の割合が36.7%で最も高く、次いで「月に1～2回程度利用している」(33.3%)、「2～3か月に1回程度利用している」(20.0%)などの順となっています。

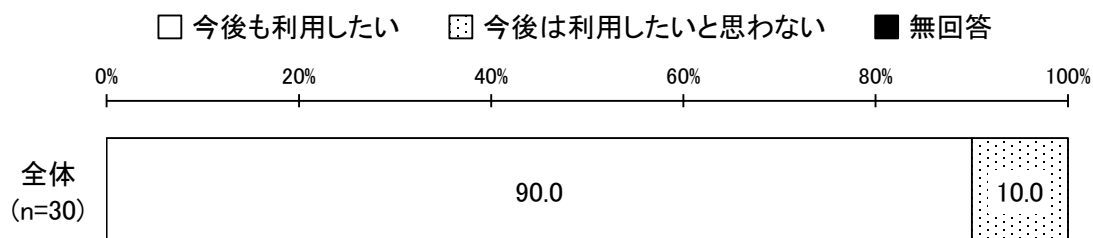


(3) 今後の子ども食堂の利用希望

問45で「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」を選んだ方にうかがいます。

問45－2 今後も子ども食堂を利用したいと思われませんか。

今後の子ども食堂の利用希望については、全体では「今後も利用したい」の割合が90.0%で、「今後は利用したいと思わない」(10.0%)を上回っています。



(4) 今後は子ども食堂を利用したいと思わない理由

問45－2で「今後は利用したいと思わない」を選んだ方にうかがいます。

問45－3 今後は子ども食堂を利用したいと思わない理由は何ですか。【記述】

今後は子ども食堂を利用したいと思わない理由（2件回答） ※記述内容要約	
事前予約が必要で気軽に行きにくいため。	1件
テイクアウトができなくなってしまったため。	1件
計	2件

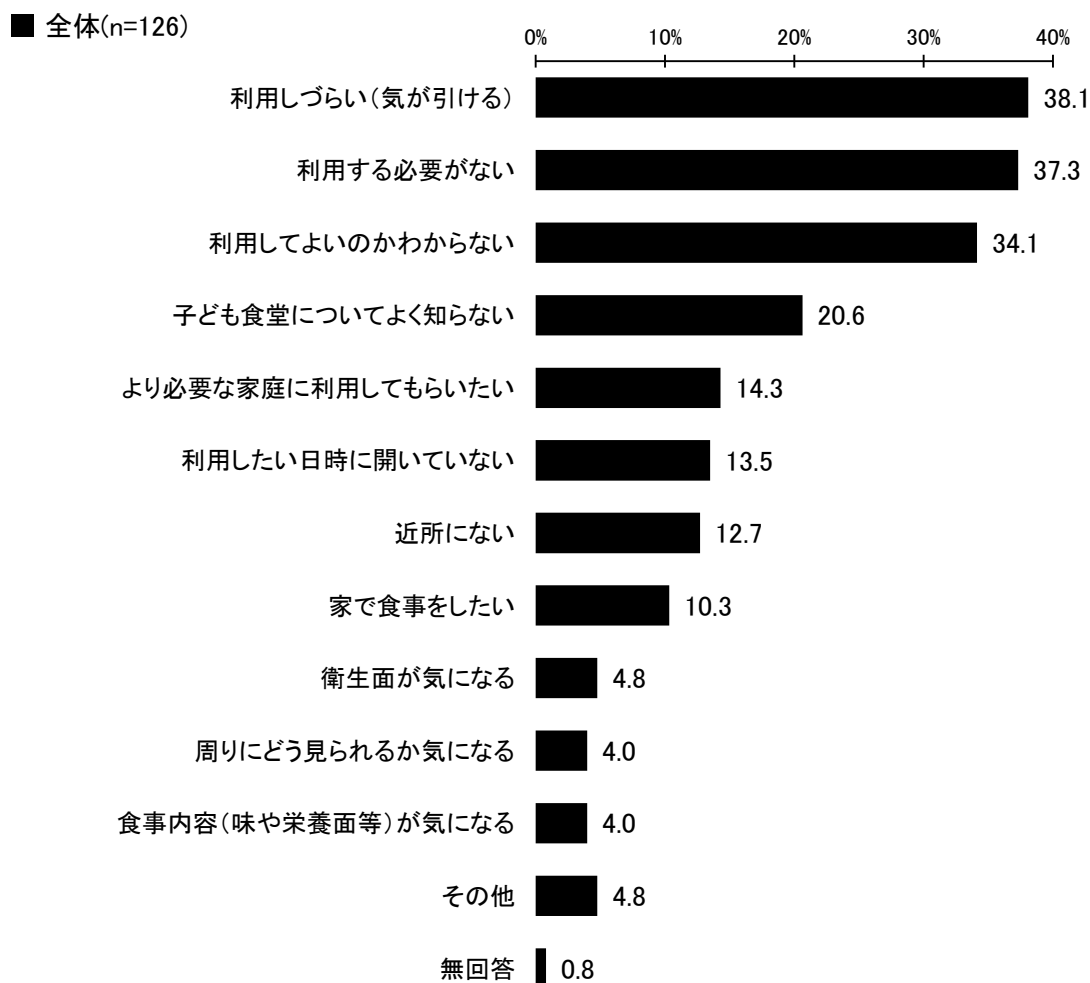
(5) 子ども食堂を利用したことがない理由

問45で「市内に子ども食堂があることは知っているが、利用したことがない」を選んだ方にうかがいます。

問45-4 利用したことがない理由は何ですか。【複数回答】

子ども食堂を利用したことがない理由については、全体では「利用しづらい(気が引ける)」の割合が38.1%で最も高く、次いで「利用する必要がある」(37.3%)、「利用してよいのかわからない」(34.1%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、3～5歳では「利用する必要がある」の割合が37.1%で最も高くなっています。



	合計	子ども食堂についてよく知らない	利用する必要がある	利用してよいのかわからない	利用しづらい(気が引ける)	周りにどう見られるか気になる	家で食事をしたい	食事内容(味や栄養面等)が気になる
全体	126	20.6	37.3	34.1	38.1	4.0	10.3	4.0
子どもの年齢別								
0～2歳	56	21.4	37.5	39.3	44.6	3.6	12.5	5.4
3～5歳	70	20.0	37.1	30.0	32.9	4.3	8.6	2.9

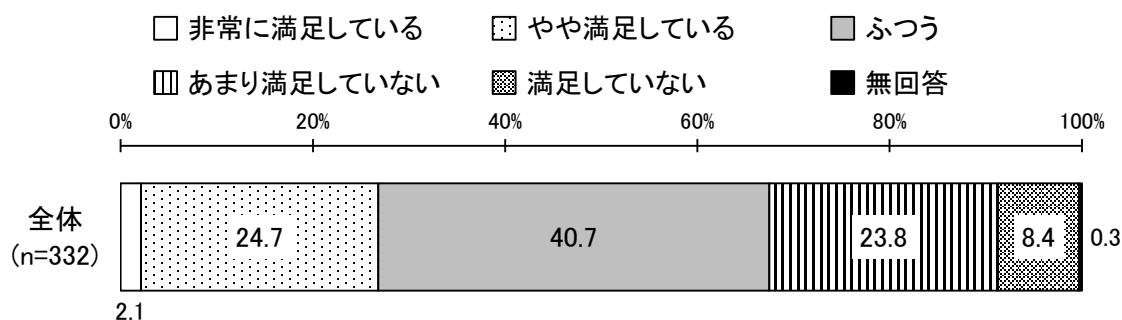
	合計	衛生面が気になる	近所がない	利用したい日時に開いていない	より必要な家庭に利用してもらいたい	その他	無回答
全体	126	4.8	12.7	13.5	14.3	4.8	0.8
子どもの年齢別							
0～2歳	56	5.4	8.9	12.5	12.5	5.4	0.0
3～5歳	70	4.3	15.7	14.3	15.7	4.3	1.4

15. 浜田市の子育て支援施策全般について

(1) 居住地域における子育て環境や支援への満足度

問46 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。

居住地域における子育て環境や支援への満足度については、全体では「ふつう」の割合が40.7%で最も高く、次いで「やや満足している」(24.7%)、「あまり満足していない」(23.8%)などの順となっています。



(2) 居住地区における子育て環境や支援に関する意見

問47 浜田市教育・保育環境の充実など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。【記述】

居住地区における子育て環境や支援に関する意見（116件回答） ※複数該当あり	
子ども（親子）の遊び場・イベントについて	46件
経済的支援について	31件
保育施設・保育士について	21件
地域の活性化について	15件
仕事と育児の両立について	8件
病児保育について	7件
子育て支援事業等について	7件
小児科・産婦人科等の不足について	6件
地域の交通・安全・防犯について	5件
学校・教育について	5件
一時預かり等について	4件
その他	14件
計	169件

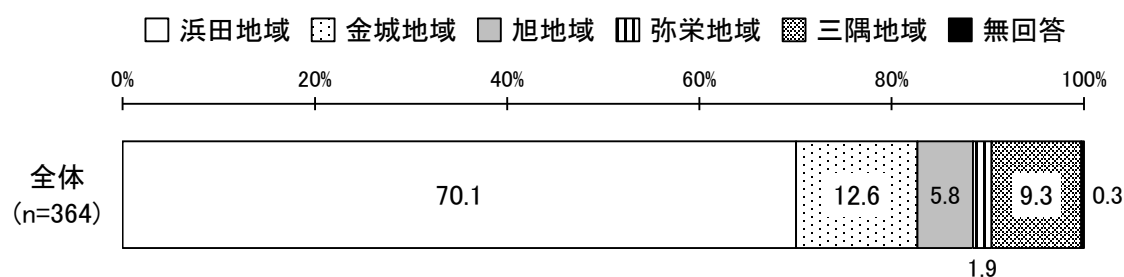
1-2 小学生保護者調査

1. お住まいの地域について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区をお答えください。

居住地区については、全体では「浜田地域」の割合が70.1%で最も高く、次いで「金城地域」(12.6%)、「三隅地域」(9.3%)などの順となっています。

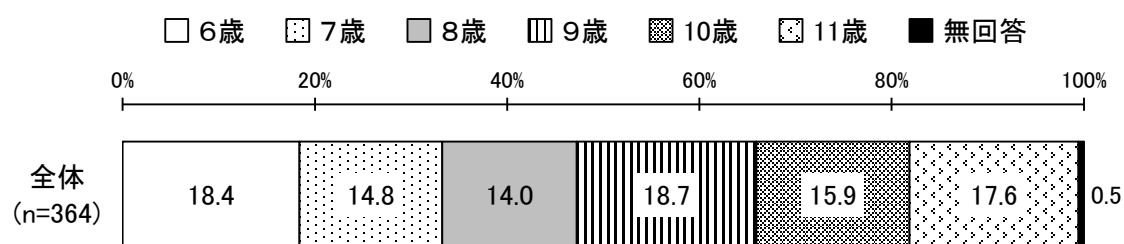


2. 子どもと家族の状況について

(1) 子どもの年齢

問2 お子さんの年齢（令和6年4月1日時点）をお答えください。

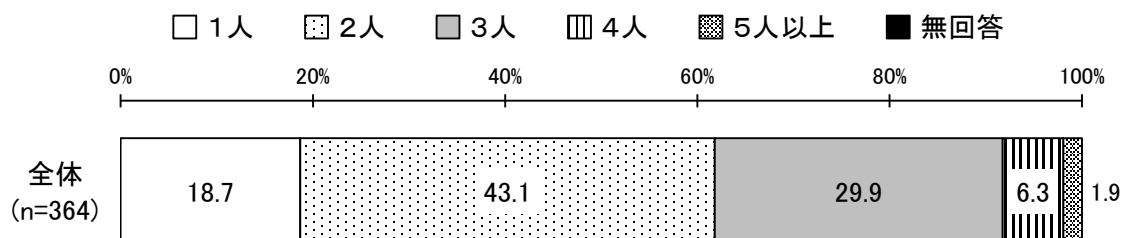
子どもの年齢については、全体では「9歳」の割合が18.7%で最も高く、次いで「6歳」(18.4%)、「11歳」(17.6%)などの順となっています。



(2) 子どもの人数

問3 お子さんのきょうだいの数（ご回答いただく対象のお子さんを含めた人数）をお答えください。

子どもの人数については、全体では「2人」の割合が43.1%で最も高く、次いで「3人」(29.9%)、「1人」(18.7%)などの順となっています。



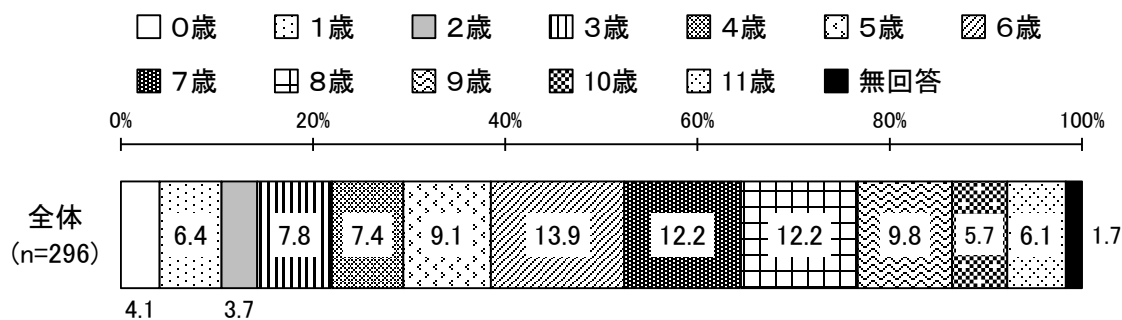
(3) 末子の年齢

問3で「1人」以外を選んだ方にうかがいます。

問3-1 2人以上お子さんがいらっしゃる場合、末子の子の年齢（令和6年4月1日時点※）をお答えください。

※令和6年4月2日以降に生まれたお子さんは「0歳」とお答えください。

末子の年齢については、全体では「6歳」の割合が13.9%で最も高く、次いで「7歳」「8歳」（同率12.2%）、「9歳」（9.8%）などの順となっています。

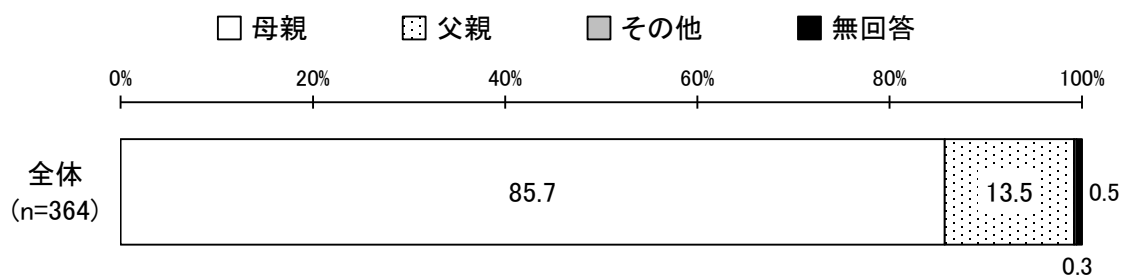


(4) 回答者の続柄

問4 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

回答者の続柄については、全体では「母親」の割合が85.7%、「父親」の割合が13.5%となっています。

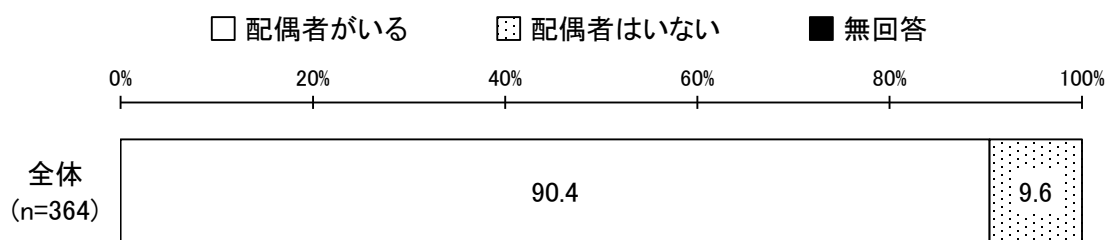
また、「その他」の割合は0.3%となっています。



(5) 回答者の配偶関係

問5 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

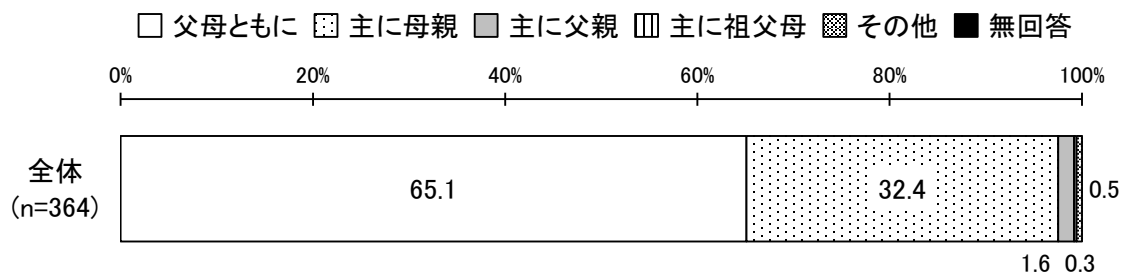
回答者の配偶関係については、全体では「配偶者がいる」の割合が90.4%で、「配偶者はいない」(9.6%)を上回っています。



(6) 子育ての主な担い手

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。

子育ての主な担い手については、全体では「父母ともに」の割合が65.1%で最も高く、次いで「主に母親」(32.4%)、「主に父親」(1.6%)などの順となっています。

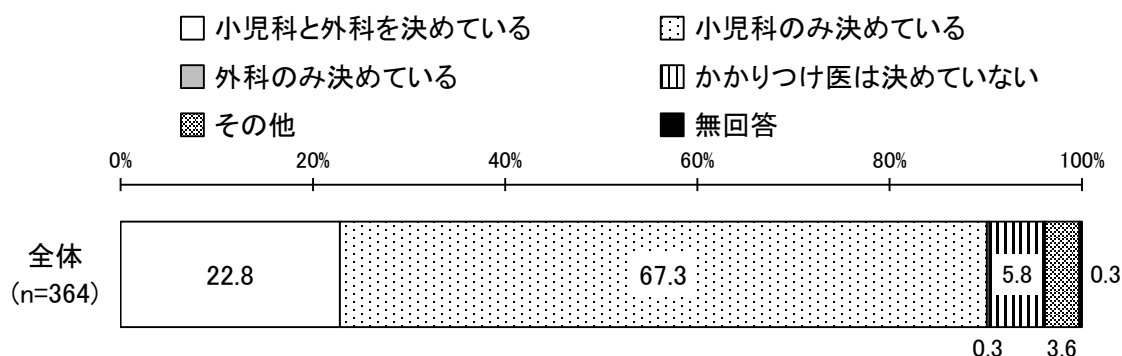


3. 子どもの日常生活について

(1) 子どものかかりつけ医の状況

問7 お子さんのかかりつけ医を決めていますか。

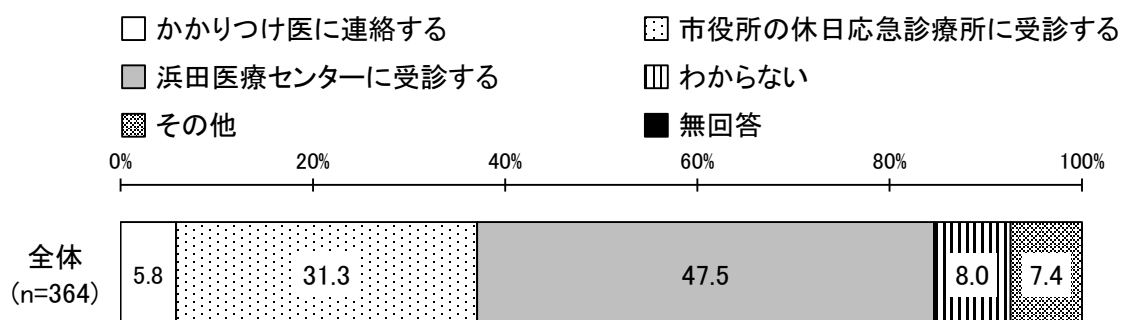
子どものかかりつけ医の状況については、全体では「小児科のみ決めている」の割合が67.3%で最も高く、次いで「小児科と外科を決めている」(22.8%)、「かかりつけ医は決めていない」(5.8%)などの順となっています。



(2) 休日・夜間の子どもの急病への対応

問8 休日や夜間のお子さんの急病への対応は、主にどのようにしていますか。

休日・夜間の子どもの急病への対応については、全体では「浜田医療センターに受診する」の割合が47.5%で最も高く、次いで「市役所の休日応急診療所に受診する」(31.3%)、「わからない」(8.0%)などの順となっています。



(3) 平日の家事や育児の役割分担

問5で「配偶者がいる」を選んだ方にうかがいます。

問9 平日の家事や育児を父親と母親でどのように役割分担していますか。

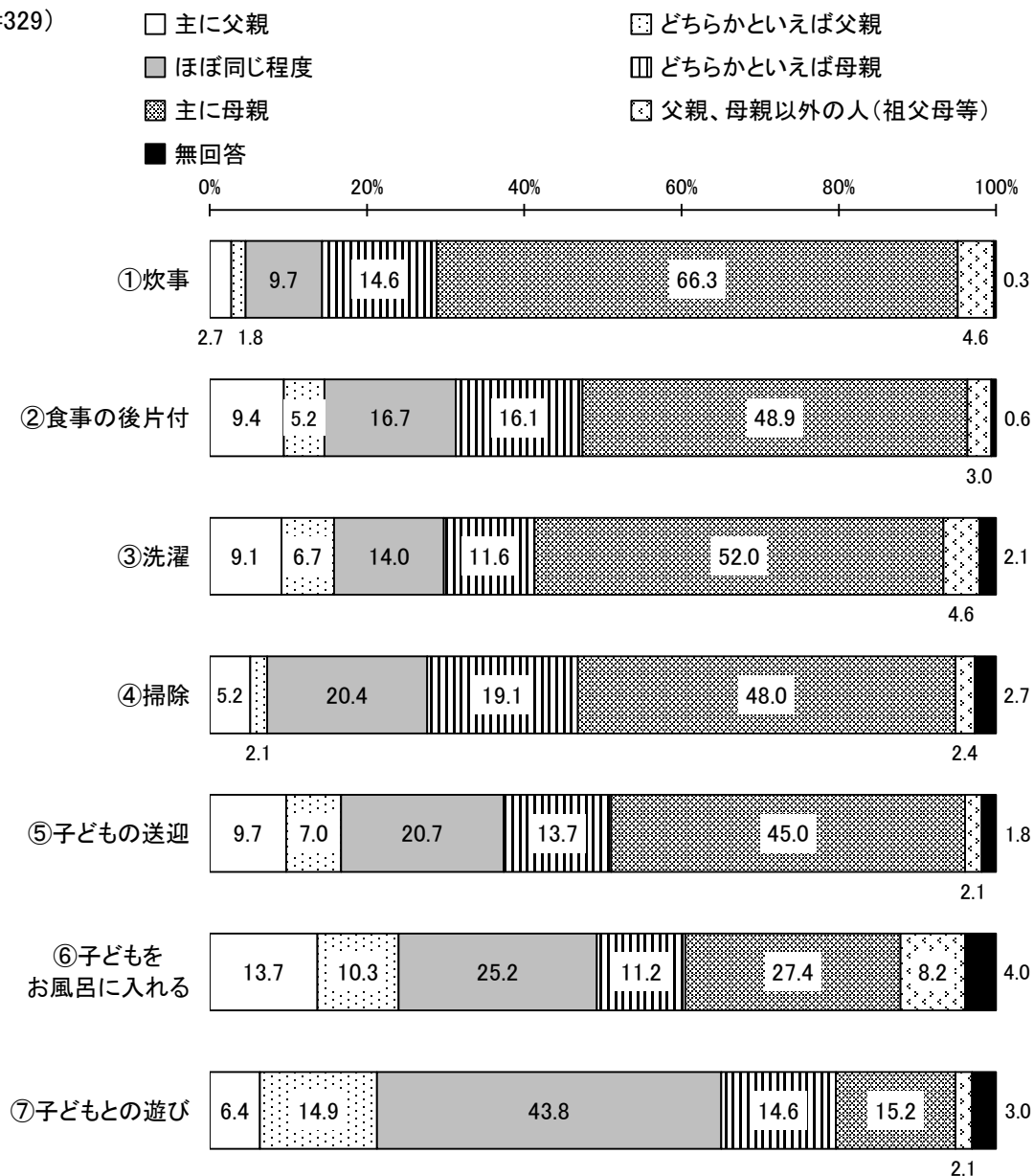
※お子さんが自分でやっている場合は、「父親、母親以外の人」をお選びください。

平日の家事や育児の役割分担については、全体では『⑦子どもとの遊び』を除くすべての家事や育児で「どちらかといえば母親」と「主に母親」を合わせた“母親”の割合が最も高くなっており、特に『①炊事』(80.9%)、『④掃除』(67.1%)、『②食事の後片付』(65.0%)などの項目で高くなっています。

また、『⑦子どもとの遊び』の項目は「ほぼ同じ程度」の割合が43.8%で最も高くなっています。

全体

(n=329)



(4) 配偶者に協力してもらいたい家事や育児

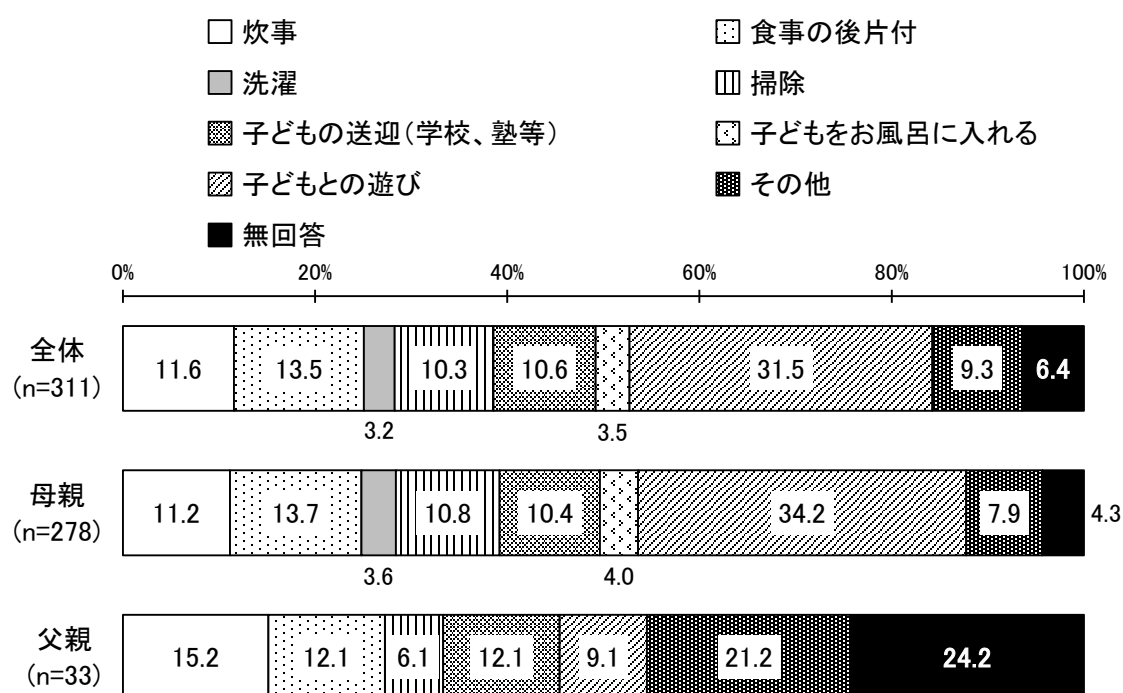
問5で「配偶者がいる」を選んだ方で、回答者が問6の「主に子育てを行っている方」の場合にうかがいます。

問10 父親（または母親）に協力してもらいたい家事や育児は何ですか。

配偶者に協力してもらいたい家事や育児については、全体では「子どもとの遊び」の割合が31.5%で最も高く、次いで「食事の後片付」（13.5%）、「炊事」（11.6%）などの順となっています。

母親による回答で父親に協力してもらいたい家事や育児をみると、全体とおおむね同様の傾向となっています。

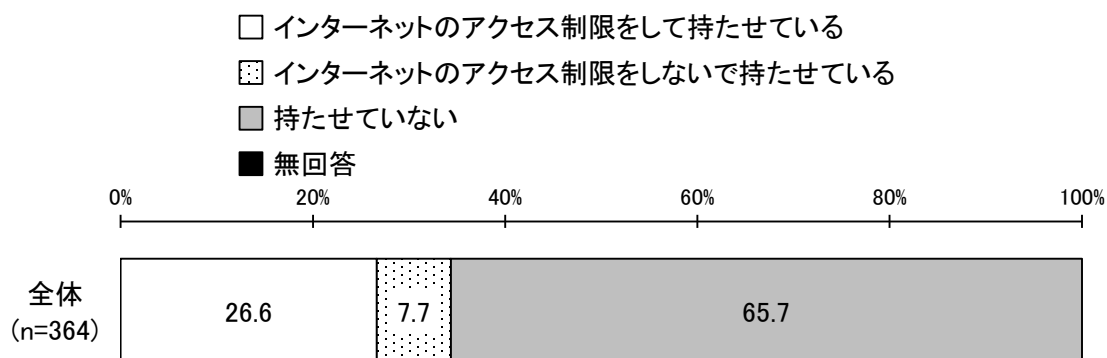
父親による回答で母親に協力してもらいたい家事や育児をみると、「その他」の割合が21.2%となっており、記述内容は「特になし」などの回答が多くなっています。



(5) 子どものスマートフォン等の所持状況

問11 お子さんに携帯電話、スマートフォン、タブレット端末などを持たせていますか。

子どものスマートフォン等の所持状況については、全体では「持たせていない」の割合が65.7%で最も高く、次いで「インターネットのアクセス制限をして持たせている」(26.6%)、「インターネットのアクセス制限をしないで持たせている」(7.7%)の順となっています。

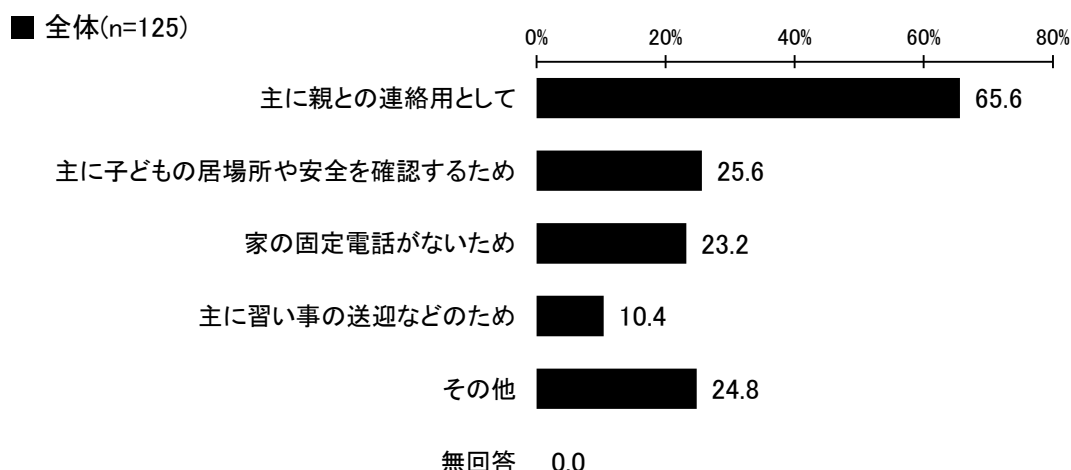


(6) 子どもにスマートフォン等を持たせる目的

問11で「持たせていない」以外を選んだ方にうかがいます。

問11-1 主にどのような目的で持たせていますか。【複数回答】

子どもにスマートフォン等を持たせる目的については、全体では「主に親との連絡用として」の割合が65.6%で最も高く、次いで「主に子どもの居場所や安全を確認するため」(25.6%)、「家の固定電話がないため」(23.2%)などの順となっています。また、「その他」の割合は24.8%となっています。



4. 子どもの生活実態について

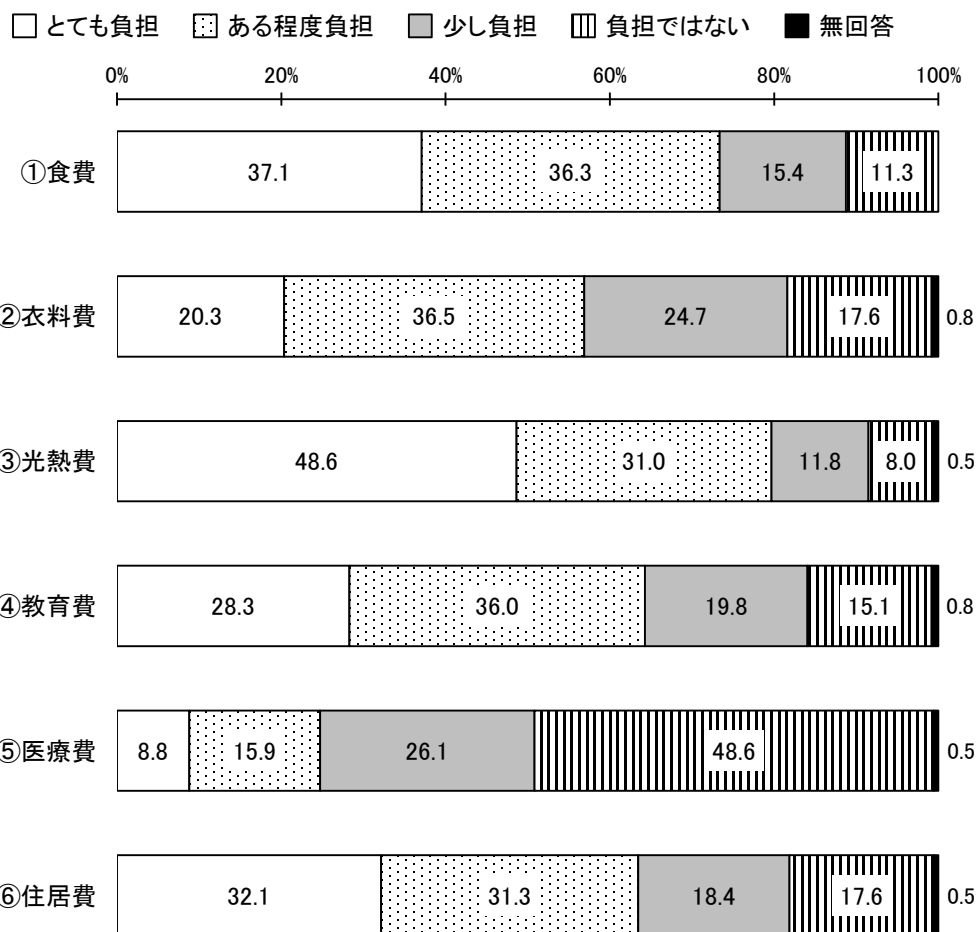
(1) 生活費の負担感

問12 次の生活費について、どの程度経済的な負担を感じていますか。

生活費の負担感については、全体では「とても負担」と「ある程度負担」を合わせた“負担を感じる”の割合をみると、『③光熱費』(79.6%)、『①食費』(73.4%)、『④教育費』(64.3%)などの項目が上位となっています。一方、「負担ではない」の割合をみると、『⑤医療費』(48.6%)の項目が高くなっています。

全体

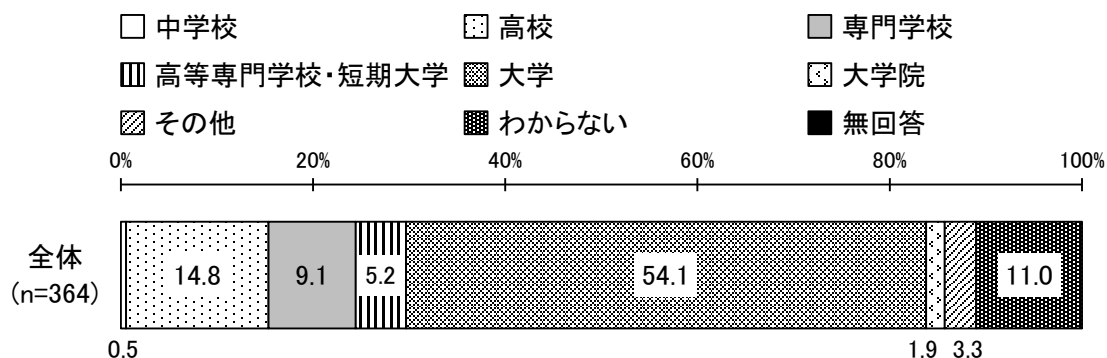
(n=364)



(2) 子どもの最終学歴としての進学希望

問13 お子さんについて、最終学歴としてどのくらいまで学ばせたいと思いますか。

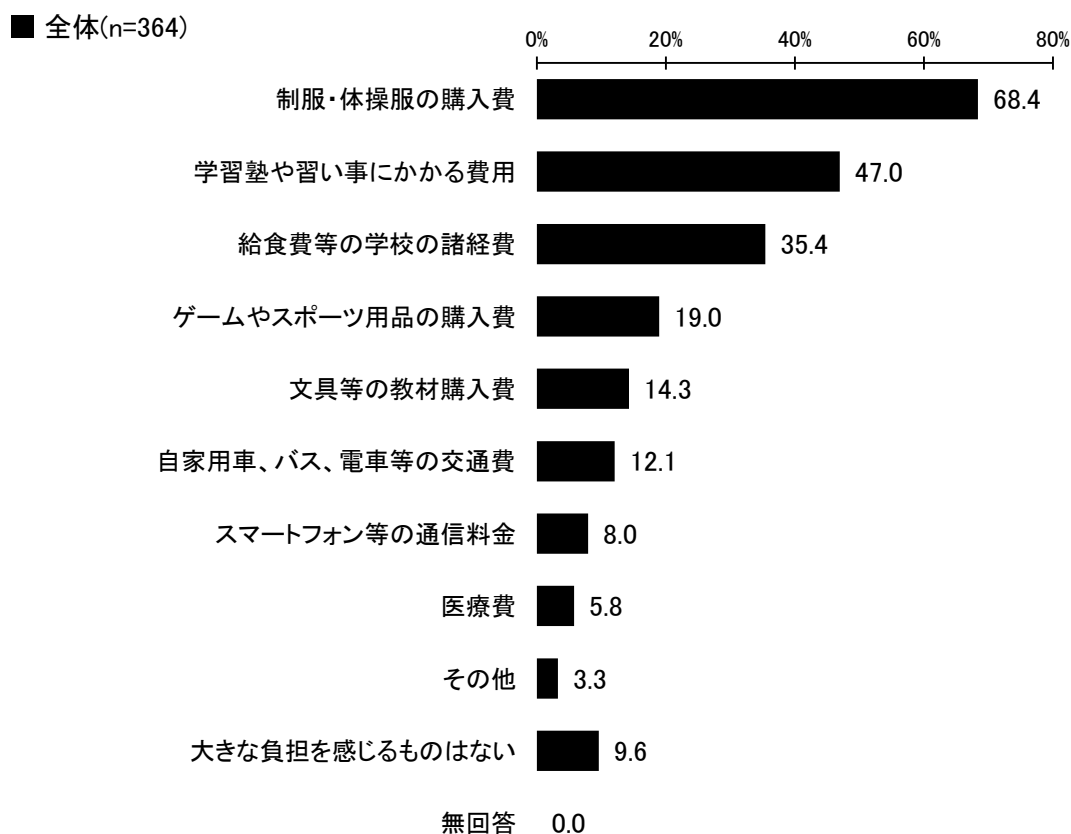
子どもの最終学歴としての進学希望については、全体では「大学」の割合が54.1%で最も高く、次いで「高校」(14.8%)、「わからない」(11.0%)などの順となっています。



(3) 子どもにかかる費用で負担に感じるもの

問14 お子さんにかかる費用のうち、経済的に負担が大きいと感じるものは何ですか。
【複数回答】

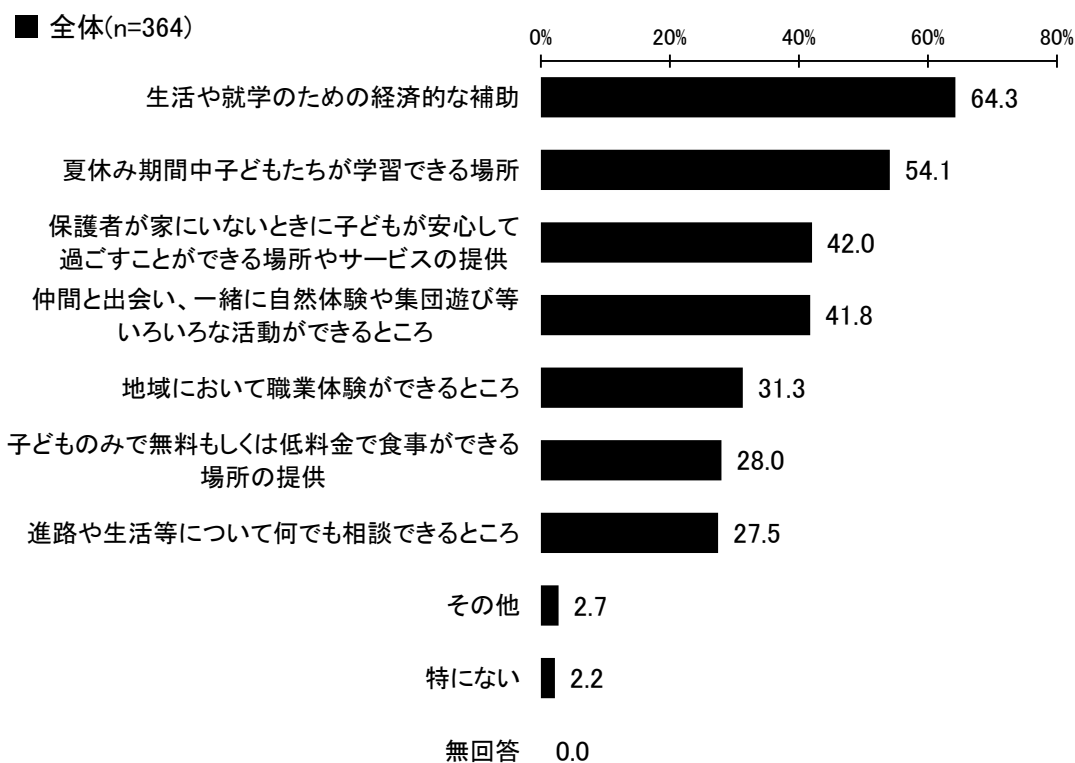
子どもにかかる費用で負担に感じるものについては、全体では「制服・体操服の購入費」の割合が68.4%で最も高く、次いで「学習塾や習い事にかかる費用」(47.0%)、「給食費等の学校の諸経費」(35.4%)などの順となっています。



(4) 子どものための支援の利用希望

問15 お子さんにとって、現在または将来的に、次のような支援があった場合、利用したいと思いますか。【複数回答】

子どものための支援の利用希望については、全体では「生活や就学のための経済的な補助」の割合が64.3%で最も高く、次いで「夏休み期間中子どもたちが学習できる場所」(54.1%)、「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごすことができる場所やサービスの提供」(42.0%)などの順となっています。



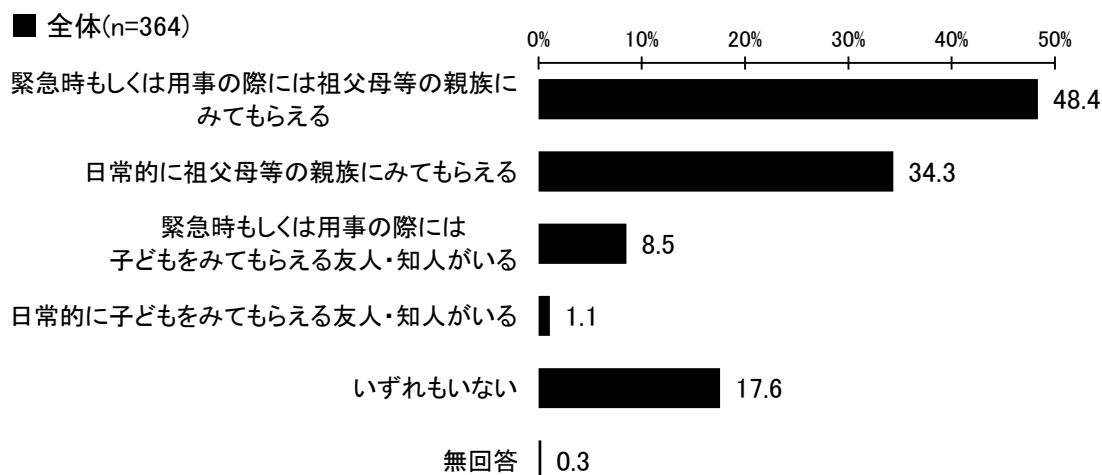
5. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人

問16 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】

子どもをみてもらえる親族・知人については、全体では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が48.4%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(34.3%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(8.5%)などの順となっています。

なお、「いずれもない」の割合は17.6%となっています。

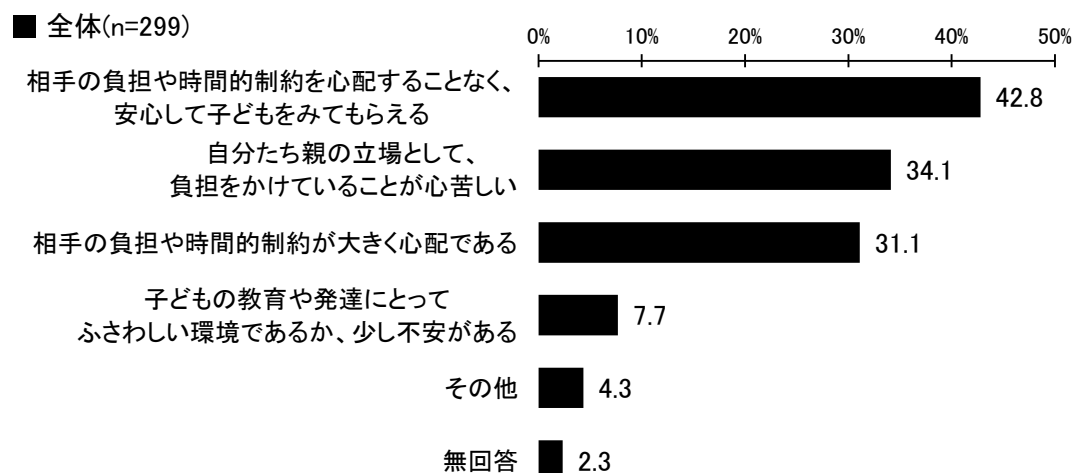


(2) 親族・知人に子どもをみてもらう状況

問16で「いずれもない」以外を選んだ方にうかがいます。

問16-1 親族や知人（お相手）にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】

親族・知人に子どもをみてもらう状況については、全体では「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が42.8%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(34.1%)、「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」(31.1%)などの順となっています。

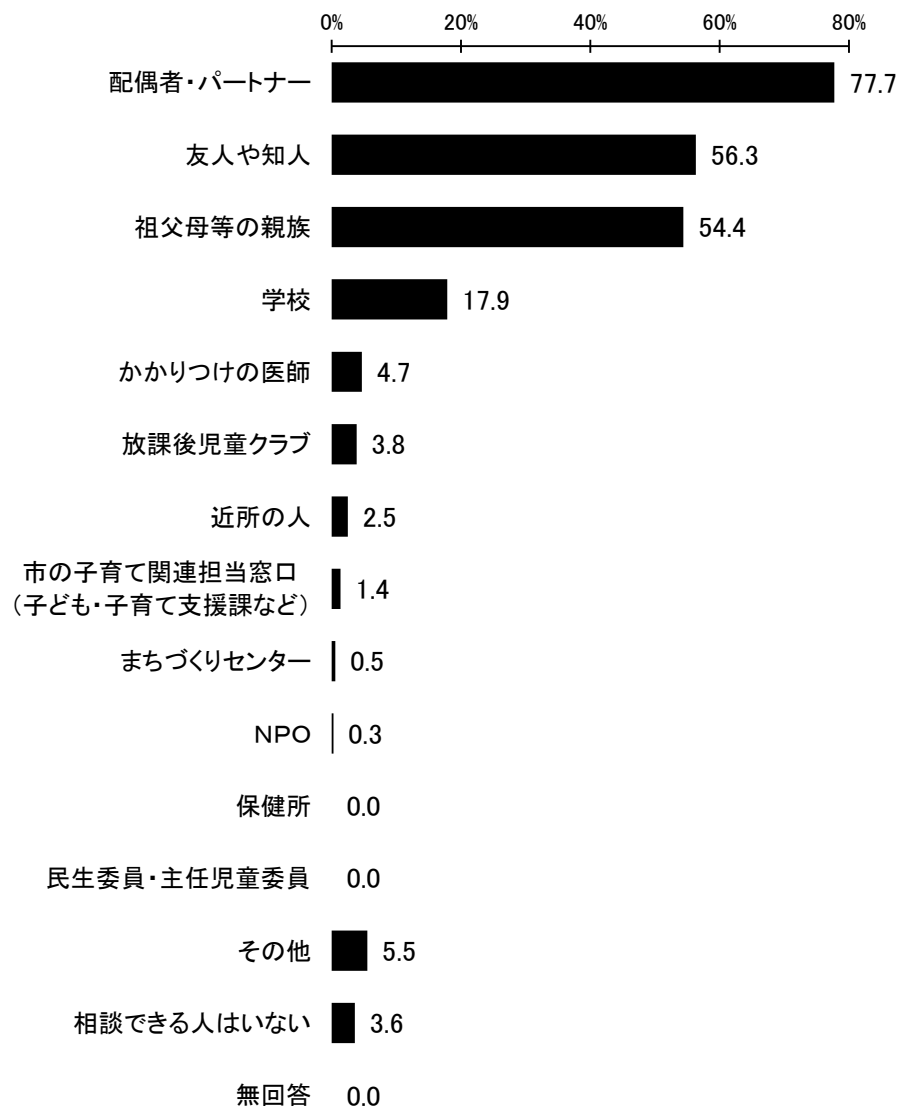


(3) 子育てに関する相談相手

問17 お子さんのことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。
【複数回答】

子育てに関する相談相手については、全体では「配偶者・パートナー」の割合が77.7%で最も高く、次いで「友人や知人」(56.3%)、「祖父母等の親族」(54.4%)などの順となっています。

■ 全体(n=364)

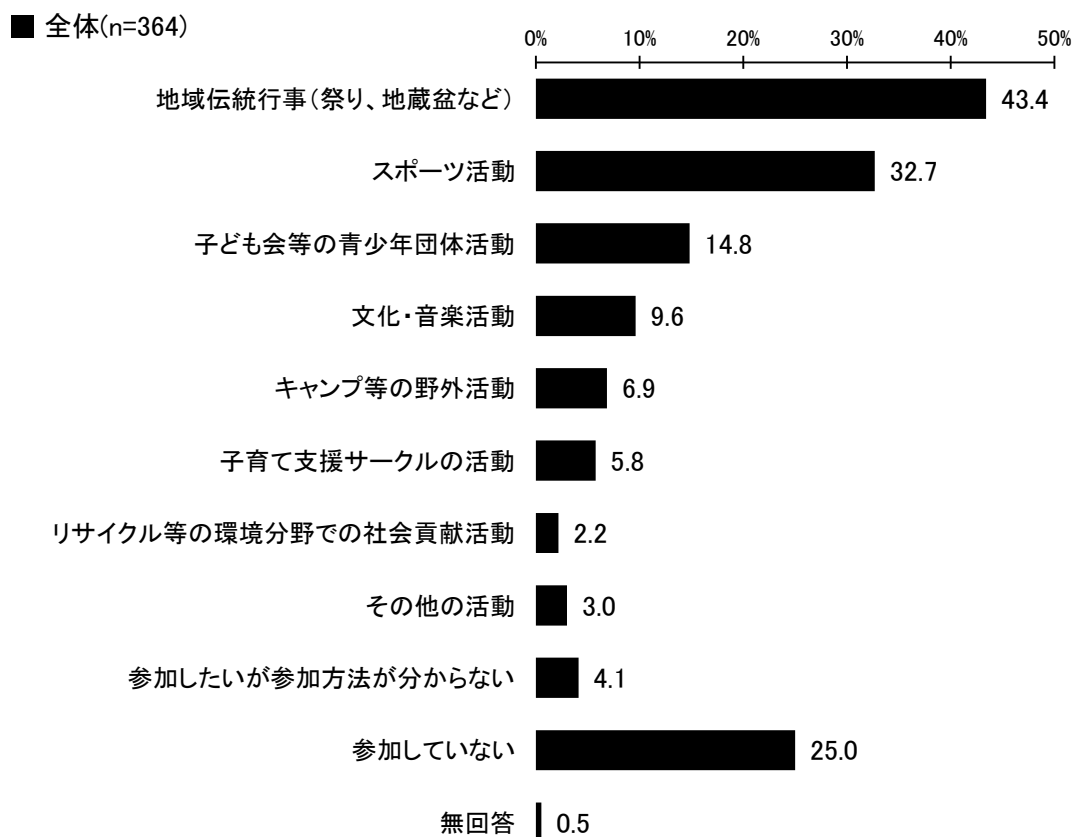


(4) 地域の催しへの参加状況

問18 お子さんは次のような地域での催しへ参加していますか。【複数回答】

地域の催しへの参加状況については、全体では「地域伝統行事（祭り、地蔵盆など）」の割合が43.4%で最も高く、次いで「スポーツ活動」（32.7%）、「子ども会等の青少年団体活動」（14.8%）などの順となっています。

なお、「参加していない」の割合は25.0%となっています。



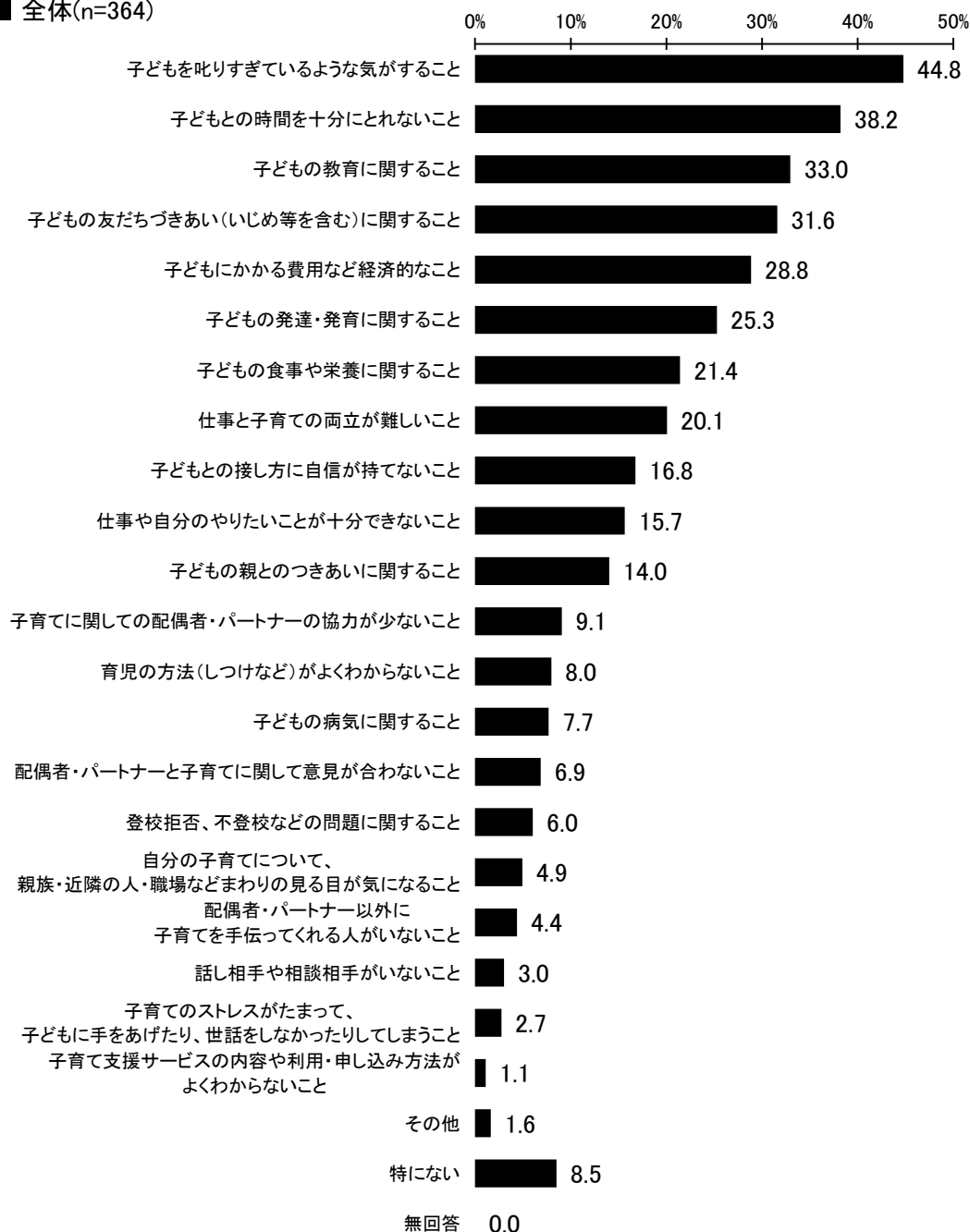
(5) 子育てに関して悩んでいること

問19 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
【複数回答】

子育てに関して悩んでいることについては、全体では「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が44.8%で最も高く、次いで「子どもとの時間を十分にとれないこと」(38.2%)、「子どもの教育に関すること」(33.0%)などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、9～11歳では「子どもとの時間を十分にとれないこと」の割合が38.4%で最も高くなっています。

■ 全体(n=364)



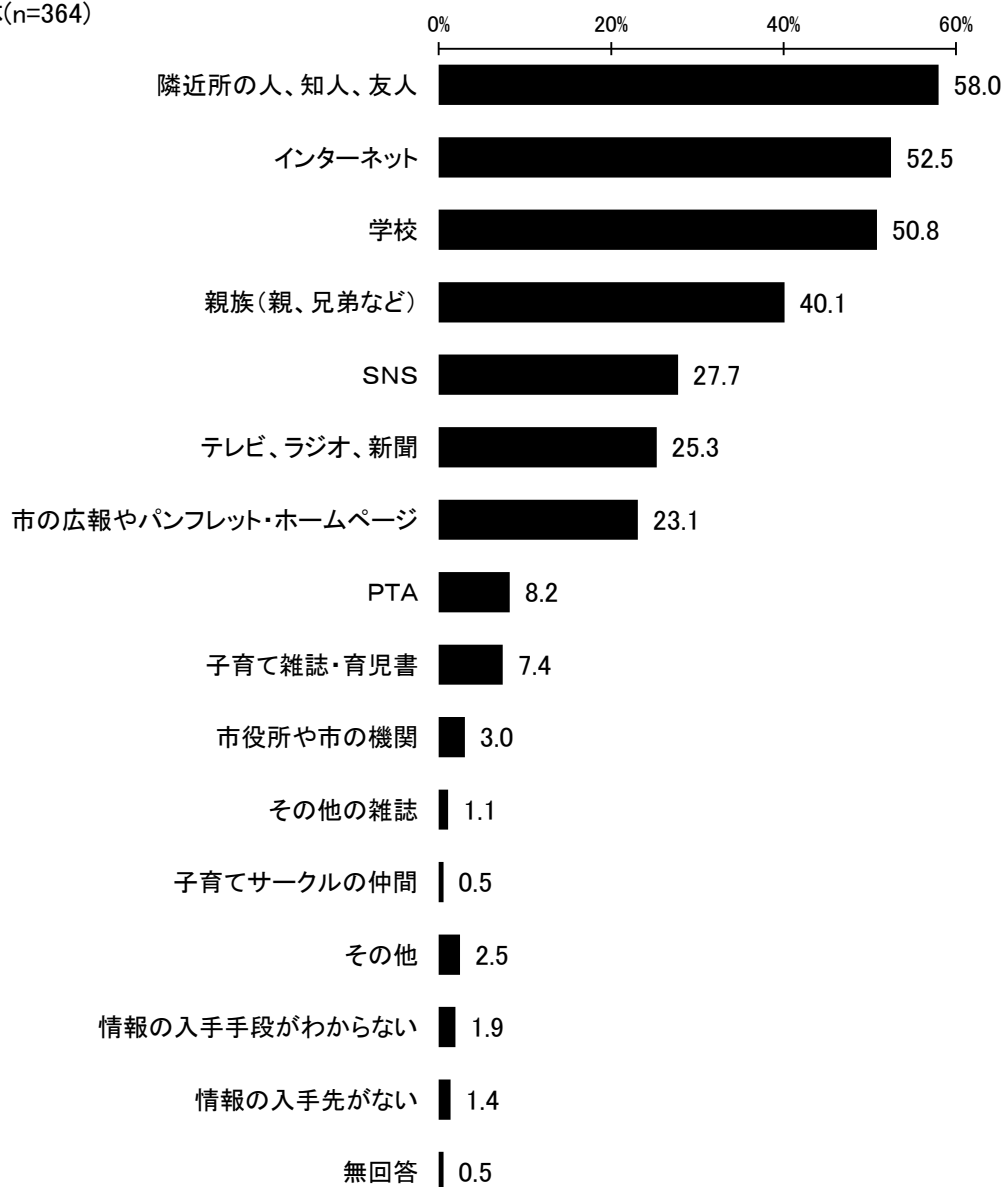
合計：n 項目：%		合計	子どもとの時間を十分にとれないこと	子どもとの接し方に自信が持てないこと	子どもを叱りすぎているような気がする	子どもの病気に関すること	子どもの発達・発育に関する	子どもの食事や栄養に関する	子どもの教育に関する	子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関する
全体		364	38.2	16.8	44.8	7.7	25.3	21.4	33.0	31.6
子どもの年齢別	6～8歳	172	38.4	18.6	53.5	8.1	27.3	22.1	29.7	31.4
	9～11歳	190	38.4	15.3	37.4	7.4	23.7	21.1	36.3	32.1
合計：n 項目：%		合計	子どもの親とのつきあいに	登校拒否、不登校などの問題に	子どもにかかる費用など経済的な	仕事と子育ての両立が	仕事や自分のやりたいことが十分にできない	子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ない	配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わない
全体		364	14.0	6.0	28.8	20.1	15.7	9.1	4.4	6.9
子どもの年齢別	6～8歳	172	14.5	4.1	23.3	21.5	15.7	10.5	5.8	5.2
	9～11歳	190	13.7	7.9	34.2	18.9	15.8	7.9	3.2	8.4
合計：n 項目：%		合計	子育てのストレスがたまっている、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまう	自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になる	話し相手や相談相手がい	育児の方法(しつけなど)がよくわからない	子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない	その他	特にな	無回答
全体		364	2.7	4.9	3.0	8.0	1.1	1.6	8.5	0.0
子どもの年齢別	6～8歳	172	3.5	8.7	2.3	10.5	1.2	2.3	8.1	0.0
	9～11歳	190	2.1	1.6	3.7	5.8	1.1	1.1	7.9	0.0

(6) 子育てに関する情報の入手方法

問20 日ごろ、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。【複数回答】

子育てに関する情報の入手方法については、全体では「隣近所の人、知人、友人」の割合が58.0%で最も高く、次いで「インターネット」(52.5%)、「学校」(50.8%)などの順となっています。

■ 全体(n=364)

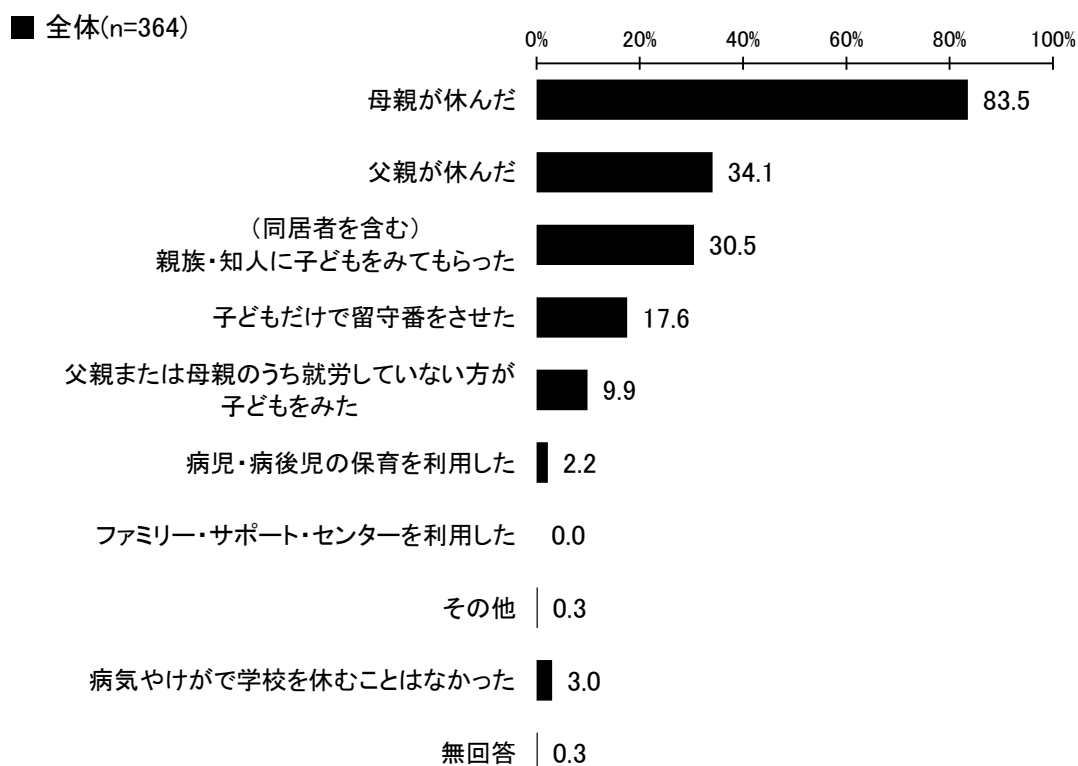


6. 子どもが病気の際の対応について

(1) この1年間で子どもが傷病の際の対処方法

問21 お子さんが病気やけがの際、この1年間に行った対処方法についてお答えください。
【複数回答】

この1年間で子どもが傷病の際の対処方法については、全体では「母親が休んだ」の割合が83.5%で最も高く、次いで「父親が休んだ」(34.1%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(30.5%)などの順となっています。

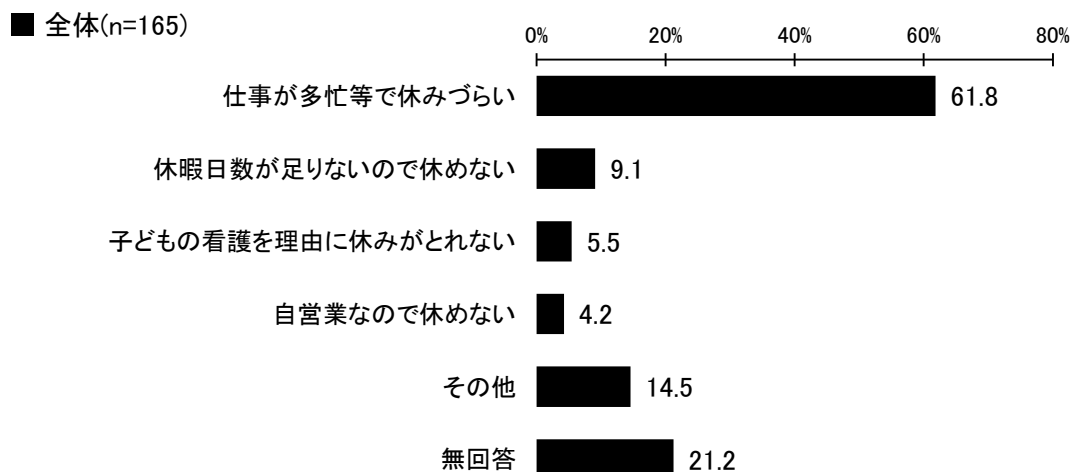


(2) 子どもが傷病の際に仕事を休めなかった理由

問21で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「病児・病後児の保育を利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「子どもだけで留守番をさせた」「その他」を選んだ方がいます。

問21-1 仕事を休めなかった理由は何ですか。【複数回答】

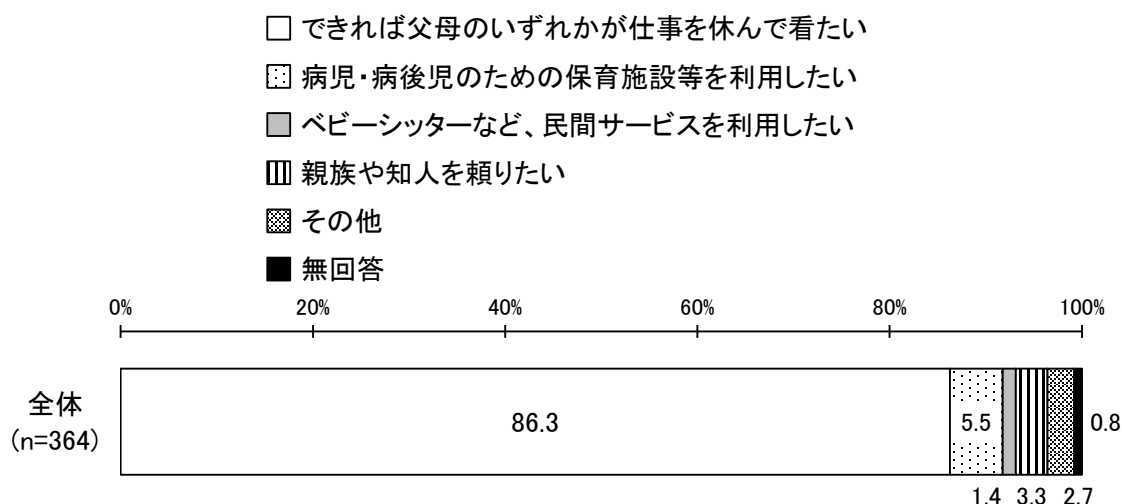
子どもが傷病の際に仕事を休めなかった理由については、全体では「仕事が多忙等で休みづらい」の割合が61.8%で最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(9.1%)、「子どもの看護を理由に休みがとれない」(5.5%)などの順となっています。
また、「その他」の割合は14.5%となっています。



(3) 子どもが傷病の際に希望する対応

問22 お子さんが病気やけがの際、どのように対応することを希望しますか。

子どもが傷病の際に希望する対応については、全体では「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」の割合が86.3%で最も高く、次いで「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」(5.5%)、「親族や知人を頼りたい」(3.3%)などの順となっています。



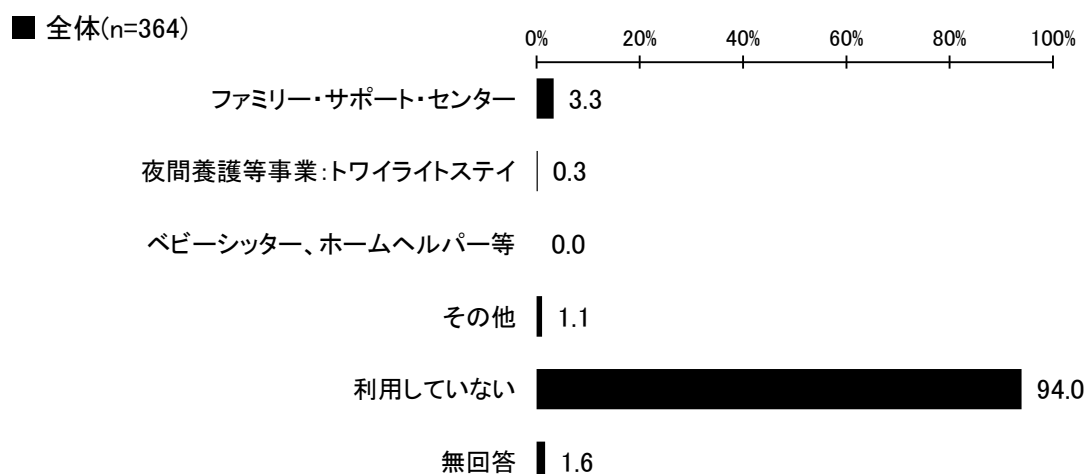
7. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用状況について

(1) 不特定の教育・保育事業の利用状況

問23 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。【複数回答】

不特定の教育・保育事業の利用状況については、全体では「利用していない」の割合が94.0%で最も高くなっています。利用している方の事業は、「ファミリー・サポート・センター」の割合が3.3%で最も高く、次いで「夜間養護等事業：トワイライトステイ」(0.3%)の順となっています。

また、「その他」の割合は1.1%となっています。

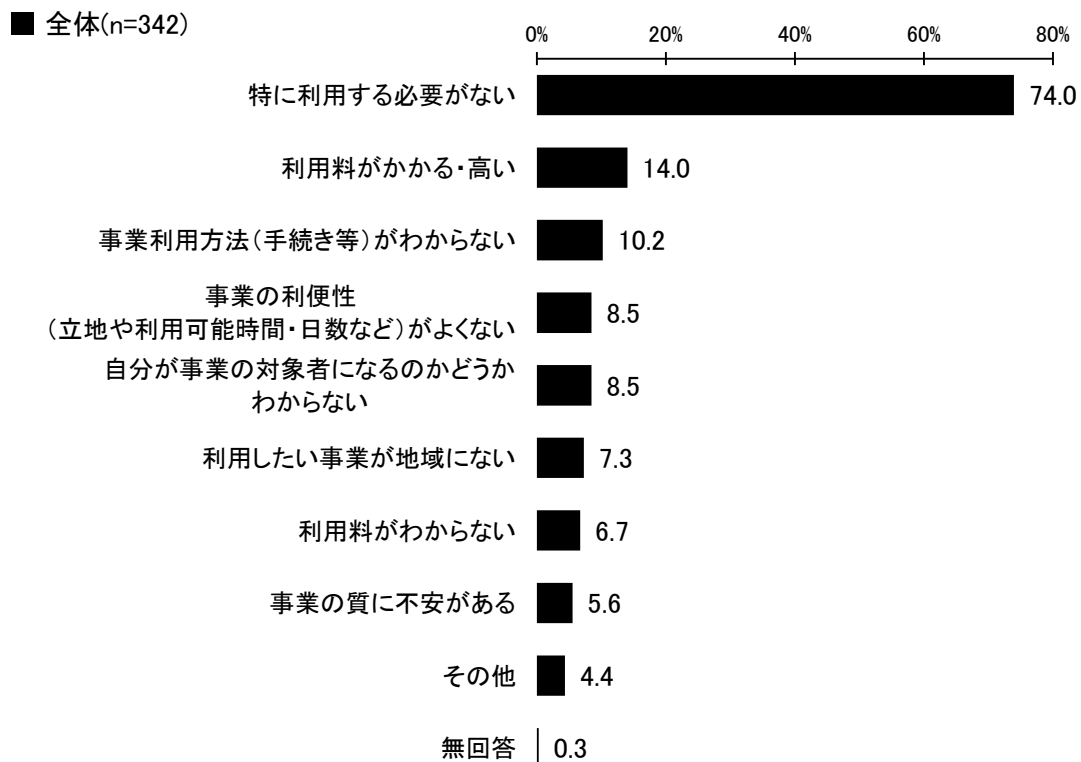


(2) 不定期的教育・保育事業の利用を希望しない理由

問23で「利用していない」を選んだ方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。【複数回答】

不定期的教育・保育事業の利用を希望しない理由については、全体では「特に利用する必要がない」の割合が74.0%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」(14.0%)、「事業利用方法(手続き等)がわからない」(10.2%)などの順となっています。

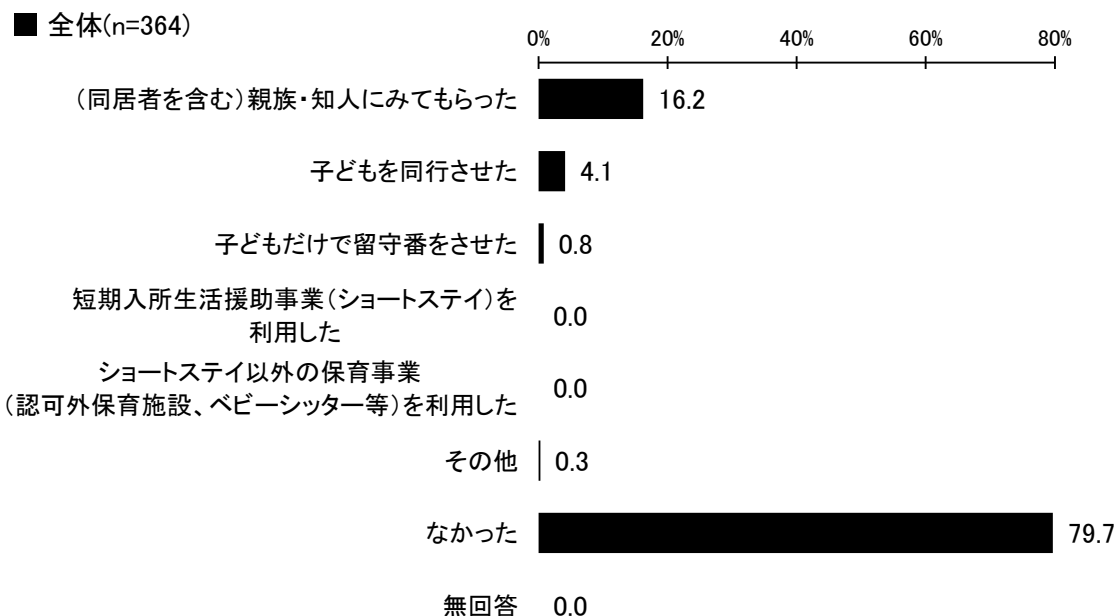


(3) この1年間で子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の対処方法

問24 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならなかったことはありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法をご回答ください。

【複数回答】

この1年間で子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の対処方法については、全体では「なかった」の割合が79.7%で最も高くなっています。預ける必要があった場合の対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が16.2%で最も高く、次いで「子どもを同行させた」(4.1%)などの順となっています。



8. 放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごす場所の利用状況・希望

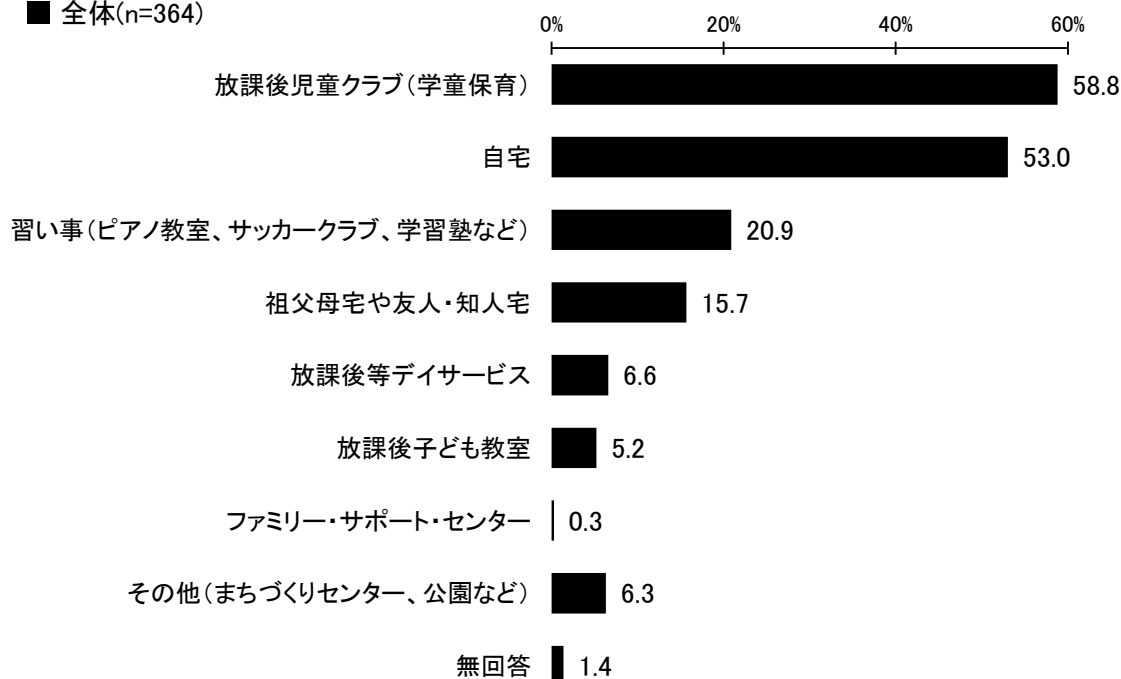
問25 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。または、過ごしていましたか。【複数回答】
※低学年は1～3年生、高学年は4～6年生とします。

①低学年

放課後に過ごす場所の利用状況・希望について低学年は、全体では「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が58.8%で最も高く、次いで「自宅」（53.0%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（20.9%）などの順となっています。

子どもの年齢別でみると、9～11歳では「自宅」の割合が59.5%で最も高くなっています。

■ 全体(n=364)



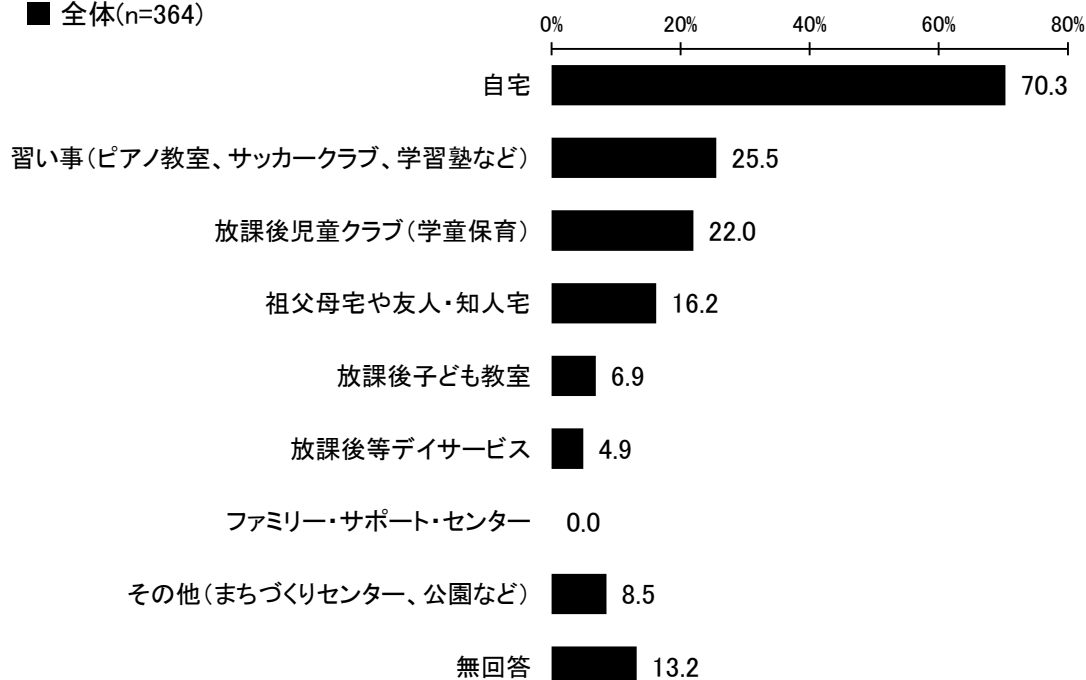
合計：n 項目：%		合計	自宅	祖父母宅や 友人・ 知人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	放課後 子ども教室	放課後児童 クラブ (学童保育)
全体		364	53.0	15.7	20.9	5.2	58.8
子どもの年齢別	6～8歳	172	45.3	14.0	22.1	6.4	64.5
	9～11歳	190	59.5	17.4	19.5	4.2	54.2

合計：n 項目：%		合計	ファミ リー・ サポート・ センター	放課後等デ イサービス	その他(ま ちづくり センター、 公園など)	無回答
全体		364	0.3	6.6	6.3	1.4
子どもの年齢別	6～8歳	172	0.6	8.7	4.1	0.0
	9～11歳	190	0.0	4.2	8.4	2.6

②高学年

放課後に過ごす場所の利用状況・希望について高学年は、全体では「自宅」の割合が70.3%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（25.5%）、「放課後児童クラブ（学童保育）」（22.0%）などの順となっています。

■ 全体(n=364)



合計 : n 項目 : %		合計	自宅	祖父母宅や 友人・ 知人宅	習い事(ピ アノ教室、 サッカーク ラブ、学習 塾など)	放課後 子ども教室	放課後児童 クラブ (学童保育)
全体		364	70.3	16.2	25.5	6.9	22.0
子どもの年齢別	6～8歳	172	57.0	12.8	22.1	8.1	20.9
	9～11歳	190	82.1	19.5	28.4	5.8	23.2

合計 : n 項目 : %		合計	ファミ リー・ サポート・ センター	放課後等デ イサービス	その他(ま ちづくりセ ンター、公 園など)	無回答
全体		364	0.0	4.9	8.5	13.2
子どもの年齢別	6～8歳	172	0.0	4.7	8.1	26.2
	9～11歳	190	0.0	4.7	8.9	1.6

(2) 休業日での放課後児童クラブの利用状況・希望

問25①②でそれぞれ「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んだ方にうかがいます。

問25-1 お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。または、過ごしていましたか。【複数回答】

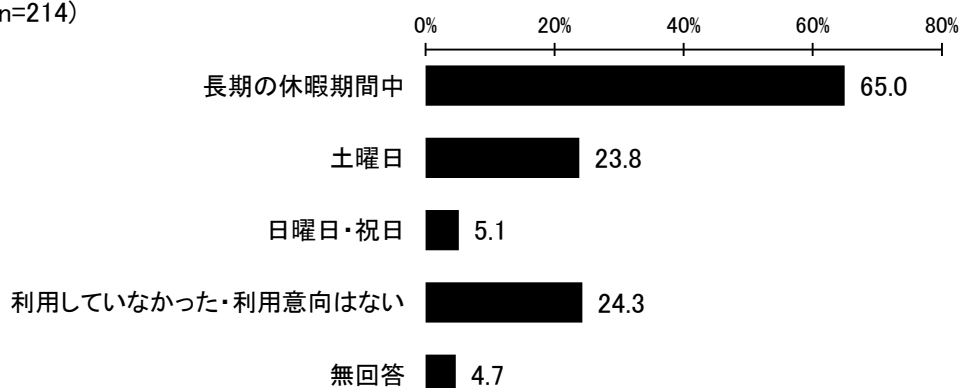
※低学年は1～3年生、高学年は4～6年生とします。

①低学年

休業日での放課後児童クラブの利用状況・希望について低学年は、全体では「長期の休暇期間中」の割合が65.0%で最も高く、次いで「土曜日」(23.8%)、「日曜日・祝日」(5.1%)の順となっています。

なお、「利用していなかった・利用意向はない」の割合は24.3%となっています。

■ 全体(n=214)

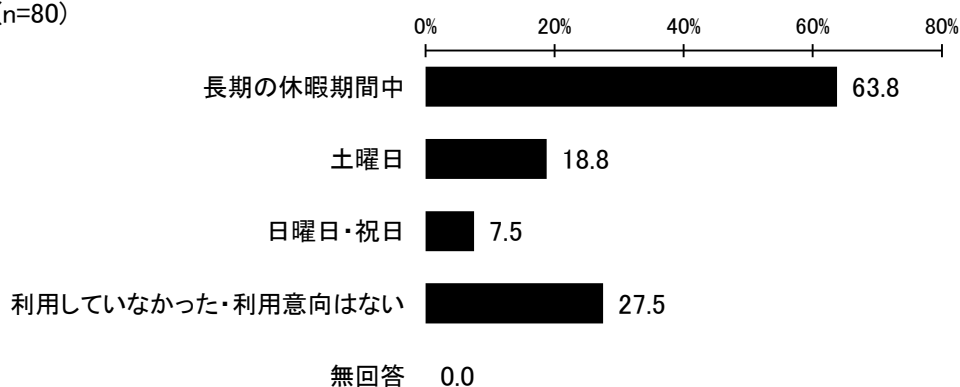


②高学年

休業日での放課後児童クラブの利用状況・希望について高学年は、全体では「長期の休暇期間中」の割合が63.8%で最も高く、次いで「土曜日」(18.8%)、「日曜日・祝日」(7.5%)の順となっています。

なお、「利用していなかった・利用意向はない」の割合は27.5%となっています。

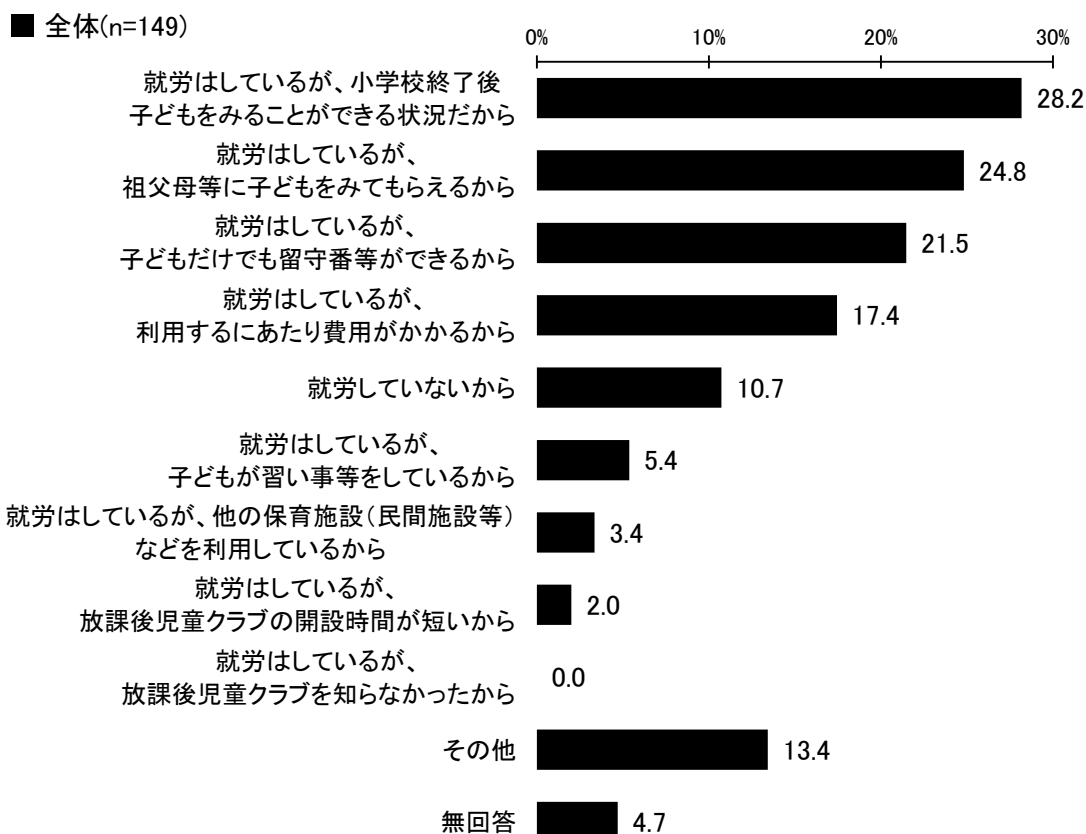
■ 全体(n=80)



(3) 放課後児童クラブを利用していない理由

問25①②でいずれも「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んでいない方にうかがいます。
問25-2 放課後児童クラブを利用していない（希望していない）理由は何ですか。
【複数回答】

放課後児童クラブを利用していない理由については、全体では（子どもの子育てを主にしている者が）「就労はしているが、小学校終了後子どもをみることができる状況だから」の割合が28.2%で最も高く、次いで「就労はしているが、祖父母等に子どもをみてもらえるから」（24.8%）、「就労はしているが、子どもだけでも留守番等ができるから」（21.5%）などの順となっています。



合計：n 項目：%		合計	就労はしていないから	就労はしているが、小学校終了後子どもをみることができる状況だから	就労はしているが、祖父母等に子どもをみてもらえるから	就労はしているが、子どもが習い事等をしているから	就労はしているが、子どもだけでも留守番等ができるから	就労はしているが、利用するにあたり費用がかかるから
全体		149	10.7	28.2	24.8	5.4	21.5	17.4
子どもの年齢別	6～8歳	60	8.3	33.3	21.7	8.3	18.3	16.7
	9～11歳	87	12.6	25.3	26.4	3.4	24.1	18.4

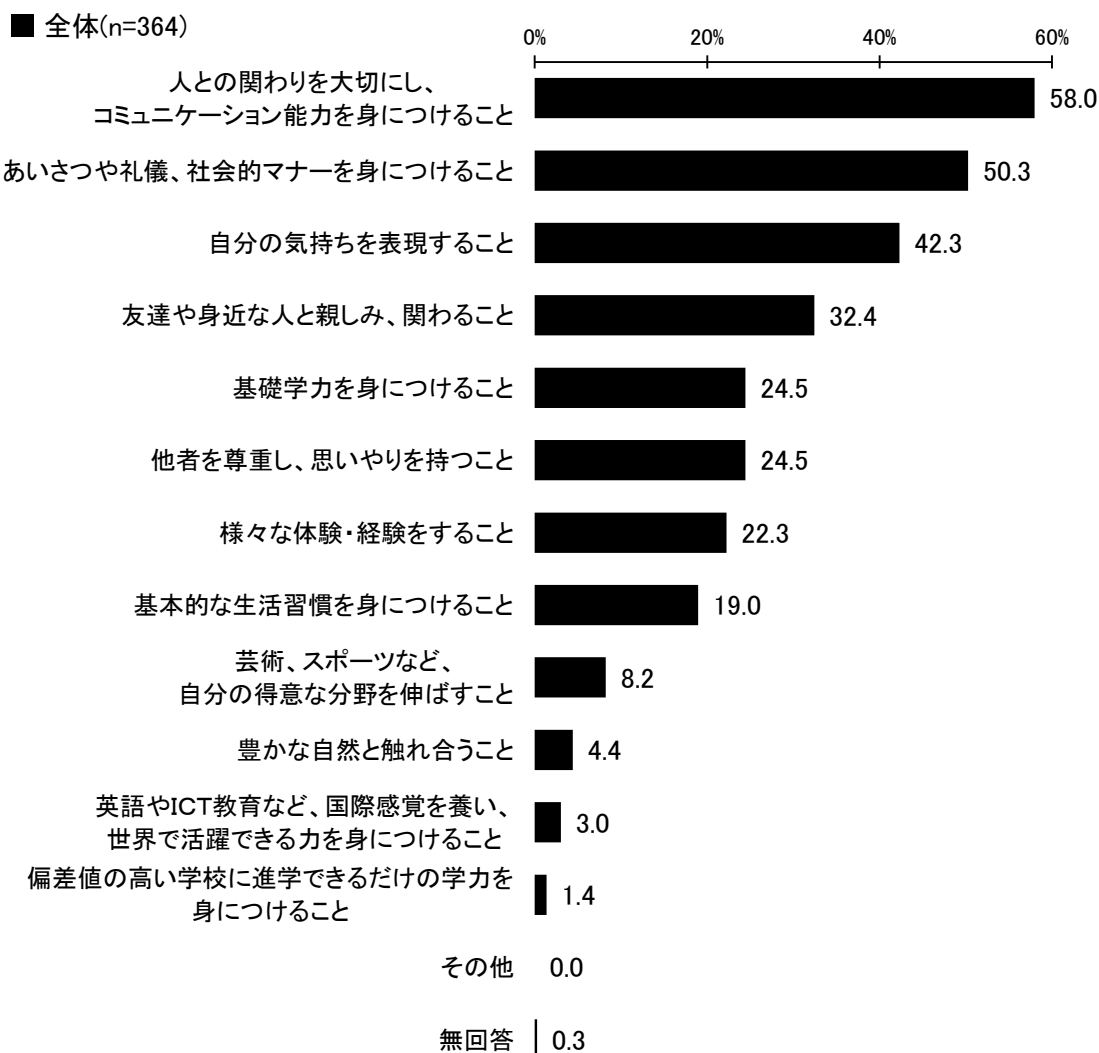
合計：n 項目：%		合計	就労はしているが、放課後児童クラブの開設時間が短いから	就労はしているが、放課後児童クラブを知らなかったから	就労はしているが、他の保育施設（民間施設等）などを利用しているから	その他	無回答
全体		149	2.0	0.0	3.4	13.4	4.7
子どもの年齢別	6～8歳	60	0.0	0.0	5.0	16.7	3.3
	9～11歳	87	3.4	0.0	2.3	11.5	4.6

9. 子どもの教育や地域での子育てについて

(1) 子どもに身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うこと

問26 次のうち、子どもに特に身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことは何ですか。【複数回答】

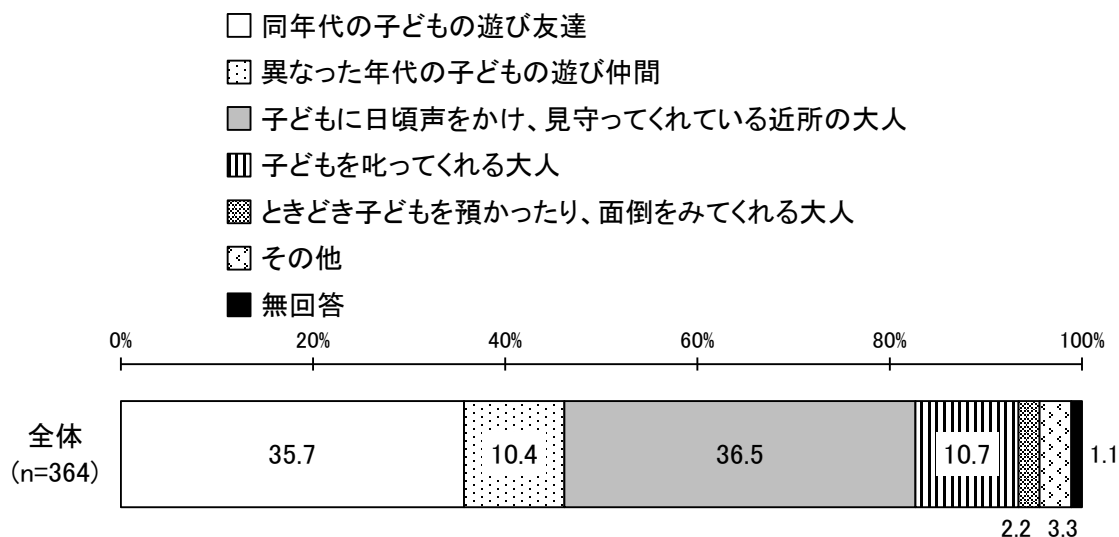
子どもに身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことについては、全体では「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」の割合が58.0%で最も高く、次いで「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」(50.3%)、「自分の気持ちを表現すること」(42.3%)などの順となっています。



(2) 子どもの健やかな育ちや子育てのために地域に求めるもの

問27 お子さんの健やかな育ちや子育てのために地域に求めるものは何ですか。

子どもの健やかな育ちや子育てのために地域に求めるものについては、全体では「子どもに日頃声をかけ、見守ってくれている近所の大人」の割合が36.5%で最も高く、次いで「同年代の子どもの遊び友達」(35.7%)、「子どもを叱ってくれる大人」(10.7%)などの順となっています。

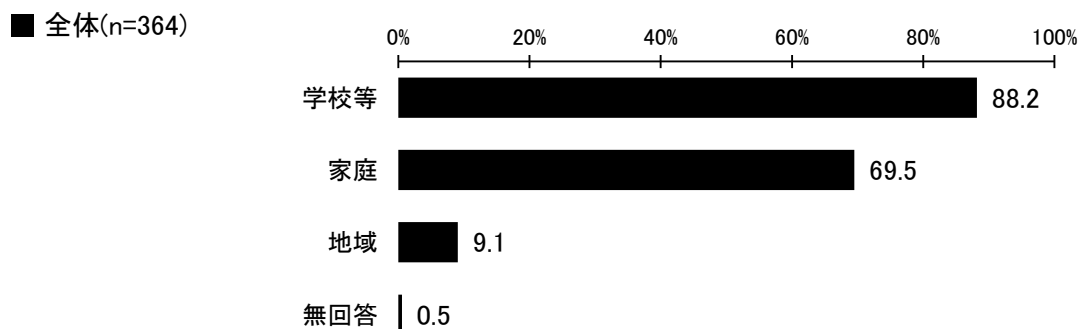


(3) 子どもに育む役目を担う場所

問28 基本的な学力や社会的ルール、マナー等をお子さんたちに育んでいく役目を担うのは誰だと思いますか。家庭、学校等（幼稚園や保育所（園）等）、地域のいずれかお選びください。【複数回答】

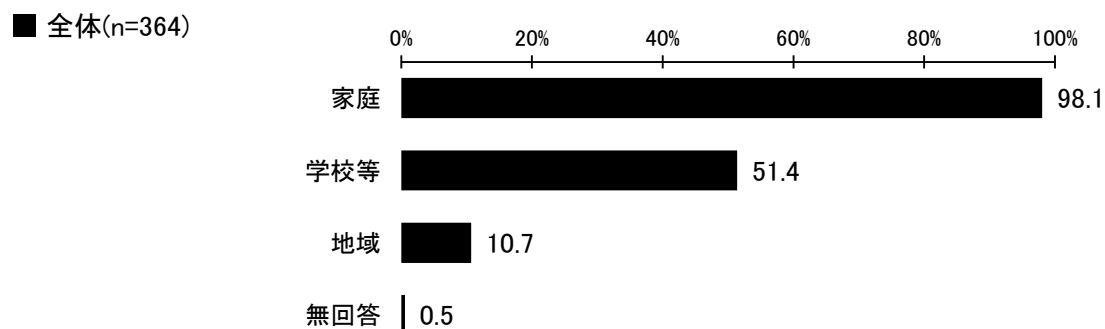
①基本的な学力

子どもに育む役目を担う場所について基本的な学力は、全体では「学校等」の割合が88.2%で最も高く、次いで「家庭」(69.5%)、「地域」(9.1%)の順となっています。



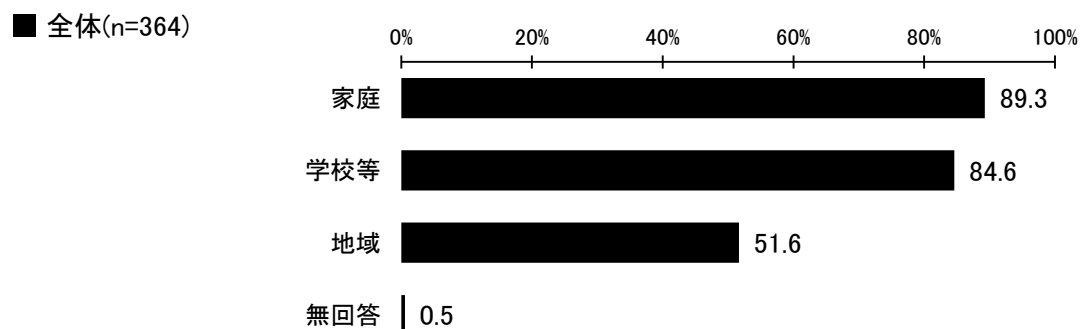
②基本的な生活習慣

子どもに育む役目を担う場所について基本的な生活習慣は、全体では「家庭」の割合が98.1%で最も高く、次いで「学校等」(51.4%)、「地域」(10.7%)の順となっています。



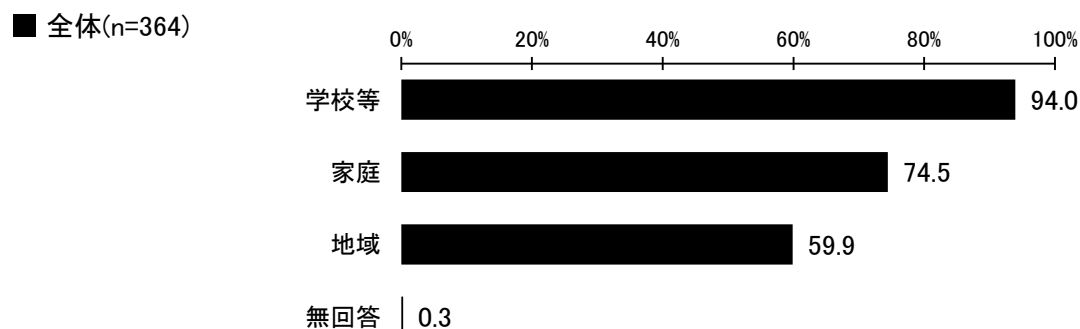
③社会的ルールや礼儀作法

子どもに育む役目を担う場所について社会的ルールや礼儀作法は、全体では「家庭」の割合が89.3%で最も高く、次いで「学校等」(84.6%)、「地域」(51.6%)の順となっています。



④コミュニケーション能力

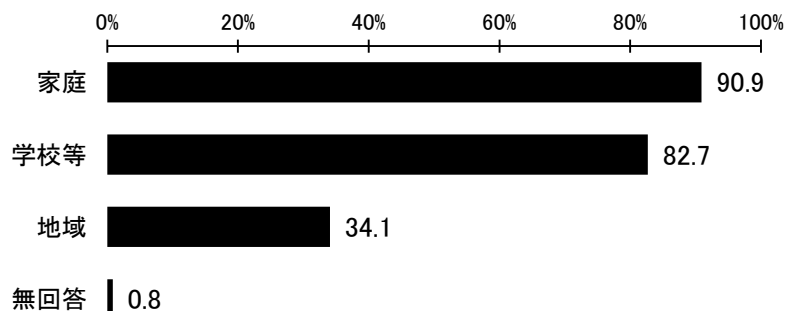
子どもに育む役目を担う場所についてコミュニケーション能力は、全体では「学校等」の割合が94.0%で最も高く、次いで「家庭」(74.5%)、「地域」(59.9%)の順となっています。



⑤自己肯定感

子どもに育む役目を担う場所について自己肯定感は、全体では「家庭」の割合が90.9%で最も高く、次いで「学校等」(82.7%)、「地域」(34.1%)の順となっています。

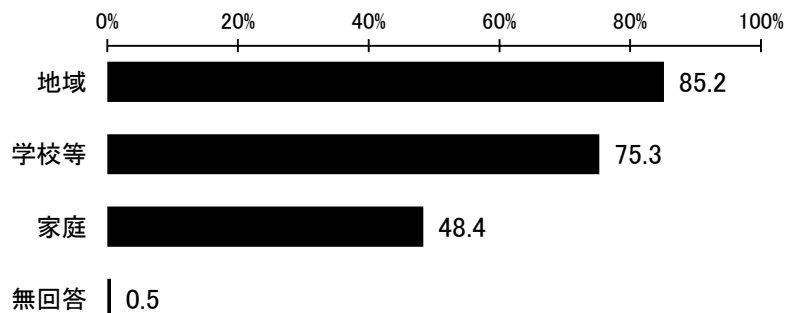
■ 全体(n=364)



⑥伝統や文化の伝承

子どもに育む役目を担う場所について伝統や文化の伝承は、全体では「地域」の割合が85.2%で最も高く、次いで「学校等」(75.3%)、「家庭」(48.4%)の順となっています。

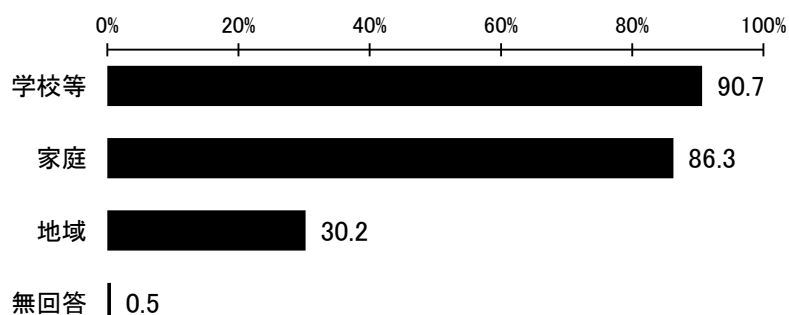
■ 全体(n=364)



⑦健康管理や体力づくり

子どもに育む役目を担う場所について健康管理や体力づくりは、全体では「学校等」の割合が90.7%で最も高く、次いで「家庭」(86.3%)、「地域」(30.2%)の順となっています。

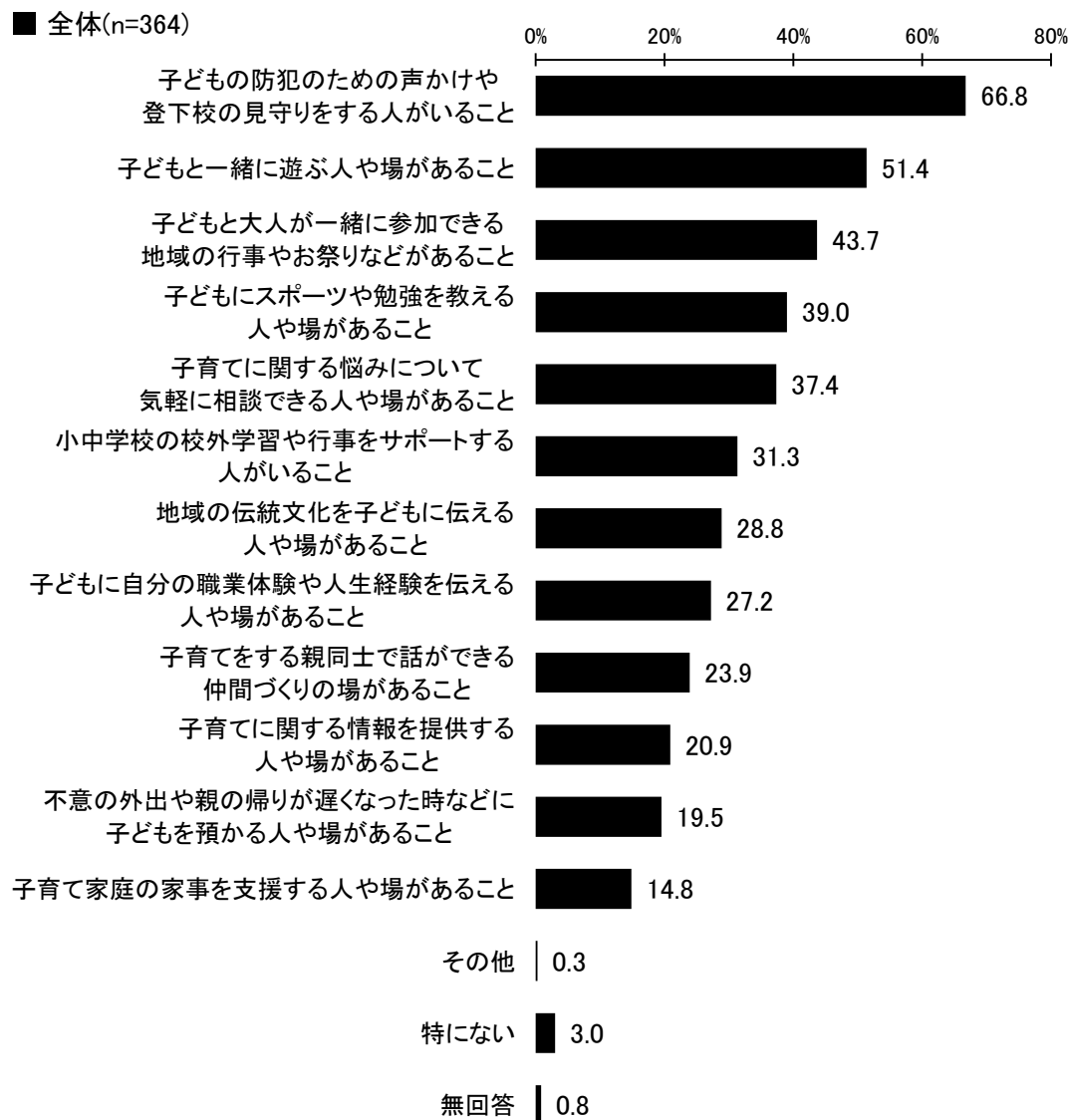
■ 全体(n=364)



(4) 地域で子育てを支えるために必要なこと

問29 地域で子育てを支えるために、どんなことが必要だと思いますか。【複数回答】

地域で子育てを支えるために必要なことについては、全体では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」の割合が66.8%で最も高く、次いで「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」(51.4%)、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」(43.7%)などの順となっています。

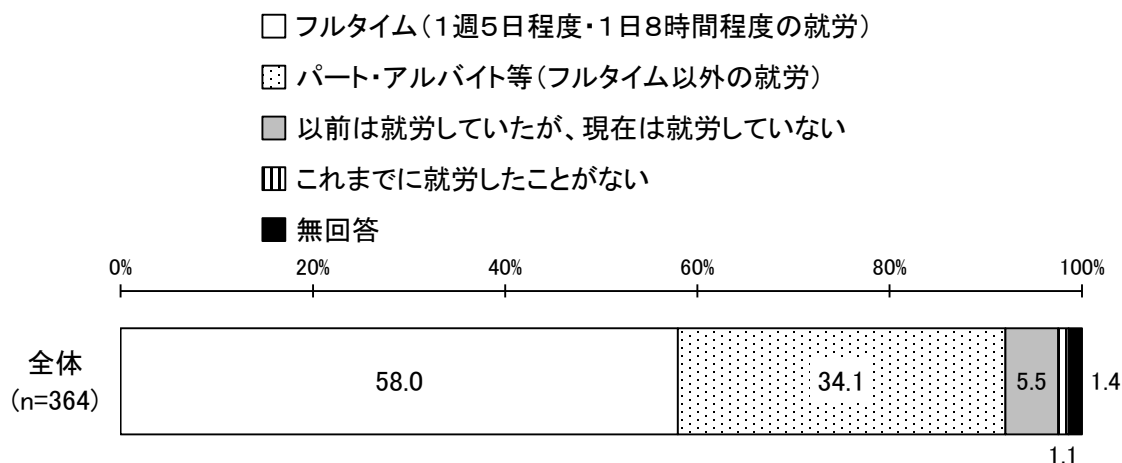


10. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労形態

問30 就労形態についてお答えください。

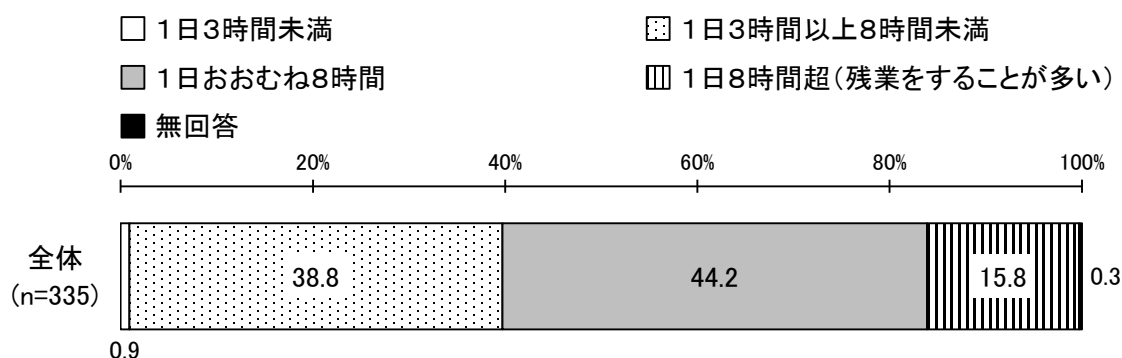
母親の就労形態については、全体では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が58.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」（34.1%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（5.5%）などの順となっています。



(2) 母親の就労時間

問30で「フルタイム」「パート・アルバイト等」を選んだ方にうかがいます。
 問30-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。

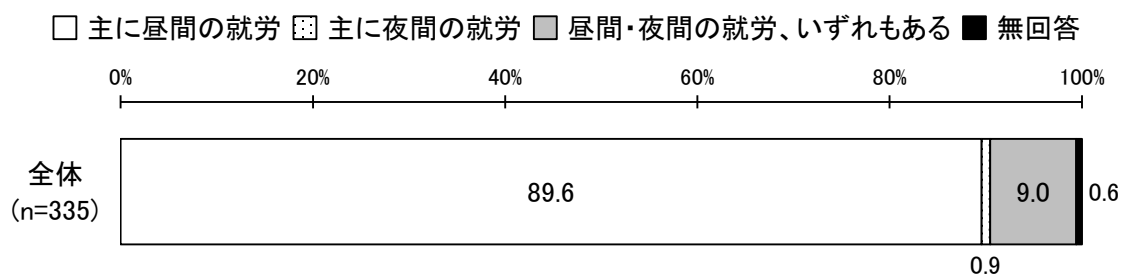
母親の就労時間については、全体では「1日おおむね8時間」の割合が44.2%で最も高く、次いで「1日3時間以上8時間未満」（38.8%）、「1日8時間超（残業をすることが多い）」（15.8%）などの順となっています。



(3) 母親の就労時間帯

問30で「フルタイム」「パート・アルバイト等」を選んだ方にうかがいます。
問30-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。

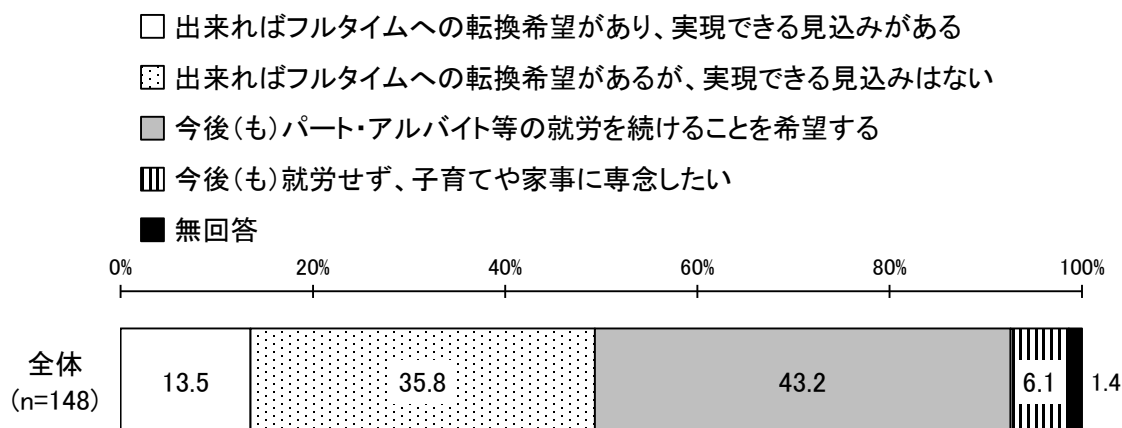
母親の就労時間帯については、全体では「主に昼間の就労」の割合が89.6%で最も高く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」(9.0%)、「主に夜間の就労」(0.9%)の順となっています。



(4) 母親のフルタイム就労への転換希望

問30で「フルタイム」以外を選んだ方にうかがいます。
問30-3 今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。

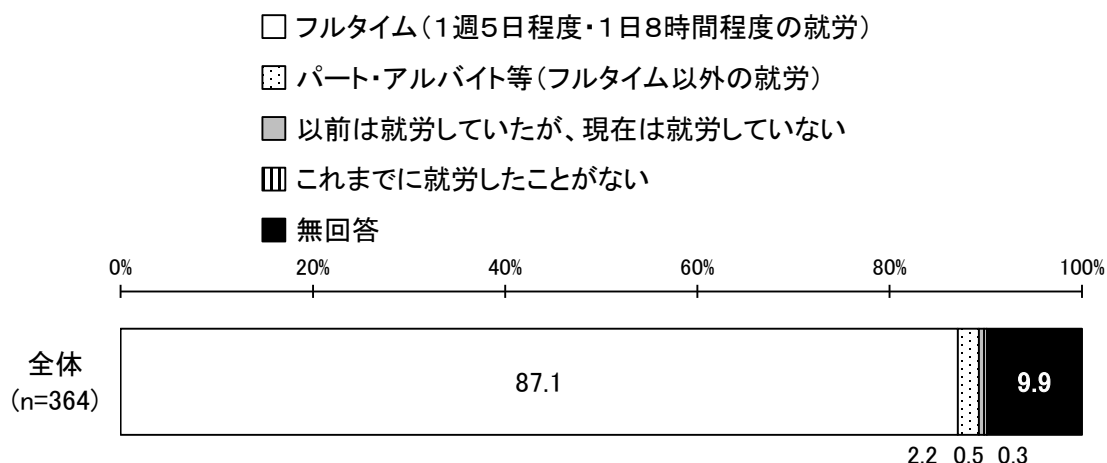
母親のフルタイム就労への転換希望については、全体では「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が43.2%で最も高く、次いで「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」(35.8%)、「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(13.5%)などの順となっています。



(5) 父親の就労形態

問31 就労形態についてお答えください。

父親の就労形態については、全体では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が87.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」（2.2%）、「以前は就労していたが、現在は就労していない」（0.5%）などの順となっています。

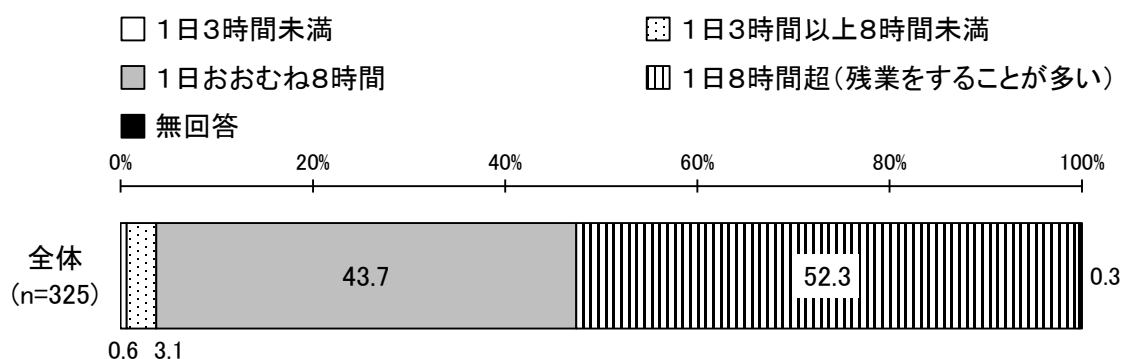


(6) 父親の就労時間

問31で「フルタイム」「パート・アルバイト等」を選んだ方にうかがいます。

問31-1 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。

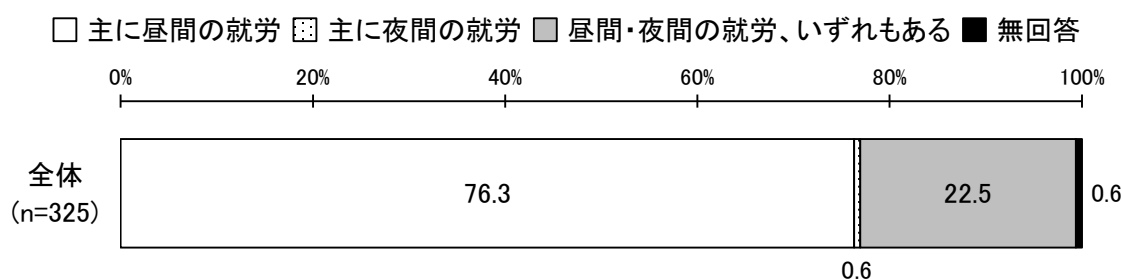
父親の就労時間については、全体では「1日8時間超（残業をすることが多い）」の割合が52.3%で最も高く、次いで「1日おおむね8時間」（43.7%）、「1日3時間以上8時間未満」（3.1%）などの順となっています。



(7) 父親の就労時間帯

問31で「フルタイム」「パート・アルバイト等」を選んだ方にうかがいます。
問31-2 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。

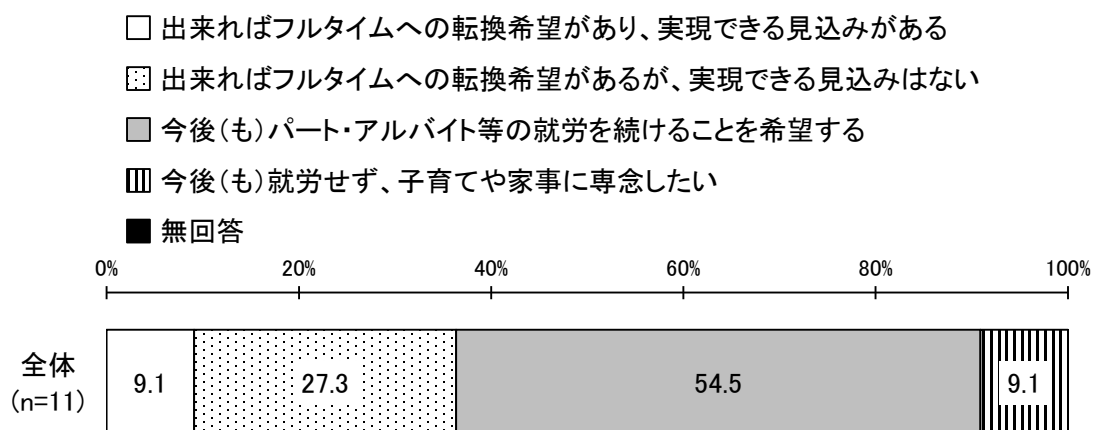
父親の就労時間帯については、全体では「主に昼間の就労」の割合が76.3%で最も高く、次いで「昼間・夜間の就労、いずれもある」(22.5%)、「主に夜間の就労」(0.6%)の順となっています。



(8) 父親のフルタイム就労への転換希望

問31で「フルタイム」以外を選んだ方にうかがいます。
問31-3 今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。

父親のフルタイム就労への転換希望については、全体では「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が54.5%で最も高く、次いで「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」(27.3%)、「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい」(同率9.1%)の順となっています。

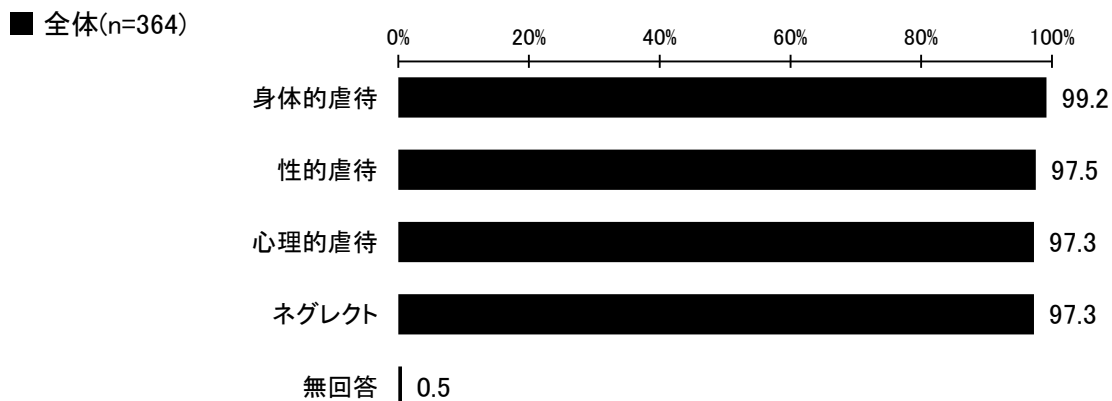


11. 児童虐待に関することについて

(1) 児童虐待の4種類の中で知っているもの

問32 児童虐待の4種類の中で知っているものはどれですか。【複数回答】

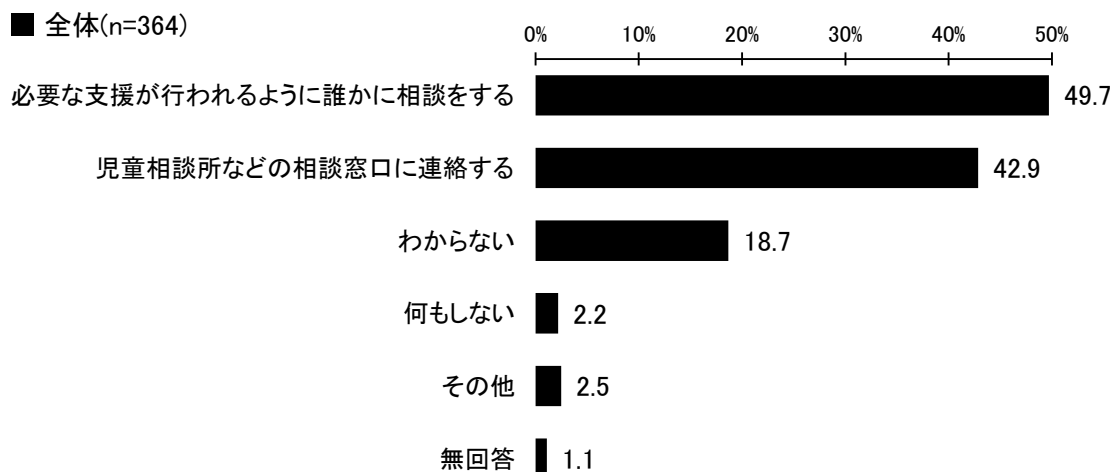
児童虐待の4種類の中で知っているものについては、全体では「身体的虐待」の割合が99.2%で最も高く、次いで「性的虐待」(97.5%)、「心理的虐待」「ネグレクト」(同率97.3%)の順となっています。



(2) 児童虐待が疑われる子どもを見聞きした場合の対応

問33 児童虐待を受けているのではないかと心配なお子さんを見聞きした場合、どのような対応をしますか。【複数回答】

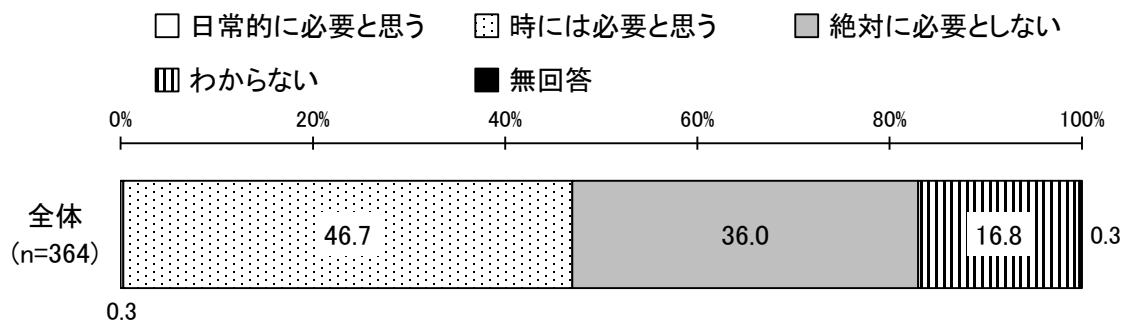
児童虐待が疑われる子どもを見聞きした場合の対応については、全体では「必要な支援が行われるように誰かに相談をする」の割合が49.7%で最も高く、次いで「児童相談所などの相談窓口連絡する」(42.9%)、「わからない」(18.7%)などの順となっています。



(3) 子どもをしつけとしてたたいたりすることへの考え

問34 お子さんをしつけとしてたたいたりすることをどう思われますか。

子どもをしつけとしてたたいたりすることへの考えについては、全体では「時には必要と思う」の割合が46.7%で最も高く、次いで「絶対に必要としない」(36.0%)、「わからない」(16.8%)などの順となっています。

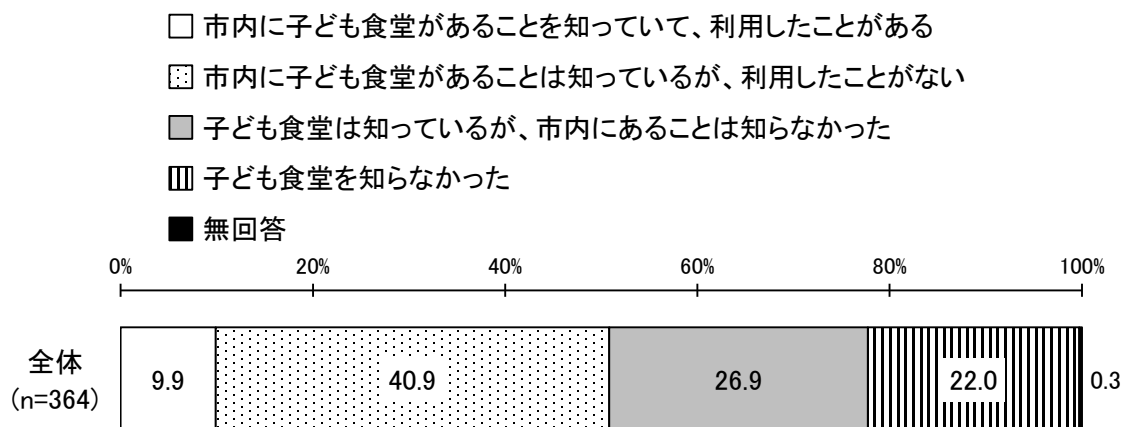


12. 子ども食堂について

(1) 浜田市の子ども食堂の認知・利用状況

問35 浜田市には子ども食堂が9か所開設されていますが、ご存知でしたか。また、利用されたことはありますか。

浜田市の子ども食堂の認知・利用状況については、全体では「市内に子ども食堂があることは知っているが、利用したことがない」の割合が40.9%で最も高く、次いで「子ども食堂は知っているが、市内にあることは知らなかった」(26.9%)、「子ども食堂を知らなかった」(22.0%)などの順となっています。

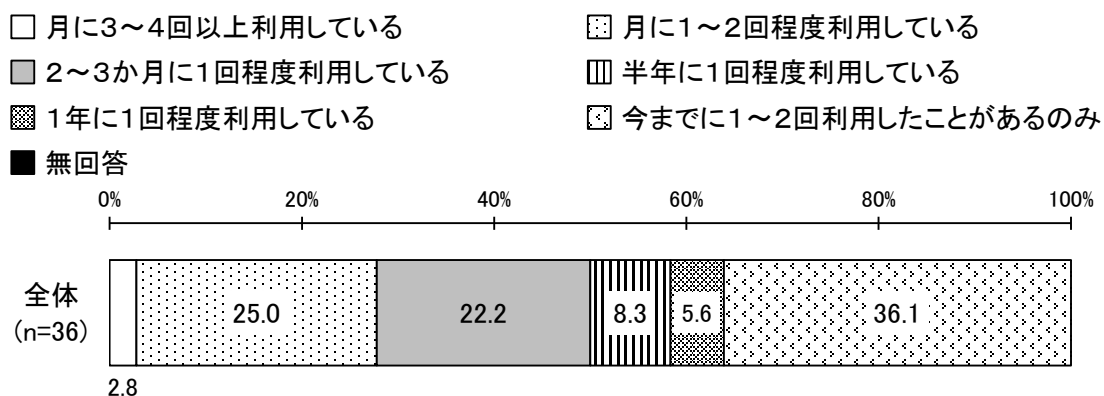


(2) 現在の子ども食堂の利用状況

問35で「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」を選んだ方にうかがいます。

問35－1 子ども食堂の現在の利用状況をお答えください。

現在の子ども食堂の利用状況については、全体では「今までに1～2回利用したことがあるのみ」の割合が36.1%で最も高く、次いで「月に1～2回程度利用している」(25.0%)、「2～3か月に1回程度利用している」(22.2%)などの順となっています。

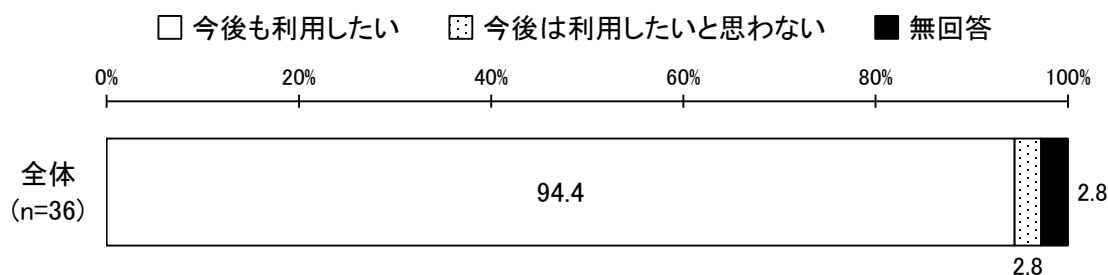


(3) 今後の子ども食堂の利用希望

問35で「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」を選んだ方にうかがいます。

問35－2 今後も子ども食堂を利用したいと思われませんか。

今後の子ども食堂の利用希望については、全体では「今後も利用したい」の割合が94.4%で、「今後は利用したいと思わない」(2.8%)を上回っています。



(4) 今後は子ども食堂を利用したいと思わない理由

問35－2で「今後は利用したいと思わない」を選んだ方にうかがいます。

問35－3 今後は子ども食堂を利用したいと思わない理由は何ですか。【記述】

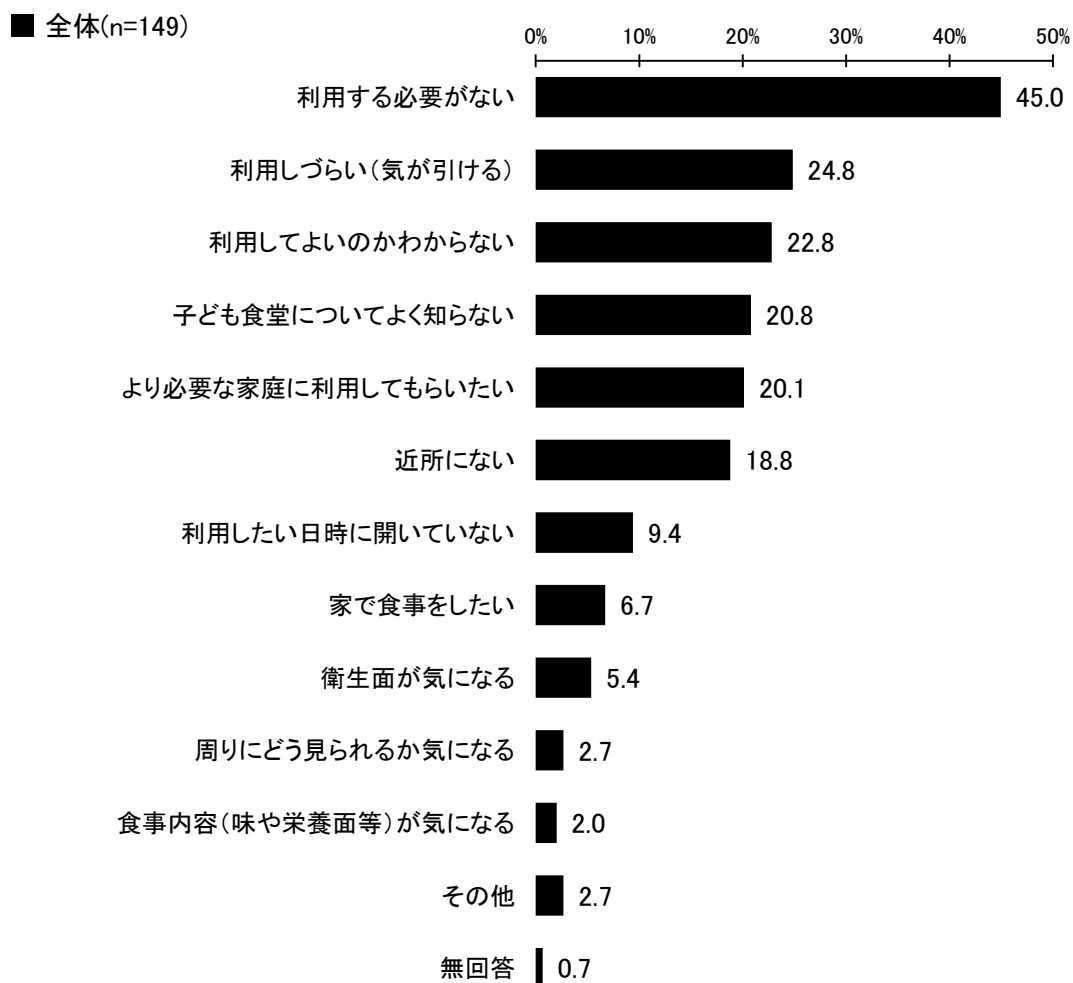
今後は子ども食堂を利用したいと思わない理由（1件回答） ※記述内容要約	
子どもが子ども食堂の雰囲気と味が苦手だったため。	1件
計	1件

(5) 子ども食堂を利用したことがない理由

問35で「市内に子ども食堂があることは知っているが、利用したことがない」を選んだ方にうかがいます。

問35－4 利用したことがない理由は何ですか。【複数回答】

子ども食堂を利用したことがない理由については、全体では「利用する必要がない」の割合が45.0%で最も高く、次いで「利用しづらい（気が引ける）」（24.8%）、「利用してよいのかわからない」（22.8%）などの順となっています。

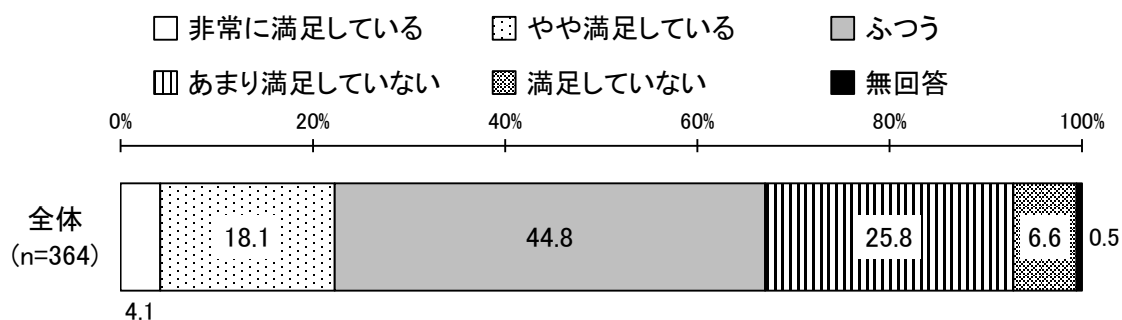


13. 浜田市の子育て支援施策全般について

(1) 居住地域における子育て環境や支援への満足度

問36 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。

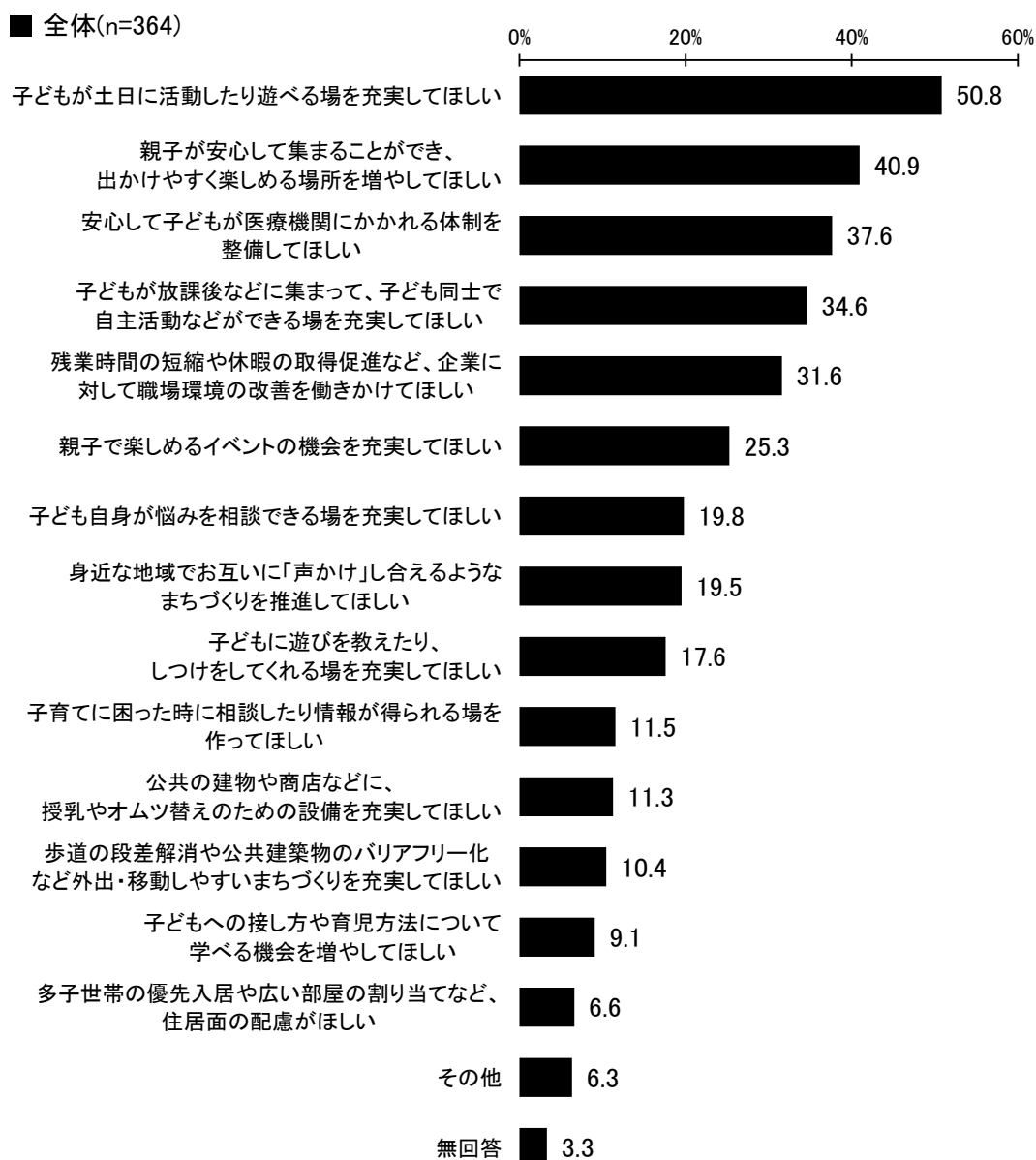
居住地域における子育て環境や支援への満足度については、全体では「ふつう」の割合が44.8%で最も高く、次いで「あまり満足していない」(25.8%)、「やや満足している」(18.1%)などの順となっています。



(2) 浜田市に期待する子育て支援の充実

問37 浜田市に対して、今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか。
【複数回答】

浜田市に期待する子育て支援の充実については、全体では「子どもが土日に活動したり遊べる場を充実してほしい」の割合が50.8%で最も高く、次いで「親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(40.9%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(37.6%)などの順となっています。



(3) 居住地区における子育て環境や支援に関する意見

問38 お住まいの地域の教育環境の充実やサポート体制など、子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。【記述】

居住地区における子育て環境や支援に関する意見（50 件回答） ※複数該当あり	
子ども（親子）の遊び場・イベントについて	16 件
経済的支援について	9 件
地域の活性化について	7 件
地域の交通・安全・防犯について	6 件
病児保育について	4 件
学校・教育について	4 件
子どもの移動手段・送迎について	4 件
小児科・産婦人科等の不足について	3 件
習い事について	3 件
子育て支援事業等について	2 件
一時預かり等について	2 件
発達障がい児支援について	2 件
その他	12 件
計	74 件

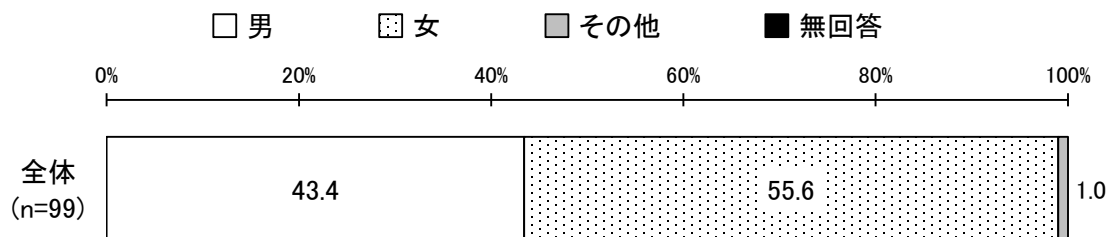
2 小学生調査

1. 回答者について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。

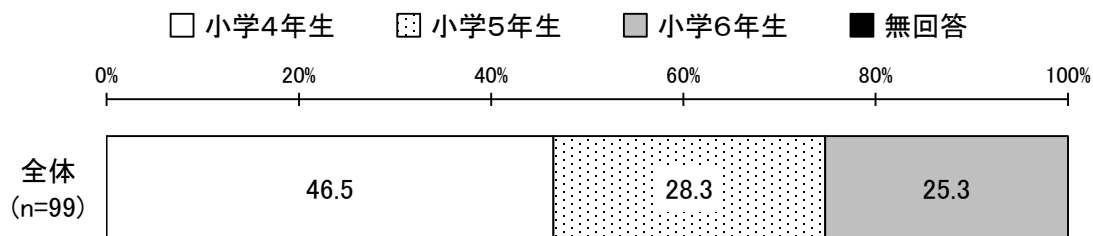
性別については、全体では「女」の割合が55.6%で最も高く、次いで「男」(43.4%)、「その他」(1.0%)の順となっています。



(2) 学年

問2 あなたの学年をお答えください。

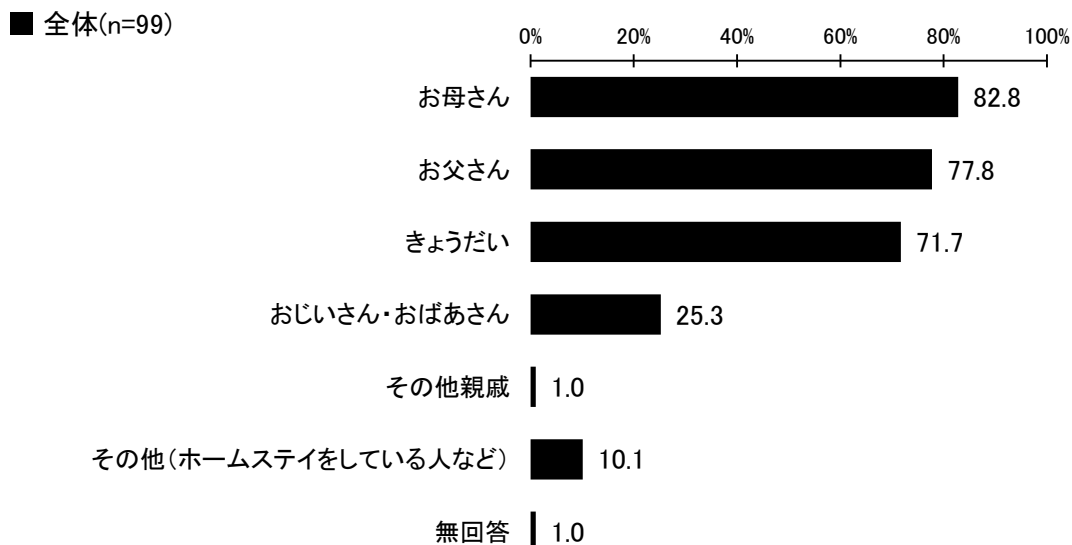
学年については、全体では「小学4年生」の割合が46.5%で最も高く、次いで「小学5年生」(28.3%)、「小学6年生」(25.3%)の順となっています。



(3) 同居者

問3 今、あなたが一緒に住んでいる人をすべて選んでください。【複数回答】

同居者については、全体では「お母さん」の割合が82.8%で最も高く、次いで「お父さん」(77.8%)、「きょうだい」(71.7%)などの順となっています。



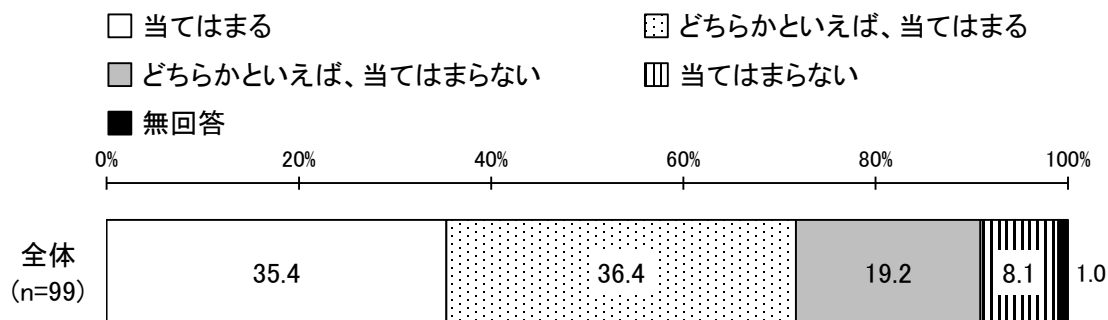
2. 自分自身について

(1) 自身に当てはまること

問4 あなた自身について、次のことがどのくらい当てはまりますか。

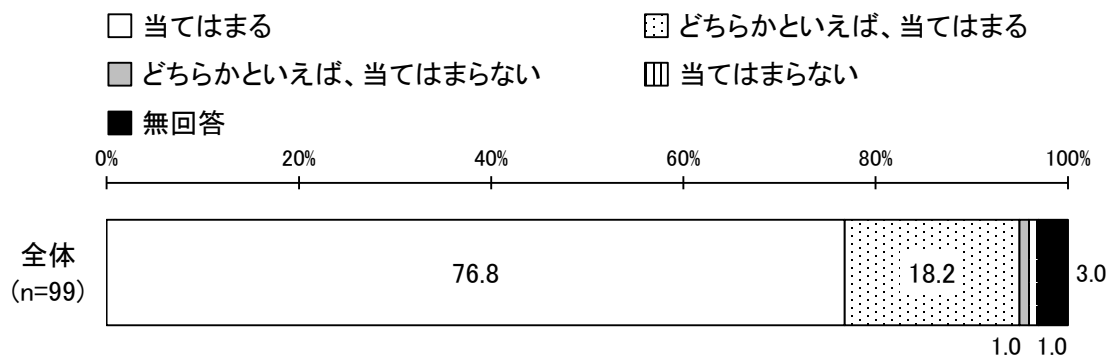
①今の自分が好きだ

自身に当てはまることについて今の自分が好きだということは、全体では「どちらかといえば、当てはまる」の割合が36.4%で最も高く、次いで「当てはまる」(35.4%)、「どちらかといえば、当てはまらない」(19.2%)などの順となっています。



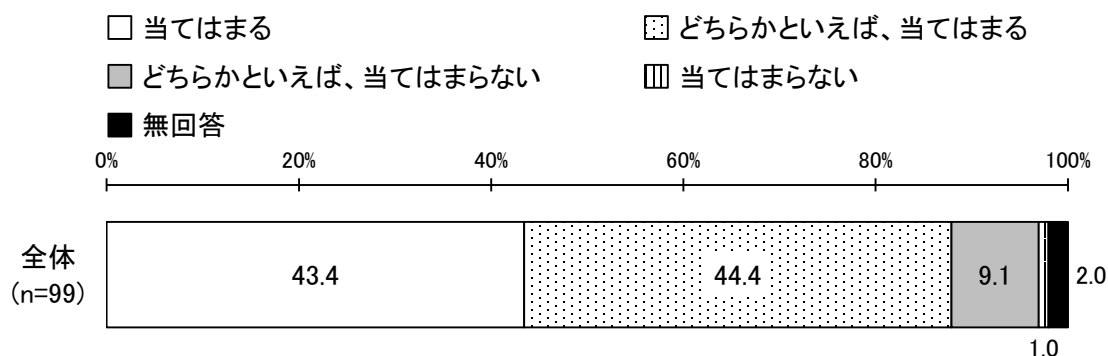
②育てられている人から大事にされている

自身に当てはまることについて育てられている人から大事にされているということは、全体では「当てはまる」の割合が76.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば、当てはまる」(18.2%)、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」(同率1.0%)の順となっています。



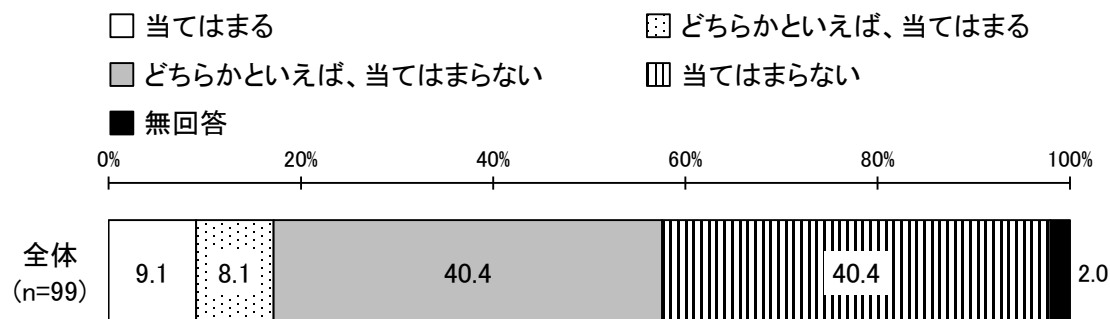
③うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む

自身に当てはまることについてうまくいくかわからないことにもがんばって取り組むということは、全体では「どちらかといえば、当てはまる」の割合が44.4%で最も高く、次いで「当てはまる」(43.4%)、「どちらかといえば、当てはまらない」(9.1%)などの順となっています。



④自分は役に立たないと強く感じる

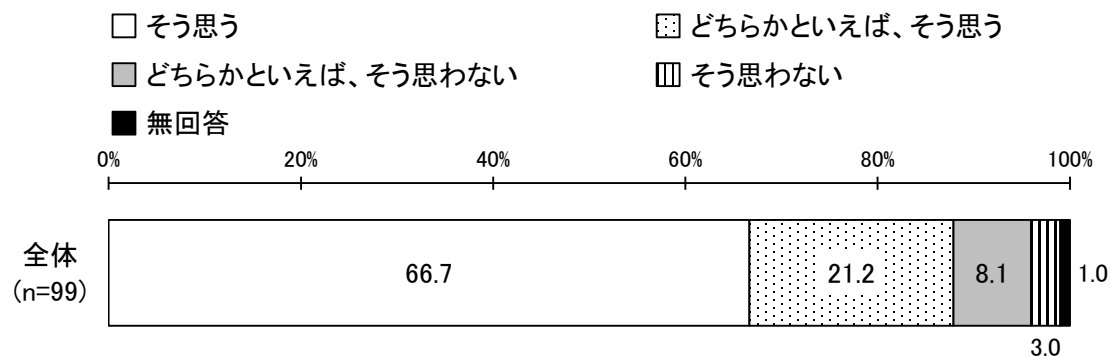
自身に当てはまることについて自分は役に立たないと強く感じるということは、全体では「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の割合が同率40.4%で最も高く、次いで「当てはまる」(9.1%)、「どちらかといえば、当てはまる」(8.1%)の順となっています。



(2) 幸福感

問5 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの気持ちをお答えください。

幸福感については、全体では「そう思う」の割合が66.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(21.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(8.1%)などの順となっています。



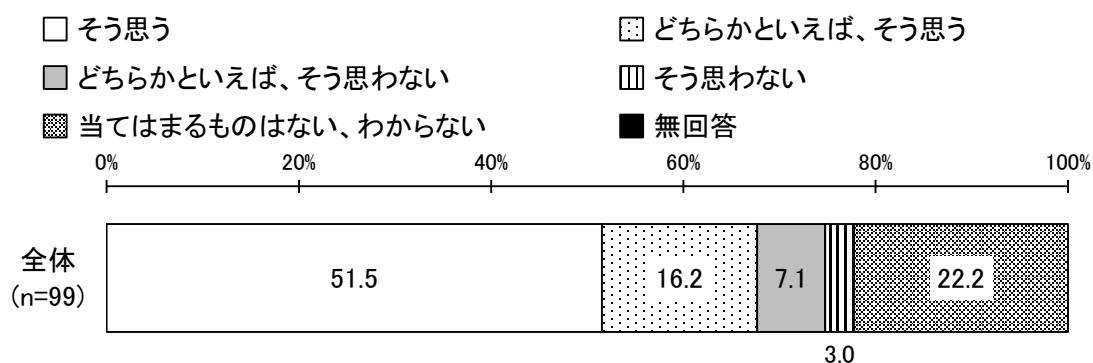
3. 周りの環境について

(1) 自分の居場所

問6 次の場所は、今のあなたにとって、居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。

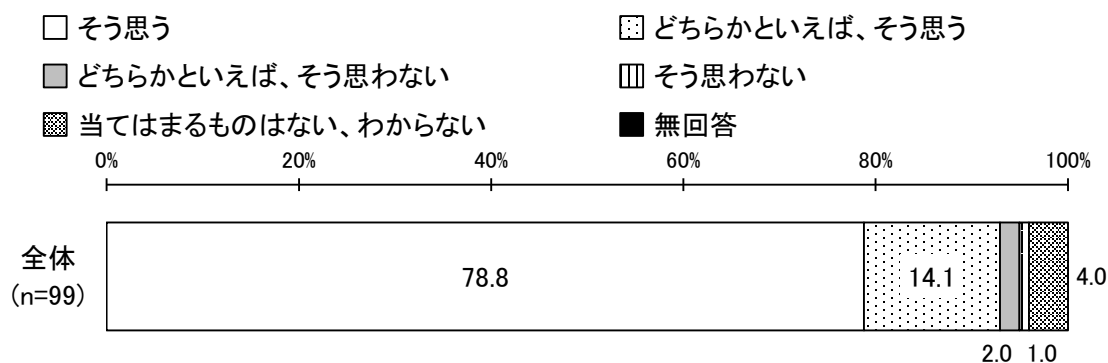
①自分の部屋

自分の居場所について自分の部屋であると思うかは、全体では「そう思う」の割合が51.5%で最も高く、次いで「当てはまるものはない、わからない」(22.2%)、「どちらかといえば、そう思う」(16.2%)などの順となっています。



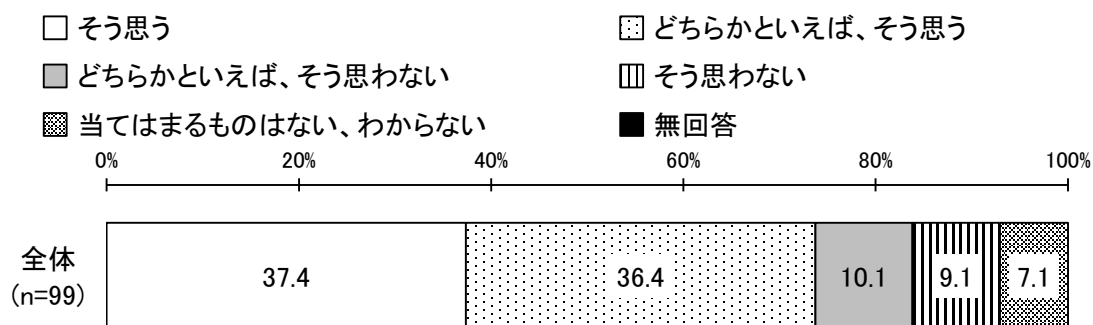
②家庭

自分の居場所について家庭であると思うかは、全体では「そう思う」の割合が78.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(14.1%)、「当てはまるものはない、わからない」(4.0%)などの順となっています。



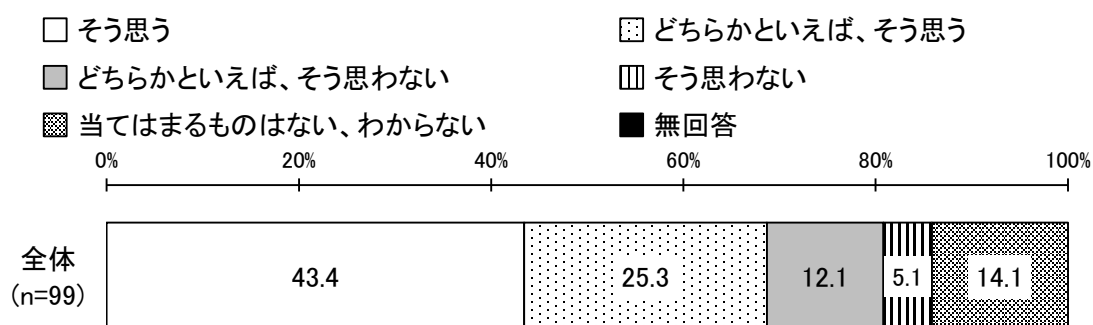
③学校

自分の居場所について学校であると思うかは、全体では「そう思う」の割合が37.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(36.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(10.1%)などの順となっています。



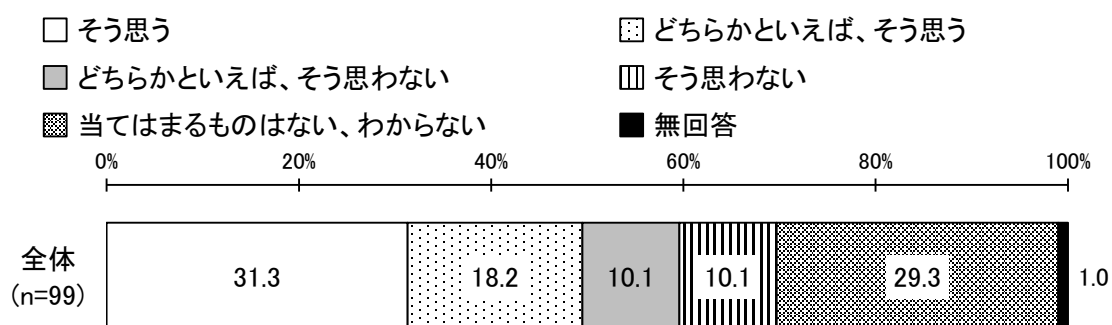
④地域

自分の居場所について地域であると思うかは、全体では「そう思う」の割合が43.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(25.3%)、「当てはまるものはない、わからない」(14.1%)などの順となっています。



⑤インターネット空間

自分の居場所についてインターネット空間であると思うかは、全体では「そう思う」の割合が31.3%で最も高く、次いで「当てはまるものはない、わからない」(29.3%)、「どちらかといえば、そう思う」(18.2%)などの順となっています。

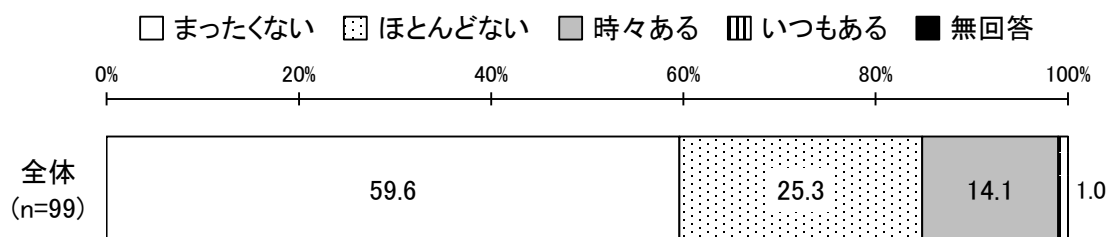


(2) 自身の感情

問7 あなたは次のような気持ちを感じることが普段どれくらいありますか。

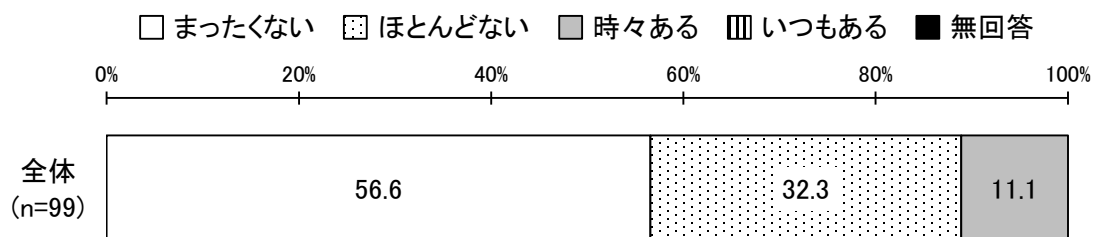
①話せる人がいないと感じる

自身の感情について話せる人がいないと感じるかは、全体では「まったくない」の割合が59.6%で最も高く、次いで「ほとんどない」(25.3%)、「時々ある」(14.1%)などの順となっています。



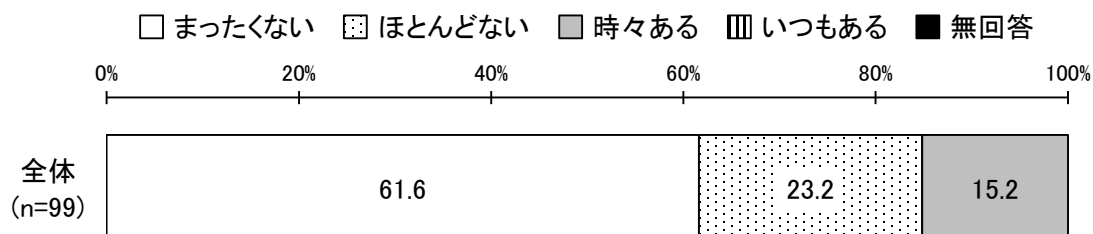
②周りから取り残されていると感じる

自身の感情について周りから取り残されていると感じるかは、全体では「まったくない」の割合が56.6%で最も高く、次いで「ほとんどない」(32.3%)、「時々ある」(11.1%)の順となっています。



③一人ぼっちだと感じる

自身の感情について一人ぼっちだと感じるかは、全体では「まったくない」の割合が61.6%で最も高く、次いで「ほとんどない」(23.2%)、「時々ある」(15.2%)の順となっています。



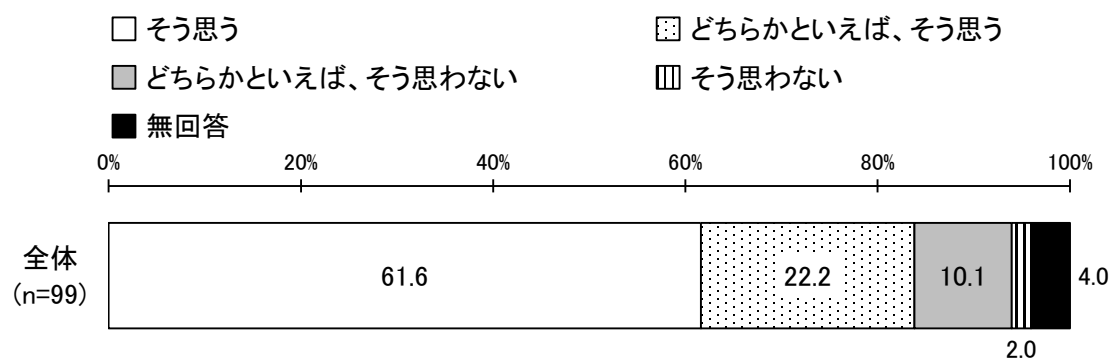
4. 周りの人との関わりについて

(1) 家族・親戚との関わり

問8 家族・親戚とあなたの関わりは、どのようなものですか。

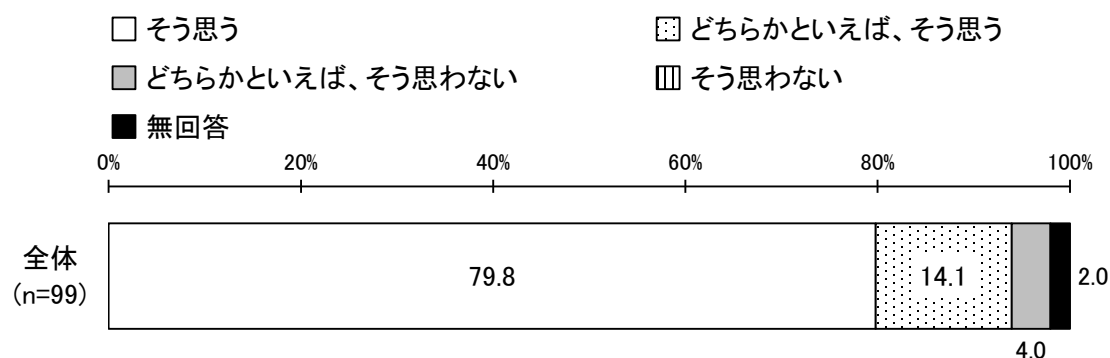
①何でも悩みを相談できる

家族・親戚との関わりについて何でも悩みを相談できると思うかは、全体では「そう思う」の割合が61.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(22.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(10.1%)などの順となっています。



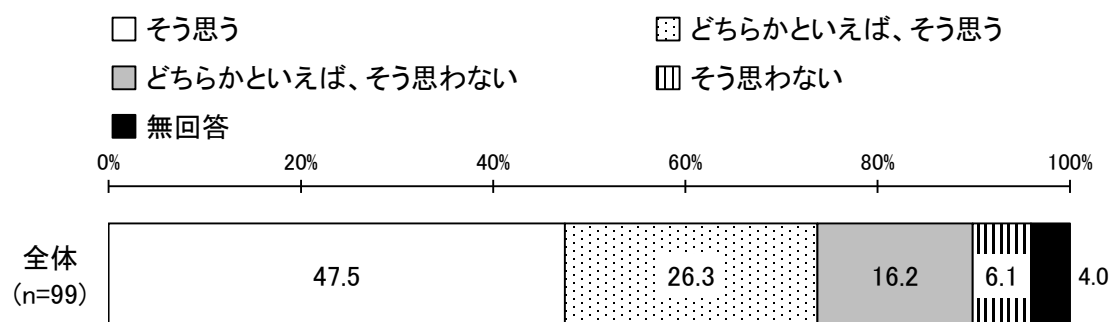
②困ったときは助けてくれる

家族・親戚との関わりについて困ったときは助けてくれると思うかは、全体では「そう思う」の割合が79.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(14.1%)、「どちらかといえば、そう思わない」(4.0%)の順となっています。



③他の人には言えない本音を話せる

家族・親戚との関わりについて他の人には言えない本音を話せると思うかは、全体では「そう思う」の割合が47.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(26.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(16.2%)などの順となっています。

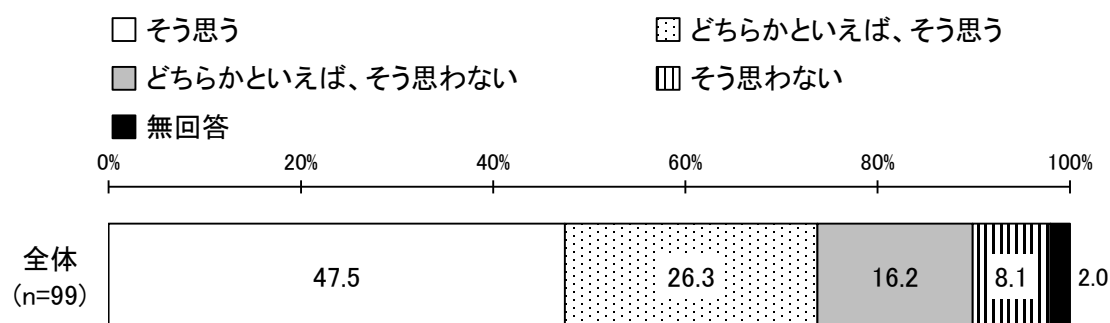


(2) 学校の友人との関わり

問9 学校で出会った友達（今通っている学校やこれまでに通っていた学校の友達など）とあなたの関わりは、どのようなものですか。

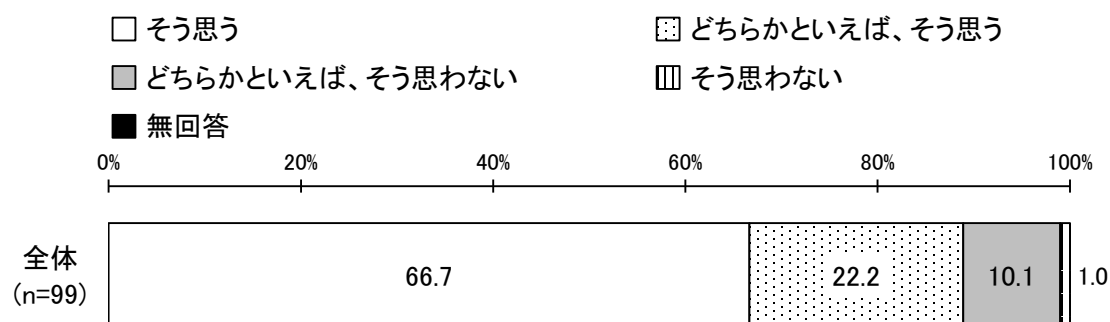
①何でも悩みを相談できる

学校の友人との関わりについて何でも悩みを相談できると思うかは、全体では「そう思う」の割合が47.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(26.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(16.2%)などの順となっています。



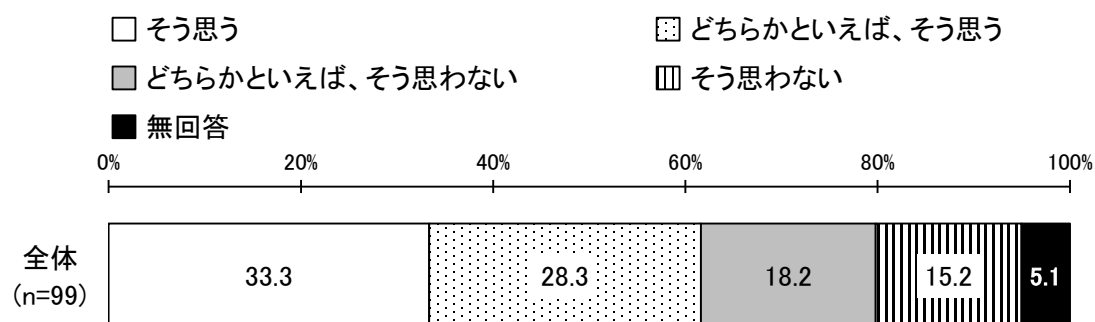
②困ったときは助けてくれる

学校の友人との関わりについて困ったときは助けてくれると思うかは、全体では「そう思う」の割合が66.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(22.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(10.1%)などの順となっています。



③他の人には言えない本音を話せる

学校の友人との関わりについて他の人には言えない本音を話せると思うかは、全体では「そう思う」の割合が33.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(28.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(18.2%)などの順となっています。

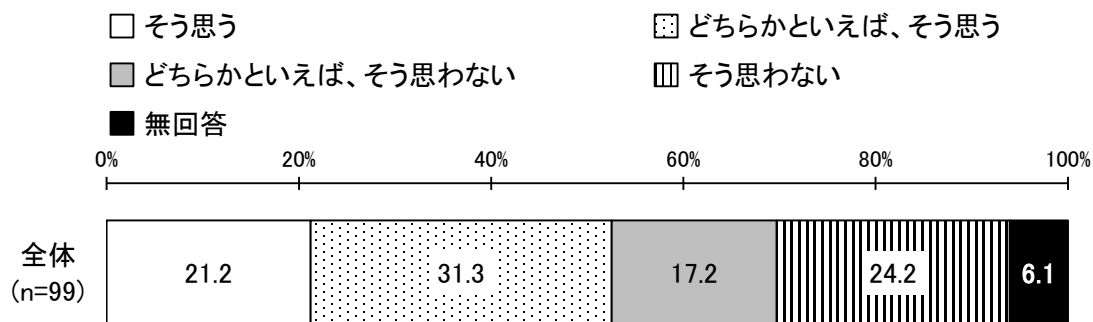


(3) 地域の人との関わり

問10 地域の人（近所の人、塾や習い事での友達など）とあなたの関わりは、どのようなものですか。

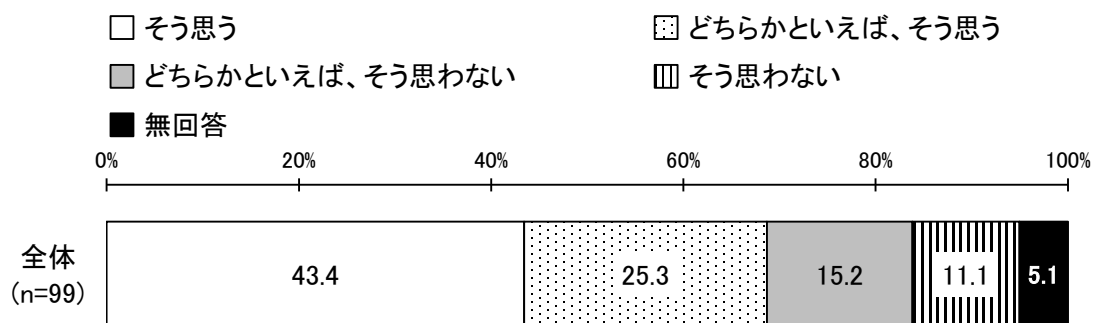
①何でも悩みを相談できる

地域の人との関わりについて何でも悩みを相談できると思うかは、全体では「どちらかといえば、そう思う」の割合が31.3%で最も高く、次いで「そう思わない」(24.2%)、「そう思う」(21.2%)などの順となっています。



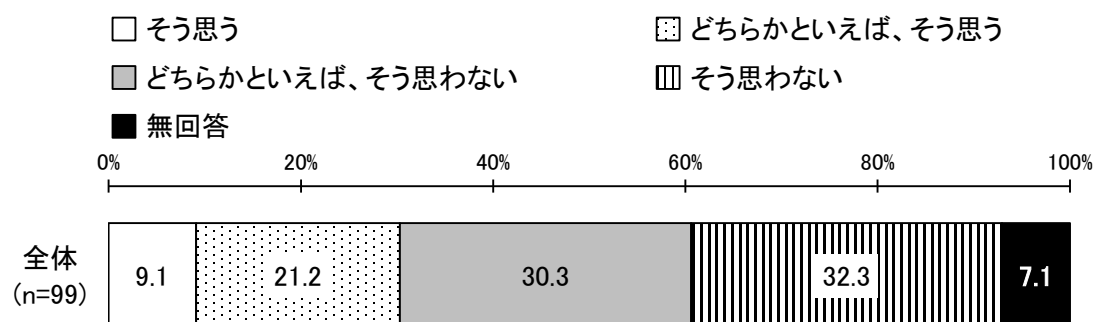
②困ったときは助けてくれる

地域の人との関わりについて困ったときは助けてくれると思うかは、全体では「そう思う」の割合が43.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(25.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(15.2%)などの順となっています。



③他の人には言えない本音を話せる

地域の人との関わりについて他の人には言えない本音を話せると思うかは、全体では「そう思わない」の割合が32.3%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」(30.3%)、「どちらかといえば、そう思う」(21.2%)などの順となっています。

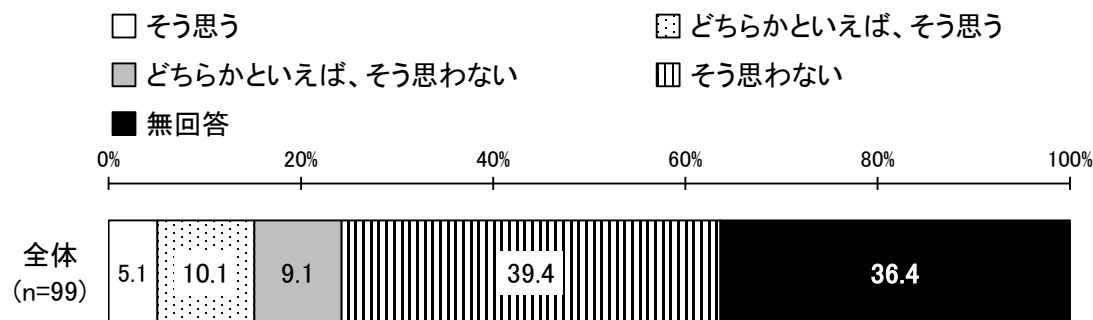


(4) インターネット上の知人との関わり

問11 インターネット上における人やグループ(会ったことがなかったり、何回か会ったことはあっても、ほとんどインターネット上でやり取りする人やグループ)とあなたの関わりは、どのようなものですか。

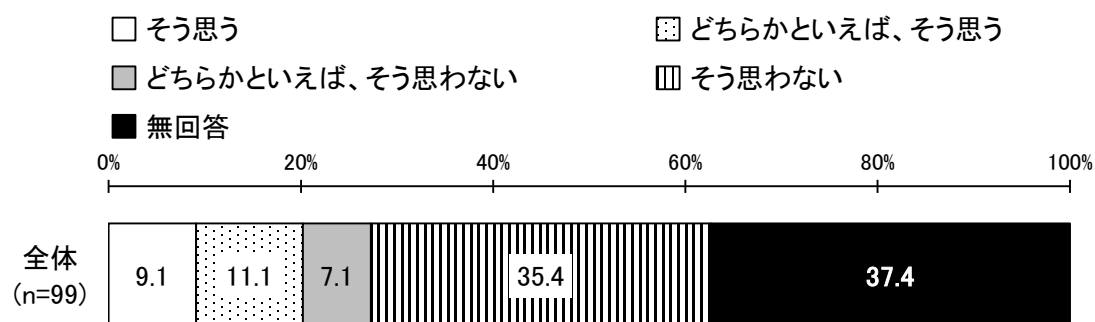
①何でも悩みを相談できる

インターネット上の知人との関わりについて何でも悩みを相談できると思うかは、全体では「そう思わない」の割合が39.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(10.1%)、「どちらかといえば、そう思わない」(9.1%)などの順となっています。



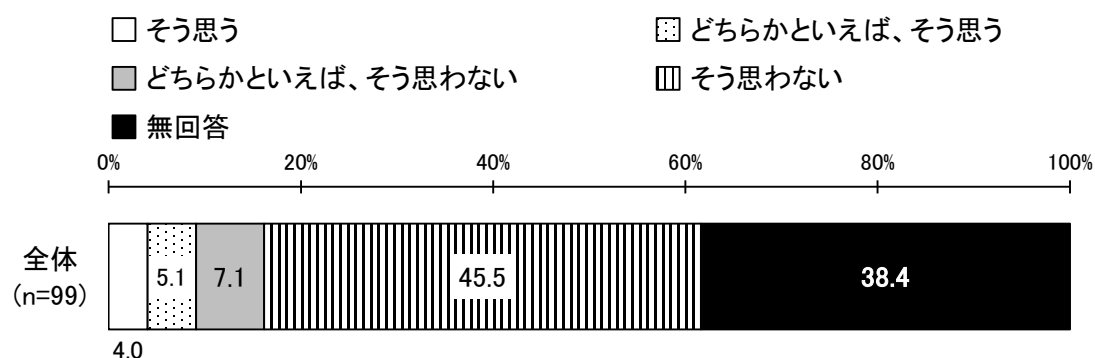
②困ったときは助けてくれる

インターネット上の知人との関わりについて困ったときは助けてくれると思うかは、全体では「そう思わない」の割合が35.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(11.1%)、「そう思う」(9.1%)などの順となっています。



③他の人には言えない本音を話せる

インターネット上の知人との関わりについて他の人には言えない本音を話せると思うかは、全体では「そう思わない」の割合が45.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思わない」(7.1%)、「どちらかといえば、そう思う」(5.1%)などの順となっています。

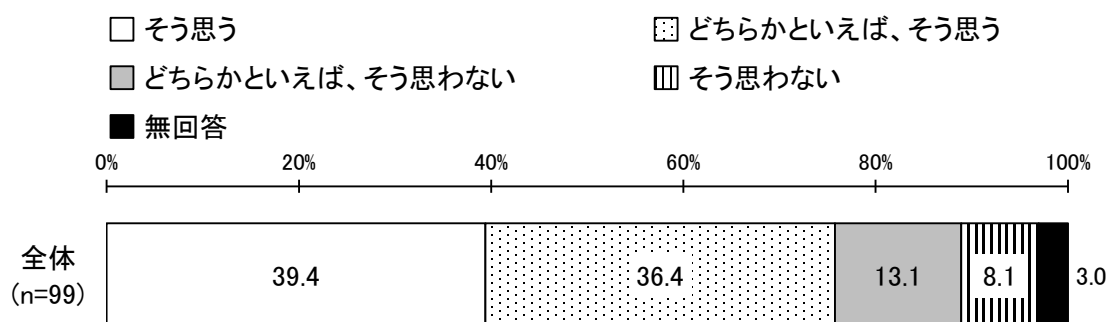


5. 自身の性格について

(1) 誰とでもすぐ仲良くなれる

問12 あなたは、誰とでもすぐに仲良くなれる方ですか。

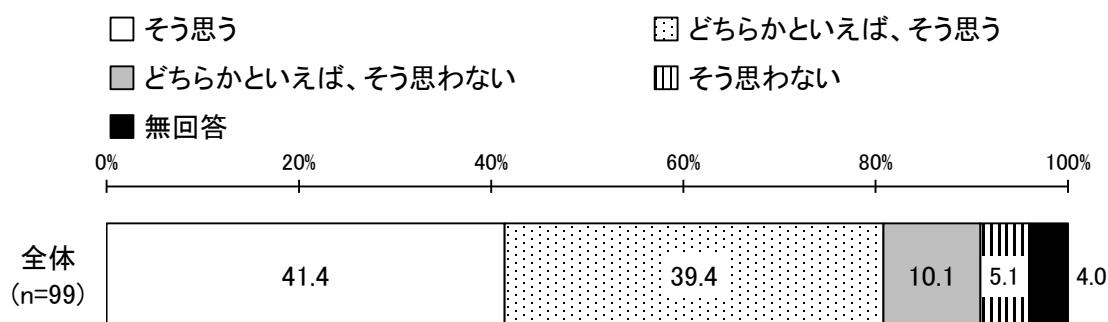
誰とでもすぐ仲良くなれると思うかについては、全体では「そう思う」の割合が39.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(36.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(13.1%)などの順となっています。



(2) 社会のために役立つことをしたい

問13 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

社会のために役立つことをしたいと思うかについては、全体では「そう思う」の割合が41.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(39.4%)、「どちらかといえば、そう思わない」(10.1%)などの順となっています。

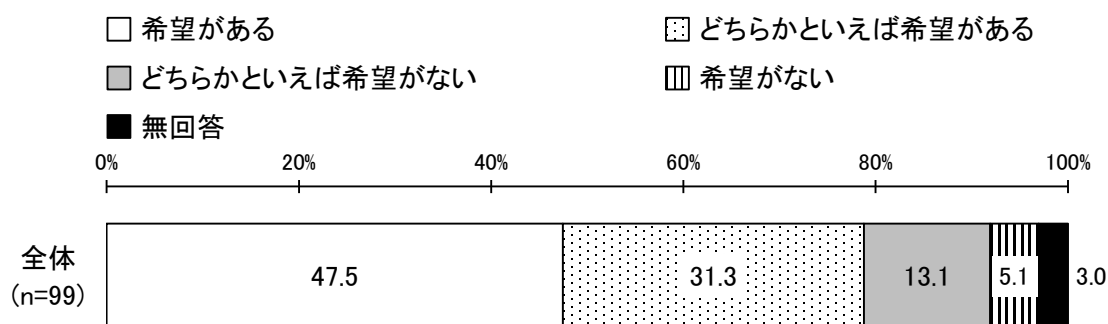


6. 将来のことについて

(1) 将来への明るい希望

問14 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。

将来への明るい希望については、全体では「希望がある」の割合が47.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば希望がある」(31.3%)、「どちらかといえば希望がない」(13.1%)などの順となっています。

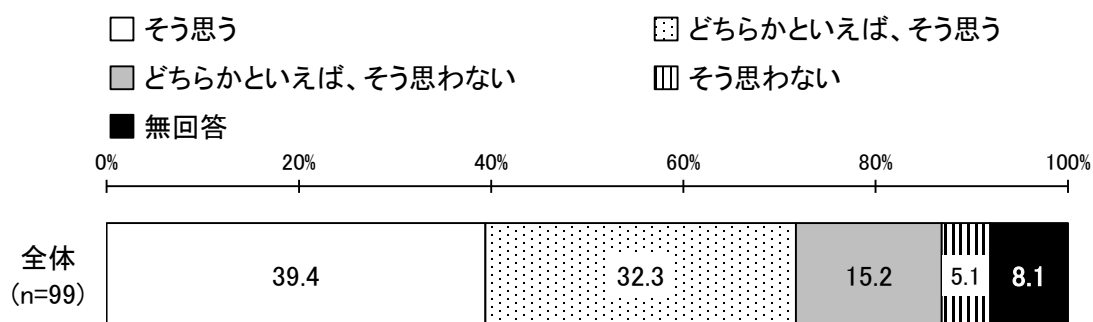


(2) 自身の将来像

問15 あなたが大人になったとき、どのようになっていると思いますか。

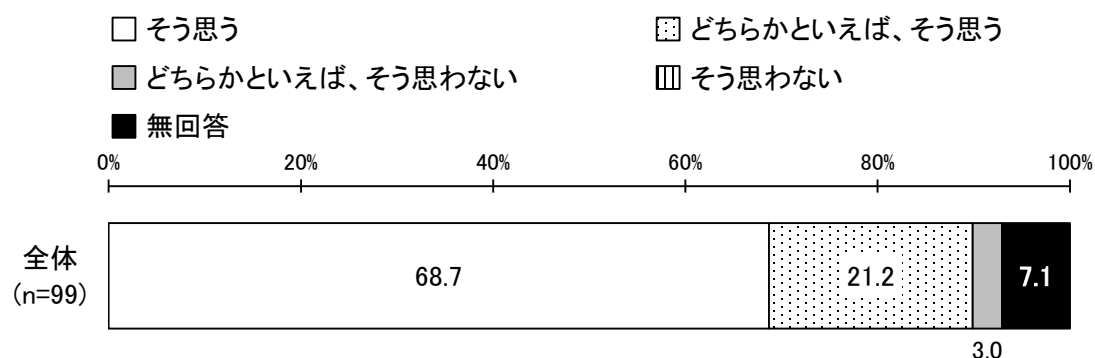
①子どもを育てている

自身の将来像について子どもを育てていると思うかは、全体では「そう思う」の割合が39.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(32.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(15.2%)などの順となっています。



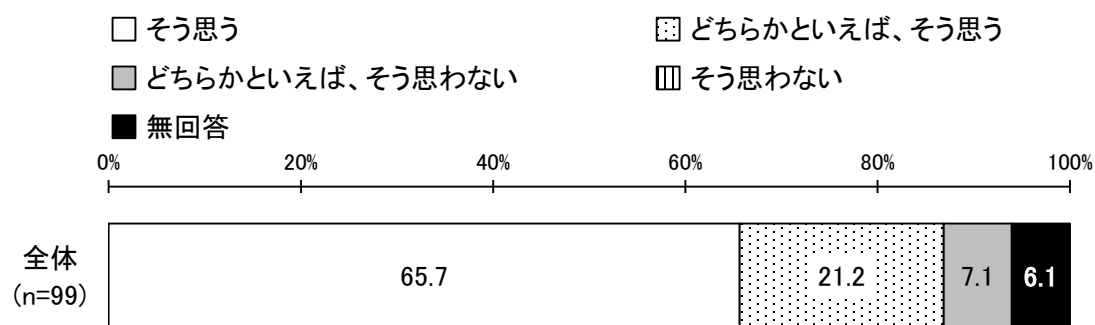
②親を大切にしている

自身の将来像について親を大切にしていると思うかは、全体では「そう思う」の割合が68.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(21.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(3.0%)の順となっています。



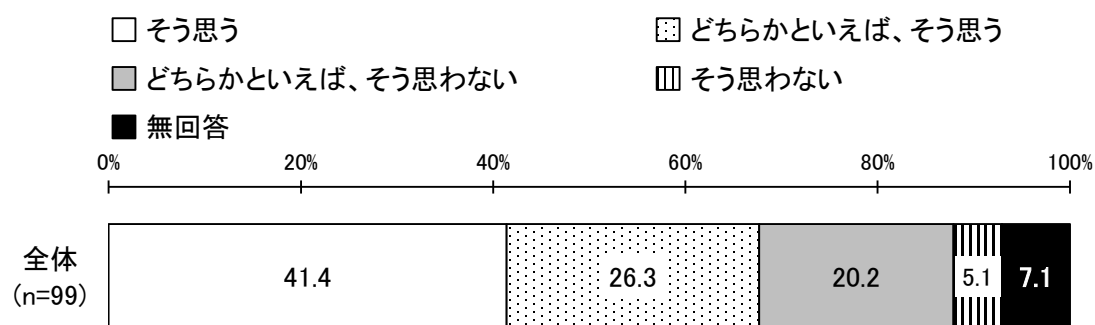
③幸せになっている

自身の将来像について幸せになっていると思うかは、全体では「そう思う」の割合が65.7%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(21.2%)、「どちらかといえば、そう思わない」(7.1%)の順となっています。



④結婚している

自身の将来像について結婚していると思うかは、全体では「そう思う」の割合が41.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば、そう思う」(26.3%)、「どちらかといえば、そう思わない」(20.2%)などの順となっています。

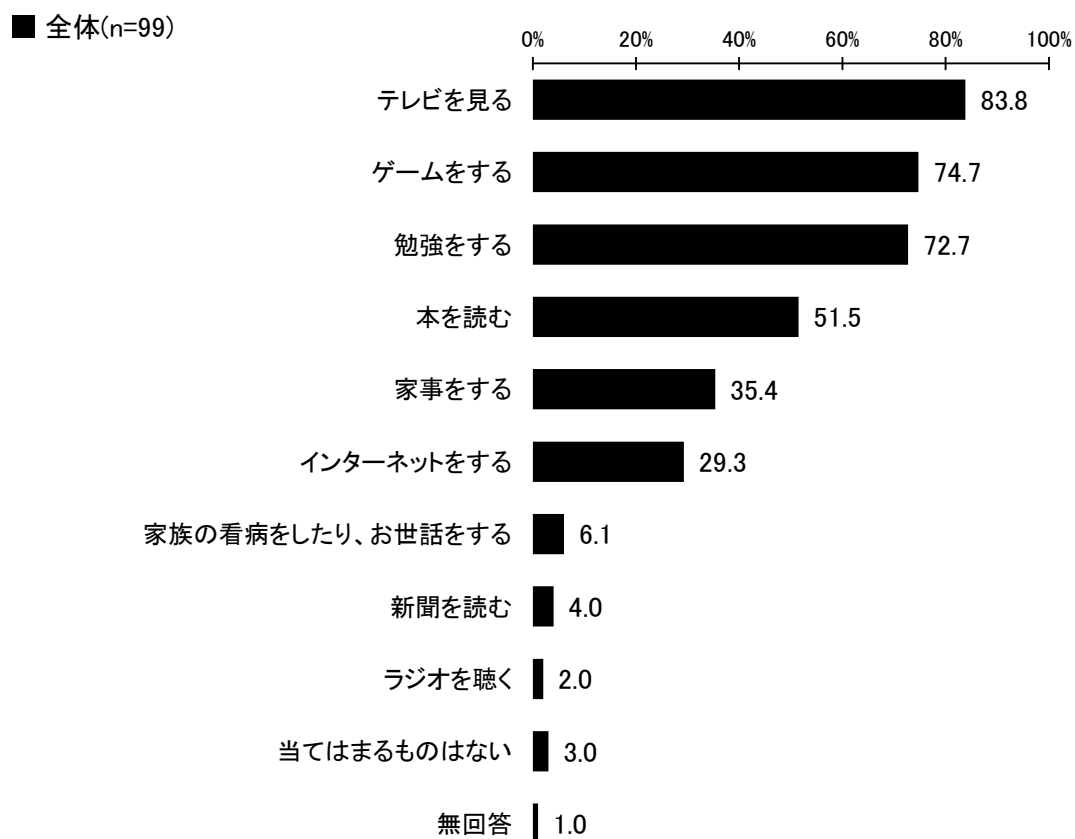


7. 外出状況について

(1) 家での過ごし方

問16 普段お家（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。【複数回答】

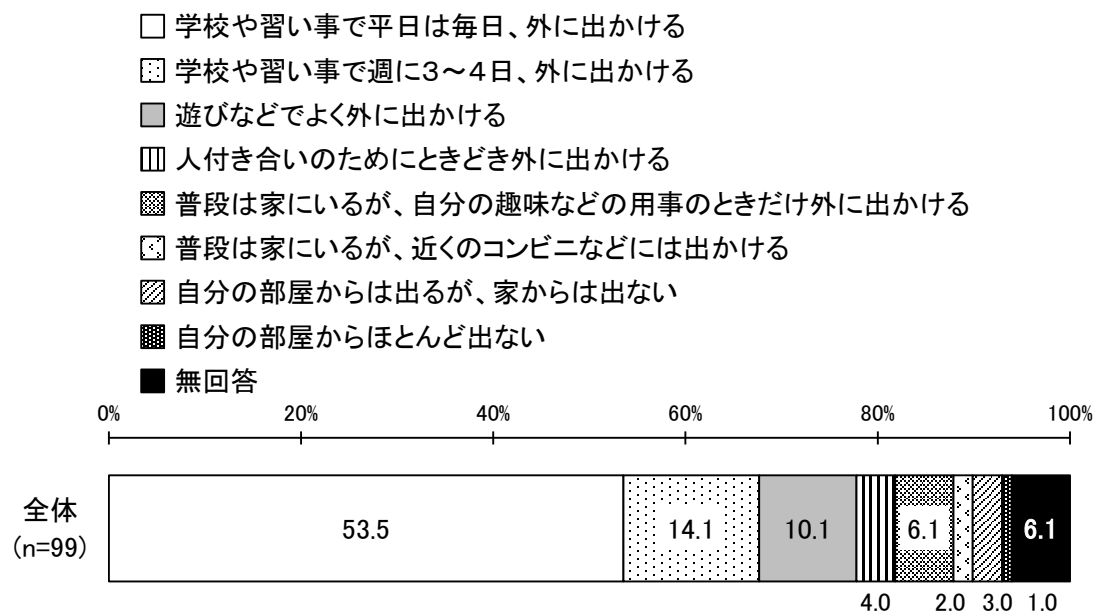
家での過ごし方については、全体では「テレビを見る」の割合が83.8%で最も高く、次いで「ゲームをする」(74.7%)、「勉強をする」(72.7%)などの順となっています。



(2) 外出頻度

問17 あなたは普段どのくらい外出しますか。今のことについてお答えください。

外出頻度については、全体では「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」の割合が53.5%で最も高く、次いで「学校や習い事で週に3～4日、外に出かける」(14.1%)、「遊びなどでよく外に出かける」(10.1%)などの順となっています。

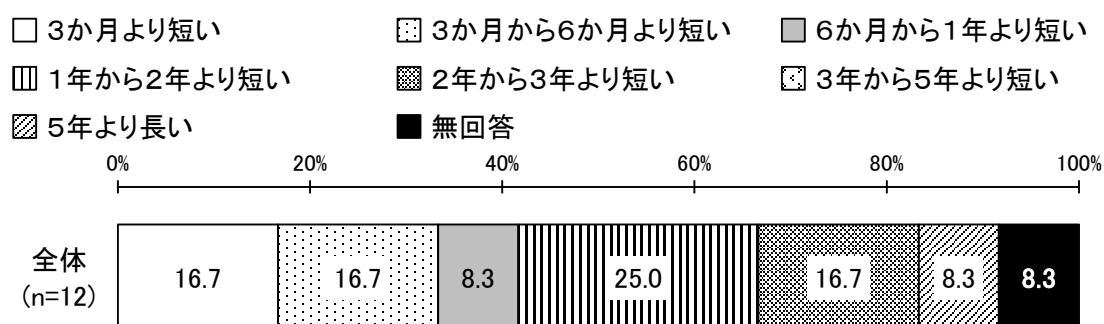


(3) 外出が現在の状況になってからの期間

問17で「普段は家にいるが、自分の趣味などの用事の時だけ外に出かける」「普段は家にいるが、近くのコンビニなどには出かける」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」「自分の部屋からほとんど出ない」を選んだ方にうかがいます。

問17-1 あなたの外出が今のようにってから、どのくらい経ちますか。

外出が現在の状況になってからの期間については、全体では「1年から2年より短い」の割合が25.0%で最も高く、次いで「3か月より短い」「3か月から6か月より短い」「2年から3年より短い」（同率16.7%）、「6か月から1年より短い」「5年より長い」（同率8.3%）の順となっています。



(4) 外出が現在の状況になった学年

問17-1で「3か月より短い」「3か月から6か月より短い」以外を選んだ方にうかがいます。

問17-2 あなたの外出が今ようになったのは、いくつのころですか。

外出が現在の状況になった学年については、全体では「小学2年生」「小学3年生」と答えた方がそれぞれ2人、「小学校入学前」「小学4年生」と答えた方がそれぞれ1人となっています。

小学校入学前	1人
小学2年生	2人
小学3年生	2人
小学4年生	1人
無回答	1人
全体	7人

(5) 外出が現在の状況になった理由

問17-1で「3か月より短い」「3か月から6か月より短い」以外を選んだ方にうかがいます。

問17-3 あなたの外出が今のようになった主な理由は何ですか。【複数回答】

外出が現在の状況になった理由については、全体では「特に理由はない」と答えた方が3人、「その他」と答えた方が2人、「わからない」と答えた方が1人となっています。

その他	2人
特に理由はない	3人
わからない	1人
無回答	1人
全体	7人

(6) ここ半年での家族以外の方との会話

問17-1で「3か月より短い」「3か月から6か月より短い」以外を選んだ方にうかがいます。

問17-4 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。

ここ半年での家族以外の方との会話については、全体では「よく会話をした」と答えた方が5人、「まったく会話をしなかった」と答えた方が1人となっています。

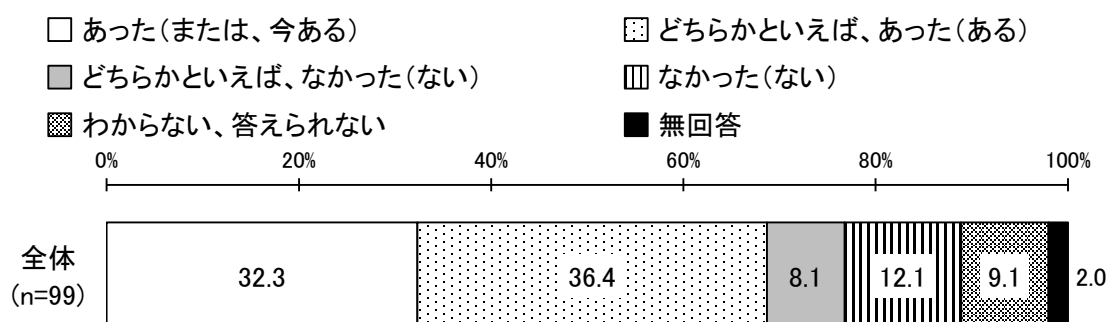
よく会話をした	5人
まったく会話をしなかった	1人
無回答	1人
全体	7人

8. 落ち込んだ経験について

(1) 物事がうまくいかず落ち込んだ経験

問18 あなたは今までに、物事がうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、今ありますか。

物事がうまくいかず落ち込んだ経験については、全体では「どちらかといえば、あった（ある）」の割合が36.4%で最も高く、次いで「あった（または、今ある）」（32.3%）、「なかった（ない）」（12.1%）などの順となっています。

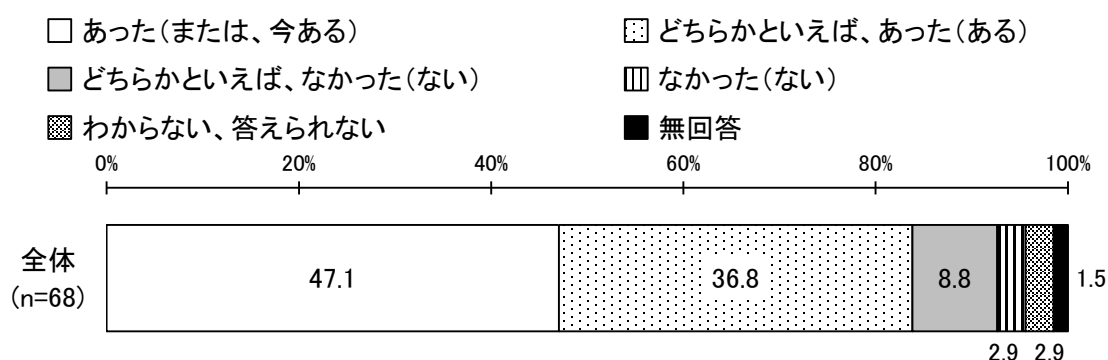


(2) 落ち込んだ状態から元に戻った経験

問18で「あった（または、今ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方にうかがいます。

問18-1 あなたは今までに、物事がうまくいかず落ち込んだ状態から元に戻った経験があったと思いますか。

落ち込んだ状態から元に戻った経験については、全体では「あった（または、今ある）」の割合が47.1%で最も高く、次いで「どちらかといえば、あった（ある）」（36.8%）、「どちらかといえば、なかった（ない）」（8.8%）などの順となっています。

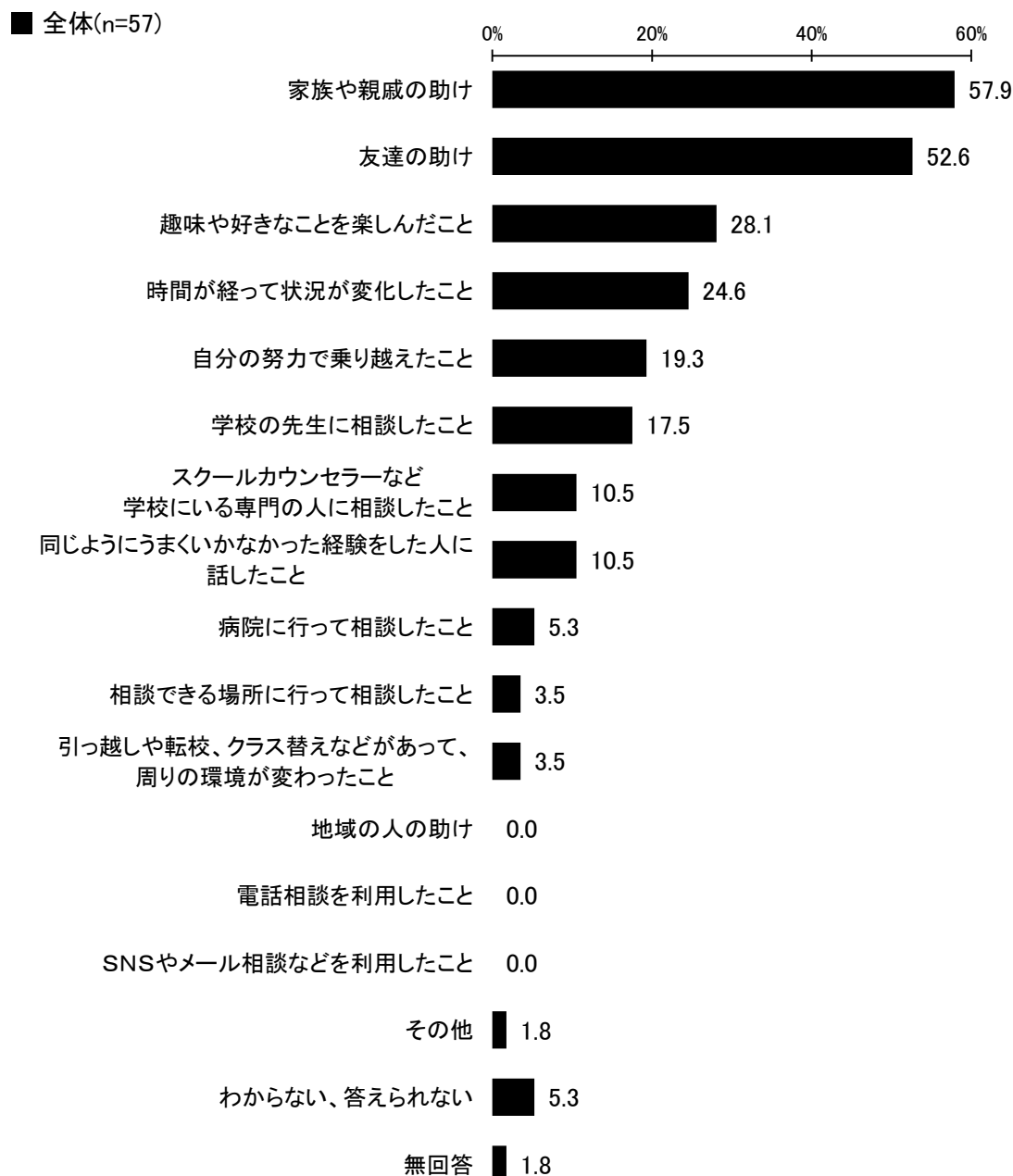


(3) 落ち込んだ状態から元に戻ったきっかけ

問18-1で「あった（または、今ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方にうかがいます。

問18-2 落ち込んだ状態から元に戻ったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。【複数回答】

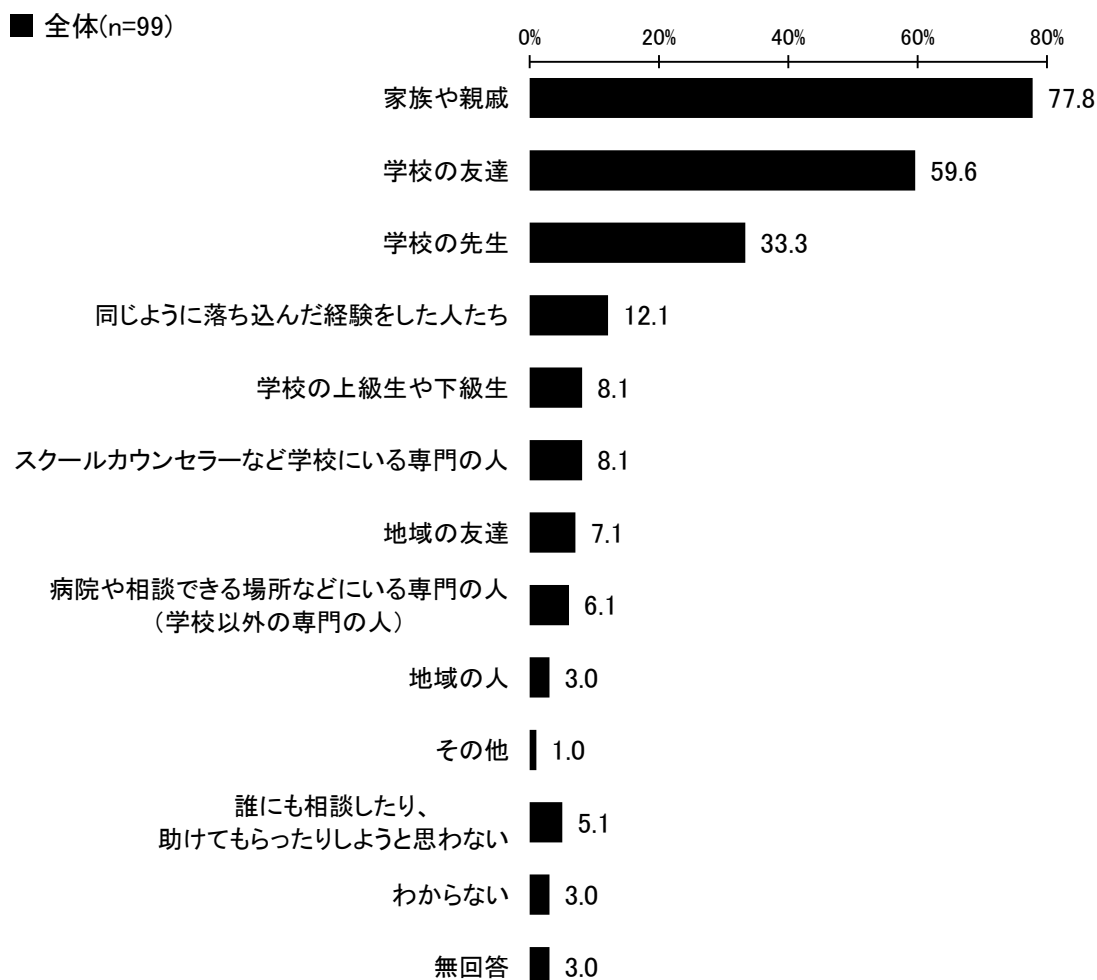
落ち込んだ状態から元に戻ったきっかけについては、全体では「家族や親戚の助け」の割合が57.9%で最も高く、次いで「友達の助け」(52.6%)、「趣味や好きなことを楽しんだこと」(28.1%)などの順となっています。



(4) 落ち込んだ際に相談したり助けを求めやすい人

問19 あなたが、物事がうまくいかず落ち込んだときに、こういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。【複数回答】

落ち込んだ際に相談したり助けを求めやすい人については、全体では「家族や親戚」の割合が77.8%で最も高く、次いで「学校の友達」(59.6%)、「学校の先生」(33.3%)などの順となっています。



（５）落ち込んだ際に人に相談したり助けを求めない理由

問19で「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」を選んだ方にうかがいます。
問19－１ 「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」の理由をお答えください。【複数回答】

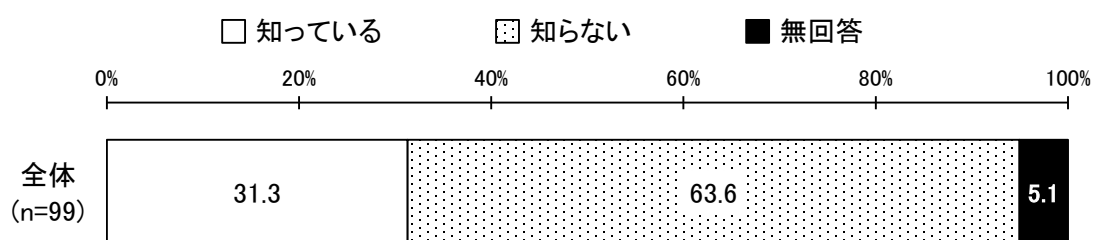
落ち込んだ際に人に相談したり助けを求めない理由については、全体では「相手にうまく伝えられないから」「特に理由はない、わからない」と答えた方がそれぞれ２人、「相談しても解決できないと思うから」「裏切られたり、がっかりするのが嫌だから」「その他」と答えた方がそれぞれ１人となっています。

相談しても解決できないと思うから	１人
相手にうまく伝えられないから	２人
裏切られたり、がっかりするのが嫌だから	１人
その他	１人
特に理由はない、わからない	２人
全体	５人

（６）家庭や学校以外で悩み事を相談できる場所の認知

問20 あなたは、家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。

家庭や学校以外で悩み事を相談できる場所の認知については、全体では「知らない」の割合が63.6%で、「知っている」(31.3%)を上回っています。

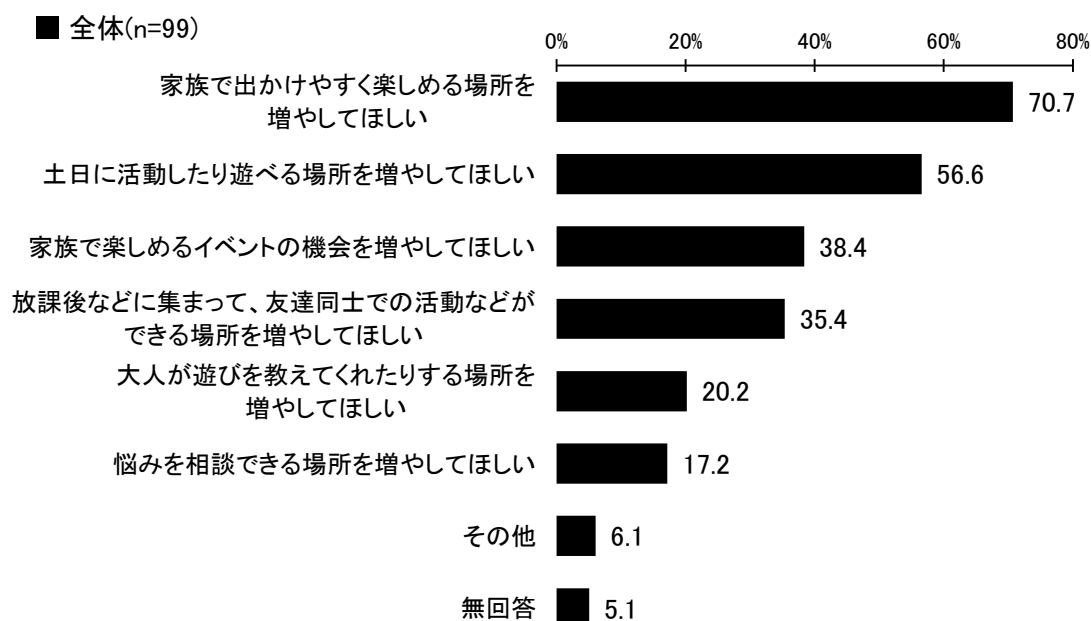


9. 浜田市に期待することについて

(1) 浜田市に今後増やしてほしい場所や機会

問21 浜田市に、今後どのような場所や機会を増やしてほしいと思いますか。【複数回答】

浜田市に今後増やしてほしい場所や機会については、全体では「家族で出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」の割合が70.7%で最も高く、次いで「土日に活動したり遊べる場所を増やしてほしい」(56.6%)、「家族で楽しめるイベントの機会を増やしてほしい」(38.4%)などの順となっています。



Ⅲ. 調査総括

1 保護者調査

1-1 就学前児童保護者

(1) 子どもと家族の状況及び日常生活について

子育ての主な担い手について「父母ともに」の割合が73.5%で7割を超えていますが、平日の家事や育児の役割分担についてはすべての家事や育児の項目で“母親”（「どちらかといえば母親」「主に母親」の合計）の割合が最も高くなっており、母親から父親に協力してもらいたい家事や育児は「子どもとの遊び（本の読み聞かせ等）」の割合が29.2%で最も高くなっています。

(2) 子どもの生活実態について

生活費の負担感について“負担に感じる”（「とても負担」「ある程度負担」の合計）の割合をみると、『光熱費』の項目が73.5%で最も上位となっています。一方、「負担ではない」の割合をみると、『医療費』の項目が70.2%で最も上位となっています。また、子どもにかかる費用で負担に感じるものについて「制服・体操服の購入費」の割合が55.4%で、半数以上の方が負担に感じていることがわかります。

子どものための支援の利用希望について「生活や就学のための経済的な補助」の割合が70.8%で7割を超え、経済面での支援を求める方が多くなっています。

(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

子どもをみてもらえる親族・知人について「いずれもいない」の割合が15.1%で1割半ば程度であることから、子どもをみてもらえる親族や知人がいる方が多いことがわかります。また、親族・知人に子どもをみてもらう状況について「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が42.9%である一方、「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」（37.9%）、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（32.6%）の割合から、預けることに関して心苦しい、または心配に思われている方もいらっしゃるとうかがえます。

子育てに関する相談相手について「配偶者・パートナー」（84.0%）、「祖父母等の親族」（69.0%）、「友人や知人」（50.0%）の割合で半数を超え、身近な人が相談相手として挙げられている一方、公的機関などに相談する方は多いとはいえません。

子育てに関する情報の入手方法について「幼稚園・保育所（園）・認定こども園」（62.0%）、「隣近所の人、知人、友人」（56.0%）、「インターネット」（53.6%）の割合で半数を超えていますが、「市の広報やパンフレット・ホームページ・子育て応援アプリ」（18.7%）、「市役所や市の機関」（5.7%）など市からの情報入手の割合は高いとはいえません。

(4) 定期的な教育・保育の利用状況について

定期的な教育・保育事業の利用状況について、いずれかの事業を利用されている方は87.3%で、9割近い方が保育施設を利用していることがわかります。また、平日に預ける施設やサービスを選ぶ際に重視する点について「家からの距離が近いこと」の割合が76.8%で7割半ばとなっており、自宅から近い保育施設を選ぶ方が多くなっています。

定期的な教育・保育事業の利用希望がある方の割合をみると、平日が93.4%、土曜日が62.0%、日曜日・祝日は32.8%、長期休暇期間中は63.3%となっており、平日以外にも土曜日や長期休暇期間中において6割以上の需要があることがわかります。

(5) 地域の子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援事業の現在の利用状況について「いずれも利用していない」の割合が53.3%で最も高い一方、利用されている方の事業は「浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」」の割合が42.2%となっています。また、今後の利用希望・利用増希望について「浜田市子育て世代包括支援センター「すくすく」」の割合が58.4%であることから、現在利用されていない方を含め今後の利用の増加が見込まれます。さらに、地域子育て支援事業に求めるものについて「自由に遊べる場（屋内）の提供」（81.9%）、「自由に遊べる場（屋外）の提供」（76.8%）などの割合が高く、遊び場の提供を求める声が特になくなってきています。

民間の子育て支援団体や子育てサークルの認知・参加状況について「知らない」の割合が53.3%で半数以上を占め、「参加している」の割合はわずか8.4%にとどまります。また、参加していない方が今後の参加を希望する子育てサークルの活動内容について「子どもの遊び場を提供してもらえる」の割合が71.9%で、地域子育て支援事業同様に子どもの遊び場を求める声が多くなっています。

(6) 子どもが病気の際の対応について

子どもが傷病の際の対処方法について「母親が休んだ」（87.2%）、「父親が休んだ」（45.5%）といった両親が休む選択肢の割合が高くなっていますが、母親は父親と比べて2倍近い割合であり、母親に負担が多いことがうかがえます。また、実際の対応と同様、希望する対応についても「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」の割合が81.6%で、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の割合の10.5%と大きな差があります。しかし、子どもが傷病の際に利用したい病児・病後児保育施設について「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が54.8%で半数を超え、「いずれも利用したいと思わない」の割合は23.8%であることから、病児・病後児保育を使うことに抵抗がある方が多いとはいえません。なお、「いずれも利用したいと思わない」と答えた方の理由については「親が仕事を休んで看る」の割合が59.5%となっています。

(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用状況について

不定期な教育・保育事業の利用希望について、いずれかの事業に利用希望がある方の割合は53.9%で、「利用希望はない」の割合の44.0%を上回っており、特に「休日保育」（28.0%）や「一時預かり」（26.2%）の割合をみると3割近い需要があります。なお、利用を希望しない理由については「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、保護者が子どもをみている等）」の割合が68.5%となっています。

子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の対処方法について、預ける必要があった場合の対処方法は「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が30.7%で3割程度の方が親族や知人に泊りがけで預かってもらっている一方、事業を利用された方はいませんでした。

(8) 就学後の放課後の過ごし方について

就学後の放課後に過ごす場所の利用希望について、低学年は「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が76.9%で高い需要がありますが、高学年は38.5%で、低学年における希望から4割近く減少しています。また、高学年は「自宅」の割合が69.2%となっており、4年生以降は自宅で放課後を過ごすことを想定されている方が多いことがわかります。

(9) 子どもの教育や地域での子育てについて

子どもに身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことについて「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」(56.3%)、「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」(49.7%)などの割合が高く、他者との円滑な関係を築ける力を優先して身につけてほしいと考えている方が多くなっています。

子どもに育む役目を担う場所について「家庭」の割合が最も高い項目は『基本的な生活習慣』『社会的ルールや礼儀作法』『自己肯定感』、「学校等」の割合が最も高い項目は『基本的な学力』『コミュニケーション能力』『健康管理や体力づくり』、「地域」の割合が最も高い項目は『伝統や文化の伝承』となっています。

地域で子育てを支えるために必要なことについて「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」の割合が76.5%で7割半ばとなっており、子どもの安全を守ることが地域における子育て支援として求められています。

(10) 保護者の就労状況・職場の両立支援について

保護者の就労状況について“働いている方”(「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)」の合計)の割合をみると、母親は87.0%、父親は93.1%であることから、共働き世帯の多さがうかがえます。

保護者の育児休業制度の取得状況の利用状況について、母親は「取得していない」の割合が14.5%であるのに対して、「取得した(取得中である)」の割合が64.5%となっています。一方、父親は「取得していない」の割合が74.1%であるのに対して、「取得した(取得中である)」の割合が17.5%と、母親と父親で育児休業の取得率に大きな差がみられます。なお、父親が育児休業制度を取得しなかった理由について「仕事が忙しかった」の割合が50.4%で、仕事の多忙を理由として育休制度を取得できていない父親が多いことがわかります。

育児休業給付・保険料免除の認知状況について「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合は51.5%で半数程度となっています。

(11) 児童虐待に関することについて

児童虐待の種類の認知について、4種類いずれも100.0%近い割合で認知されています。また、児童虐待が疑われる子どもを見聞きした場合の対応について「必要な支援が行われるように誰かに相談をする」(53.0%)、「児童相談所などの相談窓口に連絡する」(50.0%)の割合で半数を超え、何かしらの行動を起こす方が多いことがうかがえます。

子どもをしつけとしてたたいたりすることへの考えについて“必要と思う”(「日常的に必要なと思う」「時には必要と思う」の合計)の割合が43.7%で、「絶対に必要としない」の割合の40.4%をやや上回っています。

(12) 子ども食堂について

浜田市の子ども食堂の認知状況について“市内に子ども食堂があることを知らない”(「子ども食堂は知っているが、市内にあることは知らなかった」「子ども食堂を知らなかった」の合計)の割合が52.7%で、“市内に子ども食堂があることを知っている”(「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」「市内に子ども食堂があることは知っているが、利用したことがない」の合計)の割合の47.0%を上回っています。

また、「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」と答えた方の割合は9.0%で1割を下回っていますが、利用された方の今後の子ども食堂の利用希望については「今後も利用したい」の割合が90.0%で高くなっています。

子ども食堂が市内にあることを知っているが利用したことがない理由について「利用しづらい（気が引ける）」（38.1%）、「利用する必要がない」（37.3%）、「利用してよいのかわからない」（34.1%）など高い割合の選択肢はなく、様々な理由が挙げられています。

（13）浜田市の子育て支援施策全般について

居住地域における子育て環境や支援への満足度について「ふつう」の割合が40.7%、“不満足”（「あまり満足していない」「満足していない」の合計）の割合が32.2%、“満足”（「非常に満足している」「やや満足している」の合計）の割合が26.8%となっています。

居住地区における子育て環境や支援に関する意見においては、子ども（親子）の遊び場・イベントを求める声が最も多くなっています。

1－2 小学生保護者調査

（1）子どもと家族の状況及び日常生活について

子育ての主な担い手について「父母ともに」の割合が65.1%で最も高くなっていますが、平日の家事や育児の役割分担についてはほとんどの項目で“母親”（「どちらかといえば母親」「主に母親」の合計）の割合が最も高くなっており、特に『炊事』（80.9%）、『掃除』（67.1%）、『食事の後片付』（65.0%）など家事の項目が上位となっています。また、同設問において『子どもとの遊び』の項目は「ほぼ同じ程度」の割合が43.8%で最も高くなっているものの、母親から父親に協力してもらいたい家事や育児については「子どもとの遊び」の割合が34.2%で最も高く、両親ともに子育てを行っていても母親への負担が多くなっている可能性があります。

（2）子どもの生活実態について

生活費の負担感について“負担を感じる”（「とても負担」「ある程度負担」の合計）の割合をみると、『光熱費』の項目が79.6%で最も上位となっています。一方、「負担ではない」の割合をみると、『医療費』の項目が48.6%で最も上位となっていますが、就学前児童保護者に比べて2割以上低くなっています。また、子どもにかかる費用で負担に感じるものについて「制服・体操服の購入費」の割合が68.4%で7割近い方が負担に感じており、就学前児童保護者よりさらに1割以上高くなっています。

子どものための支援の利用希望について「生活や就学のための経済的な補助」の割合が64.3%で6割半ばとなっており、就学前児童保護者同様、経済面での支援を求める方が多くなっています。

（3）子どもの育ちをめぐる環境について

子どもをみてもらえる親族・知人について「いずれもない」の割合が17.6%で2割を下回っていることから、子どもをみてもらえる親族や知人がいる方が多いことがわかります。また、親族・知人に子どもをみてもらう状況について「相手の負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が42.8%である一方、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（34.1%）、「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」（31.1%）の割合から、預けることに関して心苦しい、または心配に思われている方もいらっしゃるとうかがえます。

子育てに関する相談相手について「配偶者・パートナー」（77.7%）、「友人や知人」（56.3%）、「祖父母等の親族」（54.4%）の割合で半数を超え、就学前児童保護者同様に身近な人が相談

相手として挙げられている一方、公的機関などに相談する方は多いとはいえません。

(4) 子どもが病気の際の対応について

子どもが傷病の際の対処方法について「母親が休んだ」(83.5%)、「父親が休んだ」(34.1%)といった両親が休む選択肢の割合が高くなっていますが、母親は父親と比べて2倍以上の割合であり、就学前児童保護者同様、母親に負担が多いことがうかがえます。また、子どもが傷病の際に希望する対応について「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」の割合が86.3%で8割半ばとなっており、両親が仕事を休んで子どもを看ることを希望している方が多いことがわかります。しかし、両親が仕事を休む以外の対応をしたことがある方が仕事を休まなかった理由については「仕事が多忙等で休みづらい」の割合が61.8%で、仕事を休みたくても休めない場合があることがうかがえます。

(5) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用状況について

不定期な教育・保育事業の利用状況について「利用していない」の割合が94.0%で非常に高く、利用を希望しない理由については「特に利用する必要がない」(74.0%)などの割合が高いことから、小学生保護者においては不定期な教育・保育事業の需要は高くないことがうかがえます。

子どもを泊りがけで預けなければならなかった際の対処方法について、預ける必要があった場合の対処方法は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が16.2%で2割を下回っています。また、事業を利用された方はいませんでした。

(6) 放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方について、低学年は「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が最も高く58.8%で、次いで「自宅」の割合が53.0%となっていますが、子どもの年齢別ですでに低学年を終えている9～11歳をみると「自宅」の割合が59.5%で最も高くなっていることから、実際には自宅で過ごしていた方が多いとみられます。また、高学年は低学年に比べて「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が22.0%と減少し、「自宅」の割合が70.3%と増加しています。

放課後児童クラブの利用を希望されている方の学校休業日の利用希望について「長期の休暇期間中」の割合をみると、低学年は65.0%、高学年は63.8%で、いずれも6割以上の需要があることがわかります。

(7) 子どもの教育や地域での子育てについて

子どもに身につけてほしい力や大切にしてほしいと思うことについて「人との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を身につけること」(58.0%)、「あいさつや礼儀、社会的マナーを身につけること」(50.3%)などの割合が高く、就学前児童保護者同様、他者との円滑な関係を築ける力を優先して身につけてほしいと考えている方が多くなっています。

子どもに育む役目を担う場所についても就学前児童保護者と同様の傾向で、「家庭」の割合が最も高い項目は『基本的な生活習慣』『社会的ルールや礼儀作法』『自己肯定感』、「学校等」の割合が最も高い項目は『基本的な学力』『コミュニケーション能力』『健康管理や体力づくり』、「地域」の割合が最も高い項目は『伝統や文化の伝承』となっています。

地域で子育てを支えるために必要なことについて「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」の割合が66.8%で6割半ばとなっており、就学前児童保護者同様、子どもの安全を守ることが地域における子育て支援として求められています。

(8) 保護者の就労状況について

保護者の就労状況について“働いている方”（「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」の合計）の割合をみると、母親は92.1%、父親は89.3%で、父母ともに約9割の方が働いており、共働き世帯の多さがうかがえます。また、フルタイム以外で就労している母親のフルタイム就労への転換希望について「今後（も）パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合が43.2%で最も高い一方、“フルタイムへの転換希望がある”（「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「出来ればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」の合計）の割合が49.3%であることから、今後さらにフルタイムで働く母親が増えることが見込まれます。

(9) 児童虐待に関することについて

児童虐待の種類の認知について就学前児童保護者同様、4種類いずれも100.0%近い割合で認知されています。また、児童虐待が疑われる子どもを見聞きした場合の対応について「必要な支援が行われるように誰かに相談をする」（49.7%）、「児童相談所などの相談窓口に連絡する」（42.9%）の割合が高いものの、半数を下回っています。

子どもをしつけとしてたたいたりすることへの考えについて“必要と思う”（「日常的に必要と思う」「時には必要と思う」の合計）の割合が47.0%で、「絶対に必要としない」の割合の36.0%を1割程度上回っています。

(10) 子ども食堂について

浜田市の子ども食堂の認知状況について“市内に子ども食堂があることを知っている”（「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」「市内に子ども食堂があることは知っているが、利用したことがない」の合計）の割合が50.8%で、“市内に子ども食堂があることを知らない”（「子ども食堂は知っているが、市内にあることは知らなかった」「子ども食堂を知らなかった」の合計）の割合の48.9%を上回っており、就学前児童保護者に比べて認知度がやや高くなっています。

また、「市内に子ども食堂があることを知っていて、利用したことがある」と答えた方の割合は9.9%で約1割となっていますが、利用された方の今後の子ども食堂の利用希望については「今後も利用したい」の割合が94.4%で非常に高くなっています。

子ども食堂が市内にあることを知っているが利用したことがない理由について「利用する必要がない」（45.0%）、「利用しづらい（気が引ける）」（24.8%）、「利用してよいのかわからない」（22.8%）など高い割合の選択肢はなく、様々な理由が挙げられています。

(11) 浜田市の子育て支援施策全般について

居住地域における子育て環境や支援への満足度について「ふつう」の割合が44.8%、“不満足”（「あまり満足していない」「満足していない」の合計）の割合が32.4%、“満足”（「非常に満足している」「やや満足している」の合計）の割合が22.2%となっています。

浜田市に期待する子育て支援の充実について「子どもが土日活動したり遊べる場を充実してほしい」（50.8%）、「親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」（40.9%）などの割合が高くなっており、子どもや親子で遊べたり楽しめたりする場所について求められていることがわかります。

居住地区における子育て環境や支援に関する意見においては、就学前児童保護者同様、子ども（親子）の遊び場・イベントを求める声が最も多くなっています。

保護者票まとめ

- 子育ての担い手としては父母ともに行っている方が多いものの、平日の家事や育児の役割は母親に偏る傾向にあり、母親が父親に協力してもらいたい家事や育児についても子どもとの遊びという回答が多いことから父親のさらなる子育てへの協力が求められます。
- 子どものための支援は経済的援助を求める方が多く、子どもにかかる費用に対しては特に制服等の購入費が負担に思われており、支援や対策の必要があるといえます。
- 保育事業の利用希望は平日だけでなく土曜日や長期休暇期間中にも6割以上の需要があり、母親のフルタイム就労への転換などによりさらなる需要増加の可能性などから、環境整備が求められます。
- 相談相手は身近な方が上位となっていますが、身近な相手に相談しづらい、あるいは相談しても解決しづらい問題などについて、相談内容ごとに適切な機関へ相談することで解決への近道となる可能性もあり、相談できる機関の周知や、普段から相談しやすい体制や場所づくりなども重要といえます。
- 子どもが傷病で事業を利用できない際は基本的に親が子どもを見ることを希望している保護者が多いものの、病児・病後時保育を利用したくないと考えている方は多いとはいえないため、積極的な利用は希望していなくても一定の需要があるといえます。子どもが傷病の際は母親が仕事を休んで対応した方が多いことから、忙しく休めないときなどに必要に応じて病児・病後時保育を利用してもらえよう促していくことも重要といえます。
- 育児休業給付・保険料免除をいずれも認知されている方は半数程度となっていますが、こういった制度に関しては親になる前から労働者の立場として知られるべきであるともいえます。仕事と育児の両立促進のため、性別や年代に関わらず支援制度等の認知を広げる必要があります。企業から労働者に向けた積極的な情報提供なども有効といえます。そのために、まず企業への理解促進を図ることも大切です。
- 子どもをしつけとしてたたいたりすることが必要と思う方はいずれの保護者調査も半数近い割合となっていますが、子どもに苦痛を与える行為はいかなる理由があってもしつけではなく体罰であり、恐怖心により子どもの言動を統制するものであるため心身の発達等に悪影響を及ぼす可能性があるといわれています。子育てにおいて子どもを叱りすぎてしまう悩みが多いことから、体罰等によらない子育てを推進するため、保護者に対する子育て相談等の充実や社会全体への啓発が重要です。
- 子ども食堂に関しては、まず市内にある子ども食堂について認知してもらうことが大切であり、保育施設や子育て支援施設、学校などでの広報や、SNSでの開催情報の発信なども有効といえます。また、誰でも参加しやすい形でのイベントの開催などを積極的に行うことで、利用しづらいというイメージを変え、より多くの人が利用していくことで、必要な方が気軽に子ども食堂を利用しやすくなることが望まれます。
- 伝統や文化の伝承は地域において育むことが望まれており、文化にふれる機会を地域で積極的につくり、伝統を受け継いでいくことが大切です。
- 全体の設問や意見を通して、子ども（親子）の遊び場・イベントを求める声が非常に多く、こうした部分での充実が求められます。

2 小学生調査

(1) 自分自身について

自身に当てはまることについて“当てはまる”(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計)の割合をみると、『今の自分が好きだ』の項目が71.8%、『育てられている人から大事にされている』の項目が95.0%、『うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む』の項目が87.8%、『自分は役に立たないと強く感じる』の項目が17.2%で、肯定的な感情に対しては当てはまると考えている方が多くいることがわかります。

(2) 周りの環境について

自分の居場所について“居場所だと思う”(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計)の割合をみると、『自分の部屋』の項目が67.7%、『家庭』の項目が92.9%、『学校』の項目が73.8%、『地域』の項目が68.7%、『インターネット空間』の項目が49.5%となっています。なお、『自分の部屋』については「当てはまるものはない、わからない」の割合が22.2%であることから、自室がない方が2割程度いるものとみられます。また、同様に『インターネット空間』についても「当てはまるものはない、わからない」の割合が29.3%であることから、インターネットにアクセスできる環境がない方が3割程度いるものとみられます。

自身の感情について“感じる”(「時々ある」「いつもある」の合計)の割合をみると、『話せる人がいないと感じる』の項目が15.1%、『周りから取り残されていると感じる』の項目が11.1%、『一人ぼっちだと感じる』の項目が15.2%で、孤独感に関する感情がある方はいずれも1割から1割半ば程度となっています。

(3) 周りの人との関わりについて

周りの人との関わりについて“思う”(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計)の割合をみると、『何でも悩みを相談できる』の項目は家族・親族が83.8%、学校の友人が73.8%、地域の人が52.5%、インターネット上の知人が15.2%となっています。

『困ったときは助けてくれる』の項目は家族・親族が93.9%、学校の友人が88.9%、地域の人が68.7%、インターネット上の知人が20.2%となっています。

『他の人には言えない本音を話せる』の項目は家族・親族が73.8%、学校の友人が61.6%、地域の人が30.3%、インターネット上の知人が9.1%となっています。

(4) 自身の性格について

自身の性格について“思う”の割合をみると、『誰とでもすぐ仲良くなれる』の項目が75.8%、『社会のために役立つことをしたい』の項目が80.8%となっています。

(5) 将来のことについて

将来への明るい希望について“希望がある”(「希望がある」「どちらかといえば希望がある」の合計)の割合が78.8%となっています。

また、自身の将来像について“思う”の割合をみると、『子どもを育てている』の項目が71.7%、『親を大切にしている』の項目が89.9%、『幸せになっている』の項目が86.9%、『結婚している』の項目が67.7%となっており、結婚や子育てといった家庭を持つ将来像を持っている方は7割程度となっています。

(6) 外出状況について

家での過ごし方について「テレビを見る」(83.8%)、「ゲームをする」(74.7%)、「勉強をする」(72.7%)などの割合が高くなっています。

外出頻度について「学校や習い事で平日は毎日、外に出かける」の割合が53.5%で最も高い一方、外出頻度が低い方(「普段は家にいるが、自分の趣味などの用事するときだけ外に出かける」「普段は家にいるが、近くのコンビニなどには出かける」「自分の部屋からは出るが、家からは出ない」「自分の部屋からほとんど出ない」の合計)の割合は12.1%となっています。

(7) 落ち込んだ経験について

物事がうまくいかず落ち込んだ経験について“あった”(「あった(または、今ある)」「どちらかといえば、あった(ある)」の合計)の割合が68.7%となっています。また、落ち込んだ状態から元に戻った経験については“あった”の割合が83.9%となっています。さらに、そのきっかけについては「家族や親戚の助け」(57.9%)、「友達の助け」(52.6%)などの割合が高くなっています。

落ち込んだ際に相談したり助けを求めやすい人について「家族や親戚」(77.8%)、「学校の友達」(59.6%)などの割合が高くなっています。また、家庭や学校以外で悩み事を相談できる場所の認知については「知らない」の割合が63.6%となっています。

(8) 浜田市に期待することについて

浜田市に今後増やしてほしい場所や機会について「家族で出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(70.7%)、「土日に活動したり遊べる場所を増やしてほしい」(56.6%)などの割合が高くなっています。

小学生票まとめ

- 周りの人との関わりは『何でも悩みを相談できる』『困ったときは助けてくれる』『他の人には言えない本音を話せる』のいずれの項目も“思う”と回答した割合は家族・親族、学校の友人、地域の人、インターネット上の知人といった割合の順となっているため、家庭や家族に対する信頼感が高いことがわかります。
- 外出頻度があまり高くない方も1割以上みられたことから、必要な際は適切な支援ができるような体制づくりが求められます。
- 落ち込んだ経験は7割程度の方が経験されているものの、8割以上の方がその状態から元に戻っており、そのきっかけは家族や友達などの助けである方が多く、身近な人が支えになっていることから、周囲の方の存在の重要性がうかがえます。
- 相談相手としては家族や学校の友達などを挙げる方が多く、家庭や学校以外で悩み事を相談できる場所についての認知度が低かったことから、身近な人に相談しづらい内容についても相談できる機関を子どもたちに周知することが大切です。子どもが目にしやすい場所での掲示なども有効といえます。また、機関においては子どもが一人でも気軽に相談しやすいような場所づくりも重要といえます。
- 保護者票同様、家族で楽しんだり、土日に遊べるような場所が求められていることから、公園や施設などの遊び場の充実が求められます。

浜田市第3期子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査
結果報告書

発行日 令和7年3月
発 行 浜田市 健康福祉部 子ども・子育て支援課

〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
TEL：0855-25-9331